

令和元年度

# アニュアルレポート 年報

---



独立行政法人 国立病院機構

京都医療センター







## 序 文

京都医療センターのアンニュアルレポート令和元年度版をお届けいたします。

この年、日本では平成の明仁（あきひと）天皇陛下が4月30日に退位され、皇太子徳仁（なるひと）親王殿下が5月1日、第126代天皇に即位されました。新元号「令和」は、元号では初めて、日本の古典「万葉集」から引用されました。そしてリチウムイオン電池を開発した吉野彰先生がノーベル化学賞を受賞されました。スポーツ界では、アジア初開催のラグビー・ワールドカップ日本大会で日本代表が初の8強入りを果たし、プロゴルファーの渋野日向子選手が全英女子オープンで優勝し、野球のイチロー選手がマリナーズを引退しました。悲しい出来事としては、京都市伏見区で京都アニメーション放火殺人事件が発生し、当院の医師、看護師も救助、救命活動にあたりましたが、多くの方が犠牲となりました。また、沖縄の首里城が焼失しました。海外ではパリのノートルダム大聖堂も焼失しました。スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさん（16）が国連本部で開かれた「気候行動サミット」で演説し、地球温暖化対策の実行を急ぐよう訴えたことも印象的でした。

令和元年度、京都医療センターでは7月にロボット手術daVinciサージカルシステムを更新して新機種を導入しました。10月15日には高精度放射線治療棟（リニアック棟）が完成し、従来よりも正確に病巣に対して放射線を照射し、かつ周囲の正常臓器への被ばくを低く抑える放射線治療が可能となりました。11月には患者支援センターを新たに開設しました。12月には当センター初となる3テスラ磁気共鳴断層撮影装置（MRI）を導入しました。令和2年2月には（財）日本医療機能評価機構が実施する「病院機能評価：一般病院2（3rdG：Ver2.0）」ならびに「高度専門機能：救急医療・災害時の医療（ver.1.0）」を受審し、認定を取得することができました。3月には機構本部からハイブリッド手術室の導入（令和3年度中完成）が承認されました。そして当院はNewsweek誌が公表するWorld's Best Hospital 2020に選ばれ、3月19日に認定証が届きました。一方、令和元年度の経営は非常に厳しく、医業収支は3億5千万円の赤字、経常収支は1億9千万円の赤字でした。

令和2年は年明けから、新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的流行が始まりました。それに伴い、日本でも感染が全国的に拡大し、本院もコロナ患者さんの受け入れ、職員の感染防止対策に全精力を注ぐことになりました。しかし、コロナ時代でも本院の目標が「地域のニーズに応えて高度・急性期の医療を推進し、地域の皆さまから信頼され、診療の質をさらに向上させていく」ことに変わりはありません。

当センターが地域の基幹病院として十分な役割を果たしていくためには、職員一同のたゆまざる努力に加えて、病院を支えてくださる方々のご支援が不可欠です。今後も益々のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

院長 小池 薫

# 京都医療センター診療年報 目次

序文	1
京都医療センター診療年報 目次	2
京都医療センターの理念	4
概要	5
京都医療センター 組織図	14
京都医療センター 幹部職員	15
職員の状況	16
診療実績(年度別統計)・入院外来・診療実績	18
総合内科/総合診療科	21
膠原病・リウマチ内科	23
血液内科	24
内分泌・代謝内科	25
糖尿病センター(糖尿病内科)	38
腎臓内科	44
腫瘍内科	47
精神科	50
神経内科	52
呼吸器センター	55
消化器内科	59
循環器内科	68
小児科	78
外科	81
整形外科	91
形成外科	96
脳神経外科	98
血管外科	102
心臓外科	104
皮膚科	107
泌尿器科	109
産科婦人科	115
緩和ケア科	122
眼科	125
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	129
麻酔科	132

放射線科	135
総合リハビリテーション科	139
歯科口腔外科	140
救命救急センター(救命救急科)	144
健診センター	148
臨床研究センター	154
遺伝診療部	162
医療安全管理部	170
医療情報部	173
感染制御部	179
教育研修部	185
地域医療部	186
薬剤部	193
臨床検査科	197
病理診断科	201
臨床栄養科	203
医療技術部リハビリテーション科	206
医療技術部 臨床工学科	210
看護部	212
京都看護助産学校	220
編集後記	234

# 京都医療センターの理念

私たちは患者さんとともに病気に立ち向かい、  
患者さんが安心できる医療を提供します。

## □ 基本方針

- 一、常に高度で先進的な医療を導入し、地域の医療機関との連携を図り、急性期医療を中心とした質の高い医療を提供することで患者さんに信頼される病院となることを目指します。
- 一、十分な説明のうえで患者さんの同意を得た医療を提供します。
- 一、臨床医学の発展を常に念頭におき、臨床研究を積極的に推進し、新しい医療技術の研究開発に努めます。
- 一、教育研修病院として医師、看護師等、医療に従事する人材の育成に努めます。
- 一、職員の働きやすい職場環境であることが、安全で高度かつ効率的な医療提供に不可欠であると考え、職員の福利厚生の上に努めます。

## □ 患者さんの権利の尊重に関して

京都医療センターでは、患者さんと医療従事者との信頼関係のもとで患者さんとともに歩む病院をめざしています。ここに患者さんの権利に関する事項と守っていただく事項について記します。

### 【患者さんの権利に関する事項】

1. 尊厳ある人間として医療を受ける権利を大切にします。
2. 良質で適切な医療を平等に提供します。
3. 検査や治療について十分に理解していただけるように説明します。
4. 検査や治療について自ら選択する権利を尊重します。
5. 医療のどの段階においても他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利を尊重します。
6. 自分に関する医療情報の開示を求める権利を尊重します。
7. プライバシーを守ります。

### 【守っていただく事項】

1. 健康状態及び診療に必要な情報の提供をお願いします。
2. 医療内容について理解していただけない場合にはお知らせください。
3. 病院のルールを守り他の人に迷惑をかけないようにお願いします。

# 概要

(令和2年4月1日現在)

## 1. 施設の概要

### (1) 環 境

京都市の南にある市内最大の人口を擁する伏見区のおおむね中央に位置し、伏見稲荷大社で有名な稲荷山の南麓に広がる深草地区に立地している。深草地区は「うづらの里」と呼ばれるように、かつては多くの鶉(うづら)が生息したことで知られる。南へ下ると伏見の酒造りの町があり、白壁の酒蔵が立ち並び独特の風情がある。東南部には桃山城の城下町桃山地区がある。桃山時代に伏見城の城下町として始まり、また江戸時代には淀川水運の重要な港町・宿場町としても栄えた地域である。

現在は、伏見城の城下町の伝統を受け継ぐ商業拠点である一方、京都市中心部や京都府南部、大阪方面へのベッドタウンとしての性格をもち、診療圏も二次医療圏にとどまらず、京都府南部地域はもとより大阪府北部及び滋賀県南部をはじめ他府県に及んでいる。

### (2) 沿 革

明治41年11月 (1908年)	京都衛戒病院として設立
昭和12年 (1937年)	京都陸軍病院と名称変更
昭和20年12月 (1945年)	国立京都病院として厚生省に移管
昭和53年4月 (1978年)	臨床研究部(内分泌代謝疾患)設置
昭和59年12月 (1984年)	救命救急センター設置
昭和63年11月 (1988年)	WHOより糖尿病協力センターに指定
平成7年4月 (1995年)	開放型病院に認定
平成7年7月 (1995年)	京都府エイズ治療拠点病院に指定
平成10年6月 (1998年)	臓器提供施設に指定
平成11年3月 (1999年)	国の政策医療「内分泌代謝疾患」の高度専門医療施設として位置付けられる
平成12年4月 (2000年)	(財)日本医療機能評価機構 病院機能評価『一般病院種別・B』に認定
平成14年6月 (2002年)	地域医療連携室の開設
平成15年10月 (2003年)	臨床研究センター(内分泌代謝疾患)設置
平成16年4月 (2004年)	独立行政法人へ移行。京都医療センターと改称

平成17年 4月 (財)日本医療機能評価機構  
(2005年) 病院機能評価『一般病院(Ver.4.0)』に認定  
平成19年 1月 地域がん診療連携拠点病院に指定  
(2007年)  
平成20年 8月 地域医療支援病院に指定  
(2008年)  
平成22年 6月 (財)日本医療機能評価機構  
(2010年) 病院機能評価『一般病院(Ver.6.0)』に認定  
平成23年 1月 新中央診療棟竣工 緩和ケア病棟開設  
(2011年)  
平成26年 6月 第2外来棟竣工  
(2014年)  
平成27年 4月 京都府災害拠点病院に指定  
(2015年)  
平成27年 6月 (財)日本医療機能評価機構『一般病院2(Ver.1.0)』  
(2015年) 『救急医療機能(Ver.2.0)』に認定  
平成28年12月 原子力災害拠点病院に指定  
(2016年)  
平成30年 3月 第二病棟8階(38床)休棟  
(2018年)  
平成30年 4月 がんゲノム医療連携病院(京都大学)に指定  
(2018年)  
令和元年10月 高精度放射線治療棟(リニアック棟)竣工  
(2019年)

### (3)医療圏・近隣医療機関の状況

#### ●2次医療圏

・京都・乙訓医療圏

(京都市、向日市、長岡京市、大山崎町3市1町)

#### ●2次医療圏内人口

・京都市 1,466千人

・向日市 56千人

・長岡京市 80千人

・大山崎町 16千人 計1,618千人

### (4)職員数

#### ●1,269名 (令和2年4月1日現在)

・常勤職員 967名

・期間職員 39名

・非常勤職員 263名

(5)敷地・建物の状況

●所在地 京都府京都市伏見区深草向畑町1-1

●敷地面積 …… 66,267㎡

●建物面積

区 分	建 築 年 月	建 築 構 造	建 築 面 積	延 床 面 積
病 棟	H01.03	RC-8F	2,976㎡	18,748㎡
外来管理診療棟	S58.05	RC-4F	2,711㎡	10,840㎡
中央診療棟	S60.07	RC-5F	2,405㎡	13,301㎡
第2外来棟	H26.06	RC-3F	421㎡	1,228㎡
新中央診療棟	H22.12	RC-6F	1,952㎡	8,672㎡
臨床研究センター	S53.02	RC-4F	827㎡	3,117㎡
看護学校	H15.03	RC-4F	3,298㎡	6,560㎡
その他(宿舎等)			4,550㎡	10,449㎡
合 計			19,140㎡	72,915㎡

## 2. 診療機能の状況

(1) 病床数 医療法病床数(一般病床) 600床

### (2) 診療科(40科)

内科、血液内科、糖尿病内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、腫瘍内科、膠原病・リウマチ内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、心臓外科、血管外科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、小児外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産科婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、気管食道科、頭頸部外科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、緩和ケア外科、歯科口腔外科、小児歯科、病理診断科、臨床検査科、救急科

### (3) 医療計画上の当院が担う機能

- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・がんゲノム医療連携病院(京都大学)
- ・地域医療支援病院
- ・救命救急センター(三次、30床)
- ・地域災害拠点病院
- ・原子力災害拠点病院
- ・緊急災害医療チーム(DMAT2チーム10名)
- ・周産期医療2次病院(地域周産期母子医療センター)
- ・難病医療協力病院
- ・エイズ拠点病院
- ・急性期を担う医療機関(脳卒中、急性心筋梗塞)

### (4) その他の主な機能

- ・緩和ケア病棟(20床)
- ・外来化学療法センター
- ・ER(北米型救急外来)
- ・NHQ災害ブロック拠点病院
- ・国際医療協力施設
- ・臓器提供施設
- ・WHO糖尿病協力センター
- ・健診センター
- ・人工透析センター
- ・(財)日本医療機能評価機構 病院機能評価  
「一般病院2(3rdG:Ver2.0)」「救急医療・災害時の医療(Ver.1.0)」  
認定
- ・遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設

### (5) 教育研究機能

- ・臨床研究センター
- ・臨床研修病院(基幹型・協力型)
- ・専門研修基幹施設(7プログラム)、専門研修連携施設
- ・附属京都看護助産学校(看護学科・助産学科)

(6) 各学会認定専門医研修施設及び修練施設

日本内科学会、日本消化器学会、日本循環器学会、日本小児科学会、日本皮膚科学会、日本精神神経学会、日本外科学会、日本消化器外科専門医、日本整形外科学会、日本産婦人科学会、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医研修施設、日本周産期(新生児)専門医、日本眼科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本泌尿器科学会、日本脳神経外科学会、日本医学放射線学会、日本麻酔科学会、日本集中治療医学会、日本救急医学会、日本形成外科学会、日本手外科学会、日本神経学会、日本呼吸器外科基幹施設、日本消化器内視鏡学会、日本内分泌学会、日本腫瘍学会、日本頭頸部外科学会、日本がん治療認定医機構、日本緩和医療学会、胆管膵外科高度技能専門医、日本外科感染症学会、日本心血管インターベンション治療学会

3. 診療機能等の特色

(1) 救命救急センター(30床:ICU8床、HCU22床)

昭和59年12月に開設された歴史あるセンターであり、京都府内に6つある救命救急センターのひとつである。活動拠点は京都市のみならず、近隣市からの救急隊による収容要請にも応え24時間365日、質の高い救急医療を提供している。

平成23年1月に新中央診療棟に移転し、30床全床で生体監視モニター管理が可能となった。また、広範囲熱傷処置対応のための熱傷治療室も設置した。

(2) 集中治療室(ICU・6床)

平成15年7月に設置。集中治療室では、全身麻酔下手術等における重篤患者等の術後全身管理や入院中に集学的治療が必要となった患者の全身管理を行っている。救命救急センターの集中治療室と2ヶ所の集中治療室を有している。

(3) 新生児集中治療室(NICU・6床)

平成12年2月に設置し、平成12年4月に施設基準を取得。低出生体重児等の新生児の治療管理を集中的に行っている。地域周産期母子医療センターとして京都府南部地域の中核病院としての役割を果たしている。

(4) 新生児治療回復室(GCU・6床)

平成23年12月に設置し、平成24年1月に施設基準を取得。

NICUでの集中管理が終了した新生児が一定の体重・週数に達し、なおかつ合併症コントロールの目的が立ち退院できるまで管理している。

(5) 特別室個室病棟(30床)

平成23年1月にオープンした全室個室の病棟。セキュリティーを確保した特別病棟は、病棟専属のコンシェルジュを配置し、クオリティーの高い療養環境と最高のサービスを提供している。新型インフルエンザの発生時等において隔離病棟として使用できるよう陰圧機能を備えた病室を備えている。

(6) 緩和ケア病棟(20床)

平成23年1月にオープン。京都府で初めて地域がん診療連携拠点病院にできた緩和ケア病棟であり、各診療科と連携を積極的に行って苦痛症状の緩和に努めている。医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、音楽療法士、ボランティアなど多職種でチームを組んで対応している。

(7) 開放型病床(20床)

地域医療機関との連携強化を図るため、伏見医師会との協定により開放型病床を設置し、登録医からの紹介入院患者を共同して診療、指導にあっている。平成7年4月に開放型病院の承認。平成20年8月に地域医療支援病院の承認。地域医療の向上を図り、紹介患者に対する医療の提供のみならず、地域の医療関係者の生涯教育の充実等地域医療の確保に努めている。

※登録医数 129名(令和2年4月1日現在)

(8) 特殊専門外来

特殊診療として、内視鏡センター、呼吸器センター、心臓センター、糖尿病センター、内分泌・甲状腺・高血圧センター、スポーツ医学センター、めまいセンター、脳・神経センター、産婦人科超音波外来、フットケア外来、セカンドオピニオン外来、腫瘍外来、遺伝子外来、禁煙外来、発達障害外来、外来化学療法センター、メタボリック症候群外来、妊娠糖尿病外来、糖尿病透析予防外来、婦人科骨粗鬆症更年期外来

(9) 健診センター(平成16年4月1日開設)

早期に病気を発見する予防医学の役割が一層重要になっていることから、当院の政策医療である内分泌・代謝疾患の高度専門医療施設の特性を生かし、生活習慣病を主な対象とするとともに、各診療科の専門性を有効に活用した健診とし、専門医との連携による的確な判定を行っている。

(10) 研修医・レジデントの教育、研修の充実

教育研修部を設置して「患者を包括的にケアできる」医師の育成を行っている。

臨床研修指定病院(管理型)

NHO専修医制度

臨床研修医の令和2年度定数…1年目 10名、2年目 10名

スーパーローテーション方式

ランチタイムセミナー

双方向性の評価方式の導入

(11) 臨床研究センター

平成15年10月に臨床研究センターが設置され、「糖尿病を中心とした内分泌・代謝性疾患の病態と発症機序の解明および予防・診断・治療法の開発研究」を担っている。国立病院機構の臨床研究体制再構築に伴い、平成20年度からは「内分泌・代謝性疾患」にとどまらず、がん診療支援を含めた幅広い分野を臨床研究の活動分野とすることになった。

(12) 手術支援ロボット「ダヴィンチ」

平成26年6月に腹腔鏡下手術を支援する内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入。このダヴィンチを用いた手術は通常の腹腔鏡下手術と同様に傷口が小さく低侵襲で術後の痛みも少ないことから回復も早く、早期の退院が可能となった(保険適用手術は限られているが、平成30年4月に保険適用手術が拡大しており、今後も保険適用の拡大が期待されている)。

(13) PET/CT

がんの早期発見、早期治療の充実・発展のため、平成26年6月に京都府南部地域初のPET/CTを導入。

#### (14) 患者支援センター

平成14年6月に地域医療連携室が設置した。令和元11月に移転し、患者支援センター(地域医療連携室、がん相談支援センター、患者相談窓口)を開設した。地域の診療所や各医療機関及び保健福祉機関との連携を強化している。前方後方支援業務はもとより、年2回開催の医療連携フォーラムや脳卒中等の市民講座の開催にも力を入れている。

##### □人員配置

○地域医療部長(医師) 病床管理師長 副看護師長 地域医療連携係長(事務) 医療社会事業専門員4名 看護師12名 事務助手5名 派遣職員1名 計26名

#### (15) がん診療支援

当院は平成19年1月から地域がん診療連携拠点病院の認定を受けており、カンサーボードも設置し「がん診療セミナー」等、医師だけでなく、看護師、コメディカル、その他医療職を対象とした、オープンセミナーを開催している。

また、がん診療相談(地域医療連携室)や患者情報室(1階ホール)、京都では初となるNPO法人がんリボンズが設置をサポートするリボンズハウス(外来化学療法室)を設置して患者の日常生活支援に力を入れ、最先端の総合的ながん治療から患者の視点に立って生活を支援することができる施設を目指している。

平成30年4月からはがんゲノム医療連携病院の指定を受け、網羅的遺伝子パネル検査(NCCオンコパネル及びオンコプライム)も実施している。

##### □リボンズハウス(平成23年10月から運用開始)

○がん患者の「治療と生活」をつなぐ具体的な情報とケアを提供する。

○医療者やヘルスケアに携わる多くの専門家の手によるプログラムを通して患者がより自分らしく少しでも快適な生活を送れるようサポートする。

○広く地域に開かれたスペースとして多くの人々が情報を共有し支えあいを実践できる場になることを目的とする。

○主な内容としては、がんに係る相談、がんに係る情報提供、がん患者支援のイベント等の企画運営、インターネット検索コーナー、展示コーナー(ウィッグ、帽子等)アロマセラピー等

#### (16) 感染制御部

平成9年4月に組織横断的院内感染対策チーム(ICT)を設立し、平成22年4月には、院内感染管理と職員の健康管理を通じて、患者が安心して診療を受けられる環境を提供するため、ICTを核とする感染制御部を発足させた。医師、看護師、リンクナース、薬剤師、臨床検査技師、事務職等多くの職員がそれぞれ得意とする分野を分担している。ICTリーダーを中心に週に1回ICTミーティングを行い、更に週1回定期的に院内ICTラウンドを実施し、日々の感染対策に関する相談に関しても随時対応している。

##### □人員配置

○感染制御部長(医師) 副部長(医師1名) 医師1名 専任薬剤師2名  
専従認定看護師 専任検査技師 事務2名 計9名

##### □主な活動例

○インフルエンザ、感染性胃腸炎、結核、新型コロナウイルス等の院内感染対策

○手術部位感染、血流感染等のサーベイランス

○抗菌薬適正使用推進業務等

○これらの活動は、病院長直轄の「院内感染対策委員会」(月1回)と「抗菌薬の適正使用に関する小委員会」(月1回)にて報告及び審議決定されるシステムとなっている。また、院内感染対策委員会については、感染対策の必要に応じて臨時開催され迅速な対応を行っている。(27年1月の開催回数は11回)

## (17) 医療安全管理体制

医療安全体制の確立を図り安全な医療の遂行を徹底するために医療安全管理部を設置している。各部門にリスクマネージャーを置き、患者や家族に対する対応及び医療安全管理部門や幹部職員への報告・連絡・相談を速やかに行う体制を整えている。

また、客観的事実の確認や事故原因の追及と再発防止策の検討の為にオカーレンス事例検討会や医療安全管理委員会及び医療事故対策本部会議を開催し、必要に応じて弁護士や外部評価委員を構成メンバーに加えた拡大医療安全管理委員会も開催している。

必要に応じて法的観点からの意見を含め、病院として見解を常に決定するとともに、専任の医療安全管理係長や訴訟専門職、さらにはクレームや暴言暴力への対応策として警察OBも配置して、あらゆるケースに対応出来る体制を構築している。

### □人員配置

○副院長(医療安全担当) 医療安全管理部長(医師)

医療安全管理副部長(医師) 専門職(訴訟担当) 医療安全管理係長(看護師長、医療安全管理専従) 看護部医療安全担当副看護師長(医療安全管理専従)

リスクマネージャー(各部署から1名:60名) 計65名

### □主な会議

○拡大医療安全管理委員会

○医療安全管理委員会

○医療事故対策本部会議

○オカーレンス事例検討会

○ハイリスク診療検討会議

○リスクマネージャー会議

## (18) 医療情報部

平成15年7月に設置された医療情報部は国立病院としては初めて認可された部門であり、医師と情報システムエンジニアの資格を持つ人材が部長を担当している。ベンダーに依存することなく医療現場のニーズにマッチした情報システムの開発、導入、構築を迅速かつ正確に行っている。平成11年に導入した病院総合情報システム(電子カルテ)は、平成28年10月より稼働した新システムで第4世代となる。

また、京都府及び京都市が設置した情報基盤協議会である「ITコンソーシアム京都」医療情報化部会と連携し「ポケットカルテ」等の二次医療圏を包括する地域医療連携基盤の企画、設計、開発、構築、運用等も行っている。

更に、情報システムや診療記録管理だけではなく、診療諸記録作成の作成等の医師事務作業補助の専門職として「スペシャル医療クラーク」を独自に育成し、各診療科に配置する事で、医師や看護師等の専門職が業務に集中出来る環境を構築すると共に、診療の質の向上に努めている。

### □人員配置

○部長(医師・SE) 副部長(医師) 診療情報管理士4名 スペシャル医療クラーク27名

医療クラーク5名 情報システム管理室員4名 流動研究員(SE等)1名 計43名

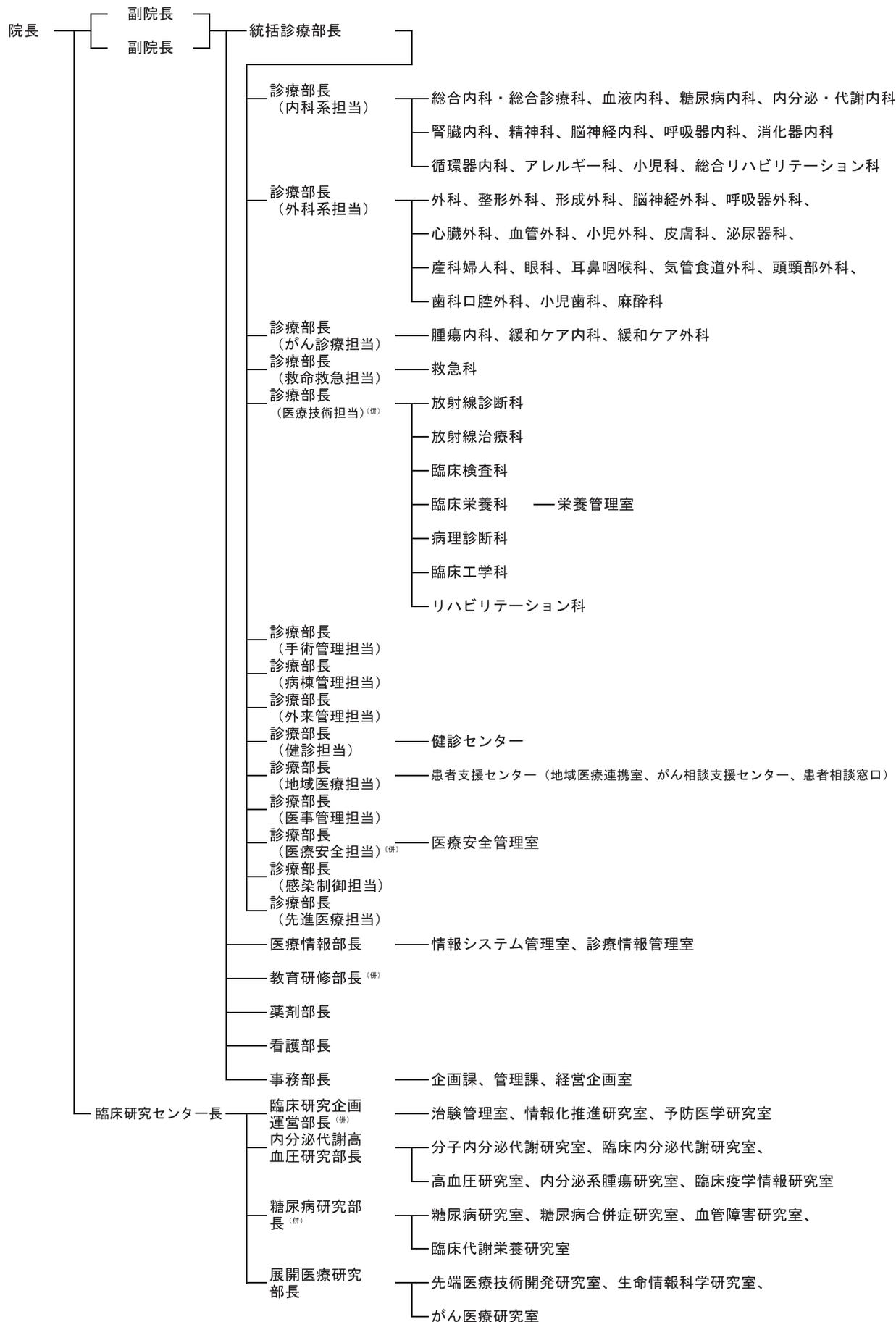
#### 4. 附属京都看護助産学校

##### (1) 沿革

昭和24年 (1949年)	4月 1日	附属高等看護学院設置
昭和44年 (1969年)	4月 1日	附属高等看護助産学院設置
昭和50年 (1975年)	4月 2日	国立京都病院附属看護助産学校、看護婦科 および助産婦科に名称が変更される。
平成14年 (2002年)	4月 1日	看護学科、助産学科に名称が変更される
平成16年 (2004年)	3月25日	看護学校大型化整備工事竣工
平成16年 (2004年)	4月 1日	国立京都病院附属看護助産学校及び国立療養所 宇多野病院附属看護学校並びに国立療養所南京都 病院附属看護学校を当院の地で統合し、附属京都看 護助産学校となる。 ※1学年定員 看護学科80名 助産学科35名
平成27年 (2015年)	4月 1日	附属京都看護助産学校助産学科の定員減 ※1学年定員 助産学科25名

# 組織図

(令和2年4月1日現在)



学校長 (併) — 副学校長 — 附属京都看護助産学校

# 京都医療センター 幹部職員



院長 小西 郁生  
令和2年3月31日まで



院長 小池 薫  
令和2年4月1日から



副院長 塚原 徹也



副院長 高倉 賢二  
令和2年3月31日まで



副院長 白神 幸太郎  
令和2年4月1日から



臨床研究センター長  
八十田 明宏



統括診療部長  
猪飼 伊和夫



内科系診療部長  
教育研修部長  
小山 弘



外科系診療部長  
中川 泰彰



がん診療部長  
山崎 誠二



救命救急部長  
笹橋 望



医療技術部長 伊藤 剛  
令和2年3月31日まで



手術管理部長  
七野 力



病棟管理部長  
赤尾 昌治



外来管理部長  
三尾 直士



健診部長  
田上 哲也



地域医療部長  
瀬田 公一



医事管理部長  
勝島 慎二



感染制御部長  
奥野 博



先端医療部長  
喜多 美穂里



医療情報部長  
北岡 有喜



内分泌代謝高血圧研究部長  
浅原 哲子



展開医療研究部長  
長谷川 浩二



薬剤部長  
本田 芳久



看護部長  
池田 仁美



事務部長  
前田 真次



副学校長  
前中 由美

# 職員の状況

(令和2年4月1日現在)

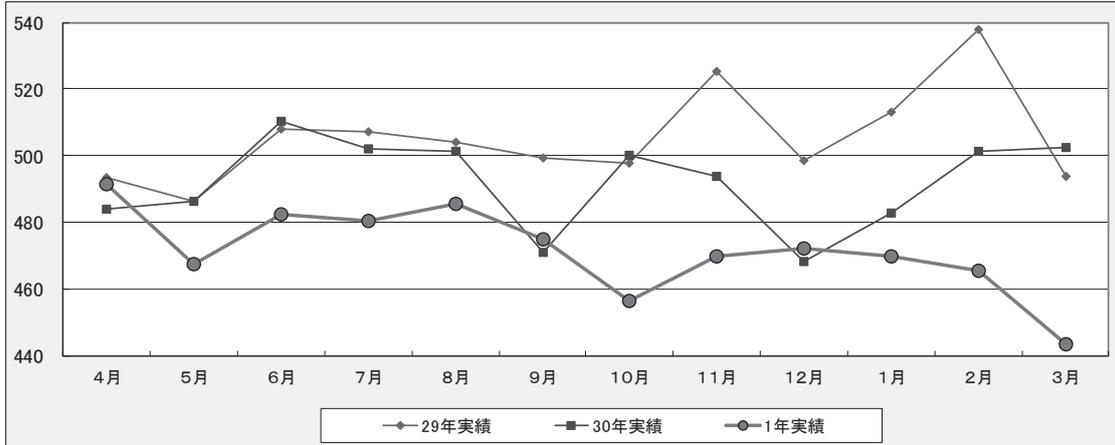
	職 種 ・ 職 名	常勤職員		非常勤職員			期間職員			職 員 合 計	
		定 数	現 員	定 数	現 員	常勤換算	定 数	現 員	常勤換算		
医 師	院長・年俸表(-)	院長	1	1						1.00	
		副院長	2	2						2.00	
		部長	14	14						14.00	
		医長	37	37						37.00	
		歯科医長	1	1						1.00	
		小計	55	55						55.00	
	一般医師 医療職(-)	医師	107	100	21.44	28	21.44	33.30	37	33.30	154.74
		歯科医師	1	1				0.90	1	0.90	1.90
		小計	108	101	21.44	28	21.44	34.20	38	34.20	156.64
	医 師 計		163	156	21.44	28	21.44	34.20	38	34.20	211.64
医 療 職  (一)	薬剤師	薬剤部長	1	1						1.00	
		副薬剤部長	2	2						2.00	
		主任薬剤師	7	6						6.00	
		薬剤師	26	24		1	0.77			24.77	
		小計	36	33		1	0.77			33.77	
	放射線技師	診療放射線技師長	1	1						1.00	
		副診療放射線技師長	2	2						2.00	
		主任診療放射線技師	6	6						6.00	
		診療放射線技師	25	26						26.00	
		小計	34	35						35.00	
	検査技師	臨床検査技師長	1	1						1.00	
		副臨床検査技師長	2	2						2.00	
		主任臨床検査技師	8	8						8.00	
		臨床検査技師	24	24		5	3.24			27.24	
		小計	35	35		5	3.24			38.24	
	管理栄養士	栄養管理室長	1	1						1.00	
		副栄養管理室長	1	1						1.00	
		主任栄養士	2	1						1.00	
		栄養士	3	3	2.31	4	2.67		1	1.00	6.67
		小計	7	6	2.31	4	2.67		1	1.00	9.67
	理学療法士	理学療法士長	1	1						1.00	
		副理学療法士長	1	1						1.00	
		主任理学療法士	4	4						4.00	
		理学療法士	12	12		1	0.77			12.77	
		小計	18	18		1	0.77			18.77	
	作業療法士	主任作業療法士	1	1						1.00	
		作業療法士	6	6						6.00	
小計		7	7						7.00		
言語聴覚士	主任言語聴覚士	1									
	言語聴覚士	4	6		1	0.41			6.41		
	小計	5	6		1	0.41			6.41		
臨床工学技士	臨床工学技士長	1	1						1.00		
	主任臨床工学技士	2	1						1.00		
	臨床工学技士	12	12						12.00		
	小計	15	14						14.00		
医療技術職員	視能訓練士	4	4	1.85	2	1.60			5.60		
	心理療法士			0.92	4	0.60			0.60		
	歯科衛生士			1.54	4	3.08			3.08		
	歯科技工士			0.77	1	0.77			0.77		
	小計	4	4	5.08	11	6.05			10.05		
医 療 職 (二) 計		161	158	7.39	23	13.91		1	1.00	172.91	

	職 種 ・ 職 名	常勤職員		非常勤職員			期間職員			職 員 合 計	
		定 数	現 員	定 数	現 員	常勤換算	定 数	現 員	常勤換算		
医 療 職 (三)	看護師、助産師	看護部長	1	1						1.00	
		副看護部長	3	3						3.00	
		看護師長	21	21						21.00	
		副看護師長	48	47						47.00	
		助産師		32						32.00	
		看護師	501	470	33.99	25	17.33				487.33
		准看護師									
医 療 職 (三) 計		574	574	33.99	25	17.33				591.33	
事 務 職・診 療 情 報 管 理 職	事務職員	事務部長	1	1						1.00	
		課長・室長	3	3						3.00	
		班長	2	2						2.00	
		専門職	2	2						2.00	
		係長	12	8						8.00	
		主任									
		一般職員(事務補助)	8	11	109.50	153	115.23				126.23
		小計	28	27	109.50	153	115.23				142.23
	診療情報管理職	診療情報管理士	11	10		1	0.83				10.83
		小計	11	10		1	0.83				10.83
事 務 職・診 療 情 報 管 理 職 計		39	37	109.50	154	116.06				153.06	
技 能 職 員	自動車運転手 調理師 看護助手 その他				1	0.83				0.83	
			11	32.01	11						
					18	14.87				14.87	
					2	1.66				1.66	
技 能 職 員 計		11	11	32.01	21	17.36				28.36	
教 育 職	副学校長・教育主事 教員(教務補助)	4	4							4.00	
		15	14							14.00	
教 育 職 計		19	18							18.00	
研 究 職	センター長・部長 室長・主任研究官 研究(補助)員	3	3							3.00	
		4	4							4.00	
		1	1	3.49	11	7.40				8.40	
研 究 職 計		8	8	3.49	11	7.40				15.40	
福 祉 職	保育士 医療社会事業専門員	1	1		1	0.77				1.77	
		4	4							4.00	
		5	5		1	0.77				5.77	
福 祉 職 計		5	5		1	0.77				5.77	
職 員 総 数		980	967	207.82	263	194.27	34.20	39	35.20	1,196.47	
(男 性)			297		51	37.02		21	18.90	352.92	
(女 性)			670		212	157.25		18	16.30	843.55	

# 診療実績(年度別統計)

○平均入院患者数 (年間目標数 = 477.9 人)

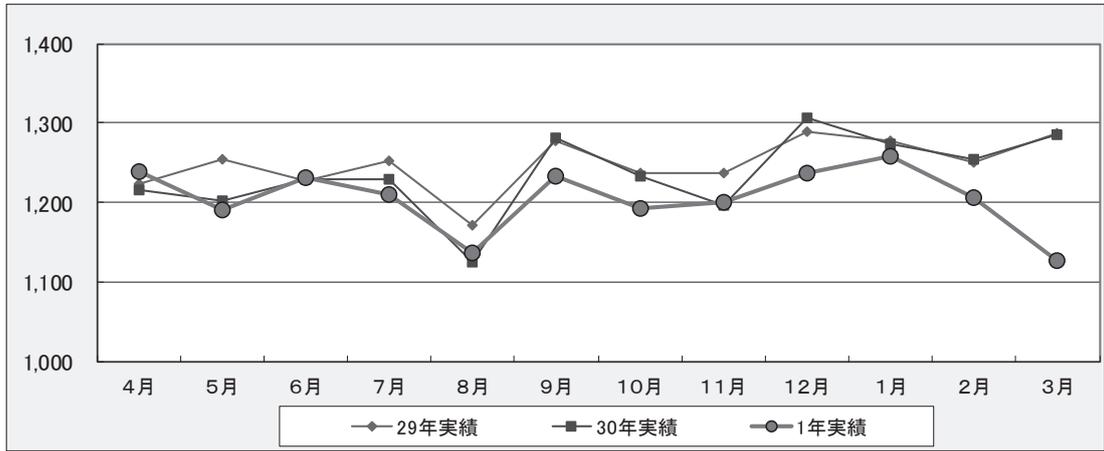
(単位: 人/日)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	利用率
29年実績	493.3	486.4	507.7	507.3	503.8	499.3	497.6	525.2	498.4	513.1	537.6	493.6	505.0	84.6%
30年実績	484.0	486.2	510.2	501.9	501.3	471.1	500.1	493.9	468.1	482.7	501.1	502.3	491.9	87.5%
1年実績	491.3	467.5	482.5	480.2	485.5	474.9	456.2	469.5	471.9	469.7	465.4	443.2	471.4	83.6%

○平均外来患者数 (年間目標患者数 = 1,203.3 人)

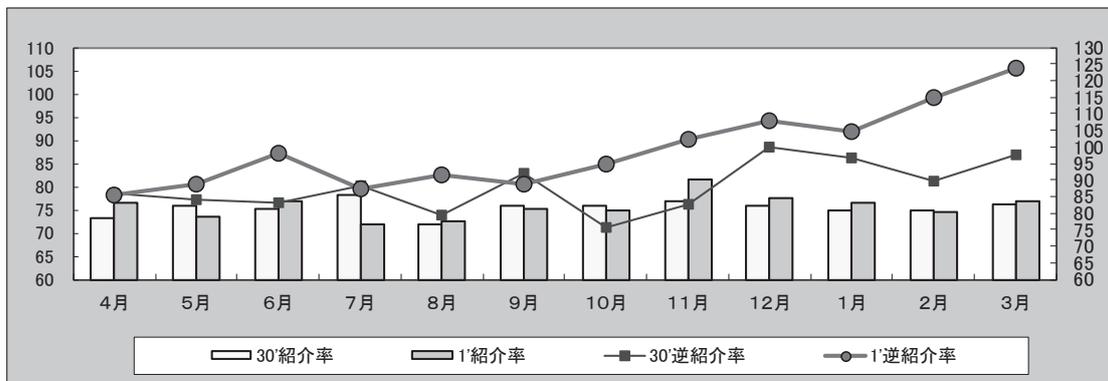
(単位: 人/日)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年実績	1,223.7	1,254.2	1,226.2	1,252.8	1,171.7	1,277.2	1,236.0	1,237.3	1,289.0	1,276.7	1,250.6	1,286.5	1,247.6
30年実績	1,216.3	1,202.8	1,228.0	1,228.1	1,125.2	1,282.1	1,231.9	1,197.0	1,306.1	1,274.2	1,253.2	1,284.1	1,233.1
1年実績	1,238.9	1,189.4	1,230.9	1,210.1	1,137.2	1,232.0	1,192.0	1,199.3	1,236.9	1,258.3	1,206.7	1,126.8	1,203.8

○紹介率、逆紹介率の推移

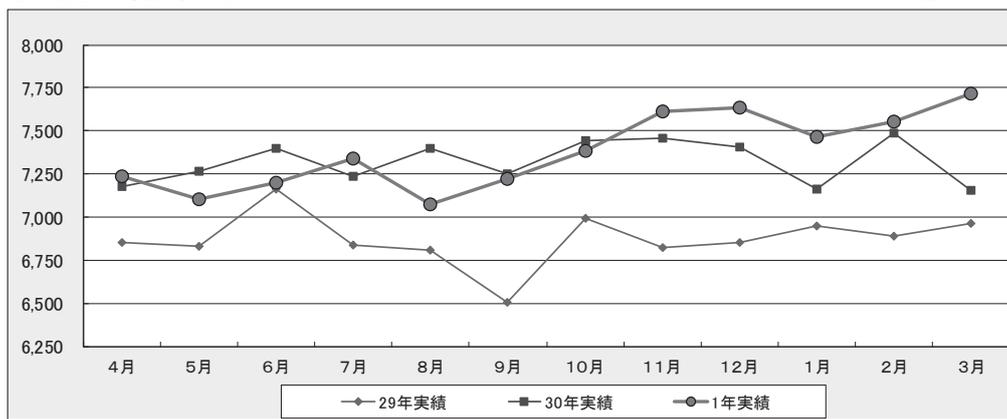
(単位: %)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30'紹介率	73.2	75.8	75.1	78.2	71.8	75.9	75.8	76.7	75.8	74.7	74.9	76.3	75.3
1'紹介率	76.5	73.4	76.7	71.7	72.4	75.1	74.7	81.5	77.6	76.6	74.5	76.9	75.5
30'逆紹介率	85.7	83.9	82.9	88.2	79.3	92.0	75.8	82.8	100.0	96.5	89.7	97.8	87.4
1'逆紹介率	85.3	88.8	98.2	87.4	91.4	88.9	95.0	102.3	108.0	104.8	115.0	123.7	98.2

○入院平均診療点数

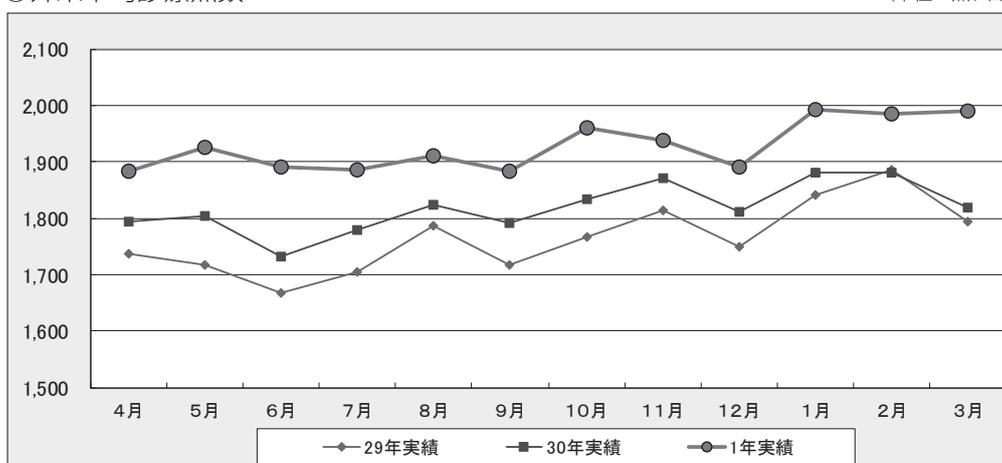
(単位：点/日)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年実績	6,851.8	6,826.3	7,161.9	6,834.3	6,805.9	6,508.1	6,993.7	6,820.0	6,848.5	6,949.9	6,888.6	6,961.9	6,871.5
30年実績	7,173.8	7,262.7	7,396.1	7,236.7	7,397.9	7,248.0	7,438.9	7,456.8	7,402.2	7,158.4	7,490.0	7,151.8	7,317.1
1年実績	7,233.4	7,101.7	7,198.4	7,337.4	7,070.1	7,221.8	7,386.4	7,611.7	7,636.7	7,466.8	7,552.5	7,712.2	7,373.6

○外来平均診療点数

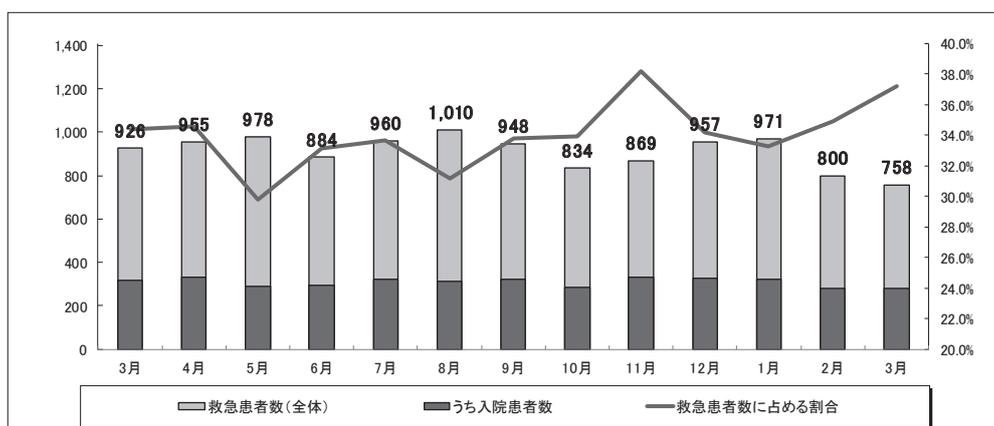
(単位：点/日)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年実績	1,737.0	1,717.6	1,666.4	1,704.3	1,786.2	1,717.3	1,766.2	1,813.9	1,748.5	1,841.3	1,884.8	1,793.1	1,763.5
30年実績	1,794.4	1,802.6	1,732.5	1,779.8	1,824.3	1,790.2	1,834.3	1,870.9	1,811.0	1,880.7	1,879.8	1,818.6	1,817.9
1年実績	1,883.3	1,926.3	1,891.4	1,884.9	1,909.9	1,882.8	1,959.8	1,937.8	1,891.6	1,991.3	1,985.8	1,988.9	1,926.9

○救急患者数推移

(単位：人、%)



	H30年度												3月	平均
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
救急患者数(全体)	926	955	978	884	960	1,010	948	834	869	957	971	800	758	911.5
うち入院患者数	318	330	291	293	323	315	320	283	332	327	323	279	282	308.9
救急患者数に占める割合	34.3%	34.6%	29.8%	33.1%	33.6%	31.2%	33.8%	33.9%	38.2%	34.2%	33.3%	34.9%	37.2%	33.9%
救急搬送患者数	362	363	324	330	336	341	333	339	359	356	299	301	286	333.0
新規入院患者数(参考)	1,214	1,217	1,104	1,204	1,223	1,199	1,143	1,166	1,178	1,130	1,191	1,090	1,175	1,171.8

## 經常収支率

### 損益計算書

(千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
医業収益	17,981,251	18,560,845	18,299,681
入院診療収益	12,216,823	12,677,263	12,260,110
室料差額収益	407,604	417,106	403,095
外来診療収益	5,241,295	5,345,063	5,510,149
保健予防活動収益	103,714	105,868	100,454
文書料収益	74,814	70,399	68,111
その他医業収益	19,384	18,316	20,908
保険等査定減(△)	▲82,383	▲73,171	▲63,147
診療業務費	18,237,290	18,221,188	18,647,528
給与費	9,153,391	9,093,855	9,184,479
材料費	5,636,680	5,733,610	5,875,908
委託費	834,617	836,456	874,188
設備関係費	1,743,678	1,702,904	1,805,736
研究研修費	3,521	4,030	4,034
経費	865,404	850,332	903,182
医業収支差	▲256,039	339,657	▲347,846
医業収支率	98.6%	101.9%	98.1%
人件費率	50.9%	49.0%	50.2%
材料費率	31.3%	30.9%	32.1%
委託費率	4.6%	4.5%	4.8%
経費率	4.8%	4.6%	4.9%
人件費+委託費率	55.5%	53.5%	55.0%
經常収益	18,895,304	19,528,181	19,275,752
經常費用	19,153,968	19,140,079	19,468,423
經常収支差	▲258,664	388,102	▲192,671
經常収支率	98.6%	102.0%	99.0%

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育研修収益	218,599	226,794	225,560
教育研修費用	295,778	288,485	263,086
収支差	▲77,179	▲61,690	▲37,526

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
臨床研究収益	446,316	416,519	400,468
臨床研究費用	488,949	450,518	411,880
収支差	▲42,633	▲33,999	▲11,412

# 総合内科／総合診療科



部長  
小山 弘

専門医資格等 日本内科学会総合内科専門医  
 専門分野 内科一般  
 得意疾患 内科一般

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
総合診療科 科長	小田垣 孝雄	日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医/指導医 日本内科学会総合内科専門医 Infection Control Doctor 日本化学療法学会抗菌化学療法指導医 日本救急医学会ICLSディレクター 日本内科学会JMECCディレクター 日本医師会認定産業医	総合診療	Common diseases
医師	後藤 雅史	日本内科学会総合内科専門医 公衆衛生学修士	内科一般	内科一般
医師	井口 美季子	日本内科学会総合内科専門医 日本リウマチ学会専門医・登録ソノグラファー 日本リウマチ財団登録医	膠原病・リウマチ一般	膠原病・リウマチ一般
専攻医	河合 龍馬		内科一般	内科一般
専攻医	大塚 岳樹		内科一般	内科一般

## □ 診療科の特徴

1. 器官系を横断的に考えます
2. 患者と病院のインターフェースとして、窓口機能を果します
3. 専門診療科との連携を重視します
4. 医学的なエビデンスに配慮します

## □ 主な対象疾患

急性感染症(気道、尿路、皮膚軟部組織、骨、その他)

不明熱、多発関節痛など診断の確定していない症候

膠原病リウマチ疾患(関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症など)

\* 膠原病リウマチ疾患については、膠原病リウマチ内科が総合内科と協力しながら診療をしています

## □ 診療(業務)内容

外来では重篤でない急性疾患の診断・管理や、不明熱や多発関節痛など診断の確定していない症候の診断・管理と必要に応じての専門診療部門・機関への紹介などを行っております。健診その他での高血圧や脂質異常症などについて相談に受診される方もおられ、生活指導や薬物療法が継続的に必要と考えられた場合、地域の医療機関を紹介していますので、よろしくお願い致します。

入院では、おもに救急外来から緊急入院した内科系非重篤患者のうち、呼吸器、尿路、皮膚、骨軟部組織などの急性感染症、原因不明の発熱（最終的には薬剤熱、血管炎症候群や膠原病リウマチ疾患、血液学的腫瘍、自然治癒するウイルス感染症や一過性の肺への吸引など）や意識障害、電解質異常、栄養不良を受け持ち、診断および管理、必要に応じて他科への紹介を行っています。他科入院中の患者の感染症や原因不明の発熱についての共診も主たる活動の一部になっています。

## □ 診療実績（令和元年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
18.6名	297名	20.4日

外来患者数

1日平均患者数
39.1名

主な疾患の特徴など

感染症	加齢関連疾患	膠原病リウマチ疾患	血液・腫瘍疾患	消化器疾患	栄養・水電解質異常
170件	65件	26件	30件	15件	19件

## □ 地域医療連携・広報活動

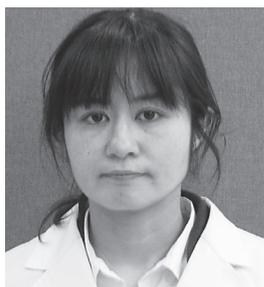
伏見医師会理事(小山)

伏見関節リウマチ病診連携の会(井口)

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文 (筆頭著者)	海透 周子	A case of small bowel obstruction due to infection with <i>Bolbosoma</i> sp.(Acanthocephala: Polymorphidae)	Parasitology International	68	1	14-16			2019.2

# 膠原病・リウマチ内科



診療科長  
井口 美季子

専門医資格等 日本内科学会総合内科専門医  
日本リウマチ学会専門医・登録ソノグラファー  
日本リウマチ財団登録医  
日本リウマチ学会指導医  
専門分野 膠原病・リウマチ一般  
得意疾患 膠原病・リウマチ一般

## □ 診療科の特徴

施設認定等 日本リウマチ学会認定教育施設

1. 膠原病・関節リウマチは慢性疾患であるため、患者さんご自身が治療に納得して上手に疾患と付き合っていく必要があります。様々な治療の選択肢をご提示し、ご納得いただける治療をご提供します。
2. 他の疾患領域と同様に膠原病・リウマチ性疾患の治療は飛躍的に進化しています。最新の知見に基づいた最善の治療を提供します。
3. 膠原病・関節リウマチは全身に合併症をきたす可能性がある疾患なので各科と連携しながら治療を行います。当院で対応困難な疾患の場合は速やかに大学病院にご紹介します。
4. 関節リウマチについては地域連携に努めています。

## □ 主な対象疾患

関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、悪性関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、強皮症、血管炎、多発性筋炎/皮膚筋炎、ベーチェット病、IgG4 関連疾患 など

## □ 診療内容

月・水・木・金曜(第1、3)に外来診療を行っております。  
関節エコーを用いてリアルタイムに現在の関節炎の活動性を評価します。  
挙児希望関節リウマチ・膠原病患者さんにも対応します。

## □ 地域医療連携・広報活動

第8回 膠原病を考える会 「73歳男性 発熱、溶血性貧血、血小板減少をきたした症例」

## □ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
2.7名	47名	19.2日

外来患者数

1日平均患者数
18.1名

# 血液内科



診療科長  
奥野 芳章

専門医資格等 日本内科学会内科専門医  
日本血液学会専門医・指導医  
京都大学医学博士  
専門分野 血液一般

## □ 診療科の特徴

1. 当科では貧血から、白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫など血液悪性疾患に至るまでいろいろな血液疾患の診断、治療をおこなっています。血液疾患は自覚症状に乏しく、血液検査をして初めて異常が明らかになることが多いため、まず、お近くのかかりつけの医師に診察して頂いて、血液疾患の疑いがあれば当科にご紹介して頂いています。
2. 血液疾患の治療法の進歩はめざましく、血液幹細胞移植の適応になることもありますが、残念ながら当院では移植治療は行っておりません。そのような治療が必要な場合、移植施設をご紹介します。

## □ 主な対象疾患

貧血・出血傾向・リンパ腫・白血病・骨髄腫 など

## □ 診療(業務)内容

再生不良性貧血に対する免疫抑制療法や血液悪性疾患に対する通常量化学療法、貧血などに対する輸血などの対症療法を行っています。治療法を選択するにあたっては、広く認められている標準療法であること、患者さんが十分ご理解、ご納得頂けることを重視しています。

血液疾患は診断、あるいは治療の選択に困難を伴う場合が多いかと思いますが、患者さんと常にご相談しながらよりよい治療法を探していきます。

- ・貧血
- ・出血傾向
- ・リンパ腫
- ・白血病
- ・骨髄腫など

## □ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
7.3名	179名	14.5日

外来患者数

1日平均総患者数
13.3名

# 内分泌・代謝内科



診療部長・診療科長  
田上 哲也

専門医資格等 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医、近畿支部評議員  
日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医・教育責任者、  
評議員  
日本甲状腺学会 専門医、評議員、理事  
厚生労働省 臨床研修指導医  
京都大学医学部 臨床教授・講師  
京都大学 医学博士

専門分野 内科、内分泌・代謝  
得意疾患 内分泌・代謝疾患、甲状腺疾患

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	立木 美香	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医 日本高血圧学会 専門医 臨床研修指導医 東京女子医科大学 医学博士 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	内科 内分泌・代謝	高血圧・副腎疾患
医師	難波 多挙	日本内科学会 認定内科医 日本内分泌学会 内分泌代謝(内科)専門医 米国心臓協会 AHAフェロー 臨床研修指導医 ミシガン大学医学部 リサーチ・アシスタント・プロフェッサー	内科 内分泌・代謝	内分泌疾患、副腎疾患
医師	石原 裕己	日本内科学会 認定医	内科 内分泌・代謝	内分泌疾患
専修医	兼子 大輝	日本内科学会 認定医	内科 内分泌・代謝	内分泌疾患
レジデント	廣嶋 佳歩	日本内科学会 認定医	内科 内分泌・代謝	内分泌疾患

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本内分泌学会研修施設 日本甲状腺学会認定施設 日本高血圧学会認定施設
-------	---

- 内分泌代謝疾患とは「ホルモンの乱れに起因する病気」を総称するものです。下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性ホルモンの異常をきたす疾患の他、内分泌疾患を疑う必要のある、高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症などの生活習慣病、電解質異常、骨粗鬆症なども対象としており、糖尿病センターと連携して治療にあたっています。

- 地域における内分泌代謝疾患の専門診療を担っており、1999年には内分泌代謝性疾患に関する高度専門医療施設(準ナショナルセンター)として国の指定を受けています。全国の内分泌・代謝疾患の「専門医療施設」と内分泌・代謝疾患ネットワークを構築しています。また、日本内分泌学会認定教育施設および日本甲状腺学会認定専門医施設に認定されています。
- 診療のモットー
  1. 内分泌代謝疾患に関する、良質で高水準の医療を提供しています。
  2. 満足のいく十分な説明を行い、安心できる医療を提供しています。
  3. 十分な診療情報提供と逆紹介により、病診連携を促進しています。

## □ 主な対象疾患

### ● 下垂体疾患

下垂体インシデンタローマ:脳ドックなど、CTやMRIで偶然見つかった下垂体腫瘍の機能評価をします。

下垂体機能亢進症:先端巨大症(アクロメガリー)、クッシング病(下垂体性クッシング症候群)、プロラクチン産生下垂体腫瘍(プロラクチノーマ)、TSH産生下垂体腫瘍(中枢性甲状腺機能亢進症)などです。糖尿病や肥満、不順月経の原因になります。

下垂体機能低下症:シーハン症候群(出産後下垂体機能低下症)などの汎下垂体機能低下症、ACTH単独欠損症(下垂体性副腎不全)、成長ホルモン分泌不全症、リンパ球性下垂体炎、中枢性尿崩症などがあります。無月経や低身長、低血圧・低血糖、口渇・多飲・多尿などが主徴候となります。小児科からのトランジション(引き継ぎ治療)も大切です。

### ● 甲状腺疾患

甲状腺腫:学校検診や人間ドックなどで指摘された甲状腺腫の評価をします。

甲状腺インシデンタローマ:頸動脈エコーなどで偶然見つかった甲状腺腫瘍の良性・悪性の判定をします。甲状腺機能亢進症:バセドウ病のほか、プランマー病(機能性結節)、妊娠性甲状腺機能亢進症があります。眼球突出や心房細動がきっかけで見つかることもあります。振戦や筋力低下の原因にもなります。コントロール不良のバセドウ病にはアイソトープ治療(<sup>131</sup>I内用療法)も考えてみてください。

破壊性甲状腺中毒症:発熱・前頸部痛を主訴とする亜急性甲状腺炎や、橋本病をベースとした無痛性甲状腺炎、インターフェロンやアミオダロンなどによる薬剤性甲状腺中毒症があります。

甲状腺機能低下症:原因として橋本病(慢性甲状腺炎)が最も多いですが、先天性甲状腺機能低下症や薬剤性甲状腺機能低下症(向精神薬など)も少なくありません。便秘や体重増加、皮膚の乾燥、顔のむくみ、脱毛などを訴えます。

### ● 副甲状腺疾患

高カルシウム血症:副甲状腺腫による原発性副甲状腺機能亢進症や悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症、ビタミンD中毒があります。尿路結石を繰り返します。

低カルシウム血症:成人では特発性副甲状腺機能低下症があります。小児では、先天性副甲状腺機能低下症や偽性副甲状腺機能低下症があります。

骨粗鬆症:高齢化に伴い、閉経後の原発性骨粗鬆症が増加しています。ステロイドホルモンによる続発性骨粗鬆症にも注意が必要です。

### ● 副腎疾患

副腎インシデンタローマ:CTやMRIで偶然見つかった副腎腫瘍の機能評価をします。

副腎皮質機能亢進症:原発性アルドステロン症やクッシング症候群などがあります。多くは副腎腫瘍が原因です。高血圧や糖尿病、メタボリック症候群の原因になります。

副腎髄質機能亢進症:褐色細胞腫や傍神経節腫が原因です。術後数年後に転移が見つかるケースも少なくありません。発作性の高血圧が特徴です。

副腎皮質機能低下症:アチソン病や先天性副腎過形成などが原因となります。急性副腎不全(副腎クリーゼ)を発症することがあります。

### ● 性腺疾患

ターナー症候群、クラインフェルター症候群、多嚢胞性卵巣症候群などです。

●内分泌性高血圧

高血圧の約15%はホルモンの異常による内分泌性高血圧で、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、腎臓などのホルモン過剰が原因となります。適確な診断と治療で治癒可能なことが多いので、専門医の受診を勧めます。高血圧の～10%に原発性アルドステロン症が見つかります。

●メタボリックシンドローム

高血圧、肥満、糖尿病などの生活習慣病の中にも内分泌の病気が隠れています。

●サルコペニア

加齢によって筋肉量が減り、握力や歩く速度が低下するなど、身体機能に影響がでる状態。日常生活に支障がでるのみならず、転倒・骨折、生活習慣病、認知症などのさまざまな病気のリスクとなります。

●その他

腎性尿崩症、多発性内分泌腺腫症(MEN I 型, MEN II 型)

電解質異常(低カリウム血症、低ナトリウム血症など)、高脂血症、高尿酸血症など、その他の内分泌代謝疾患

□ 診療(業務)内容

●外来では、血液検査、画像検査(レントゲン、CT、MRI、アイソトープ検査や甲状腺エコー)、甲状腺の細胞診などを行っています。遺伝子診断・遺伝相談、セカンドオピニオン外来を実施しています。本年度より新たに骨粗鬆症・サルコペニア専門外来を開設しました。

●入院では、上記疾患の診断と治療の他、バセドウ病のアイソトープ治療、甲状腺眼症のステロイドパルス療法、原発性アルドステロン症の副腎静脈サンプリング検査などを実施しています。

□ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

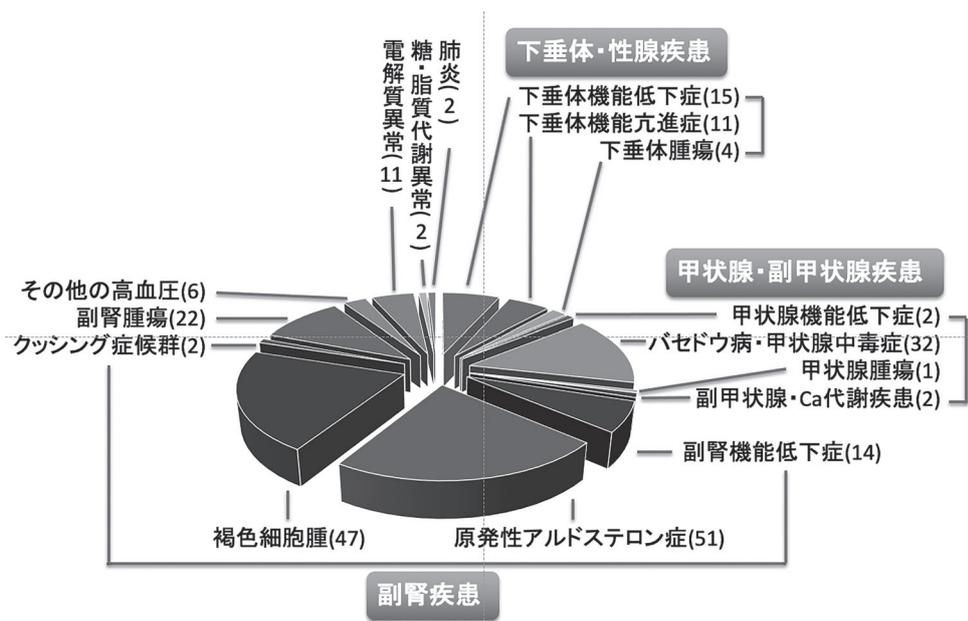
1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
3.7名	210名	6.2日

外来患者数

1日平均総患者数	年間初診患者数
56.6名	1,440名

主な検査の件数など

甲状腺エコー	甲状腺細胞診	副腎静脈サンプリング
1,465名	136件	27件



### 〈福島県県外甲状腺検査〉

平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって、東京電力福島第一原子力発電所では、放射性物質の放出を伴う事故(以下、福島第一原発事故という)が発生した。この事故は、国際原子力・放射線事象評価尺度(International Nuclear and Radiological Event Scale: INES)において、1986年4月26日に旧ソビエト連邦(現ウクライナ)で発生したチェルノブイリ原子力発電所事故(以下「チェルノブイリ原発事故」という)と同等の「7」(暫定)とされている。チェルノブイリ原発事故においては、事故直後に食品等の規制がなされなかったことなどに起因し、周辺住民の放射性ヨウ素による内部被ばくが拡大し、小児の甲状腺がんが激増する事態となった。このことから、福島第一原発事故においても小児の甲状腺がん発症への懸念が高まっている。このため、福島県では県民の健康見守り事業である「県民健康管理調査」を実施し、その中で、福島第一原発事故発生時に18歳以下の小児であった者に対する甲状腺検査を行っている。

「県民健康管理調査」事業は、福島第一原発事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげることで、将来にわたる県民の健康維持・増進を図ることを目的としている。財源には、国及び福島県からの出資金並びに東京電力株式会社から福島県への賠償金等から構成される「福島県民健康管理基金」が充てられている。検査・診断等は、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターが主体となって行っている。県民健康管理調査は、外部被ばく線量の推計を目的とした「基本調査」と、健康状態の把握を目的とした「詳細調査」から構成されている。

### 甲状腺検査

事故当時18歳以下の小児(平成4年4月2日以降に生まれた者)を対象とし、以下の2つの検査から構成されている。

- 先行検査 平成23年10月から平成26年3月末までに行われる、1回目の甲状腺検査
- 本格検査 平成26年4月以降、20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに継続して行われる甲状腺検査

チェルノブイリ原発事故のデータから、小児甲状腺がんが増加するのは事故後4～5年を経過して以降とされている。このことを踏まえつつ、事故直後に開始された先行検査は、福島第一原発事故後3年以内の小児の甲状腺の状態を把握することで、放射線被ばくによる影響が考えにくい時点での疾患の頻度を記録し、将来の健康管理の土台をつくることを目的としている。一方、事故後3年を経て開始される予定の本格検査は、放射線被ばくの影響についての追跡調査と健康管理を目的としている。平成25年現在行われているのは先行検査である。

先行検査はさらに、対象者全員に対して行われる一次検査と、一次検査で疑わしい所見のあった者に対してのみ行われる、診断確定のための二次検査で構成される。

一次検査は甲状腺エコー検査(超音波検査)である。二次検査は甲状腺エコー検査に加え、採血・尿検査が行われるほか、必要な場合は細胞診(甲状腺の細胞を採取して行う検査)が行われる。

京都医療センター内分泌・代謝内科では、京都府下への避難者(京都府内居住者)を対象に一次検査と二次検査を実施している。

	福島甲状腺エコー
2012年度	9件
2013年度	26件
2014年度	9件
2015年度	21件
2016年度	11件
2017年度	11件
2018年度	10件
2019年度	21件

□ 活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	田上 哲也	GATAファミリーによる脱共役タンパク質を介したエネルギー代謝調節の基礎的検討	日本薬学会第139年会	千葉	2019.3.23	2019.3.20-23
国内学会	田上 哲也	IGF-1の抗肥満作用を標的としたシグナル伝達経路に関する基礎的検討	日本薬学会第139年会	千葉	2019.3.23	2019.3.20-23
国内学会	石原 裕己, 須川 琢, 兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 天野 綾, 横本 真希, 馬越 洋宜, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 成瀬 光栄, 田上 哲也, 島津 章	血中レニン値とアルドステロン値の反応に解離を認められた若年性高血圧症の一例	第92回日本内分泌学会学術総会	仙台	2019.5.9	2019.5.9-11
国内学会	天野 綾, 須川 琢, 兼子 大輝, 石原 裕己, 廣嶋 佳歩, 馬越 洋宜, 立木 美香, 田上 哲也, 日下部 徹, 浅原 哲子, 島津 章, 小笠原 辰樹	排尿時の血中ノルアドレナリン上昇が診断の一助となった膀胱褐色細胞腫の一例	第92回日本内分泌学会学術総会	仙台	2019.5.10	2019.5.9-11
国内学会	兼子 大輝, 馬越 洋宜, 須川 琢, 石原 裕己, 廣嶋 佳歩, 天野 綾, 横本 真希, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 島津 章, 田上 哲也, 成瀬 光栄	原発性アルドステロン症病型診断における座位生理食塩水負荷試験の有用性	第92回日本内分泌学会学術総会	仙台	2019.5.10	2019.5.9-11
国内学会	立木 美香, 田上 哲也, 成瀬 光栄	副腎皮質癌の診断・治療における内分泌機能検査	第92回日本内分泌学会学術総会	仙台	2019.5.11	2019.5.9-11
国内学会	立木 美香, 横本 真希, 馬越 洋宜, 須川 琢, 兼子 大輝, 石原 裕己, 廣嶋 佳歩, 天野 綾, 島津 章, 成瀬 光栄, 田上 哲也	悪性褐色細胞腫・パラガンogliomaの臨床的特徴 自験100例での検討	第92回日本内分泌学会学術総会	仙台	2019.5.11	2019.5.9-11
国内学会	田上 哲也	IGF-1のエネルギー代謝に関する基礎的検討	第92回日本内分泌学会学術総会	仙台	2019.5.11	2019.5.9-11
国際学会	兼子 大輝, 馬越 洋宜, 石原 裕己, 須川 琢, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	Seated Saline Infusion Test in Predicting Subtype Diagnosis of Primary Aldosteronism	International Symposium for Aldosterone and Related Substances in Hypertension 2019	仙台	2019.5.11	2019.5.11-2019.5.12
国内学会	小林 真以子, 須川 琢, 兼子 大輝, 石原 裕己, 難波 多挙, 立木 美香, 田上 哲也	42歳でTurner症候群と診断した橋本病の一例	第34回日本女性医学学会学術集会	福岡	2019.11.3	2019.11.2-3
国内学会	兼子 大輝, 須川 琢, 石原 裕己, 廣嶋 佳歩, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	肺癌精査中に増大が判明し診断に苦慮した出血性副腎偽嚢胞の1例	第29回臨床内分泌代謝Update	高知	2019.11.29	2019.11.29-30
国内学会	田上 哲也	バセドウ病TRAbの大半はニュートラル型である!?	第62回日本甲状腺学会学術集会	前橋	2019.10.11	2019.10.10-12
国内学会	石原 裕己, 辻 拓也, 須川 琢, 兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	浮腫に伴う上気道閉塞に対して緊急気管切開となった橋本病の一例	第62回日本甲状腺学会学術集会	前橋	2019.10.11	2019.10.10-12
国内学会	須川 琢, 兼子 大輝, 立木 美香, 廣嶋 佳歩, 石原 裕己, 難波 多挙, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	23年後に再発した亜急性甲状腺炎の一例	第62回日本甲状腺学会学術集会	前橋	2019.10.11	2019.10.10-12
国内学会	立木 美香	副腎偶発腫と原発性アルドステロン症のクルニカルパス	第29回臨床内分泌代謝Update	高知	2019.11.29	2019.11.29-2019.11.30
国内学会	立木 美香, 田上 哲也, 奥野 博, 森吉 弘毅, 成瀬 光栄	高血圧精査により発見された両側副腎腫瘍の1例	第23回日本臨床内分泌病理学会学術集会	東京	2019.10.5	2019.10.4~2019.10.5
国内学会	田上 哲也	タバコ煙抽出物はコレステロール代謝に影響を及ぼすか.	日本薬学会 第140年会	京都	誌上発表	2020.3.25-28.

国内学会	田上 哲也	Apigenin がコレステロール代謝に及ぼす影響の基礎的検討.	日本薬学会近畿支部総会・大会第69回(令和1年度)	兵庫	2019. 10. 12	2019. 10. 12
国内学会	田上 哲也	タバコ煙抽出物が内分泌・代謝に及ぼす影響の基礎的検討.	日本薬学会近畿支部総会・大会第69回(令和1年度)	兵庫	2019. 10. 12	2019. 10. 12
国際学会	Kazutaka Namba	New Genetic Diagnostics in Primary Aldosteronism	American Heart Association, Scientific Sessions 2019	Philadelphia, USA	2019.11.17	11.16.2019-11.18.2019
国内学会	野村 英生, 日下部 徹, 小鳥 真司, 浅原 哲子	四肢優位の特異な脂肪沈着を契機に紹介され、脂肪性浮腫と診断した肥満症の一例	第92回日本内分泌学会学術総会	仙台	2019.5.9	2019.5.9 ~ 2019.5.11
国内学会	清水 美佳, 日下部 徹, 横田 繁史, 井上 隆之, 田中 将志, 北野 隆司, 野村 英生, 村中 和哉, 山陰 一, 島津 章, 浅原 哲子	肥満糖尿病モデルマウスに対する低炭水化物食とSGLT2阻害薬の糖・脂質代謝に及ぼす影響の検討	第92回日本内分泌学会学術総会	仙台	2019.5.10	2019.5.9 ~ 2019.5.11
国内学会	小西 陽介, 飛騨 美希, 和田 美智子, 北 誠, 橋本 有紀子, 高垣 愉佳, 江本 郁子, 安彦 郁, 日下部 徹, 浅原 哲子, 高倉 賢二	認定遺伝カウンセラーが中心となった遺伝診療部の運営	第43回遺伝カウンセリング学会学術集会	札幌	2019.8.3	2019.8.2 ~ 2019.8.4
国内学会	日下部 徹, 浅原 哲子	国立病院機構ネットワーク共同研究による2型糖尿病とサルコペニア	第74回日本体力医学会大会	茨城	2019.9.19	2019.9.19 ~ 2019.9.21
国内学会	日下部 徹, 井上 隆之, 田中 将志, 山陰 一, 浅原 哲子	肥満症や2型糖尿病治療における低炭水化物食とSGLT2阻害薬の有用性の相違	第21回応用薬理シンポジウム	静岡	2019.9.20	2019.9.20 ~ 2019.9.21
国内学会	井上 隆之, 田中 将志, 山陰 一, 村中 和哉, 池上 健太郎, 日下部 徹, 浅原 哲子	認知症発症予知因子・TREM2の脂肪組織における病態生理学的意義の解明	第21回応用薬理シンポジウム	静岡	2019.9.20	2019.9.20 ~ 2019.9.21
国内学会	池上 健太郎, 日下部 徹, 村中 和哉, 赤松 裕訓, 山陰 一, 井上 隆之, 浅原 哲子	肥満患者における骨格筋量低下が心血管リスクに及ぼす影響	第21回応用薬理シンポジウム	静岡	2019.9.20	2019.9.20 ~ 2019.9.21
国内学会	日下部 徹, 横本 真希, 石原 裕己, 兼子 大輝, 須川 琢, 難波多 拳, 立木 美香, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	骨粗鬆症・サルコペニア外来における筋・骨連関の検討	第21回日本骨粗鬆症学会	神戸	2019.10.11	2019.10.11 ~ 2019.11.13
国内学会	日下部 徹, 横田 繁史, 清水 美佳, 井上 隆之, 田中 将志, 北野 隆司, 山陰 一, 浅原 哲子	肥満糖尿病モデル動物において低炭水化物食とSGLT2阻害薬が体組成および糖脂質代謝に及ぼす影響	第40回日本肥満学会&第37回日本肥満症治療学会学術集会	東京	2019.11.2	2019.11.2 ~ 2019.11.3
国内学会	日下部 徹, 浅原 哲子	女性の肥満と痩せにおけるサルコペニアの実態	第40回日本肥満学会&第37回日本肥満症治療学会学術集会	東京	2019.11.2	2019.11.2 ~ 2019.11.3
国内学会	山陰 一, 田中 将志, 井上 隆之, 村中 和哉, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 日下部 徹, 浅原 哲子	生活習慣病における新規認知症予知バイオマーカー候補・sTREM2の臨床的意義の検討	第40回日本肥満学会&第37回日本肥満症治療学会学術集会	東京	2019.11.2	2019.11.2 ~ 2019.11.3
国内学会	池上 健太郎, 日下部 徹, 村中 和哉, 赤松 裕訓, 山陰 一, 井上 隆之, 石井 好二郎, 浅原 哲子	肥満・メタボ外来通院患者におけるサルコペニアの実態調査	第40回日本肥満学会&第37回日本肥満症治療学会学術集会	東京	2019.11.2	2019.11.2 ~ 2019.11.3
国内学会	日下部 徹, 赤松 裕訓, 石原 裕己, 田上 哲也, 八十田 明宏, 浅原 哲子	大学生の体組成・筋力・食習慣・身体活動に関する実態調査—若年者におけるサルコペニアの検討—	第6回日本サルコペニア・フレイル学会	新潟	2019.11.9	2019.11.9 ~ 2019.11.10

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	田上 哲也, 廣嶋 佳歩, 馬越 洋宜, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 島津 章	Experimental Reproduction of Dynamic Fluctuation of TSH Receptor-Binding Antibodies Between Stimulation and Inhibition.	J Endocr Soc.	3	12	2361- 2373			2019.12.1
英文論文	兼子 大輝, 馬越 洋宜, 石原 裕己, 須川 琢, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	Seated saline infusion test in predicting subtype diagnosis of primary aldosteronism.	Clin Endocrinol (Oxf).	91	6	737- 742			2019.11.6
英文論文	田上 哲也	Cigarette Smoke Extract Modulates Functions of Peroxisome Proliferator- Activated Receptors.	Biol Pharm Bull.	42	10	1628- 1636			2019
英文論文	田上 哲也	A nationwide survey regarding the life situations of patients with thalidomide embryopathy in Japan, 2018: First report.	Birth Defects Res.	111	20	1633- 1642			2019.6.24
英文論文	田上 哲也	Insulin-like growth factor-1 directly mediates expression of mitochondrial uncoupling protein 3 via forkhead box O4.	Growth Horm IGF Res.	46-47		24-35			2019.5.29
英文論文	石原 裕己, 須川 琢, 兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 天野 綾, 馬越 洋宜, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 島津 章, 田上 哲也	The Delayed Diagnosis of Thyroid Storm in Patients with Psychosis.	Intern Med.	58	15	2195- 2199			2019.4.17
英文論文	立木 美香, 成瀬 光荣	Effect of cosyntropin during adrenal venous sampling on subtype of primary aldosteronism: analysis of surgical outcome.	Eur J Endocrinol.	182	3	265- 273			2020.3
英文論文	奥野 博, 立木 美香, 成瀬 光荣	Miction-induced Hypertension Disclosed by Home Blood Pressure Measurement in a Patient with Small Paraganglioma.	Intern Med.		Epub ahead of print				2019.12

英文論文	立木 美香, 成瀬 光栄	Predictors of Clinical Success After Surgery for Primary Aldosteronism in the Japanese Nationwide Cohort.	J Endocr Soc.	3	11	2012-2022			2019.8
英文論文	立木 美香, 成瀬 光栄	Correlation between urinary fractionated metanephrines in 24-hour and spot urine samples for evaluating the therapeutic effect of metyrosine: a subanalysis of a multicenter, open-label phase I/II study.	Endocr J	66	12	1063-1072			2019.12
英文論文	立木 美香, 成瀬 光栄	Historical changes and between-facility differences in adrenal venous sampling for primary aldosteronism in Japan.	J Hum Hypertens.	34	1	34-42			2020.1
英文論文	立木 美香, 成瀬 光栄	Association Between Acute Fall in Estimated Glomerular Filtration Rate After Treatment for Primary Aldosteronism and Long-Term Decline in Renal Function.	Hypertension.	74	3	630-638			2019.9
英文論文	立木 美香, 成瀬 光栄	Lateralizing Asymmetry of Adrenal Imaging and Adrenal Vein Sampling in Patients With Primary Aldosteronism.	J Endocr Soc.	3	7	1393-1402			2019.5
英文論文	立木 美香, 成瀬 光栄	Sex Difference in the Association Between Subtype Distribution and Age at Diagnosis in Patients With Primary Aldosteronism.	Hypertension.	74	2	368-374			2019.8
英文論文	立木 美香, 成瀬 光栄	Clinical and biochemical outcomes after adrenalectomy and medical treatment in patients with unilateral primary aldosteronism.	J Hypertens	37	7	1513-1520			2019.7
英文論文	立木 美香, 成瀬 光栄	Latent Autonomous Cortisol Secretion From Apparently Nonfunctioning Adrenal Tumor in Nonlateralized Hyperaldosteronism.	J Clin Endocrinol Metab.	104	10	4382-4389			2019.10

英文論文	立木 美香, 成瀬 光栄	Influence of antihypertensive drugs in the subtype diagnosis of primary aldosteronism by adrenal venous sampling.	J Hypertens	37	7	1493-1499			2019.7
英文論文	立木 美香, 成瀬 光栄	High Prevalence of Diabetes in Patients With Primary Aldosteronism (PA) Associated With Subclinical Hypercortisolism and Prediabetes More Prevalent in Bilateral Than Unilateral PA: A Large, Multicenter Cohort Study in Japan.	Diabetes Care	42	5	938-945			2019.5
英文論文	難波 多挙	Somatic CACNA1H mutation as a cause of aldosterone-producing adenoma.	Hypertension.	75	3	645-649			2020.3
英文論文	難波 多挙	Genetic, Cellular, and Molecular Heterogeneity in Adrenals With Aldosterone-Producing Adenoma.	Hypertension.						2020.3 (E-pub)
英文論文	田上 哲也	IGF-1 regulate the expression of uncoupling protein 2 via FOXO1.	Growth Factors.				2020 Mar 10:1-10. doi: 10.1080/08977194.2020.1739032. [Epub ahead of print]		2020.3 (E-pub)
英文論文	日下部 徹	Imaging spectrum of abnormal subcutaneous and visceral fat distribution.	Insights Imaging	11	1	24			2020.2
英文論文	日下部 徹	Seipin-linked congenital generalized lipodystrophy type 2: a rare case with multiple lytic and pseudo-osteopoikilosis lesions.	Acta Radiol Open	8	12	2058460119892407			2019.12
英文論文	日下部 徹	Background characteristics and postoperative outcomes of insufficient weight loss after laparoscopic sleeve gastrectomy in Japanese patients.	Ann Gastroenterol Surg	3	6	638-647			2019.8

英文論文	日下部 徹	Clinical characteristics in two patients with partial lipodystrophy and Type A insulin resistance syndrome due to a novel heterozygous missense mutation in the insulin receptor gene.	Diabetes Res Clin Pract	152	-	79-87			2019.6
英文論文	山陰 一, 田中 将志, 井上 隆之, 小鳥 真司, 日下部 徹, 浅原(佐藤) 哲子	Effects of dapagliflozin on the serum levels of fibroblast growth factor 21 and myokines and muscle mass in Japanese patients with type 2 diabetes: a randomized, controlled trial.	J Diabetes Investig	in press	in press	in press			2019.11
英文論文	浅原(佐藤) 哲子, 日下部 徹	Rationale, Design, and Methods of the Study of Comparison of Canagliflozin vs. Tenzeligliptin Against Basic Metabolic Risks in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus (CANTABILE study): Protocol for a Randomized, Parallel-Group Comparison Trial.	Diabetes Ther	11	1	347-358			2019.11
英文論文	日下部 徹	A combination of dietary fat intake and nicotine exposure enhances CB1 endocannabinoid receptor expression in hypothalamic nuclei in male mice.	Neurosci Lett	714	-	134550			2020.1
英文論文	井上 隆之, 山陰 一, 田中 将志, 日下部 徹, 島津 章, 浅原(佐藤) 哲子	Oxytocin Suppresses Inflammatory Responses Induced by Lipopolysaccharide through Inhibition of the eIF-2-ATF4 Pathway in Mouse Microglia.	Cells	8	6	pii: E527			2019.5
英文論文	日下部 徹	Clinical characteristics in two patients with partial lipodystrophy and Type A insulin resistance syndrome due to a novel heterozygous missense mutation in the insulin receptor gene.	Diabetes Res Clin Pract	152	-	79-87			2019.6
英文論文	井上 隆之, 田中 将志, 山陰 一, 日下部 徹, 島津 章, 浅原(佐藤) 哲子	Pleiotropic neuroprotective effects of taxifolin in cerebral amyloid angiopathy.	Proc Natl Acad Sci U S A	116	20	10031-10038			2019.5

英文論文	田中 将志, 山陰 一, 井上 隆之, 小鳥 真司, 日下部 徹, 島津 章, 浅原(佐藤) 哲子	Beneficial Effects of Ipragliflozin on the Renal Function and Serum Uric Acid Levels in Japanese Patients with Type 2 Diabetes: A Randomized, 12-week, Open-label, Active-controlled Trial.	Intern Med	59	5	601-309			2020.3
和文総説・著書	田上 哲也	内分泌疾患の診かた, 考えかた.	内分泌疾患の診かた, 考えかた.			1-229		中外医学社	2019.5.15
和文総説・著書	田上 哲也	日本甲状腺学会(編)パセドウ病治療ガイドライン2019	日本甲状腺学会(編)パセドウ病治療ガイドライン2019			1-174		南江堂	2019.5.15
和文原著論文	小林 真以子, 須川 琢, 兼子 大輝, 石原 裕己, 難波 多挙, 立木 美香, 田上 哲也	42歳でTurner症候群と診断した橋本病の一例	日本女性医学学会雑誌	27	1	253			2019.10
和文原著論文	兼子 大輝, 須川 琢, 石原 裕己, 廣嶋 佳歩, 難波 多挙, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 八十田 明宏, 田上 哲也	肺癌精査中に増大が判明し診断に苦慮した出血性副腎偽嚢胞の1例	日本内分泌学会雑誌	95	2	742			2019.10
和文総説・著書	立木 美香, 田上 哲也, 成瀬 光栄	【医薬品副作用学(第3版)下-薬剤の安全使用アップデート-】臓器・系統別副作用各論 重大な副作用を中心に 代謝・内分泌 医原性クッシング症候群	日本臨床 医薬品副作用学(下)	77	増刊4	475-477		日本臨床社	2019.7
和文原著論文	田上 哲也	GATAファミリーによる脱共役タンパク質を介したエネルギー代謝調節の基礎的検討	日本薬学会年会要旨集	139	3	168			2019.3
和文原著論文	田上 哲也	IGF-1の抗肥満作用を標的としたシグナル伝達経路に関する基礎的検討	日本薬学会年会要旨集	139	3	167			2019.3
和文原著論文	立木 美香, 横本 真希, 馬越 洋宜, 須川 琢, 兼子 大輝, 石原 裕己, 廣嶋 佳歩, 天野 綾, 島津 章, 成瀬 光栄, 田上 哲也	悪性褐色細胞腫・パラガングリオーマの臨床的特徴 自験100例での検討	日本内分泌学会雑誌	95	1	497			2019.4
和文原著論文	田上 哲也	IGF-1のエネルギー代謝に関する基礎的検討	日本内分泌学会雑誌	95	1	490			2019.4

和文原著論文	天野 綾, 須川 琢, 兼子 大輝, 石原 裕己, 廣嶋 佳歩, 馬越 洋宜, 立木 美香, 田上 哲也, 日下部 徹, 浅原 哲子, 島津 章, 小笠原 辰樹	排尿時の血中ノルアドレナリン上昇が診断の一助となった膀胱褐色細胞腫の一例	日本内分泌学会雑誌	95	1	457			2019.4
和文原著論文	石原 裕己, 須川 琢, 兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 天野 綾, 横本 真希, 馬越 洋宜, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 成瀬 光栄, 田上 哲也, 島津 章	血中レニン値とアルドステロン値の反応に解離を認めた若年性高血圧症の一例	日本内分泌学会雑誌	95	1	441			2019.4
和文原著論文	兼子 大輝, 馬越 洋宜, 須川 琢, 石原 裕己, 廣嶋 佳歩, 天野 綾, 横本 真希, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 島津 章, 田上 哲也, 成瀬 光栄	原発性アルドステロン症病型診断における座位生理食塩水負荷試験の有用性	日本内分泌学会雑誌	95	1	396			2019.4
和文原著論文	立木 美香, 田上 哲也, 成瀬 光栄	副腎皮質癌の診断・治療における内分泌機能検査	日本内分泌学会雑誌	95	1	271			2019.4
和文総説・著書	難波 多挙, 田上 哲也, 浅原 哲子	【循環器疾患とアルドステロン】原発性アルドステロン症と糖代謝異常	循環器内科	86	2	204-208		科学評論社	2019.8
和文総説・著書	成瀬 光栄, 立木 美香, 田上 哲也	【腎臓・高血圧診療・研究のアップデート】原発性アルドステロン症の診断と治療 up-to-date	循環器内科	85	1	81-84		科学評論社	2019.1
和文総説・著書	成瀬 光栄, 立木 美香	ガイドライン ココだけおさえる 褐色細胞腫・パラグングリオーマ診療ガイドライン2018	日本医事新報	4995		30-34			2020.1
和文総説・著書	成瀬 光栄, 立木 美香	【内分泌疾患-common disease】に潜む内分泌疾患【実地医家が知っておくべき内分泌疾患 原発性アルドステロン症 診療方針選択と患者へのIC	Medical Practice	37	1	57-61			2020.1
和文総説・著書	馬越 洋宜, 立木 美香, 成瀬 光栄	内分泌がん 副腎がん	What's New in Oncology がん治療エッセンシャルガイド	4		328-334	佐藤 隆美, 藤原 康弘, 古瀬 純司, 大山 優	南山堂	2019.5

和文総説・著書	立木 美香, 難波 綾, 成瀬 光栄	原発性副甲状腺機能亢進症と高血圧	副甲状腺・骨代謝疾患診療マニュアル	2		209	平田結喜緒, 竹内 靖博, 杉本 利嗣, 成瀬 光栄	診断と治療社	2019.5
和文総説・著書	成瀬 光栄, 立木 美香, 田上 哲也	原発性アルドステロン症	泌尿器科外来マスターバイブル	1		242-247	「臨床泌尿器科」編集委員会	医学書院	2019.4
和文総説・著書	立木 美香, 成瀬 光栄	クッシング症候群 デキサメタゾン抑制試験、CRH試験	内分泌機能検査実施マニュアル	3		68-69	成瀬 光栄, 平田 結喜緒, 肥塚 直美	診断と治療社	2019.5
和文総説・著書	成瀬 光栄, 立木 美香	副腎疾患	診療ガイドラインUP-TO-DATE2020→2021	1		435-442	門脇 孝, 小室 一成, 宮地 良樹	メディカルレビュー社	2020.2
和文原著論文	石原 裕己	高齢糖尿病患者におけるサルコペニアと転倒恐怖との関連性:SARC-F日本語版(SARC F-J)を用いた検討.	日本サルコペニア・フレイル学会誌	3	1	85-91			2019
和文総説・著書	日下部 徹	肥満、糖尿病に合併するサルコペニア	別冊BIO Clinica 慢性炎症と疾患	8	2	78-82		(株)北隆館	2019.10
和文総説・著書	日下部 徹	AGPAT2遺伝子変異による先天性全身性脂肪萎縮症の臨床的特徴	季刊誌『The Lipid』	30	2	98-102		(株)メディカルレビュー社	2019.4

# 糖尿病センター(糖尿病内科)



診療科長  
河野 茂夫

専門医資格等 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医  
日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医  
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医  
日本糖尿病学会 評議員  
京都大学医学博士  
京都大学臨床教授

専門分野 糖尿病  
得意疾患 足病変

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	村田 敬	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 東京大学医学博士	糖尿病	若年者糖尿病
医師	小鳥 真司	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医 日本病態栄養学会 病態栄養専門医・指導医 日本抗加齢医学会 専門医 京都大学医学博士	糖尿病	糖尿病
医師	渡邊 知一	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医	糖尿病	糖尿病
医師	野村 英生	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	糖尿病	糖尿病
レジデント	木村 早未	日本内科学会 認定内科医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	糖尿病	糖尿病
内分泌代謝高血圧研究部長	浅原 哲子	日本内科学会 認定内科医・指導医・総合内科専門医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本神経内分泌学会 評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 日本動脈硬化学会 認定動脈硬化専門医・評議員 日本病態栄養学会 評議員 日本抗加齢医学会 専門医 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 日本糖尿病学会近畿支部 評議員 日本糖尿病生活習慣病ヒューマンデータ学会 評議員 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師 帝京大学医学部 臨床研究医学講座特任教授 滋賀医科大学 社会医学講座 公衆衛生学部門 客員教授 同志社大学 スポーツ健康科学部 客員教授 国立循環器病研究センター 客員研究員	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)疾患、内分泌代謝内科、予防医学、遺伝診療	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)疾患、内分泌代謝内科、予防医学、遺伝性疾患全般
予防医学研究室長	坂根 直樹	日本内科学会 認定医 日本肥満学会 評議員 京都府立医科大学医学博士	糖尿病	糖尿病

臨床内分泌代謝(専任)研究室長	日下部 徹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 京都大学医学博士 京都大学客員研究員	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、内分泌	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、内分泌、サルコペニア
-----------------	-------	--	---------------------------	----------------------------------

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本糖尿病学会認定教育施設 日本肥満学会認定専門病院
-------	-------------------------------

- 生活習慣病である糖尿病の治療には、患者さんご自身が自己管理能力を身につけることが大切です。当科では糖尿病教育、すなわち患者さんへの教育を実施すると同時に、患者さんに対する指導能力を高めた教育スタッフを育成し、より一層の治療実績アップに努めます
- 地域の糖尿病基幹病院としての責務を果たすべく、地域連携に努めます

## □ 主な対象疾患

2型糖尿病、耐糖能異常、1型糖尿病、肥満症、メタボリック症候群、糖尿病神経障害と糖尿病足病変、糖尿病腎症、糖尿病網膜症(眼科)、妊婦糖尿病、脂質異常症(高脂血症)、糖尿病性昏睡、重症低血糖

## □ 診療(業務)内容

糖尿病センターでは一般糖尿病外来および入院での診療に加えてさまざまな専門外来を開設し、さまざまなタイプの糖尿病および関連疾患およびそれらの合併症の充実した診療活動につながっている。

下記に専門外来の診療活動について紹介する。

- フットケア外来 毎週月曜日14時～/フットセンター外来 毎週火曜日14時～(2000年開設)フットケア外来では、主に糖尿病に由来する足病変に対応し、全国各地からの紹介患者を集めている。また、非糖尿病足病変患者に対する問い合わせも多く、難治性の足病変を扱う集学的な欧米型のフットセンターを目指している。フットセンター外来では初診は糖尿病センターで行い、一般診察をした上で、関係担当診療科へ紹介している。
- フットウェア外来(月2回:木曜日13時～16時 完全予約制)フットウェア外来では義肢装具士がオーストリア人の整形外科靴マイスター(Orthopedic Shoe Meister)と協力して、靴・装具の指導や調整にあたっている。
- 1型糖尿病外来(2005年開設) 毎週火曜日午前・午後、金曜日の午前。/インスリンポンプ(CSII)外来(2010年開設) 毎週月曜日の午後。

医師、看護師、管理栄養士がチームを組み、1型糖尿病の系統的な自己管理教育と心理・社会的な問題への対応を含めた患者支援を行っている。食事の炭水化物量に合わせてインスリンの単位数を自己調節するカーボカウントや、インスリンポンプ・持続血糖測定器(CGM)などの先進糖尿病デバイスの活用により、合併症予防と生活の質(QOL)の両立を目指している。小児期発症患者の成人移行、1型糖尿病合併妊娠の内科的管理、1型糖尿病患者を対象とした臨床研究も実施している。糖尿病センターに登録されている1型糖尿病患者は約300名。インスリンポンプ療法(CSII)を行っている者は77名(新規導入3名)。このうち、SAP(リアルタイムCGM機能搭載インスリンポンプ)を用いている者は37名(48%)。単体型リアルタイムCGMを用いている者は4名、間歇スキャンCGMを用いている者は33名。2019年度の1型糖尿病外来の初診患者は17名である。

- 肥満・メタボリックシンドローム外来(2001年開設) 毎週 月曜日・水曜日9時～14時  
肥満・メタボリックシンドローム外来では、医師・看護師・栄養士によるチーム医療をベースに、体重グラフや食事記録表を登載した当院独自の「ダイエットノート」を活用し、日本肥満学会が提唱する減量指導を行い、動脈硬化等の合併症も定期的に評価している。  
また、外来患者を中心に2006年よりメタボ会(患者会)を定期的開催。さらにメタボ通信、スマートランチ等をチーム医療で展開し、外来開設から現在まで延べ18,000人以上の患者治療を行ってきた。

- ・脂質異常症外来(2005年開設):第2、4木曜日。家族性高コレステロール血症(FH、2020年3月で124名を登録)やWHO分類のV型など1,000mg/dL以上の著明な高中性脂肪血症(同、22名を登録)の鑑別診断と治療方針の決定を行っている。スタチンのみで管理不良のFHヘテロ接合体に対するPCSK9阻害薬の使用も開始。また、スタチン投与時のCPK上昇例の対応やスタチン関連自己免疫性ミオパチーなど副作用症例の対応も行っている。管理栄養士による高脂血症療養指導外来(2006年開設)も併設し、節酒による中性脂肪改善プログラム(HAPPY)も提供している。
  - ・妊娠糖尿病外来(2007年3月開設)毎週金曜日13時～15時 妊娠糖尿病は妊娠中に初めて発見された軽度の(糖尿病には至っていないレベルの)耐糖能異常で巨大児その他の周産期合併症の原因となる。また出産後の糖尿病発症リスクが増大する。妊娠前に糖尿病を発症した場合、糖尿病合併妊娠となり、胎児奇形が大きな問題となり、妊娠前血糖管理が重要となる。2019年度当外来を受診した新規患者数は51名であった。
  - ・糖尿病血管合併症外来/毎週金曜日13時～16時 糖尿病血管合併症外来では、糖尿病血管合併症のスクリーニングを行い、他科との緊密な連携によって治療にあたっている。特に、閉塞性動脈硬化症などの合併症に加え腎機能障害を有する糖尿病患者の短期入院で、外来での施行が困難な造影剤による画像検査を施行し、定期的なスクリーニング・治療への展開も検討している。
  - ・糖尿病透析予防指導外来 (2012年10月開設) 糖尿病腎症2期以上の患者を対象とし、医師、看護師、管理栄養士が連携して自己管理指導を行う。毎週月、水、木曜日に1名ずつの予約枠となっていて、現在3回シリーズとして指導を実施している。
- さらに、糖尿病センターではコメディカルスタッフによる指導として一般糖尿病食事指導(管理栄養士)および糖尿病療養指導外来(インスリン自己注射、血糖自己測定、フットケア指導など:看護師)を開設している。また、自己管理(療養)を患者に指導する医療スタッフである糖尿病療養指導士(CDEJ)は、当院内で看護部、薬剤部、栄養科、検査科などに多数を擁し、綿密な糖尿病セルフケアを支援している。

## □ 診療実績(令和元年度)

### 入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
11.2名	246名	16.1日

### 外来患者数

1日平均患者数
80.2名

### 主な手術・検査の件数など

CGM(連続皮下ブドウ糖測定)	CAVI/ABI測定	CT(内臓脂肪面積測定)
13件	220件	70件

## □ 地域医療連携・広報活動

- ・糖尿病市民公開講座「第34回DM京都」地域で生きる糖尿病医療連携
- ・令和元年度近畿地域診療放射線技師学術大会 府民公開講座 令和2年2月9日  
講演「広げよう!メタボ撲滅の輪～健康長寿を目指した食事・運動療法～」  
内分泌代謝高血圧研究部長:浅原哲子
- ・2019年度名古屋大学 環境医学研究所 市民公開講座 令和元年10月19日  
講演「広げよう!メタボ撲滅の輪～健康長寿を目指して～」  
内分泌代謝高血圧研究部長:浅原哲子
- ・第51回日本動脈硬化学会総会・学術集会市民公開講座 令和元年7月12日  
講演「肥満・糖尿病における効果的な動脈硬化予防」  
内分泌代謝高血圧研究部長:浅原哲子

2019年度の内分泌・代謝性疾患研究会「楽しくてためになる糖尿病教育の実践とやりがいをもてる糖尿病スタッフの育成」、2019年11月18日～20日、東北から九州まで42施設、メディカルスタッフ56名が参加。

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会	Murata T, Sakane N, SatoH-Asahara N,	Effect of intermittent-scanning cgm to glycemic control including hypoglycemia and quality of life of patient with type 1 diabetes mellitus (ischia study): study design.	Advanced Technologies & Treatments for Diabetes.	Madrid, Spain		2020.2.19～ 2020.2.20
国内学会	野村 英生, 日下部 徹, 小鳥 真司, 浅原 哲子	四肢優位の特異的な脂肪沈着を契機に紹介され、脂肪性浮腫と診断した肥満症の一例	第92回日本内分泌学会学術総会	宮城	2019.5.9	2019.5.9～ 2019.5.11
国内学会	清水 美佳, 日下部 徹, 横田 繁史, 井上 隆之, 田中 将志, 北野 隆司, 野村 英生, 村中 和哉, 山陰 一, 島津 章, 浅原 哲子	肥満糖尿病モデルマウスに対する低炭水化物食とSGLT2阻害薬の糖・脂質代謝に及ぼす影響の検討	第92回日本内分泌学会学術総会	仙台	2019.5.10	2019.5.9～ 2019.5.11
国際学会	村田 敬, 坂根 直樹, 菅沼 彰子, 浅原 哲子	EFFECT OF INTERMITTENT-SCANNING CGM TO GLYCEMIC CONTROL INCLUDING HYPOGLYCEMIA AND QUALITY OF LIFE OF PATIENTS WITH TYPE 1 DIABETES MELLITUS (ISCHIA STUDY): STUDY DESIGN	13th International Conference on Advanced Technologies & Treatments for Diabetes	Madrid, Spain	2020.2.20- 2020.2.22	2020.2.19- 2020.2.22
国内学会	村田 敬, 坂根 直樹	リアルタイム持続血糖測定器(CGM)センサーのアドヒアランスとインスリンポンプ療法におけるQOLの関連(PARCS研究第2報)	第19回日本先進糖尿病治療研究会	東京	2019.11.2	2019.11.2
国内学会	村田 敬, 渡邊 知一, 野村 英生, 木村 早未, 小鳥 真司, 坂根 直樹, 河野 茂夫	小児・思春期に発症した1型糖尿病患者における糖尿病ケトアシドーシスに関する疫学調査のパイロットスタディ	第25回日本小児・思春期糖尿病学会	東京	2019.7.15	2019.7.15
国内学会	渡邊 知一, 村田 敬, 菅沼 彰子, 坂根 直樹	新規インスリンポンプ使用中患者用QOL尺度(CSII-QOL)の開発および妥当性と信頼性の検証	第62回日本糖尿病学会年次学術集会	仙台	2019.5.24	2019.5.23- 2019.5.25

研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	1型糖尿病診療 Up to date 2020	令和元年内分泌 代謝性疾患専門 研修会	京都	2020.2.6	2020.2.6
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	最新糖尿病治療とQOL	第9回CGMから 見えてきた今後の 糖尿病治療を 考えるスモール ミーティング	横浜	2020.1.10	2020.1.10
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	高濃度グルルギン製剤が2 型糖尿病患者の生活の質に 与える影響～HIGH-QOL試 験が示唆すること～	Diabetes Expert Seminar	大阪	2019.12.8	2019.12.8
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	京都医療センター 1型糖尿 病外来におけるチーム医療 ～インスリンポンプ、CGM、 カーボカウントの3C～	第5回MODSカ ンファレンス	大阪	2019.12.14	2019.12.14
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	すぐわかる! CGMの読み方、 活かし方	第20回美作地区 糖尿病療養指導 研究会	津山	2019.11.30	2019.11.30
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	糖尿病患者の栄養管理と血 糖コントロール	NST勉強会	京都	2019.9.9	2019.9.9
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	糖尿病3C 成人移行のプロ セスと課題	第15回淀川リ バーサイズカン ファレンス	大阪	2019.7.21	2019.7.21
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	高濃度グルルギン製剤が2 型糖尿病患者の生活の質に 与える影響～HIGH-QOL試 験が示唆すること～	Diabetes Forum in Kyoto	京都	2019.8.24	2019.8.24
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	インスリンポンプ・CGM指導 のコツ	第20回京都小児 糖尿病内分泌懇 談会	京都	2019.7.5	2019.7.5
研究セミナー・シンポジウム等	河野 茂夫	糖尿病フットケアのアップ デート	京都Diabetes Seminar	京都	2019.6.27	2020.6.27
国内学会	河野 茂夫	特別講演:国際医療協力を 通しての糖尿病足とのグ ローバルなたたかい	第115回臨床外 科学会北海道支 部総会	旭川市	2019.6.29	2020.6.29
研究セミナー・シンポジウム等	河野 茂夫	糖尿病フットケアのアップ デート	徳島糖尿病足病 変セミナー	徳島市	2019.7.18	2019.7.18
研究セミナー・シンポジウム等	河野 茂夫	糖尿病フットケアのアップ デート	糖尿病フットケ ア研究会	名古屋市	2019.8.3	2019.8.3
国際学会	Shigeo Kono	ベトナム国勲章"the memorabilia For Vietnamese People's Health"受賞講演 "Management of Diabetic Foot Problems in Western Pacific Region	50th Anniversary meeting of National Hospital of Endocrinology, Vietnam	Hanoi, Vietnam	2019.9.10	2019.9.10
国内学会	河野 茂夫	シンポジウム:糖尿病足病 変診療のUpdate2019	日本糖尿病合併 症学会	大阪	2019.9.27	2020.9.27- 9.28
国内学会	河野茂夫	教育講演:糖尿病足病変の Update	日本糖尿病学会 近畿地方会	大阪	2019.11.9	2019.11.9
国内学会	河野 茂夫	シンポジウム:糖尿病足病変	日本靴医学会	東京	2019.11.9	2019.11.9
国際学会	Shigeo Kono	Invited Lecture: Management of Diabetic Foot	1st Jakarta Diabetic Foot Meeting	Jakarta, Indonesia	2019.11.15	2019.11.15

※浅原先生 坂根先生 日下部先生の分は別掲

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	村田 敬, 渡邊 知一, 菅沼 彰子, 坂根 直樹	The Effect of High- concentration Insulin Glargine on the Quality of Life of Patients with Type 2 Diabetes Mellitus: A Pre-post Study (HIGH-QOL STUDY).	Intern Med.	58	20	2943- 2948			2019

英文論文	村田 敬	Caution is required for the evaluation of the accuracy of continuous glucose monitoring devices.	J Diabetes Investig.	11	1	255			2020
和文原著論文	村田 敬	工場較正の不調が疑われた間歇スキャンCGMセンサーの事例 間歇スキャンCGMセンサー工場較正不調 疑い事例	日本先進糖尿病治療研究会雑誌	15		1-6			2019
和文総説・著書	村田 敬	インスリンポンプでのCGM(SAP)・FGMの有効活用	糖尿病治療からDMS(データマネジメントシステム)指導までいま読んでおきたい血糖データの活かし方			55-60	小出 景子, 渥美 義仁	南山堂	2020
和文総説・著書	村田 敬	インスリンポンプ療法の指導におけるチーム作り	インスリンポンプ療法マニュアル(改訂第3版):CSII療法・CGM・SAP療法導入・管理の手引き			251-256	小林 哲郎, 難波 光義	南江堂	2020
和文総説・著書	村田 敬	【一人でも慌てない!「こんなときどうする?」の処方箋85】 どうする? 内分泌インスリン注射あれこれ	Medicina	56	4	133-137		医学書院	2019
和文総説・著書	渡邊 知一, 村田 敬	【糖尿病診療の"Q"-現場の疑問に答えます】 糖尿病患者のマネジメント シックデイ対策 食事が摂れないとき、 投薬はどうしたらよいのだろうか?	Medicina	56	6	868-872		医学書院	2019
英文論文	坂根 直樹, 村田 敬, 二連木 晋輔, 菅沼 彰子	Development and Validation of the Continuous Subcutaneous Insulin Infusion-related Quality of Life (CSII-QOL) Scale.	Diabetes Technol Ther	22	3	216-221		Mary Ann Liebert, Inc.	2020.5
英文論文	河野 茂夫	Guidelines on the diagnosis and treatment of foot infection in persons with diabetes (IWGDF 2019 update).	Diabetes Metab Res Rev.			suppl 1			2020. March
英文論文	河野 茂夫	Interventions in the management of infection in the foot in diabetes: a systematic review.	Diabetes Metab Res Rev.			suppl 1			2020. March
和文総説・著書	河野 茂夫	糖尿病足病変	日本糖尿病学会糖尿病診療ガイドライン2019			183-199	日本糖尿病学会	南江堂	2019

※浅原先生 坂根先生 日下部先生の分は別掲

# 腎臓内科



診療科長  
八幡 兼成  
令和2年3月31日まで

専門医資格等  
日本腎臓学会専門医・指導医  
日本透析学会専門医・指導医  
日本糖尿病学会専門医  
日本内科学会専門医  
京都大学医学博士  
京都大学医学部臨床教授



診療科長  
瀬田 公一  
令和2年4月1日から

専門医資格等  
日本腎臓学会専門医・指導医  
日本透析医学会 専門医・指導医  
日本高血圧学会 専門医・指導医  
日本内科学会 総合内科専門医・JMECC  
インストラクター  
日本集中治療医学会 専門医  
日本救急医学会CLSインストラクター  
ICD制度協議会認定インフェク  
ションコントロールドクター  
日本急性血液浄化学会認定指導者  
京都大学医学博士  
奈良県立医科大学非常勤講師  
日本内科学会近畿地方会評議員

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	小泉 三輝	日本腎臓学会 専門医 日本透析医学会 専門医 日本集中治療医学会 専門医 日本内科学会 総合内科専門医 JMECCインストラクター 日本急性血液浄化学会 認定指導者		
医師	沈 載紀			
医師	辻 誠士郎			
専修医	上田 直子			

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本腎臓学会研修施設 日本透析医学会認定施設 日本急性血液浄化学会認定指定施設
-------	---

1. 積極的に腎生検を行い、早ければ翌日には診断がつく体制を取っている
2. 血液透析だけでなく、血漿交換や持続血液ろ過透析など急性血液浄化に対応できる
3. 腹膜透析も多く導入している
4. 学会発表・論文執筆・臨床研究を積極的に行っている

## □ 主な対象疾患

急性腎不全、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症、急速進行性糸球体腎炎、多発性嚢胞腎、Gitelman症候群、高血圧症

## □ 診療(業務)内容

1. 慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群などに対して腎生検を行い、その結果に基づいて治療を行っている。
2. 保存期腎不全に対し、血圧管理を始めとした腎保護療法を行い、末期腎不全への進行を抑制できるようにしている。
3. 末期腎不全に陥った場合、腎移植・腹膜透析・血液透析の3つの選択肢を提示し、患者に合った治療を提供している。

## □ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

外来患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数	1日平均患者数
15.0名	428名	12.3日	29.4名

主な疾患の件数など

腎生検数	血液浄化療法延べ件数	血液透析導入患者数	腹膜透析導入患者数
66件	3379件	45件	15件

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	小玉 美幸, 平井 大輔, 辻誠 士郎, 沈 載紀, 小泉 三輝, 瀬田 公一, 八幡 兼成	急性腎障害を伴う低Na血症に対し3%食塩水による補正後間欠的血液透析を施行し寛解した一例	第226回日本内科学会近畿地方会	大阪	2019.12.21	2019.12.21
国内学会	瀬津 健太郎, 清水 真樹子, 柳澤 雅美, 瀧井 友美, 八幡 兼成	在宅血液透析導入時に災害教育を取り入れて	第64回日本透析医学会学術集会	横浜	2019.6.30	2019.6.28-6.30
国内学会	上田 直子 辻 誠士郎, 沈 載紀, 小泉 三輝, 瀬田 公一, 八幡 兼成	透析非導入末期腎不全患者の呼吸困難に対してオキシコドンが有用であった一例	第64回日本透析医学会学術集会	横浜	2019.6.30	2019.6.28-6.30
国内学会	辻 誠士郎, 小泉 三輝, 上田 直子, 沈 載紀, 瀬田 公一, 八幡 兼成	シャント止血困難を契機に後天性血友病と診断した維持透析患者の一例	第64回日本透析医学会学術集会	横浜	2019.6.30	2019.6.28-6.30
国内学会	辻 誠士郎, 小泉 三輝, 上田 直子, 沈 載紀, 瀬田 公一, 八幡 兼成	DST(Dialysis Support Team)によるDailyスクリーニング調査	第62回日本腎臓学会学術総会	名古屋	2019.6.23	2019.6.21-23
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田 公一	これからのADPKD診療	三原市医師会学術講演会～CKD診療連携を考える会～	広島	2020.1.21	2020.1.21
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田 公一	これからのADPKD診療	ADPKD学術講演会	静岡	2020.1.17	2020.1.17
研究セミナー・シンポジウム等	平井 大輔	糖尿病性腎臓病を良くする(かも知れない)くすりの話	第19回伏見CKD医療連携の会講演会	京都	2019.12.21	2019.12.21
研究セミナー・シンポジウム等	沈 載紀	腎臓内科が関わるブラッドアクセス手術と手技	第19回伏見CKD医療連携の会講演会	京都	2019.12.21	2019.12.21
研究セミナー・シンポジウム等	八幡 兼成, 栄養管理室長 西田 博樹	CKDにおける最近の食事療法の考え方と医師でもできるひとこと栄養指導	第19回伏見CKD医療連携の会講演会	京都	2019.12.21	2019.12.21
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田 公一	CKDの動脈硬化～どこがちかうの?～	第19回伏見CKD医療連携の会講演会	京都	2019.12.21	2019.12.21
研究セミナー・シンポジウム等	八幡 兼成	腎臓病とマグネシウムの新しい関係	伏見消化器研究会	京都	2019.11.16	2019.11.16
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田 公一	透析スタッフのための多発性嚢胞腎(ADPKD)講座	Otsuka Web Seminar	京都	2019.11.1	2019.11.1
研究セミナー・シンポジウム等	八幡 兼成	適正透析	京滋PDセミナー	京都	2019.10.5	2019.10.5

研究セミナー・シンポジウム等	小泉 三輝	利尿剤の使い方～腎不全患者でのコツ～	第14回Stroke Oriented…研究会	京都	2019.8.31	2019.8.31
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田 公一	これからのADPKD診療	Otsuka Nephrology Forum	京都	2019.6.6	2019.6.6
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田 公一	非専門医のための慢性腎臓病講座	下京東部医師会学術講演会	京都	2019.5.24	2019.5.24
研究セミナー・シンポジウム等	八幡 兼成	明日から少し役に立つCKD講座	第5回CKD地域連携カンファレンスin長浜	滋賀	2019.5.9	2019.5.9
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田 公一	非専門医のための慢性腎臓病講座	下京西部医師会生涯教育講演会	京都	2019.4.18	2019.4.18
研究セミナー・シンポジウム等	小泉 三輝	腎臓内科の利尿剤の使い方～コツがあります～	第18回伏見CKD医療連携の会講演会	京都	2019.4.6	2019.4.6
研究セミナー・シンポジウム等	八幡 兼成	CKDのガイドライン～降圧療法など、いろいろ変わって来ます～	第18回伏見CKD医療連携の会講演会	京都	2019.4.6	2019.4.6

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
和文原著論文	沈 載紀, 村田 真紀, 辻 誠士郎, 平井 大輔, 生田 悠, 高橋 昌宏, 小泉 三輝, 瀬田 公一, 坂根 直樹, 八幡 兼成	腎生検施行時における止血薬投与中止による出血への影響—腎生検にアドナ®は必要か—	日本腎臓学会誌	62	1	45-51			2020.1
英文論文	八幡 兼成, 瀬田 公一, 菊地 祐子, 小泉 三輝, 村田 真紀, 和田 啓道,	Treatment for renal anemia and outcomes in non-dialysis patients with chronic kidney disease: the current status of regional medicine according to the Kyoto Fushimi Renal Anemia (KFRA) study	Clin Exp Nephrol	23	10	1211-1220			2019.10
和文総説	瀬田 公一, 笠原 正登	冠動脈疾患のリスク管理のフロントライン慢性腎臓病(CKD)はどう治療する?	循環器ジャーナル	67		643-43	医学書院		2019
和文総説	瀬田 公一	本当に透析が必要な急性腎障害 むかしの頭で診ていませんか? 腎臓・高血圧診療をスッキリまとめました				134-39	南江堂		2019.6.30
和文総説	瀬田 公一, 笠原 正登	MRの腎上皮細胞における作用を教えてください! 心臓を守る! ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬				8-9	光文社		2019
ガイドライン		厚生労働省研究費補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)難治性腎障害に関する調査研究班PKD-WG編.(瀬田公一)患者さんとご家族のための多発性嚢胞腎(PKD)療養ガイド 2019					ライフサイエンス出版		2019

# 腫瘍内科



診療科長  
宇良 敬

専門医資格等 日本内科学会 認定内科医

専門分野 腫瘍内科学(臨床腫瘍学) がん薬物療法(化学療法)

得意疾患

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
非常勤医師	松原 淳一	日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 消化器病専門医	腫瘍内科学(臨床腫瘍学)、がん薬物療法(化学療法)	消化器がん
非常勤医師	船越 太郎	日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本内科学会 総合内科専門医 日本消化器病学会 消化器病専門医	がん薬物療法(消化管・胆膵)	
非常勤医師	近藤 知大	日本内科学会 認定内科医	腫瘍内科学(臨床腫瘍学)、がん薬物療法(化学療法)	
非常勤医師	土井 恵太郎	日本医師会 認定産業医	腫瘍内科学	

## □ 診療科の特徴

施設認定等 | 日本臨床腫瘍学会認定研修施設

1. 患者さんが納得し満足いただける医療を提供します
2. 患者さんご家族を徹底的に支援します
3. エビデンスに基づいた最善の化学療法を行ないます
4. 化学療法と並行して、緩和医療を提供します
5. 患者さんと一緒に歩み、成長する姿勢を大切にします
6. 地域の医療機関との連携を大切にします

## □ 主な対象疾患

- ・消化器がん(食道がん、胃がん、大腸がん、消化管間質腫瘍など)
- ・膵臓がん、胆道がん
- ・原発不明がん
- ・希少疾患などその他の固形腫瘍

## □ 診療(業務)内容

- ・化学療法(がん薬物療法)の実施
- ・緩和医療の実施
- ・他職種カンファレンスの実施
- ・他科からのコンサルテーション
- ・セカンドオピニオン
- ・外来化学療法センターの運営
- ・化学療法委員会の運営
- ・臨床試験・治験への参加

## □ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
0.0名	2名	2.0日

外来患者数

1日平均患者数
20.6名

★診療体制変更により、平成28年度より入院患者は主科で計算するため前年よりは減少

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	宇良 敬	Phase II trial of taxane re-administration for taxane-based chemotherapy refractory esophageal cancer patients.	第57回日本癌治療学会学術集会	福岡	2019.10.26	2019.10.24 ~ 10.26
研究セミナー・シンポジウム等	宇良 敬	胃癌化学療法におけるオプジーボの位置付け	京都南部胃がんセミナー	京都	2019.9.5	2019.9.5
研究セミナー・シンポジウム等	宇良 敬	近頃の消化器癌化学療法について	第7回伏見薬業連携協議会	京都	2019.9.12	2019.9.12
研究セミナー・シンポジウム等	宇良 敬	近頃の消化器癌化学療法について	第41回伏見医師会癌医療病診連携の会	京都	2019.9.14	2019.9.14
研究セミナー・シンポジウム等	宇良 敬	胃癌化学療法におけるロンサーフの登場	TAIHO Web Lecture on Gastric Cancer	京都	2019.10.16	2019.10.16
研究セミナー・シンポジウム等	宇良 敬	消化器癌化学療法～今年のアップデートについて～	山科薬剤師会研修会	京都	2019.12.7	2019.12.7
研究セミナー・シンポジウム等	宇良 敬	大腸癌 現状のコンパニオン診断治療	第6回京都在がん薬物療法研究会	京都	2020.2.20	2020.2.20

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	宇良 敬	Long-term efficacy and predictive correlates of response to nivolumab in Japanese patients with esophageal cancer.	Cancer Sci.	DOI: 10.1111/cas.14380					2020.3
英文論文	宇良 敬	A 3-year overall survival update from a phase 2 study of chemoselection with DCF and subsequent conversion surgery for locally advanced unresectable esophageal cancer.	Ann Surg Oncol.	27	2	460-467			2020.2
英文論文	宇良 敬	Exploration of potential prognostic biomarkers in aflibercept plus FOLFIRI in Japanese patients with metastatic colorectal cancer.	Cancer Sci.	111	11	3565-3572			2019.11
英文論文	宇良 敬	Prospective survey of financial toxicity measured by the comprehensive score of financial toxicity in Japanese patients with cancer.	J Glob Oncol.	5		1-8			2019.5

# 精神科



診療科長  
吉田 貴子

専門医資格等 精神保健指定医  
日本精神神経学会 指導医 専門医  
専門分野 精神医学一般

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	沼本 和記	日本医師会認定産業医	精神病理学	
医師	栗野 雄大	精神保健指定医・日本医師会認定産業医	精神医学一般	
非常勤臨床心理士	梶川 和行	臨床心理士		
非常勤臨床心理士	竹田 俊介	臨床心理士		
非常勤臨床心理士	岸 朋彦	臨床心理士		
非常勤臨床心理士	藤村 江利子	臨床心理士		

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本精神神経学会精神科専門医研修施設
-------	--------------------

1. 確定診断と精神療法的な意味を兼ねて、初診時診察に十分な時間をかける。
2. 精神疾患の病態を自然科学的、人間学的視点から多角的に把握する。
3. 共感的、探究的な診察態度を心がけ、繊細な薬物療法を工夫する。
4. 器質性精神障害が疑われるときには、他科と連携し、頭部MRI等を利用して病態検索が可能である。

## □ 主な対象疾患

- ・睡眠障害
- ・身体表現性自律神経機能不全、その他の身体表現性障害
- ・パニック障害、その他の不安障害
- ・適応障害、その他のストレス関連障害
- ・強迫性障害、その他の神経症性障害
- ・躁うつ病、その他の気分障害
- ・統合失調症、妄想性障害等
- ・器質性あるいは症状性精神障害

## □ 診療(業務)内容

1. 精神科入院病棟は無いため、入院治療が必要と判断される時は、精神科病院等に紹介する。
2. 医師による診療後、病態として心理学的に複雑な葛藤が想定される場合は、心理療法士による標準型精神分析療法等を併用することが可能。
3. 一般病棟の他科入院患者に対し、依頼に応じて、リエゾン・コンサルテーション精神科医療に従事している。

## □ 診療実績(令和元年度)

外来患者数

1日平均患者数
50.5

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
和文総説・著書	栗野 雄大	①第二世代抗精神病薬 クロザピン ②持続性 抗精神病注射剤ハロペ リドール リスベリドン バリペリドン、アリピプ ラゾール	精神科の薬 早 調ベノート			①62～ 67、 ②71～ 76		メデイカ出版	2020.3.20

# 神経内科



診療科長  
大谷 良

専門医資格等 日本神経学会 神経内科専門医・指導医・教育施設責任者  
日本脳卒中学会 脳卒中専門医・指導医・評議員  
日本認知症学会 専門医・指導医  
日本内科学会 認定内科医・指導医  
認知症サポート医  
日本神経学会近畿地方会 評議員  
脳神経超音波学界世話人  
京都大学医学博士  
京都大学医学部脳神経内科 臨床教授

専門分野 臨床神経学(脳神経内科一般)  
脳血管障害、認知症、脳神経超音波学

得意疾患 脳血管障害 認知症

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	十川 純平	日本神経学会 神経内科専門医 日本内科学会 総合内科専門医 日本てんかん学会 てんかん専門医 日本臨床神経生理学会 専門医 (脳波、筋電図分野)	臨床神経生理	てんかん 脳血管障害
医師	松成 亮太	日本内科学会 認定内科医		急性期神経疾患
医師	三村 直哉	日本内科学会 認定内科医		急性期神経疾患
医師	武田 清明	日本内科学会 認定内科医		急性期神経疾患
非常勤医師	村瀬 永子	日本神経学会 専門医・指導医		
非常勤医師	高田 真基	日本内科学会 認定内科医		急性期神経疾患
非常勤医師	桑田 康弘	日本内科学会 認定内科医		急性期神経疾患
非常勤医師	大野 美樹			

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本神経学会研修施設
-------	------------

1. 納得できる医療を目指します
2. 紹介医との密な連絡(病診連携)および大学や機関病院との連携に努めます
3. 看護師、薬剤師、理学療法士など他の医療従事者とのチーム医療を推進します
4. 若手医師の教育に尽力します

## □ 主な対象疾患

脳血管障害(脳梗塞、脳出血など)、認知症(アルツハイマー病など)、パーキンソン病、ジストニア脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症などの数多の神経難病、多発性硬化症、重症筋無力症などの免疫神経疾患、脳炎、髄膜炎など神経感染症、頭痛、てんかんなどの発作性疾患、ギランバレー症候群、種々のニューロパチーなどの末梢神経疾患、筋炎、筋ジストロフィーなどの筋疾患など

## □ 診療(業務)内容

神経内科一般

脳血管障害外来:脳血管障害の予防及び再発予防(臨床研究対象も含む)、頸部血管エコー検査

電気生理外来:電気診断学にもとづく神経・筋疾患の電気生理検査

ボツリヌス治療:対象疾患 顔面けいれん、眼瞼けいれん

神経内科・音楽療法外来:認知症を対象とする音楽療法

## □ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
20.4名	338名	20.6日

外来患者数

1日平均患者数
44.7名

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
研究セミナー・シンポジウム等	飯塚 三枝子	『歌い奏で、溢れる想いで人は生きる』急性期病院における11年間の音楽療法の現場から	佛教大学 保険技術学部	京都	2019.12.4	
研究セミナー・シンポジウム等	飯塚 三枝子	医療現場における音楽。音楽療法士と音楽家のできる事。	大阪教育大学 音楽学部	大阪	2019.12.19	
研究セミナー・シンポジウム等	飯塚 三枝子	『人は音楽と共に生きてきた』	京都光華女子大学 健康科学部	京都	2020.1.20	
国内学会	飯塚 三枝子	特別講演『脳神経内科認知症外来での音楽療法 10年の歩み。から、在宅で必要な時に誰でも出来る療法的音楽の提供の実現へ』	第6回認知症治療研究会	東京	2020.2.16	2020.2.16
国内学会	十川 純平, 武田 清明, 三村 直哉, 松成 亮太, 大谷 良	右内頸動脈高度狭窄および右前頭葉小梗塞により左上下肢の hemichorea-hemiballism を呈した一例	第115回日本神経学会近畿地方会	大阪	2019.12.7	2019.12.7
国内学会	十川 純平	意識における後方皮質領野の意義:人の皮質脳波における異周波数間結合解析の検討	第42回日本神経科学大会	新潟	2019.7.28	2019.7.28
国際学会	Ryo Ohtani, Shinsuke Nirengi, Jumpei Togawa, Masato Kinboshi, Kiyooki Takeda, Naoya Mimura, Ryota Matsunari, Kazuhiko Kotani, Tetsuya Tsukahara, Michikazu Nakamura, Naoki Sakane	Association of serum apolipoprotein A1 levels with atherothrombotic infarction and plaque properties of carotid artery.	World Congress of Neurology (WCN) 2019	Dubai, UAE	2019.10.31	2019.10.27-10.31
国内学会	大谷 良	認知症と共に生きる講演1:高齢者てんかんと認知症	伏見医師会 市民公開講座	京都	2019.11.30	2019.11.30

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
平成31.4.- 令和2.3.	大谷 良, 中村 道三, 二連木 晋助, 川上 理, 十川 純平, 土井 健人, 齊ノ内 信, 桑田 康弘, 高田 真基, 増田 裕一, 松成 亮太, 武田 清明, 塚原 徹也, 坂根 直樹	Pretreatment Blood Pressure is a Simple Predictor of Hemorrhagic Infarction after Intravenous Recombinant Tissue Plasminogen Activator (rt-PA) Therapy	Journal of Stroke and Cerebrovascular Disease	28	7	1979- 1986			2019.7.
	大谷 良	認知症	ガイドライン 外来診療 2019			401- 413	泉 孝英	日経メディカ ル開発	2019
	十川 純平	日常診療に活かす診 療ガイドライン UP-TO-DATE 2020-2021	てんかん			525- 533		メディカルレ ビュー社	2019

# 呼吸器センター



診療科長  
(呼吸器内科)  
三尾 直士

専門医資格等  
 日本がん治療認定医  
 機構暫定教育医  
 日本医師会認定産業医  
 アメリカ胸部疾患学会  
 (ATS)  
 アメリカ臨床腫瘍学会  
 (ASCO)  
 京都大学医学博士  
 京都大学臨床教授  
 専門分野  
 呼吸器内科全般  
 得意疾患  
 肺癌・間質性肺炎



診療科長  
(呼吸器外科)  
澤井 聡

専門医資格等  
 日本呼吸器外科学会  
 専門医・指導  
 医・評議員  
 呼吸器外科専門医  
 気管支鏡専門医  
 外科専門医  
 滋賀医科大学医学博士  
 専門分野  
 呼吸器外科全般  
 得意疾患  
 肺癌・縦隔腫瘍

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	中谷 光一	日本内科学会 認定内科医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医	呼吸器内科全般	肺癌・睡眠時無呼吸症候群・呼吸器内科全般
医師	橋本 雅之	日本外科学会 外科専門医 日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医・評議員 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医 肺がんCT検診認定機構 肺がんCT検診認定医 INTUITIVE社認定 ダ・ヴィンチコンソール術者	呼吸器外科全般 呼吸器外科ロボット手術	呼吸器外科全般
医師	岡村 美里	日本内科学会 認定内科医	呼吸器内科全般	肺癌 呼吸器内科一般
医師	藤田 浩平	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医 日本感染症学会 感染症専門医・指導医 京都大学医学博士	呼吸器内科全般	呼吸器感染症・肺癌・呼吸器内科全般
医師	金井 修	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医 日本エイズ学会 治療指導医 エイズ拠点病院 施設代表 京都市HIV感染症対策専門委員会 委員	呼吸器内科全般	HIV感染症、睡眠時無呼吸症候群、呼吸器内科一般
医師	武田 恵子	外科専門医 癌治療認定医	呼吸器外科全般	呼吸器外科全般
医師	堀本 かな	外科専門医	呼吸器外科全般	呼吸器外科全般
専攻医	益本 貴人		呼吸器外科全般	呼吸器外科全般

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本呼吸器学会認定施設 日本呼吸器外科基幹施設 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設 日本感染症学会認定施設
-------	---

## [診療のモットー]

1. 難治な呼吸器疾患に対して最新の治療を提供します。
2. 十分な情報を提供し、患者さんの意見を尊重し診療を行います。
3. 地域の医療機関と連携し、地域に根ざした医療機関を目指します。

## [当科の特色]

呼吸器疾患は悪性腫瘍・感染症・気道系疾患・呼吸不全・びまん性肺疾患・生活習慣病など、他の臓器には見られないほど多岐にわたり、その多くが生命に直接関わる重要な領域です。当科では多様な呼吸器疾患患者さんに対して専門性の高い医療を提供するように努力しています。さらに現在治療法の進歩が見られる疾患について最新最良の治療を取り入れています。

肺癌は最も死亡数が多い悪性腫瘍で、今でも難治ですが、分子標的剤や免疫チェックポイント阻害剤などの新しい治療薬や支持療法の開発が急速に進んでおり、治療方法が大きく変わりつつあります。新しい治療法のおかげで、治療不能とされていた超高齢者や、治療不応となった患者さんにも治療を提供できる機会が増えており、患者さんの予後が大きく改善しつつあります。また、悪性腫瘍の診療においては外科治療・放射線治療・化学療法・緩和医療の4本柱があり、関係する各科の協力が必要ですが、当院での肺癌診療においては、呼吸器内科・外科、放射線科、化学療法部、緩和ケア部とカンファレンスなどの場をもうけ緊密な関係をもって進めています。

気道系疾患である喘息、慢性閉塞性肺疾患は特に有病率が高い疾患ですが、終生にわたって治療を続けていく必要性があり、当科では診断・治療導入、悪化時の緊急対応、リハビリテーションなど地域の拠点病院でないとできない診療を中心にを行い、その後は患者さんの負担を出来るだけ少なくするように地域の医療機関と連携して診療を行なっています。

呼吸器感染症はヒトの疾患の中でも最も重要な疾患の一つです。当科では急性・慢性の呼吸器感染症の診療を行っていますが、市中肺炎以外に、他科で診療中の免疫不全状態で起きる弱毒菌の感染症やHIVの症例の診療も行っております。さらに、最近急増している非結核抗酸菌の患者数も多く、積極的に臨床・研究に取り組んでいます。

上記以外にも呼吸器には急性・慢性の呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群、間質性肺疾患など重要な疾患が多数あります。それらの疾患をもつ患者さんに対しても常に最良の治療を提供できるように日々研鑽しながら診療に当たっています。

呼吸器外科では肺癌をはじめとする胸部の腫瘍（肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍）や気胸を代表とする嚢胞性肺疾患に対して、より負担の少ない胸腔鏡下手術を積極的に行っています。膿胸などの炎症性疾患に対しても積極的な外科治療（局所麻酔下胸腔鏡を含む）を行っています。気道狭窄に対するステント留置やレーザー焼灼術などの気管支鏡下手術や、漏斗胸に対する矯正術（Nuss法）も行っています。

## □ 主な対象疾患

肺癌 転移性肺腫瘍 縦隔腫瘍 中皮腫 胸腺腫 胸壁腫瘍 気胸 肺嚢胞症 気道狭窄 漏斗胸 膿胸  
慢性閉塞性肺疾患 気管支喘息 慢性・急性呼吸不全、呼吸器感染症（肺炎・非結核性抗酸菌症・結核）  
びまん性肺疾患（間質性肺炎、サルコイドーシス、好酸球性肺炎、膠原病に伴う間質性肺炎など）  
睡眠時無呼吸症候群 HIV感染症

## □ 診療（業務）内容

呼吸器内科の外来診察日は月曜から金曜まで毎日新患外来を含めて3外来を行なっています。

呼吸器外科の外来診察日は月、火、木、金曜日で、手術は水、金曜日に行っています。

睡眠時無呼吸症候群の専門外来は毎週水曜日です。完全紹介制としております。初めての方は紹介元の施設で予約を取得して頂きますよう、よろしくお願い致します。

気管支鏡検査、CTガイド下生検検査は原則として1泊の入院で行なっています。

それぞれ月・火・木と火・木曜日の午後に行っています。

HIV感染症の初診については呼吸器科外来に予めお電話頂ければ受診日等を事前に相談していただくことができます。

## □ 診療実績(令和元年度)

### 呼吸器内科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
46.4名	1194名	14.0日

### 呼吸器内科外来患者数

1日平均患者数
62.3名

### 呼吸器外科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
9.2名	271名	12.0日

### 呼吸器外科外来患者数

1日平均患者数
11.9名

### 主な手術・検査の件数など

手術(全身麻酔)	肺癌手術(診断含)	気管支鏡検査	局所麻酔下胸腔鏡検査	CTガイド下肺生検
176件	83件	342件	6件	86件

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会	Fujita K	Factors associated with frailty in patients with mycobacterium avium complex lung disease-preliminary study	American Thoracic Society International Congress 2019	Dallas, USA	2019.5.19	2019.5.18-5.22
国際学会	Kanai O	Impact of nivolumab-induced fever on the treatment effect: a retrospective study.	European Respiratory Society 2019 International Congress	Madrid, Spain	2019.9.30	2019.9.28-10.2
国際学会	Fujita K	Efficacy and safety of anti-PD-L1 antibody in NSCLC patients who previously treated with anti-PD-1 antibodies.	European Respiratory Society 2019 International Congress	Madrid, Spain	2019.9.30	2019.9.28-10.2
国際学会	Fujita K	Analysis of immune related adverse events in NSCLC patients receiving durvalumab after chemoradiotherapy in the real-world clinical setting.	Asian Pacific Society of Respirology 2019 Congress	Hanoi, Vietnam	2019.11.15	2019.11.14-11.16
国際学会	Yamamoto Y	Occurrence of pneumothorax in patients under treatment with nintedanib.	Asian Pacific Society of Respirology 2019 Congress	Hanoi, Vietnam	2019.11.15	2019.11.14-11.16
国内学会	金井 修	An implicit threat: dolutegravir-induced schizophrenic brief psychotic disorder and persistent cenesthopathy. (English session)	第93回日本感染症学会総会	名古屋	2019.4.6	2019.4.6
国内学会	藤田 浩平	優秀演題賞受賞: Factors associated with frailty in patients with mycobacterium avium complex lung disease. (English session)	第93回日本感染症学会総会	名古屋	2019.4.6	2019.4.6
国内学会	内田 尚宏	京都市伏見区における天候と気胸発症の関係性.	第59回日本呼吸器学会総会	東京	2019.4.14	2019.4.13-4.14
国内学会	金井 修	当院におけるPD-L1検査の実態および検査結果に影響を及ぼす因子に関する後向視的研究	第59回日本呼吸器学会総会	東京	2019.4.14	2019.4.13-4.14
国内学会	山本 佑樹	ニンテダニブ投与中における気胸発症例の臨床的検討.	第59回日本呼吸器学会総会	東京	2019.4.13	2019.4.13-4.14

国内学会	藤田 浩平	非小細胞肺癌患者における抗PD-1抗体治療後の抗PD-L1抗体治療の効果と安全性の検討	第59回日本呼吸器学会総会	東京	2019.4.13	2019.4.13-4.14
国内学会	中谷 光一	Acute fibrinous and organizing pneumoniaと思われた一例	第93回日本呼吸器学会近畿地方会	京都	2019.7..6	2019.7.6
国内学会	岡村 美里	抗IFN- $\gamma$ 自己抗体陽性の播種性非結核性抗酸菌症の一例.	第93回日本呼吸器学会近畿地方会	京都	2019.7..6	2019.7.6
国内学会	藤田 浩平	当院で経験したdurvalumab使用後に生じた有害事象に関する考察.	第93回日本呼吸器学会近畿地方会	京都	2019.7..6	2019.7.6
国内学会	金井 修	免疫チェックポイント阻害薬により自己免疫性好中球・血小板減少症を発症した肺扁平上皮癌の一例	第93回日本呼吸器学会近畿地方会	京都	2019.7..6	2019.7.6
国内学会	岡村 美里	肺癌患者におけるantiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaw(ARONJ)の実際	第60回日本肺癌学会総会	東京	2019.12.9	2019.12.6-12.8

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	藤田 浩平	Emerging concerns of infectious diseases in lung cancer patients receiving immune checkpoint inhibitor therapy.	Respir Med.	146	1	66-70			2019.1
英文論文	藤田 浩平	A case of pulmonary lymphoproliferative disorder presenting rapidly progressive respiratory failure.	Respirol Case Rep	7	5	e00422			2019.4
英文論文	藤田 浩平	Retreatment with anti-PD-L1 antibody in advanced non-small cell lung cancer previously treated with anti-PD-1 antibodies.	Anticancer Res	39	7	3917-3921			2019.7
英文論文	柏原 英里子	Disseminated Mycobacterium kansasii disease in a patient with anti IFN-gamma antibody.	Am J Trop Med Hyg	101	5	1066-1069			2019.11
英文論文	藤田 浩平	Retreatment with anti-PD-1 antibody in non-small cell lung cancer patients previously treated with anti-PD-L1 antibody.	Thorac Cancer	11	1	15-18			2020.1

# 消化器内科



診療部長  
診療科長  
勝島 慎二

専門医資格等  
日本内科学会  
認定内科医 指導医  
日本消化器病学会  
専門医・指導医・近畿支部  
評議員・本部評議員  
日本消化器内視鏡学会  
専門医・指導医・近畿支部  
評議員・本部評議員  
日本医学放射線学会  
放射線診断専門医  
日本肝臓学会 専門医  
西部会評議員  
日本がん治療認定医機構  
がん治療認定医・指導  
責任者  
日本消化管学会 胃腸  
科専門医  
日本消化器がん検診学会  
総合認定医  
京都大学医学博士  
専門分野  
消化器内科全般  
得意疾患  
肝疾患  
炎症性腸疾患



診療科長  
宮本 心一  
令和2年4月1日より

専門医資格等  
日本内科学会  
認定内科医・総合内科  
専門医  
日本消化器病学会  
専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会  
専門医・指導医  
日本がん治療認定機構  
がん治療認定医  
京都大学医学博士  
専門分野  
消化器内科全般  
得意疾患  
消化管癌内視鏡治療  
消化器癌化学療法

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長 副 健 診 センター長	島 伸子	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本消化器がん検診学会 胃認定医 日本人間ドック学会 人間ドック健診認定医 日本医師会 認定産業医 日本ヘリコバクター学会 H.pylori (ピロリ菌) 感染症認定医	消化器内科全般	消化器疾患、消化 器内視鏡検査
医 長	水本 吉則	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門 医・指導医 日本消化器病学会 専門医・指導医・近畿 支部評議員 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医・ 近畿支部評議員・本部評議員 日本胆道学会 指導医(内視鏡診断治療・経 皮経肝の診断治療) 日本消化器がん検診学会 胃・大腸認定医	消化器内科全般	消化管・胆・膵の 内視鏡検査・治療 全般、炎症性腸疾 患
医 師	小畑 達郎	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医・指導医・支部 評議員 日本肝臓学会 専門医・指導医 日本超音波医学会 専門医 R24肝臓病カンファレンス 世話人 京滋臨床肝臓研究会 世話人	消化器内科全般	肝疾患、特に難治 性肝炎(ウイルス 肝炎、自己免疫性 肝疾患)

医 長	滝本 見吾	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門 医・指導医 日本消化器病学会 専門医・指導医・近畿 支部評議員・本部評議員 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医・ 近畿支部評議員・本部評議員・和文編集委 員会査読委員 日本肝臓学会 専門医・指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定 医・指導責任者 日本消化管学会 胃腸科認定医・専門医・ 指導医・代議員 日本超音波医学会 専門医・指導医 日本ヘリコバクター学会 H.pylori(ピロリ菌) 感染症認定医 ポリグリコール酸シートとフィブリン糊を併 用した被覆法の有効性評価と手技標準化に むけた研究会 世話人(事務局兼任)(日本消 化器内視鏡学会附置研究会) 十二指腸腫瘍の診断および低侵襲治療に 関する研究会 世話人(日本消化器内視鏡学 会附置研究会) 近畿内視鏡治療研究会 幹事 京滋消化器内視鏡治療勉強会 世話人 京都大腸内視鏡研究会 世話人 京滋消化管病態フォーラム 世話人 医学博士	消化器内科全般	消化管癌の内視 鏡診断と治療
医 長	笠原 勝宏	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門 医 日本消化器病学会 専門医・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本プライマリケア連合学会 プライマリ ケア認定医	消化器内科全般	消化管・内視鏡検 査・治療全般
医 師	岩本 諭	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門 医 日本消化器病学会 専門医・指導医・近畿 支部評議員 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医・ 近畿支部評議員 日本肝臓学会 専門医・指導医 京都大学医学博士	消化器内科全般	消化管・内視鏡検 査・治療全般
医 師	江坂 直樹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門 医・JMECCインストラクター 日本消化器病学会 専門医・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会 専門医・近畿支部 評議員 日本カプセル内視鏡学会 JACEカプセル 内視鏡認定医 緩和ケア研修会指導者講習会修了者 臨床研修指導医	消化器内科全般	小腸内視鏡、食道 胃静脈瘤治療、緩 和医療、PEG
医 師	太田 義之	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医	消化器内科全般	消化管疾患
医 師	下釜 翼	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医	消化器内科全般	胆道・膵疾患検 査・治療 (EUS,ERCP,PTBD等)
医 師	村井 克行	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	消化器内科全般	食道・胃の内視鏡 診断・治療 消化器癌の化学 療法

専攻医	黄 莉媛			
非常勤医師	前川 高天	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本ヘリコバクター学会 H.Pylori(ピロリ菌)感染症認定医 京都消化器医会理事 京都市胃がん内視鏡検診運営委員会 委員長 京都大学医学博士	上部消化管内視鏡	消化器内視鏡、H.Pylori感染症、健診
非常勤医師	中野 佳子	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医 神戸大学医学博士	消化器内科全般	内視鏡検査・治療
非常勤医師 (診療援助)	米田 俊貴	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会 専門医 日本肝臓学会 専門医・指導医・西部会評議員 京都大学医学博士	消化器内科全般	肝疾患
非常勤医師 (診療援助)	遠藤 文司	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医・近畿支部評議員・本部評議員 日本肝臓学会 専門医 日本胆道学会 指導医(内視鏡診断治療・経皮経肝的診断治療) 日本消化器がん検診学会 胃・肝胆膵認定医 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医・指導医 ICD協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本医師会認定産業医 臨床研修指導医	消化器内科全般	胆道・膵疾患検査治療
非常勤医師 (診療援助)	見島 裕之	日本内科学会 認定内科医	消化器内科全般	内視鏡検査・治療
非常勤医師 (診療援助)	中野 重治	日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本肝臓学会 専門医	消化器内科	肝疾患・治療

## □診療科の特徴

認定施設等	日本消化器病学会認定施設 日本消化器内視鏡学会指導施設 日本肝臓学会認定施設 日本超音波学会専門医研修施設 日本消化管学会胃腸科指導施設 日本胆道学会指導施設 京都府肝疾患専門医療機関
-------	---

1. 三次救急病院の消化器内科として、緊急内視鏡検査(ERCP含む)治療・PTCDなどに24時間対応
2. 地域がん診療連携拠点病院の消化器内科として消化器癌全般の診断と早期癌の内視鏡的あるいは経皮的治療に全て対応
3. 地域医療支援病院の消化器内科として紹介による内視鏡検査の実施、PEG/PTEGの造設・管理に対応
4. 炎症性腸疾患の専門診療を実施
5. 多数の慢性肝疾患症例を専門的に診療
6. 潰瘍性大腸炎に対する治療PhaseⅢを実施

## □ 主な対象疾患

消化器癌全般(食道、胃、十二指腸、大腸、肝臓、膵臓、胆嚢、胆管系)  
炎症性腸疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎)  
急性および慢性肝疾患(ウイルス性、自己免疫性)  
肝硬変  
ヘリコバクター感染症関連疾患(消化性潰瘍、MALTリンパ腫)  
消化器救急疾患(消化管出血、閉塞性黄疸、急性膵炎)

## □ 診療(業務)内容

消化器内科一般外来および肝臓専門外来  
上部消化管、下部消化管内視鏡検査および治療  
ERCPおよびERCP関連治療  
PTCおよびPTC関連治療  
EUSおよびEUS-FNA、Interventional EUS  
消化管・胆膵系ステント留置  
小腸内視鏡(カプセルおよびバルーン内視鏡)  
炎症性腸疾患に対する専門的治療(免疫調節剤、生物学的製剤)  
ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス療法(内服薬、インターフェロン)  
肝臓に対する経皮的治療  
セカンドオピニオン外来  
内視鏡技師の育成  
治験Phase II および III  
アカラシアに対する治療(POEM)

## □ 診療実績(令和元年度)

### 入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
46.1名	1386名	12.0名

### 外来患者数

1日平均患者数
108.8名

### 主な手術・検査の件数など

上部消化管内視鏡検査	下部消化管内視鏡検査	ERCP	食道・胃ESD	POEM	大腸ESD	肝臓ラジオ波焼灼術
5,326件	2,762件	403件	107件	8件	73件	70件

## □ 地域医療連携・広報活動

・勝島慎二 気にかけて、まずは検査を受けて。C型肝炎は飲み薬で完治が望める時代に。2019年12月27日  
京都新聞

## □ 受賞(学会・研究会発表など)

### 最優秀賞

・濱田聖子、中野重治、筑後孝紀、岩本諭、滝本見吾、米田俊貴、小畑達郎、勝島慎二。

Case Report Session for Residents(SK-7) IVRと内視鏡的ドレナージにより治癒した胆管と交通する感染性肝嚢胞の1例. 第55回日本肝臓学会総会 2019.05.30 東京

優秀賞

・伊藤高範、濱田聖子、筑後孝紀、中野重治、遠藤文司、岩本諭、笠原勝宏、滝本見吾、米田俊貴、小畑達郎、勝島慎二。

Case Report Session for Residents (SK-8) 門脈ステント留置が奏効した肝外門脈狭窄に起因する吻合部出血の一例. 第55回日本肝臓学会総会 2019.05.30 東京

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会	滝本 見吾	EFFICIENCY OF POLYGLYCOLIC ACID SHEETING WITH FIBRIN GLUE FOR THE TREATMENT OF PERFORATIONS RELATED TO GASTROINTESTINAL ENDOSCOPIC PROCEDURES: A MULTICENTER RETROSPECTIVE STUDY AMONG THE PGA STUDY GROUP	UEG WEEK 2019	Barcelona, Spain	2019.10.21	2019.10.19 ~ 2019.10.23
国際学会	滝本 見吾	EFFICACY OF POLYGLYCOLIC ACID SHEETING WITH FIBRIN GLUE FOR GASTROINTESTINAL FISTULAS: A MULTICENTER RETROSPECTIVE STUDY OF THE POLYGLYCOLIC ACID (PGA) STUDY GROUP	UEG WEEK 2019	Barcelona, Spain	2019.10.21	2019.10.19 ~ 2019.10.23
国内学会	下釜 翼, 水本 吉則, 中野 重治, 遠藤 文司, 太田 義之, 江坂 直樹, 岩本 諭, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 勝島 慎二	放射線治療後の悪性食道狭窄に対する小口径食道ステント(16mm)の使用経験	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019.5.9	2019.5.9 ~ 2019.5.11
国内学会	水本 吉則, 中野 重治, 下釜 翼, 太田 義之, 江坂 直樹, 遠藤 文司, 岩本 諭, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 島 伸子, 前川 高天, 勝島 慎二	化学療法を施行した胆嚢原発神経内分泌癌の2例	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019.5.10	2019.5.9 ~ 2019.5.11
国内学会	勝島 慎二, 中野 重治, 米田 俊貴	慢性C型肝炎SVR例の生命予後	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019.5.11	2019.5.9 ~ 2019.5.11
国内学会	中野 重治, 遠藤 文司, 下釜 翼, 江坂 直樹, 岩本 諭, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 水本 吉則, 島 伸子, 勝島 慎二	脊髄髄内膿瘍を伴った侵襲性肝膿瘍症候群の1例	第105回日本消化器病学会総会	金沢	2019.5.11	2019.5.9 ~ 2019.5.11
国内学会	小畑 達郎, 中野 重治, 勝島 慎二	肝臓関連死根絶を視野に入れた抗HBV療法ー核酸アナログ(NA)単独かインターフェロン(IFN)とのcombinationか?	第55回日本肝臓学会総会	東京	2019.5.30	2019.5.30 ~ 2019.5.31
国内学会	勝島 慎二, 中野 重治, 米田 俊貴, 遠藤 文司, 岩本 諭, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 小畑 達郎	REFLECT試験対象外肝細胞癌症例に対するLenvatinib療法	第55回日本肝臓学会総会	東京	2019.5.30	2019.5.30 ~ 2019.5.31
国内学会	中野 重治, 小畑 達郎, 遠藤 文司, 岩本 諭, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 米田 俊貴, 勝島 慎二	性的接触による感染者を発端とした、食中毒によるA型急性肝炎の小流行	第55回日本肝臓学会総会	東京	2019.5.30	2019.5.30 ~ 2019.5.31
国内学会	中野 重治, 遠藤 文司, 岩本 諭, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 米田 俊貴, 小畑 達郎, 勝島 慎二	肝外病変を標的にLenvatinib治療を導入した2例	第55回日本肝臓学会総会	東京	2019.5.30	2019.5.30 ~ 2019.5.31
国内学会	中野 重治, 岩本諭, 滝本見吾, 米田俊貴, 小畑達郎, 勝島慎二	IVRと内視鏡的ドレナージにより治癒した胆管と交通する感染性肝嚢胞の1例	第55回日本肝臓学会総会	東京	2019.5.30	2019.5.30 ~ 2019.5.31
国内学会	伊藤 高範, 中野 重治, 遠藤 文司, 岩本 諭, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 米田 俊貴, 小畑 達郎, 勝島 慎二	門脈ステント留置が奏効した肝外門脈狭窄に起因する吻合部出血の一例	第55回日本肝臓学会総会	東京	2019.5.30	2019.5.30 ~ 2019.5.31

国内学会	中野 重治, 勝島 慎二, 米田 俊貴	慢性C型肝炎SVR例の生命予後と癌罹患率	第55回日本肝臓学会総会	東京	2019.5.31	2019.5.30 ~ 2019.5.31
国内学会	滝本 見吾, 水本 吉則, 勝島 慎二	当院における十二指腸乳頭部及び非乳頭部腫瘍に対するESDの工夫と実際	第97回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2019.6.1	2019.5.31 ~ 2019.6.2
国内学会	勝島 慎二, 江坂 直樹	Cold forceps polypectomy (CFP) 後局所再発症例の臨床病理学的特徴と再CFPの有効性に関する検討	第97回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2019.6.1	2019.5.31 ~ 2019.6.2
国内学会	北野 由美, 森 そのみ, 田口 いづみ, 松岡 律子, 井上 亜沙美, 平岡 明美, 河合 亘, 澤田 知佳, 藤田 愛美, 山田 洋子, 水本 吉則	タブレット端末による患者満足度調査の実態～患者満足度よりみた改善項目の抽出とその対応～	第82回日本消化器内視鏡技師学会	東京	2019.6.1	2019.5.31 ~ 2019.6.1
国内学会	下釜 翼, 水本 吉則, 岩本 諭	放射線治療後の食道ステント留置術の成績と今後の対応	第97回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2019.6.2	2019.5.31 ~ 2019.6.2
国内学会	水本 吉則, 江坂 直樹, 太田 義之	Adenoma detection rateは本邦でのQuality indicatorに適用しているか?	第97回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2019.6.2	2019.5.31 ~ 2019.6.2
国内学会	小畑 達郎, 黄 莉媛, 中野 重治, 村井 克行, 下釜 翼, 太田 義之, 遠藤 文司, 江坂 直樹, 岩本 諭, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 米田 俊貴, 水本 吉則, 勝島 慎二	特発性門脈圧亢進症(IPH)の食道・胃静脈瘤治療	第26回日本門脈圧亢進症学会総会	下関	2019.9.13	2019.9.12 ~ 2019.9.13
国内学会	滝本 見吾	消化器がん術後の縫合不全・瘻孔に対するポリグリコール酸(PGA)シートとフィブリン接着剤の有効性 - 多施設遡及的研究	第98回日本消化器内視鏡学会総会	神戸	2019.11.21	2019.11.21 ~ 2019.11.24
国内学会	村井 克行	抗血栓薬服用患者における胃ESD後の留置スネアを用いた巾着縫合による後出血予防の有効性に関する検討	第98回日本消化器内視鏡学会総会	神戸	2019.11.21	2019.11.21 ~ 2019.11.24
国内学会	岩本 諭, 中野 重治, 下釜 翼, 太田 義之, 江坂 直樹, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 水本 吉則, 小畑 達郎, 勝島 慎二	外科切除症例の解析からの早期胃癌に対するESD治療の可能性の検討	第61回日本消化器病学会大会	神戸	2019.11.22	2019.11.21 ~ 2019.11.24
国内学会	滝本 見吾	下部消化管内視鏡治療に関連した穿孔に対するポリグリコール酸(PGA)シートとフィブリン糊を用いた内視鏡的閉鎖術の有効性 - 多施設遡及的研究	第98回日本消化器内視鏡学会総会/第61回日本消化器病学会大会	神戸	2019.11.23	2019.11.21 ~ 2019.11.24
国内学会	滝本 見吾, 水本 吉則, 勝島 慎二	当院における十二指腸非乳頭部及び乳頭部腫瘍に対するESD偶発症を減らす手技の工夫 - はさみ鉗子, トラクション法を中心に -	第61回日本消化器病学会大会/第98回日本消化器内視鏡学会総会/第17回日本消化器外科学会大会	神戸	2019.11.23	2019.11.21 ~ 2019.11.24
国内学会	前川 高天	クラウドシステムを用いた京都市の胃がん内視鏡検診の現状	第16回日本消化管学会総会学術集会	姫路	2020.2.8	2020.2.7 ~ 2020.2.9
研究セミナー・シンポジウム等	滝本 見吾, 水本 吉則, 勝島 慎二	胸部大動脈解離に対する大動脈ステントグラフト内挿術後、食道大動脈瘻を形成し、PGA被覆法を複数回施行するも奏効しなかった一例	日本消化器内視鏡学会附置研究会 第3回 ポリグリコール酸シートとフィブリン糊を併用した被覆法の有効性評価と手技標準化にむけた研究会	東京	2019.6.2	2019.6.2

研究セミナー・シンポジウム等	滝本 見吾	消化管穿孔及び瘻孔症例に対するポリグリコール酸(PGA)シートとフィブリン接着剤の有効性 - 多施設週及的研究 PGA Study Group	日本消化器内視鏡学会附置研究会 第3回 ポリグリコール酸シートとフィブリン糊を併用した被覆法の有効性評価と手技標準化にむけた研究会	東京	2019.6.2	2019.6.2
研究セミナー・シンポジウム等	滝本 見吾	表在型十二指腸非乳頭部上皮性腫瘍(SNADET)に対する内視鏡治療に関するアンケート集計結果	日本消化器内視鏡学会附置研究会 第3回十二指腸腫瘍の診断および低侵襲治療に関する研究会	東京	2019.6.2	2019.6.2
研究セミナー・シンポジウム等	黄 莉絵	生検を機に自然消滅したと考えられたミスマッチ修復機能欠損大腸癌の1例	日本消化器病学会近畿支部 第111回例会	大阪	2019.10.5	2019.10.5
研究セミナー・シンポジウム等	滝本 見吾	上部消化管内視鏡治療の穿孔に対するポリグリコール酸(PGA)シートとフィブリン接着剤の有効性に関する多施設週及的研究	第123回日本消化器内視鏡学会四国支部例会	高知	2019.11.2	2019.11.2 ~ 2019.11.3
研究セミナー・シンポジウム等	滝本 見吾	消化管腫瘍の内視鏡治療に対する偶発症対策 - 穿孔に対するポリグリコール酸シートとフィブリン接着剤の有効性に関する検討 -	第123回日本消化器内視鏡学会中国支部例会	広島	2019.11.30	2019.11.30 ~ 2019.12.1
研究セミナー・シンポジウム等	滝本 見吾	胃・十二指腸疾患 診断と治療のupdate 基本からリスク管理まで	第37回日本消化器内視鏡学会近畿セミナー	大阪	2019.12.8	2019.12. 8
研究セミナー・シンポジウム等	浅野 陽一, 黄 莉媛, 遠藤 文司, 米田 俊貴, 小畑 達郎, 中野 重治, 岩本 諭, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 勝島 慎二	hepatocellular carcinoma fibrolamellar typeに対する緩和治療の経過の一例	第43回日本肝臓学会西部会	山口	2019.12.12	2019.12.12 ~ 2019.12.13
研究セミナー・シンポジウム等	南 公人, 勝島 慎二, 滝本 見吾, 笠原 勝宏, 岩本 諭, 中野 重治, 小畑 達郎, 米田 俊貴, 遠藤 文司, 黄 莉媛	肝原発神経内分泌腫瘍により多発骨転移を来した一例	第43回日本肝臓学会西部会	山口	2019.12.12	2019.12.12 ~ 2019.12.13
研究セミナー・シンポジウム等	小畑 達郎, 米田 俊貴, 勝島 慎二	B型慢性肝炎抗ウイルス治療例-H B s 抗原消失例の検討(インターフェロン(IFN)例と核酸アナログ(NA)例の比較検討)	第43回日本肝臓学会部会	山口	2019.12.12	2019.12.12 ~ 2019.12.13
研究セミナー・シンポジウム等	前川 高天	京都市における胃がん内視鏡検診の現状	第103回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	大阪	2020.1.18	2020.1.18
研究セミナー・シンポジウム等	滝本 見吾	下部消化管内視鏡治療関連穿孔に対するポリグリコール酸シート・フィブリン糊併用内視鏡的閉鎖術の有効性 - PGA Study Group	第103回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	大阪	2020.1.18	2020.1.18
研究セミナー・シンポジウム等	黄 莉媛, 村井 克行, 下釜 翼, 遠藤 文司, 太田 義之, 江坂 直樹, 岩本 諭, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 米田 俊貴, 小畑 達郎, 水本 吉則, 勝島 慎二	膀胱原発傍神経節腫の食道転移に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を施行しえた一例	第103回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	大阪	2020.1.18	2020.1.18

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	江坂 直樹	Local recurrence of diminutive colorectal polyps after cold forceps polypectomy with jumbo forceps followed by magnified narrow-band imaging: a multicenter prospective study.	Endoscopy.	51	3	253-260		Thieme	2019.3
英文論文	村井 克行	Risk stratification for lymph node metastasis using Epstein-Barr virus status in submucosal invasive (pT1) gastric cancer without lymphovascular invasion: a multicenter observational study.	Gastric Cancer.	22	6	1176-1182		springer Japan	2019.5
英文論文	勝島 慎二, 米田 俊貴	POGLUT1, the putative effector gene driven by rs2293370 in primary biliary cholangitis susceptibility locus chromosome 3q13.33.	Scientific Reports.	9		doi:10.1038/s41598-018-36490-1		Nature Research	2019.1
英文論文	滝本 見吾	Endoscopic tissue shielding to prevent bleeding after endoscopic submucosal dissection: a prospective multicenter randomized controlled trial.	Endoscopy.	51	7	619-627		Thieme	2019.7
英文論文	勝島 慎二	IgG4-related disease in the Japanese population: a genome-wide association study.	Lancet Rheumatology.			doi.org/10.1016/s2665-9913(19)30006-2		Elsevier	2019.8
英文論文	遠藤 文司, 江坂 直樹, 大田 義之, 勝島 慎二	Double Common Bile Duct.	Internal Medicine.	58	1	141		日本内科学会	2019.1
英文論文	勝島 慎二	Risk Factors for Delayed Bleeding after Therapeutic Gastrointestinal Endoscopy in Patients Receiving Oral Anticoagulants: A Multicenter Retrospective Study.	Digestion.			DOI:10.1159/000502952		KARGER	2019.9

和文原著論文	水本 吉則, 黄 莉媛, 村井 克行, 下釜 翼, 太田 義之, 江坂 直樹, 岩本 諭, 笠原 勝宏, 滝本 見吾, 勝島 慎二	悪性食道狭窄—手技 とコトラー	消化器内視鏡	31	5	731- 738		東京医学社	2019.5
英文論文	滝本 見吾	Reply to Wang et al.	Endoscopy.	51	12	1184			2019.12
和文原著論文	滝本 見吾 勝島 慎二	食道アカラシアに対 する新たな治療法 —経口内視鏡的筋層 切開術(peroral endoscopic myotomy;POEM)	京都消化器医会 会報	35	6	61-62		京都府医師会	2019.6
和文原著論文	村井 克行	表在性十二指腸腫瘍 の精査内視鏡はどう 行うべきか, 拡大内 視鏡はどこまで有用 か?	消化器内視鏡	31	7	1032- 1036		東京医学社	2019.7
和文原著論文	滝本 見吾, 村井 克行, 笠原 勝宏, 水本 吉則, 勝島 慎二	ポリグリコール酸シ ート被覆法で避ける べきこと	消化器内視鏡	31	7	1087- 1089		東京医学社	2019.7

# 循環器内科



部長  
診療科長  
赤尾 昌治

専門医資格等 日本循環器学会認定循環器専門医、社員、近畿支部評議員、FJCS会員  
日本内科学会認定内科医、指導医、近畿支部評議員  
日本不整脈心電学会評議員  
日本心血管脳卒中学会評議員  
欧州心臓学会FESC会員  
京都大学臨床教授、非常勤講師

専門分野 心房細動、不整脈、臨床疫学

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医長 カテ室チーフ 医療安全管理副部長	阿部 充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)専門医、指導医、代議員	心臓および末梢動脈カテーテル検査・治療、CTO(慢性完全閉塞)治療、造影剤腎症、医学統計	
医長 CCUチーフ	益永 信豊	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医・専門医 腹部大動脈ステントグラフト実施医	冠動脈カテーテル治療、末梢動脈カテーテル治療、大動脈ステントグラフト治療	
医師 不整脈チーフ	小川 尚	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本不整脈心電学会不整脈専門医	不整脈、電気生理、カテーテルアブレーション治療、デバイス治療	
医師	井口 守丈	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本超音波医学会認定超音波専門医	心不全、循環器領域の画像診断	
医師	石井 充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医	狭心症・心筋梗塞・閉塞性動脈硬化症などのインターベンション、循環器全般	
医師	安 珍守	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本不整脈学会心電図学会 認定不整脈専門医 日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)認定医	不整脈、カテーテルアブレーション治療、心臓デバイス手術	
医師	藤野 明子	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会認定医	狭心症、心筋梗塞などの冠動脈疾患	

医師	濱谷 康弘	日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会循環器専門医 日本心エコー学会 SHD心エコー図認証医 ASD治療TEE認証医	心不全、心筋症、 弁膜症、心エコー (経食道心エコー・ 負荷心エコー)、心 臓カテーテル、緩 和ケア	
医師	土井 康佑	日本内科学会認定内科医	循環器全般	
専修医	青野 佑哉	日本内科学会認定内科医	循環器全般	
専修医	池田 周平	日本内科学会認定内科医	循環器全般	
専修医	石上 健二郎		循環器全般	
展開医療 研究部長	長谷川 浩二	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科専門医 アメリカ心臓協会専門医(AHA) アメリカ心臓病学会専門医(FACC) 日本禁煙科学会認定 禁煙支援医	心不全、虚血性心 疾患、心血管危険 因子管理・特に禁 煙指導、心血管展 開医療研究	
展開医療 研究部室 長	和田 啓道	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医、指導医	循環器学、リスク ファクター管理、 予防医学、バイオ マーカー研究	
リハビリテー ション科医長	中島 康代	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医・指導医	循環器一般、心臓 リハビリテーショ ン	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本循環器学会認定循環器研修施設 日本心血管インターベンション治療学会認定教育施設 日本不整脈学会認定不整脈専門医研修施設
-------	---

診療科モットー:「地域、世界、そして将来に貢献する循環器内科」

1. 「地域」: 命を守る責任感をもって、信頼される地域医療を提供すること
2. 「世界」: より良い医療を探求する情熱を持ち、世界に向けて情報発信すること
3. 「将来」: 指導者として人を教える、学習者として人から学び成長すること

「地域」は診療、「世界」は研究、「将来」は教育をあらわしています。診療・研究・教育の3本柱は、それぞれが互いを刺激して高めあう関係にあります。この3本柱がバランス良くしかも高いレベルで達成されていること、これが我々の診療科の目指す姿であり、また課せられた使命であると考えています。

## □ 主な対象疾患

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)

不整脈

心不全、心原性ショック

心筋症、心筋炎

心臓弁膜症

感染性心内膜炎

心膜疾患、心タンポナーデ

高血圧

大動脈瘤、大動脈解離

閉塞性動脈硬化症

静脈血栓症

肺塞栓症

## □ 診療(業務)内容

心臓、血管系の疾病全般を扱っています。専門性に偏ることなく、バランスの取れた診療を行っていくよう、常に心がけています。

2014年9月8日に、心臓カテーテル検査室が移転、新装オープンし、「心血管治療センター」として稼働を開始しました。「心血管治療センター」では、冠動脈疾患や末梢動脈疾患に対するカテーテル検査・治療、不整脈疾患に

対する電気生理検査・アブレーション治療を行っています。最新鋭のレントゲン透視装置で鮮明な画像が得られるため、より正確な診断と、より確実な治療が行えます。放射線の被ばく量も減少させることができます。より安全で確実に、清潔で快適な環境で、患者さんに検査や治療を受けて頂けるよう、そしてさらにレベルの高い医療を提供して地域に貢献してまいりたい所存です。

当院は、三次救急病院として地域医療の最後の砦であるという自覚と責任感を持って、絶対に断らない医療を目標としています。医療関係者専用の当科医師への直通電話(循環器ホットライン:075-606-2071)を設けています。24時間365日、緊急症例、診療のご相談、なんでも気軽ににお電話下さい。重症度や緊急度によりましては、当科ドクターカーを派遣することも可能です。

高齢化の進むわが国において、心疾患の終末像ともいえる心不全患者が増加の一途を辿っています。心不全の治療には、薬物療法だけでなく、食事療法、心臓リハビリなどの運動療法、訪問介護・看護などを含めた生活の支援も重要になります。当科では、心臓リハビリスタッフ、看護師、栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカー、医師を中心に、心不全チーム医療を充実させ、多職種介入による包括的管理に力を入れています。

また、当科ではつねに多くの臨床研究や、新しい薬剤や医療機器の治験をおこなっており、より有効性・安全性の高い医療を求めて積極的に研究活動を行っています。とくに、当科が中心となって2011年より開始した「伏見心房細動患者登録研究(伏見AFレジストリ)」は、日本の実臨床の現場における心房細動患者の実態を反映するデータとして全国の注目を集めており、その成果を国内や国外の一流学会や論文に発表しております。

## □ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
32.7名	1099名	10.8日

外来患者数

1日平均患者数
54.8名

主な手術・検査の件数など

冠動脈カテーテル治療	冠動脈カテーテル検査	下肢動脈カテーテル治療	カテーテルアブレーション
263件	522件	20件	105件

ペースメーカー植込
49件

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
研究セミナー・シンポジウム等	赤尾 昌治	アピキサバンの減量基準は、日本人高齢者にも妥当なのか?	エリキュースインターネット講演会	京都	2019.5.31	2019.5.31
国内学会	青野 佑哉, 益永 信豊, 石上 健二郎, 池田 周平, 土井 康佑, 安 珍守, 石井 充, 井口 守丈, 小川 尚, 中島 康代, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	偶発的に見つかった上行大動脈多発嚢状瘤の1例	第127回日本循環器学会近畿地方会	大阪	2019.6.22	2019.6.22
国内学会	池田 周平, 井口 守丈, 小川 尚, 石上 健二郎, 青野 佑哉, 土井 康佑, 安 珍守, 石井 充, 益永 信豊, 中島 康代, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	血清学的検査を契機にALアミロイドーシスと診断したHFpEFの一例	第127回日本循環器学会近畿地方会	大阪	2019.6.22	2019.6.22
国内学会	小川 尚, 安 珍守, 石上 健二郎, 青野 佑哉, 池田 周平, 土井 康佑, 石井 充, 井口 守丈, 益永 信豊, 江里 正弘, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	心房細動患者における非ビタミンK拮抗経口抗凝固薬不適切使用の検討～伏見心房細動患者登録研究より～	第6回日本心血管脳卒中学会学術集会	東京	2019.6.28	2019.6.28-29
国内学会	赤尾 昌治	心房細動種類と脳梗塞リスク～伏見AFレジストリより～	第6回日本心血管脳卒中学会学術集会	東京	2019.6.29	2019.6.28-29

国内学会	安珍 守, 石井 充, 井口 守丈, 益永 信豊, 青野 佑哉, 池田 周平, 土井 康佑, 江里 正弘, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 小川 尚, 阿部 充, 赤尾 昌治	脳梗塞既往がある心房細動 患者の死因は何か?: Fushimi AF Registryから	第6回日本心 管脳卒中学会学 術集会	東京	2019.6.29	2019.6.28-29
国内学会	青野 佑哉, 井口 守丈, 小川 尚, 石上 健太郎, 池田 周平, 土井 康佑, 安珍 守, 石井 充, 益永 信豊, 江里 正弘, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	器質的心疾患の既往がない 心房細動患者における新規 心不全発症の危険因子の検 証～伏見AFレジストリより ～	第6回日本心 管脳卒中学会学 術集会	東京	2019.6.29	2019.6.28-29
国内学会	赤尾 昌治, 石井 充, 益永 信豊, 阿部 充	心房細動患者の疾患・治療 に対する理解度向上に関連 する因子の検討: TASK-AF伏 見パイロットプログラム	第67回日本心臓 病学会学術集会	名古屋	2019.9.14	2019.9.13- 2019.9.15
研究セミナー・シ ンポジウム等	赤尾 昌治	日本人高齢者におけるアピ キサバンの有効性と安全性 ～大規模研究からの最新知 見	第67回日本心臓 病学会学術集会 ランチョンセミ ナー	名古屋	2019.9.14	2019.9.14
国内学会	小川 尚, 安珍 守, 池田 周平, 青野 佑哉, 土井 康佑, 石井 充, 井口 守丈, 益永 信豊, 江里 正弘, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	心房細動の病型および発作 性から慢性への進行と臨床 イベントは相関する～伏見 心房細動患者登録研究より ～	第67回日本心臓 病学会学術集会	名古屋	2019.9.15	2019.9.13- 2019.9.15
国内学会	赤尾 昌治, 石井 充, 益永 信豊, 阿部 充	心房細動患者の疾患・治療 に対する理解度と、教育介 入の効果: TASK-AF伏見パイ ロットプログラム	第67回日本心臓 病学会学術集会	名古屋	2019.9.15	2019.9.13- 2019.9.15
研究セミナー・シ ンポジウム等	赤尾 昌治	冠動脈疾患合併AF患者に対 する抗血栓療法の新規エビ デンスを読み解く	Masters Summit on Cardiology	東京	2019.11.2	2019.11.2
国内学会	赤尾昌治	『脳卒中・循環器病対策基本 法成立で何が変わるのか? ～それぞれの立場から期待 すること～』循環器疾患治療 の立場から	第73回国立病院 総合医学会	名古屋	2019.11.9	2019.11.8 ～ 2019.11.9
研究セミナー・シ ンポジウム等	赤尾 昌治	その抗血小板薬併用、本当 に必要ですか?: AFIRE試験 からのメッセージ	イグザレルト WEBカンファレ ンス	京都	2019.11.11	2019.11.11
研究セミナー・シ ンポジウム等	赤尾 昌治	一から始める登録研究～企 画立案から論文掲載まで～	Eliquis New Era Summit 2019	東京	2019.11.24	2019.11.24
国内学会	小川 尚, 池田 周平, 石上 健二郎, 青野 佑哉, 土井 康佑, 藤野 明子, 濱谷 康弘, 石井 充, 井口 守丈, 益永 信豊, 中島 康代, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	His束ペーシングで左脚ブ ロックが補正された、完全房 室ブロックの一例	第128回日本循 環器学会近畿地 方会	大阪	2019.11.30	2019.11.30
国内学会	井口 守丈, 石上 健二郎, 青野 佑哉, 池田 周平, 土井 康佑, 安 珍守, 石井 充, 小川 尚, 益永 信豊, 中島 康代, 阿部 充, 赤尾 昌治	抗ミトコンドリア抗体と抗セ ントロメア抗体陽性を示し た心筋症の一例	第128回日本循 環器学会近畿地 方会	大阪	2019.11.30	2019.11.30
研究セミナー・シ ンポジウム等	赤尾 昌治	抗凝固薬のアドヒアランス 向上のための4つのポイン ト	日本脳卒中協会 共同事業～抗凝 固薬のアドヒア ランスを考える ～	京都	2019.12.11	2019.12.11
国際学会	Masaharu Akao, Hisashi Ogawa	Left atrial enlargement as an independent risk factor for ischemic stroke in Japanese atrial fibrillation patients: Pooled analysis of five major Japanese atrial fibrillation registries.	European Society of Cardiology Congress 2019	Paris, France	2019.9.2	2019.8.31 ～ 2019.9.4

国際学会	Yoshimori An, Moritake Iguchi, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Yuya Aono, Shuhei Ikeda, Kosuke Doi, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Prognostic impact of body mass index on mortality and its causes in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	European Society of Cardiology Congress 2019	Paris, France	2019.9.2	2019.8.31 ~ 2019.9.4
国際学会	Kosuke Doi, Moritake Iguchi, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao,	Clinical characteristics and outcomes in Japanese atrial fibrillation patients with valvular heart disease: The Fushimi AF Registry	European Society of Cardiology Congress 2019	Paris, France	2019.9.2	2019.8.31 ~ 2019.9.4
国際学会	Kenjiro Ishigami, Yuya Aono, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Yoshimori An, Mituru Ishii, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mituru Abe, Masaharu Akao.	Clinical characteristics and outcomes of atrial fibrillation patients with thrombocytopenia: The Fushimi AF Registry	European Society of Cardiology Congress 2019	Paris, France	2019.9.2	2019.8.31 ~ 2019.9.4
国際学会	Hisashi Ogawa, Yoshimori An, Kenjiro Ishigami, Yuya Aono, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Validation of Risk Scoring System Predicting for progression of atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	European Society of Cardiology Congress 2019	Paris, France	2019.9.2	2019.8.31 ~ 2019.9.4
国際学会	Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Yoshimori An, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.	The relationship between pulse rate and the risk of cardiac events in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF registry	European Society of Cardiology Congress 2019	Paris, France	2019.9.3	2019.8.31 ~ 2019.9.4
国際学会	Syuhei Ikeda, Moritake Iguchi, Kenjiro Ishigami, Yuya Aono, Kosuke Doi, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Impact of proteinuria on cardiovascular outcomes in Japanese diabetic patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	European Society of Cardiology Congress 2019	Paris, France	2019.9.3	2019.8.31 ~ 2019.9.4
国際学会	Kenjiro Ishigami, Yuya Aono, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Yoshimori An, Mituru Ishii, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mituru Abe, Masaharu Akao	Clinical characteristics and outcomes of atrial fibrillation patients with thrombocytopenia: The Fushimi AF Registry	American Heart Association Scientific Sessions 2019	Philadelphia, USA	2019.11.17	2019.11.16-2019.11.18
国際学会	Yoshimori An, Moritake Iguchi, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Yuya Aono, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Prognostic impact of anemia on stroke/systemic embolism, bleeding, and mortality in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	American Heart Association Scientific Sessions 2019	Philadelphia, USA	2019.11.18	2019.11.16-2019.11.18
国際学会	Nobutoyo Masunaga, Kenjiro Ishigami, Yuya Aono, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Impact of atherosclerotic disease on cardiovascular events in atrial fibrillation patients: The Fushimi AF Registry	American Heart Association Scientific Sessions 2019	Philadelphia, USA	2019.11.18	2019.11.16-2019.11.18

国際学会	Syuhei Ikeda, Moritake Iguchi, Hisashi Ogawa, Kenjiro Ishigami, Yuya Aono, Kosuke Doi, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Prognostic impact of proteinuria on cardiac events in Japanese patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	American Heart Association Scientific Sessions 2019	Philadelphia, USA	2019.11.18	2019.11.16-2019.11.18
国際学会	Yuya Aono, Moritake Iguchi, Kenjiro Ishigami, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Risk factors for hospitalization by new-onset heart failure in atrial fibrillation patients without pre-existing organic heart diseases: The Fushimi AF registry	The 16th CardioVascular Clinical Trialists Forum 2019	Washington D.C.,USA	2019.12.6	2019.12.5 ~ 2019.12.7

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	手塚 祐司, 井口 守丈, 濱谷 康弘, 小川 尚, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	Association between relative wall thickness of left ventricle and incidence of thromboembolism in patients with non-valvular atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Eur Heart J Qual Care Clin Outcomes				doi: 10.1093/ehjqcco/qcaa003. [Epub ahead of print]		2020.1
英文論文	阿部 充	Very Short Dual Antiplatelet Therapy after Drug-eluting Stent Implantation in Patients with High Bleeding Risk: Insight from the STOPDAPT-2 Trial.	Circulation	140	23	1957-1959			2019.12
英文論文	阿部 充, 益永 信豊, 石井 充, 土井 康佑, 石上 健二郎, 池田 周平, 青野 佑哉, 安珍 守, 井口 守丈, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 小川 尚, 赤尾 昌治, 土井 康佑	Current status of percutaneous coronary intervention in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	J Cardiol	75	5	513-20			2019.11
英文論文	安珍 守, 小川 尚, 石井 充, 井口 守丈, 益永 信豊, 青野 佑哉, 池田 周平, 和田 啓道, 長谷川 浩二, 阿部 充	Age-Dependent Prognostic Impact of Paroxysmal Versus Sustained Atrial Fibrillation on the Incidence of Cardiac Death and Heart Failure Hospitalization (the Fushimi AF Registry).	Am J Cardiol	124	9	1420-1429			2019.11
英文論文	石井 充, 小川 尚, 益永 信豊, 阿部 充, 赤尾 昌治	Reasons for Choosing Conservative Management in Symptomatic Patients With Severe Aortic Stenosis - Observations From the CURRENT AS Registry.	Circ J.	83	9	1944-1953			2019.8

英文論文	阿部 充	Effect of 1-Month Dual Antiplatelet Therapy Followed by Clopidogrel vs 12-Month Dual Antiplatelet Therapy on Cardiovascular and Bleeding Events in Patients Receiving PCI: The STOPDAPT-2 Randomized Clinical Trial.	JAMA.	321	24	2414-2427			2019.6
英文論文	阿部 充	J-CTO Registry Investigators. Association between J-CTO score and long-term target lesion revascularization rate after successful chronic total coronary occlusion angioplasty (from the J-CTO Registry).	Catheter Cardiovasc Interv	93	6	1025-1032			2019.5
英文論文	阿部 充	RESET Investigators. 7-Year Outcomes of a Randomized Trial Comparing the First-Generation Sirolimus-Eluting Stent Versus the New-Generation Everolimus-Eluting Stent: The RESET Trial.	JACC Cardiovasc Interv	12	7	637-647			2019.4
和文総説・著書	阿部 充	「循環器症候群(第3版) II -その他の循環器疾患器疾患を含めて- VI.冠動脈・静脈疾患・走行異常 18.非粥状硬化性急性心筋梗塞」	別冊「日本臨牀」			92-96		日本臨牀社	2019
英文論文	井口 守丈, 赤尾 昌治	Underdosing of Direct Oral Anticoagulants- Pros or Cons?	Circ J.	83	4	707-708			2019.5
英文論文	赤尾 昌治	Risk Factors for Major Bleeding during Prolonged Anticoagulation Therapy in Patients with Venous Thromboembolism: From the COMMAND VTE Registry.	Thromb Haemost.	119	9	1498-1507			2019.9
英文論文	赤尾 昌治	Baseline Demographics and Clinical Characteristics in the All Nippon AF in the Elderly (ANAFIE) Registry.	Circ J	83	7	1538-1545			2019.6

英文論文	赤尾 昌治	Clinical Characteristics and Outcomes of Venous Thromboembolisms According to an Out-of-Hospital vs. In-Hospital Onset- From the COMMAND VTE Registry.	Circ J.	83	6	1377-1384			2019.5
英文論文	赤尾 昌治	Risk factors for post-thrombotic syndrome in patients with deep vein thrombosis: from the COMMAND VTE registry.	Heart Vessels.	34	4	669-677			2019.4
英文論文	赤尾 昌治	Thrombolysis with tissue plasminogen activator in patients with acute pulmonary embolisms in the real world: from the COMMAND VTE registry.	J Thromb Thrombolysis.	48	4	587-595			2019.11
英文論文	赤尾 昌治	Validation of the VTE-BLEED score's long-term performance for major bleeding in patients with venous thromboembolisms: From the COMMAND VTE registry.	J Thromb Haemost.	18	3	624-632			2020.3
英文論文	赤尾 昌治	D-dimer levels at diagnosis and long-term clinical outcomes in venous thromboembolism: from the COMMAND VTE Registry.	J Thromb Thrombolysis.	49	4	551-61			2019.9
英文論文	赤尾 昌治	A multicenter prospective cohort study to investigate the effectiveness and safety of apixaban in Japanese elderly atrial fibrillation patients (J-ELD AF Registry).	Clin Cardiol	43	3	251-59			2019.11
英文論文	赤尾 昌治	Cancer-Associated Venous Thromboembolism in the Real World- From the COMMAND VTE Registry.	Circ J.	83	11	2271-2281			2019.10

英文論文	赤尾 昌治	Mortality impact of post-discharge myocardial infarction size after percutaneous coronary intervention: a patient-level pooled analysis from the 4 large-scale Japanese studies.	Cardiovasc Interv Ther.	34	1	47-58			2019.6
英文論文	赤尾 昌治	Usefulness of Simplified Pulmonary Embolism Severity Index Score for Identification of Patients With Low-Risk Pulmonary Embolism and Active Cancer: From the COMMAND VTE Registry.	Chest.	157	3	636-44			2019.10
英文論文	赤尾 昌治	Deep vein thrombosis in upper extremities: Clinical characteristics, management strategies and long-term outcomes from the COMMAND VTE Registry.	Thromb Res.	177	-	1-9			2019.5
英文論文	赤尾 昌治	Influence of baseline anemia on long-term clinical outcomes in patients with venous thromboembolism: from the COMMAND VTE registry.	J Thromb Thrombolysis.	47	3	444-453			2019.4
英文論文	赤尾 昌治	Clinical outcomes of patients with pulmonary embolism versus deep vein thrombosis: From the COMMAND VTE Registry.	Thromb Res.	184	-	50-57			2019.12
英文論文	赤尾 昌治	The association of recurrence and bleeding events with mortality after venous thromboembolism: From the COMMAND VTE Registry.	Int J Cardiol.	292	-	198-204			2019.10
英文論文	赤尾 昌治	Antithrombotic Therapy for Atrial Fibrillation with Stable Coronary Disease.	N Engl J Med.	381	12	1103-1113			2019.9

英文論文	赤尾 昌治	Sex Differences in Clinical Characteristics and Outcomes of Patients With Venous Thromboembolism- From the COMMAND VTE Registry.	Circ J.	83	7	1581-1589			2019.6
英文論文	赤尾 昌治	Age-Related Differences in the Clinical Characteristics and Treatment of Elderly Patients With Atrial Fibrillation in Japan- Insight From the ANAFIE (All Nippon AF In Elderly) Registry.	Circ J.	84	3	388-396			2020.2
英文論文	赤尾 昌治	Baseline Characteristics of Elderly Japanese Patients Aged $\geq 75$ Years With Non-Valvular Atrial Fibrillation and a History of Stroke- ANAFIE Registry.	Circ J.	84	3	516-523			2020.2
英文論文	赤尾 昌治	Effect of Statins on Recurrent Venous Thromboembolism (from the COMMAND VTE Registry).	Am J Cardiol	125	2	189-197			2020.1
英文論文	赤尾 昌治	Rhythm versus rate control strategies regarding anticoagulant use in elderly non-valvular atrial fibrillation patients: Subanalysis of the ANAFIE (All Nippon AF In the Elderly) Registry.	J Cardiol.	76	1	87-93			2020.2
和文総説・著書	安珍 守 赤尾 昌治	心房細動患者の生命予後規定因子と死因	カレントセラピー	37	11	1045-50		ライフメディコム	2019.11
和文総説・著書	赤尾 昌治	循環器疾患の主な治療・処置と看護	ナーシング・グラフィカEX「疾患と看護2:循環器」			92-136		メディカ出版	2020.1

# 小児科



診療科長  
浅井 康一

専門医資格等  
日本小児科学会  
小児科専門医・指導医  
日本アレルギー学会  
専門医・指導医  
日本小児アレルギー学会  
代議員  
日本小児感染症学会  
代議員  
Infection Control Doctor  
(ICT)  
京都大学医学博士  
京都大学医学部  
臨床教授  
京都小児科医会理事  
専門分野  
小児アレルギー  
小児感染症  
得意疾患  
食物アレルギー  
喘息・アトピー



NICU診療科長  
松倉 崇

専門医資格等  
日本小児科学会  
小児科専門医・指導医  
新生児蘇生法「専門」  
コースインストラクター  
専門分野  
新生児



GCU診療科長  
黒須 英雄  
令和2年3月31日まで

専門医資格等  
日本小児科学会  
小児科専門医  
新生児蘇生法「専門」  
コースインストラクター  
国際ラクテーションコン  
サルタント (IBCIC)  
専門分野  
新生児  
得意疾患  
新生児  
母乳育児

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	石塚 哲也		小児全般	小児感染症
医師	北 誠	日本小児科学会専門医 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター	小児全般	虐待・遺伝性疾患
医師	仁井 純子	日本小児科学会専門医	小児全般	
医師	橋本 友紀子	日本小児科学会専門医 日本人類遺伝学会 遺伝専門医	小児内分泌代謝	低身長・甲状腺遺 伝性疾患
医師	山本 茜	日本小児科学会専門医	新生児	
非常勤医師	秋山 佑一	日本小児科学会専門医	血液・腫瘍	心身症

## □ 診療科の特徴

施設認定等	京都大学小児科専門研修プログラム連携施設 周産期(新生児)専門医指定研修施設 日本アレルギー学会専門医教育研修施設
-------	---

- 1.お子さんの、心とからだの発達を重視します。
- 2.スタッフ全員が、新生児から思春期までの小児の診療がおこなえるよう研鑽しています。
- 3.新生児期から小児期に外科的治療が必要な例には専門施設と円滑に連携をとっています。  
(京都大学病院・京都府立医科大学病院等)
- 4.病気の治療にとどまらず、予防接種による感染症の予防にも力をいれています。
- 5.長期入院が必要な小・中学生は、学習が継続できるよう院内学級(京都市立桃陽総合支援学校)が利用できます。
- 6.京都市から委託をうけ院内病児保育を実施し、子供さんが体調不良で登園・登校できない時にも、ご家族の方が仕事を休まずにすむようサポートしています。

## □ 主な対象疾患

新生児・低出生体重児(極低出生体重児1500g未満・超低出生体重児1000g未満)・新生児黄疸・糖尿病や甲状腺疾患母体からの出生児・新生児薬物離脱症候群

食物アレルギー・気管支喘息・アトピー性皮膚炎

低身長・甲状腺機能異常・糖尿病・肥満・先天代謝異常・遺伝相談

先天性心疾患・川崎病

てんかん・発達障害・自閉症・心身症・不登校など

## □ 診療(業務)内容

- 1.平成12年から新生児集中治療室(NICU6床)、平成23年から新生児治療回復室(GCU6床)を開設し、産婦人科と密接に協力し24時間体制で赤ちゃんの診療を行っています。
- 2.小児病棟(2-3病棟)では、肺炎・胃腸炎・脱水症・熱性痙攣など小児一般急性疾患の入院治療をしており、病棟保育士も常駐しています。
- 3.外来診療は、一般外来の他、専門外来(アレルギー、内分泌、神経、心臓、NICUフォローアップ)や予防接種・健診があり、食物アレルギーでの食物経口負荷試験、内分泌疾患での負荷試験や学校検診(心電図・検尿)異常の精査をしています。

外来初診の場合、可能であればかかりつけの先生からの紹介状をご持参ください。

## □ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
11.1名	379名	10.8日

外来患者数

1日平均患者数
25.2名

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	黒須 英雄, 阿水利 沙, 仁井 純子, 山本 茜, 橋本 有紀子, 北 誠, 石塚 哲也, 松倉 崇, 浅井 康一	RET遺伝子異常によると思 われるHirschsprung病の一 例	第12回京都 NICU懇話会	京都	2019.6.22	2019.6.22
国内学会	黒須 英雄	母乳栄養確立を困難にする 要因と出産後24時間までの 授乳回数との関係	第54回日本母乳 哺育学会	岡山	2019.9.15	2019.9.14- 2019.9.15
国内学会	浅井 康一	最近までに経験した化膿性 関節炎等について	伏見小児科研究 会2019	京都	2019.9.28	2019.9.28
国内学会	浅井 康一	川崎病との鑑別を要した、急 性汎発性発疹性膿疱症の1 例	第51回日本小児 感染症学会総 会・学術集会	旭川	2019.10.27	2019.10.26- 2019.10.27

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
和文原著論文	和田 美智子, 林子耕, 小林彩, 橋本 有紀子, 浅原(佐藤) 哲子, 加藤 剛志, 三宅 秀彦	エーラスダンロス症候群が疑われたが術前評価により手術可能と判断し全腹腔鏡下子宮全摘術を施行した一例	日本産婦人科内視鏡学会誌	35	2	290-293			2019.9
和文原著論文	河田 興, 黒須 英雄, 阿水 利沙, 喜田 孝史, 高倉 賢人, 沼本 和記	出産後に無乳汁分泌だったAripiprazole内服母体から出生した新生児Aripiprazole血中濃度の検討	日本小児臨床薬理学会誌	31	1	31-33			2020.1

# 外科



統括診療部長  
診療科長  
(肝胆膵責任者)  
猪飼 伊和夫

専門医資格等 日本外科学会 外科専門医・指導医  
日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医  
日本肝胆膵外科学会 評議員・肝胆膵外科高度技能指導医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医  
日本肝癌研究会幹事・取扱い規約委員  
日本臨床外科学会 評議員  
京都大学医学部 臨床教授  
京都大学 医学博士

専門分野 肝胆膵外科  
得意疾患 肝臓がん、胆道がん、膵臓がん

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
がん診療部長 医 長 (乳 腺 責 任 者)	山崎 誠二	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本乳癌学会 専門医・指導医 日本臨床腫瘍学会 暫定指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定 ASCO member 京都大学 非常勤講師 京都大学 医学博士	乳腺	乳がん
臨床栄養科長 医 長 (上部消化管責任者)	大谷 哲之	日本外科学会 外科専門医 日本消化器外科学会 消化器外科認定医 京都大学医学部 臨床教授	上部消化管	食道がん 胃がん
医 長 (下部消化管責任者)	山口 高史	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医・指導医 日本内視鏡外科学会 内視鏡外科技術認定医・技術認定審査員・評議員 ダ・ヴィンチ コンソール術者ライセンス取得 京都大学医学部 臨床教授 京都大学 非常勤講師	下部消化管	大腸がん
医 師	成田 匡大	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 日本肝胆膵外科学会 評議員・肝胆膵外科高度技能専門医 日本消化器病学会 専門医 Le Diplôme Inter Universitaire EUROPEAN CANCERS HEPATO BILIO PANCREATIQUES 日本ヘルニア学会 評議員 関西ヘルニア研究会 世話人 京都大学医学部 臨床准教授 京都大学 医学博士	肝胆膵外科 鼠径ヘルニア	肝臓がん 胆道がん 膵臓がん 鼠径ヘルニア 術後疼痛

医 師	畑 啓 昭	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 日本内視鏡外科学会 内視鏡外科技術認定医・評議員 日本食道学会 食道科認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 ICD(インフェクションコントロールドクター) 日本外科感染症学会 周術期感染管理認定医・教育医・評議員・教育委員会委員長・編集委員会委員 日本感染症学会 評議員・臨床研究促進委員会委員 日本化学療法学会 評議員・抗菌化学療法認定医制度審議委員会委員・国際渉外委員会委員 日本化学療法学会・日本感染症学会 薬剤耐性菌感染症を対象とした抗菌薬ガイドライン作成に関する合同委員会委員・Journal of Infection and Chemotherapy, Senior Editor 日本臨床外科学会 評議員 ダ・ヴィンチ コンソール術者ライセンス取得 京都大学 医学博士	上部消化管 外科感染症	胃がん 食道がん
医 師	松末 亮	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医 日本内視鏡外科学会 内視鏡外科技術認定医 内痔核治療法研究会 四段階注射法講習会受講 ダ・ヴィンチ コンソール術者ライセンス取得 京都大学 医学博士	下部消化管	大腸がん 肛門疾患
医 師	山賀 郁	日本外科学会 外科専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本乳癌学会 乳腺専門医 検診マンモグラフィ読影認定医 京都大学 医学博士	乳腺	乳がん
医 師	山岡 竜也	日本外科学会 外科専門医 京都大学 医学博士	肝胆膵外科	肝臓がん 胆道がん 膵臓がん
医 師	大倉 啓輔			
医 師	岡田 はるか			
医 師	後藤 健太郎			
専 修 医	吉岡 尚子			
レジデント	宗景 史晃			

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本消化器外科学会専門医修練施設 日本肝胆膵外科学会認定肝胆膵外科高度技能専門医修練施設A 日本大腸肛門病学会認定施設 日本食道学会食道外科専門医準認定施設 日本乳癌学会関連施設 日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設 JCOG大腸がんグループ参加施設 JCOG胃がんグループ参加施設
-------	---

1. 消化器がんや乳がんなど悪性腫瘍の外科治療を中心に行っています。
2. 臓器別(上部消化管・下部消化管・肝胆膵・乳腺)に専門医がおり、専門性が高く高度で安全な外科手術を行っています。
3. ロボット支援手術や腹腔鏡手術を始めとした低侵襲な手術(体への負担が少ない手術)を積極的に行なっている一方、高度進行がんに対しては、必要に応じて拡大手術を行ったり、抗がん剤や放射線を併用した集学的治療を行って臓器温存を図ったりしています。

4. 外科医、消化器内科医、放射線科医、腫瘍内科医、病理医が協議して治療方針を検討しています。  
各科が必要に応じた治療が可能のため、特定の科の治療にかたよることもありません。

□ **主な対象疾患**

食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆嚢がん、胆管がん、膵臓がん、乳がん

□ **診療(業務)内容**

消化器がん(食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆嚢がん、胆管がん、膵臓がん)や乳がんを中心とし、腹部良性疾患、肛門疾患や腹部救急疾患の外科治療を行っております。

□ **診療実績(令和元年度)**

**入院患者数**

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
40.1名	1,106名	13.4日

**外来患者数**

1日平均患者数
63.3名

**手術実績**

全手術件数(外来手術含める)	926件
全麻手術	694件
腰麻手術	24件
局麻手術	208件

※うち緊急手術件数173件

**主な術式別手術件数**

術 式	手術件数	※うち鏡視下手術 (ポリペクトミー、EMR,ESDなど 内視鏡的切除は除く)
食道がん切除術	9	9
幽門側胃切除術(幽門保存胃切除術を含む)	39	35
胃全摘術(噴門側胃切除術を含む)	11	6
結腸切除術	93	93
直腸前方切除術	42	41
直腸切断術	6	6
肝切除術(葉切除以上)	8	4
肝切除術(区域・亜区域切除術)	22	7
肝切除術(上記以外)	30	26
膵頭十二指腸切除術	21	0
膵体尾部切除術(胃がん手術に伴うものは除く)	9	1
膵切除術(その他)	0	0
乳がん手術	60	0
胆嚢摘出術	112	106
脾摘術	0	0
虫垂切除術	47	39
ヘルニア手術(小児を除く)	143	35
良性肛門疾患手術	32	4
小児外科手術(ヘルニアも含む)	0	0

□ **地域医療連携・広報活動**

2019/6/8	日本化学療法学会 第51回抗がん剤適正使用生涯教育セミナー 「「院内感染症の診断と治療」 3)腹腔内感染症の抗がん剤マネジメント」 畑啓昭
2019/6/8	第5回京都大学外科関連施設 ラパヘル教育セミナー 座長 成田匡大

2019/6/8	第5回京都大学外科関連施設 ラパヘル教育セミナー 「Onlay mesh留置後の腹壁癒痕ヘルニアに対しIPOMを施行した症例」 岡田はるか 成田匡大
2019/6/18	第22回京都南部外科集談会 「本当はこわい ソケイヘルニア手術」 成田匡大
2019/6/23	見落としがちな術前・術後のポイントセミナー 「消化器外科の術前・術後管理」 畑啓昭
2019/7/1	市立大津市民病院 感染対策研修会 「手術部位感染 (SSI) を予防するためにできること」 畑啓昭
2019/7/7	見落としがちな術前・術後のポイントセミナー 「消化器外科の術前・術後管理」 畑啓昭
2019/7/8	京都桂病院 感染対策研修会 「最近のSSI予防ガイドラインのトピックス」 畑啓昭
2019/7/9	生命のがん教育推進プロジェクト事業 「がん教育」 山崎誠二
2019/7/20	IDフォーラム2019 「治療に難渋した腹腔内感染症」 畑啓昭
2019/7/25	京都医療センターがん診療セミナー 「下部消化器外科領域でのロボット支援手術の新たな取り組み」 山口高史
2019/7/25	京都医療センターがん診療セミナー 「上部消化器外科領域でのロボット支援手術の新たな取り組み」 畑啓昭
2019/8/6	救急・外科ジョイントセミナー in広島2019 「手術部位感染症 (SSI) ～最近の予防対策から治療まで～」 畑啓昭
2019/8/7	MSD株式会社 感染症に関わる薬物の適正使用のための指導 「腹腔内感染症における診断と治療」 畑啓昭
2019/10/25	奈良県立医科大学付属病院 2019年度 感染防止セミナー 「SSI予防の最近のトピックスと治療抗菌薬の適正使用について」 畑啓昭
2019/10/26	第86回伏見医師学術集談会 「下部直腸がんに対してロボット支援下直腸低位前方切除術を施行した1例」 山口高史
2019/11/2	第27回京都臨床外科セミナー 「腹腔鏡下結腸右半切除術 (D3郭清) ～当院での最近のポート配置～」 後藤健太郎 松末亮 山口高史
2019/11/16	第81回日本臨床外科学会総会 「学術セミナー 32「大腸手術におけるmajor complication対策～理論と実践～」」 畑啓昭
2019/11/17	研修医のための輸液セミナー 「何を どれだけ どんな根拠で？」 畑啓昭
2019/11/20	生命のがん教育推進プロジェクト事業 「がん教育」 山崎誠二
2019/11/30	第14回関西ヘルニア研究会 「教育講演「本当はこわい鼠径ヘルニア手術」」 成田匡大
2020/1/11	第7回京阪奈胆膵フォーラム 「当科における 腹腔鏡下肝切除手術」 山岡竜也
2020/1/24	浜松医科大学医学部付属病院 職員対象感染症対策に関する院内ラウンド及び講演会 「SSI予防の最近のトピックスと治療抗菌薬の適正使用について」 畑啓昭
2020/1/25	第15回千葉ヘルニア研究会 「なつてからでは遅すぎる!鼠径ヘルニア術後慢性疼痛」 成田匡大

## □ 学術活動報告 (学会・研究発表など)

分類	演者 (全員)	タイトル	学会名	開催地	発表日	会期
国内学会	丹野 侑杜, 直原 俊平, 成田 匡大, 大倉 啓輔, 佐治 雅史, 松末 亮, 畑 啓昭, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	吐血を契機に診断に至った出血性胆嚢炎の1例	第119回日本外科学会定期学術集会	大阪	2019.4.19	2019.4.18 ~ 2019.4.20
国内学会	畑 啓昭	シンポジウム2 各診療領域におけるMRSA感染症治療の再考「一般外科におけるMRSA感染症治療の現状」	第67回日本化学療法学会総会	東京	2019.5.9	2019.5.9 ~ 2019.5.11
国内学会	成田 匡大	ランチョンセミナー 4「成人鼠径ヘルニア術後慢性疼痛とONSTEP法について」	第17回日本ヘルニア学会学術集会	三重	2019.5.25	2019.5.24 ~ 2019.5.25
国内学会	成田 匡大, 大倉 啓輔, 後藤 健太郎, 岡田 はるか, 松末 亮, 畑 啓昭, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	成人鼠径ヘルニア術後難治性慢性疼痛の系統的治療	第17回日本ヘルニア学会学術集会	三重	2019.5.24	2019.5.24 ~ 2019.5.25
国内学会	後藤 健太郎, 成田 匡大, 末永 尚浩, 宗景 史晃, 吉岡 尚子, 岡田 はるか, 大倉 啓輔, 山岡 竜也, 松末 亮, 畑 啓昭, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	鼠径ヘルニア術後3ヶ月以上の経過観察の必要性—術後慢性疼痛の存在を意識して	第17回日本ヘルニア学会学術集会	三重	2019.5.24	2019.5.24 ~ 2019.5.25

国内学会	畑 啓昭, 岡田 はるか, 大倉 啓輔, 後藤 健太郎, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	右主気管支背側を通る右肺 静脈(V2)垂型を術前診断し 安全に温存しえた食道切除 術の1例	第73回日本食 道学会	福岡	2019.6.6	2019.6.6 ~ 2019.6.7
国内学会	山崎 誠二, 山賀 郁	2015年以降京都市伏見区乳 癌検診異常にて当院を受診 し乳癌と診断された症例の マンモグラフィーについて	第27回日本乳 癌学会学術総会	東京	2019.7.12	2019.7.11 ~ 2019.7.12
国内学会	Narita M, Okura K, Okada H, Goto K, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.	Video Symposium 8 Strategy for redo surgery in gastroenterological surgery 「Knack of laparoscopic surgery for patients with chronic pain following inguinal hernia repair」	第74回日本消 化器外科学会総 会	東京	2019.7.18	2019.7.17 ~ 2019.7.19
国内学会	畑 啓昭, 大倉 啓輔, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 吉岡 尚子, 宗景 史晃, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	当院でのロボット支援下胃 切除術導入に関する安全性 を検証する第II相臨床試験 の解析結果報告	第74回日本消 化器外科学会総 会	東京	2019.7.17	2019.7.17 ~ 2019.7.19
国内学会	松末 亮, 山口 高史, 末永 尚浩, 吉岡 尚子, 宗景 史晃, 大倉 啓輔, 後藤 健太郎, 岡田 はるか, 山岡 竜也, 畑 啓昭, 成田 匡大, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	腹腔鏡下腹膜外経路人工肛 門造設術の簡便な方法を考 える	第74回日本消 化器外科学会総 会	東京	2019.7.18	2019.7.17 ~ 2019.7.19
国際学会	Narita M, Okura K, Okada H, Goto K, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.	Alorithm-based approach for management of refractory chronic postoperative inguinal pain.	EHS 2019	ドイツ	2019.9.14	2019.9.11 ~ 2019.9.14
国際学会	Goto K, Narita M, Suenaga T, Munekage F, Yoshioka S, Okada H, Okura K, Yamaoka R, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.	Reappraisal of "nerve anatomy awareness and recognition during surgery" :implication for prevention of chronic postperative inguinal pain in patients undergoing anterior hernia repair- A single center prospetive cohort study	EHS 2019	ドイツ	2019.9.14	2019.9.11 ~ 2019.9.14
国内学会	松末 亮, 山口 高史, 末永 尚浩, 吉岡 尚子, 宗景 史晃, 大倉 啓輔, 後藤 健太郎, 岡田 はるか, 畑 啓昭, 成田 匡大, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	横行結腸癌の領域腸間膜基 部を考慮したD3郭清を安 全に行う方法	第74回日本大 腸肛門病学会	東京	2019.10.12	2019.10.11 ~ 2019.10.12
国内学会	後藤 健太郎, 松末 亮, 山口 高史, 宗景 史晃, 吉岡 尚子, 大倉 啓輔, 岡田 はるか, 畑 啓昭, 成田 匡大, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	Pagetoid spread を伴う肛 門肝癌の一例	第74回日本大 腸肛門病学会	東京	2019.10.12	2019.10.11 ~ 2019.10.12
国内学会	宗景 史晃, 成田 匡大, 末永 尚浩, 吉岡 尚子, 大倉 啓輔, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 山岡 竜也, 松末 亮, 畑 啓昭, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	術前診断しえなかった副肝 管を術中損傷した慢性胆嚢 炎の一手術例	第81回日本臨 床外科学会総会	高知	2019.11.15	2019.11.14 ~ 2019.11.16
国内学会	末永 尚浩, 大倉 啓輔, 成田 匡大, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 山岡 竜也, 松末 亮, 畑 啓昭, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	膵管内進展をきたした、大 腸癌由来の転移性膵癌の1 例	第81回日本臨 床外科学会総会	高知	2019.11.16	2019.11.14 ~ 2019.11.16

国内学会	畑 啓昭	シンポジウム1(日本大腸肛門病学会 合同)術前腸管処置のバリエーションについて考える「術前腸管処置のバリエーション」	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.29	2019.11.29 ~ 2019.11.30
国内学会	畑 啓昭	シンポジウム7 消化器外科SSI予防のための周術期管理ガイドライン2018による臨床効果はあったのか?「諸外国とのガイドラインとの比較」	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.30	2019.11.29 ~ 2019.11.30
国内学会	畑 啓昭, 松末 亮, 山口 高史	シンポジウム8 腹腔内感染症の現状と対策(治療)「大腸手術後の腹腔内感染症の現状と対策」	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.30	2019.11.29 ~ 2019.11.30
国内学会	畑 啓昭, 大倉 啓輔, 岡田 はるか, 後藤 健太郎	ワークショップ5(日本環境感染症学会 合同) Antimicrobial stewardship 活動による周術期感染の予防と治療への取り組み「外科医が行う ICT/AST 活動」	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.30	2019.11.29 ~ 2019.11.30
国内学会	畑 啓昭	第320回ICD講習会 エビデンスとコストに基づいた効果的な手術部位感染対策の追及「周術期予防抗菌薬」	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.30	2019.11.29 ~ 2019.11.30
国内学会	畑 啓昭	外科感染症入門講座1・2 入門1「創閉鎖」	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.29	2019.11.29 ~ 2019.11.30
国内学会	畑 啓昭	教育委員会企画プログラム 外科感染症対策における教育に関するエビデンス	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.29	2019.11.29 ~ 2019.11.30
国内学会	大倉 啓輔, 畑 啓昭, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	複雑性虫垂炎に対する外科的治療時のドレーンの有用性についての検討	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.29	2019.11.29 ~ 2019.11.30
国内学会	後藤 健太郎, 畑 啓昭, 山賀 郁, 末永 尚浩, 宗景 史晃, 吉岡 尚子, 大倉 啓輔, 岡田 はるか, 山岡 竜也, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 大谷 哲之, 山崎 誠二, 猪飼 伊和夫	乳癌術後創部感染に対して周期的自動注入機能付き局所陰圧閉鎖療法が奏功した一例	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.30	2019.11.29 ~ 2019.11.30
国内学会	畑 啓昭, 大谷 哲之, 宗景 史晃, 吉岡 尚子, 大倉 啓輔, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 猪飼 伊和夫	手縫い縫合を用いないオーバーラップ法による腹臥位胸腔鏡下食道胃管吻合術の試み	第32回日本内視鏡外科学会総会	横浜	2019.12.5	2019.12.5 ~ 2019.12.7
国内学会	吉岡 尚子, 畑 啓昭, 末永 尚浩, 宗景 史晃, 大倉 啓輔, 岡田 はるか, 後藤 健太郎, 山岡 竜也, 松末 亮, 成田 匡大, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	妊婦の急性虫垂炎に対し腹腔鏡下虫垂切除術を施行した一例	第32回日本内視鏡外科学会総会	横浜	2019.12.7	2019.12.5 ~ 2019.12.7
国際学会	Kanemitsu Y, Shitara K, Mizusawa J, Hamaguchi T, Shida D, Komori K, Ikeda S, Ojima H, Hasegawa S, Shiomi A, Watanabe J, Takii Y, Yamaguchi T, Katsumata K, Ito M, Okuda J, Hyakudomi R, Shimada Y, Katayama H, Fukuda H.	A randomized phase III trial comparing primary tumor resection plus chemotherapy with chemotherapy alone in incurable stage IV colorectal cancer: JCOG1007 study (iPACS).	ASCO - GI 2020; Gastrointestinal Cancers Symposium	サンフランシスコ	2020.1.25	2020.1.23 ~ 2020.1.25
国内学会	畑 啓昭	[日本外科感染症学会とのジョイント企画]外科医の考えを知って、一緒に取り組む感染対策	第35回日本環境感染症学会総会・学術集会	横浜	2020.2.14	2020.2.14 ~ 2020.2.15

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
和文総説・著書 (筆頭著者)	大倉 啓輔, 猪飼 伊和夫	【新 手術の書き方】 結腸・直腸・肛門の 手術 急性虫垂炎 (開腹・腹腔鏡下)	消化器外科	42	5	678- 683			2019.4
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	図解でイメトレ! 消 化器外科・内科病棟 はじめてさんのケア マニュアル 第4章 しっておこう!消化器 の疾患と治療 1.食 道の良性疾患と治療	消化器ナーシ ング	2019春 季増刊		158- 164		メディカ出版	2019.4
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	図解でイメトレ! 消 化器外科・内科病棟 はじめてさんのケア マニュアル 第4章 しっておこう!消化器 の疾患と治療 2.食 道の悪性疾患と治療	消化器ナーシ ング	2019春 季増刊		165- 170		メディカ出版	2019.4
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭		Dr.畑のピュ ン身につく! 術前・術後の観 察ポイント			1-255		メディカ出版	2019.4
和文原著論文 (筆頭著者)	畑 啓昭	～疾患別・臨床事例 の全診療行為～ カルテ・レセプトの 原風景 カルテ209 兎径ヘル ニア(外科) 兎径ヘルニア根治術	月刊 保険診療	74	4	84-86			2019.4
英文論文 (筆頭著者)	Narita M	Do not open Pandora's box!	Asian J Endosc Surg.	12	2	246			2019.4
英文論文 (筆頭著者以外)	Hata H	A Randomized Phase II Study of S-1 Adjuvant Chemotherapy With or Without Hochu- ekki-to, a Japanese Herbal Medicine, for Stage II/III Gastric Cancer: The KUGC07 (SHOT) Trial	Front Oncol.	9	294				2019.4
英文論文 (筆頭著者以外)	Hata H	A Phase 2 Study of Induction Chemotherapy Using Docetaxel, Cisplatin, and S-1 for Gastric Cancer with Peritoneal Metastasis (KUGC06).	Ann Surg Oncol.	26	6	1779- 1786			2019.6
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	特別寄稿論文「胃癌 手術:最近の治療法 から高齢者への個別 化を考える」	京都消化器医 学会会報		35	21-30			2019.6
英文論文 (筆頭著者以外)	Hata H	Docetaxel plus cisplatin and S-1 versus cisplatin and S-1 in patients with advanced gastric cancer (JCOG1013): an open-label, phase 3, randomised controlled trial	Lancet Gastroenterol Hepatol.	4	7	501- 510			2019.7
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	Current Knowledge for ICT 手術部位感 染対策にまつわるコ ストの感覚	INFECTION CONTROL	28	7	68-71			2019.7

和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	14 手術部位感染	看護学テキスト NiCE 病態・治療 論[10] 感染症 /アレルギー/膠 原病			114- 118	竹末芳生 一木薫 佐野統 東直人	南江堂	2019.7
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭, 大倉 啓輔	Coping skill 現場別 ESBL産生菌・ CRE(CPE)対策の実 践 -両耐性菌の共 通点・相違点を踏ま えて ④消化器外科	感染対策ICT ジャーナル	14	3	220- 225			2019.7
和文原著論文 (筆頭著者)	畑 啓昭	【大腸手術における 術前経口抗菌薬投 与の是非】大腸術前 経口抗菌薬に関連し た腸炎の検討	日本外科感染 症学会雑誌	16	4	229- 234			2019.8
和文総説・著書 (筆頭著者)	大倉 啓輔, 畑 啓昭, 山口 高史	特集:大腸手術にお ける術前経口抗菌薬 投与の是非 症例 報告 化学的腸管 処置後に発症し重症 合併症を伴った Clostridioides difficile腸炎の1例	日本外科感染症 学会雑誌	16	4	235- 239			2019.8
英文論文 (筆頭著者以外)	Ikai I	A Prospective, Randomized Phase II Study of Adjuvant Gemcitabine Versus S-1 After Major Hepatectomy for Biliary Tract Cancer (KHBO 1208): Kansai Hepato-Biliary Oncology Group.	Ann Surg.	270	2	230- 237			2019.8
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	ロボット手術～外科 医が教える最近の情 報～	消化器ナーシン グ	24	9	70-73			2019.9
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	特集1 看護のため のドレーンアトラス Part1 総論 1.ド レーンを留置する とき・抜くときにド クターが考えている こと	月刊Nursing	39	11	8-11			2019.10
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	特集1 看護のため のドレーンアトラス Part1 総論 2.全ド レーンの位置関係	月刊Nursing	39	11	12			2019.10
和文総説・著書 (筆頭著者)	岡田 はるか	特集1 看護のため のドレーンアトラス Part2 位置別アト ラス ⑥肝切離面	月刊Nursing	39	11	18			2019.10
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	特集1 看護のため のドレーンアトラス Part2 位置別アト ラス ⑦ウインスロー 孔	月刊Nursing	39	11	19			2019.10
和文総説・著書 (筆頭著者)	後藤 健太郎	特集1 看護のため のドレーンアトラス Part2 位置別アト ラス ⑧モリソン窩 (肝下面)	月刊Nursing	39	11	20			2019.10
和文総説・著書 (筆頭著者)	大倉 啓輔	特集1 看護のため のドレーンアトラス Part2 位置別アト ラス ⑨臍周囲(上縁・ 下縁・断端)・臍管 チューブ(外瘻)	月刊Nursing	39	11	21			2019.10

和文総説・著書 (筆頭著者)	松末 亮	特集1 看護のためのドレーンアトラス Part2 位置別アトラス ①膀胱直腸窩・ダグラス窩	月刊Nursing	39	11	23			2019.10
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	疾患別・臨床事例の全診療行為 カルテ・レセプトの原風景 手術部位感染症(SI)術後創部感染症に対する陰圧閉鎖療法	月刊保険診療	74	10	90-92			2019.10
和文総説・著書 (筆頭著者)	成田 匡大	腹腔鏡下ヘルニア手術を施行する外科医が知っておくべき神経解剖	日本内視鏡外科学会雑誌	24	6	473-483			2019.11
英文論文(筆頭著者以外)	Hata H	Linear or circular stapler? A propensity score-matched, multicenter analysis of intracorporeal esophagojejunostomy following totally laparoscopic total gastrectomy.	Surg Endosc.	[Epub ahead of print]					2019.12
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	[病棟で頻度の高い細菌感染症とのみかた]術後感染およびC.difficile感染症	月刊薬事	61	16	41-47			2019.12
英文論文(筆頭著者以外)	Hata H	Efficacy of Postoperative Chemotherapy After Resection that Leaves No Macroscopically Visible Disease of Gastric Cancer with Positive Peritoneal Lavage Cytology (CY1) or Localized Peritoneum Metastasis (P1a): A Multicenter Retrospective Study.	Ann Surg Oncol.	27	1	284-292			2020.1
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「SSI対策のガイドラインって、いくつあるの?違いは?」	INFECTION CONTROL	29	1	70			2020.1
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	4. ICU・重症患者における感染対策 1) カテーテル関連血流感染対策	臨床雑誌 外科	82	1	45-51			2020.1
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	Current Knowledge for ICT 「消化器外科SSI予防のための周術期管理ガイドライン2018」を紐解く7つのクリニカルクエスト	INFECTION CONTROL	29	2	70-73			2020.2
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「CDIのガイドラインってどんなものがあるの?」	INFECTION CONTROL	29	2	75			2020.2
和文総説・著書 (筆頭著者)	成田 匡大	特集 消化器外科におけるre-do手術 2.鼠経ヘルニア術後難治性慢性疼痛に対する鏡視下再手術の工夫	臨床雑誌 外科	82	2	157-162			2020.2

英文論文(筆頭著者以外)	Ikai I	ALPlat criterion for the resection of hepatocellular carcinoma based on a predictive model of posthepatectomy liver failure.	Surgery.	167	2	410-416			2020.2
和文総説・著書(筆頭著者)	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「トーキョー・ガイドライン(TG18)ってどんな内容?」	INFECTION CONTROL	29	3	72-73			2020.3
和文総説・著書(筆頭著者)	畑 啓昭	特集 後輩ナースに胸を張れ! Dr.畑が語る! “理由”から学びなおす術前術後の最重要ケア 1.手術までにチェックすべきことは何? それはなぜ? 2.手術室への申し送り、何を伝える? 3.手術室からは何を聞いておけばよいの? 4.創部のケア、どこが難しい? 5.痛みへの対処、ナースに何が出来る? 6.せん妄の判断とケア、何が正解?	消化器ナーシング	25	3	6-59			2020.3
和文総説・著書(筆頭著者)	畑 啓昭	プラタナス〜私のカルテから〜 これからも手術の決断に躊躇するであろう感染症	週刊日本医事新報	5002		3			2020.3
和文原著論文(筆頭著者)	岡田 はるか, 畑 啓昭, 松末 亮, 山口 高史, 大谷 哲之, 猪飼 伊和夫	症例報告 食道癌における右上葉区域肺静脈分岐走行異常の術前診断の意義	日本内視鏡外科学会雑誌	25	2	87-93			2020.3
和文総説・著書(筆頭著者)	畑 啓昭	ICU治療指針 III 術後創部感染症	救急・集中治療	31	4	1748-50			2020.3
英文論文(筆頭著者以外)	Yamaguchi T	Long - term follow - up of the randomized trial of mesorectal excision with or without lateral lymph node dissection in rectal cancer (JCOG0212)	Br J Surg.	107	5	586-594			2020.3
英文論文(筆頭著者)	Narita M, Hata H, Matsusue R, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.	Is the remnant pancreas still working over a year after surgery in patients undergoing pancreaticoduodenectomy with reconstruction by pancreaticogastrostomy?	Pancreatology.	20	2	217-222			2020.3
和文総説・著書(筆頭著者以外)	畑 亜紀子, 青木 友和, 山崎 誠二	病室の“において”、どう配慮すればいい?	消化器ナーシング	25	3	60-63			2020.3
和文原著論文(筆頭著者以外)	前田 杏梨, 松末 亮, 山口 高史, 直原 俊平, 後藤 健太郎, 森吉 弘毅, 猪飼 伊和夫	原発性空腸粘液癌の1例	日本臨床外科学会雑誌	81	3	500-505			2020.3

# 整形外科



診療科長  
中川 泰彰

専門医資格等 日本専門医機構認定整形外科専門医  
専門分野 スポーツ、軟骨、関節  
得意疾患 膝、肩、肘関節

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	山田 茂	日本専門医機構認定整形外科専門医	股関節、膝関節	股関節
医 長	山本 博史	日本専門医機構認定整形外科専門医 日本手外科学会専門医 日本マイクロサージャリー学会評議員	上肢外科、マイクロサージャリー	上肢外科、四肢外科
医 長	向井 章悟	日本整形外科学会 専門医	スポーツ、膝、肩、小児	膝、肩
医 師	宮田 誠彦	日本専門医機構認定整形外科専門医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医 脊椎脊髄病医	脊椎、脊髄外科	頸椎症、OPLL、上位頸椎疾患、リュウマチ頸椎症、脊髄腫瘍、腰椎すべり症、変性側弯症
医 師	坪内 直也	日本整形外科学会 専門医	脊椎	脊椎一般
医 師	前田 峻宏		整形外科一般	
専 攻 医	里見 健太郎		整形外科一般	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本整形外科学会研修施設 日本脊椎脊髄病学会認定 脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設 脊椎脊髄外科指導医 常勤施設
-------	---

1. スポーツ、肩、肘、手関節・手、股関節、膝関節、脊椎、小児整形外科のそれぞれのスペシャリストがいます。
2. 救命救急センターとタイアップし、様々な外傷にも対応しています。
3. 脊椎・脊髄外科は後頭骨～頸胸椎・腰椎～骨盤までインスツルメンテーション手術に対応。ナビゲーションシステムを使用し、精緻な手術を心がけている（特に頸胸椎）。脊髄誘発電位を使用し、手術の安全性の向上に努めている。
4. スポーツ医学センターを併設し、発育期、競技スポーツ、中高年のスポーツ復帰のリハビリも行っています。
5. 骨軟骨疾患に対する自家骨軟骨移植術の件数は、日本最多で、中期成績も優秀です。

## □ 主な対象疾患

様々な関節の変形性関節症、肩関節脱臼、腱板断裂、膝靭帯損傷、様々な脊椎疾患、離断性骨軟骨炎などのスポーツ障害

## □ 診療(業務)内容

スポーツ、肩、肘、手関節・手、股関節、膝関節、脊椎、小児整形外科のそれぞれの専門家が執刀する手術(安定した治療成績が獲得できています)及び、外来での経過観察や保存的治療を行っています。術後のリハビリは疾患に応じて、当院リハビリ科とスポーツ医学センターで行っており、特に、スポーツ医学センターでは、術後のスポーツ復帰だけでなく、再受傷予防などの対策も立てています。また、外来通院による保存的治療としてのリハビリも行っています。

## □ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
42.6名	691名	21.5日

外来患者数

1日平均患者数
71.8名

主な術式別手術件数

頸椎手術	胸腰椎手術	人工股関節置換術	人工膝関節置換術
44件	105件	60件	47件

自家骨軟骨移植術

48件

## □ 地域医療連携・広報活動

京都府軟式野球連盟からの依頼により、2011年からスポーツ医学センターにて、小中学生野球選手のメディカルチェックを行っています。

- 変形性膝関節症の進行を食い止めるための様々なチャレンジ

第51回滋賀県整形外科医会特別講演会 2019.5.18 大津、日本(中川泰彰)

- 少年野球におけるスポーツ障害の予防と対策

令和元年度京都府軟式野球連盟指導者研修会 2019.6.1 京都、日本(向井章悟)

- 肘・膝・足関節の離断性骨軟骨炎の治療ー自家骨軟骨移植術を中心としてー

第28回兵庫県整形外科スポーツ医学教育研修会 2019.11.28 神戸、日本(中川泰彰)

- コンディショニング

2019年度日本スポーツ協会公認コーチ3養成講習会軟式野球専門科目講習会 2019.12.13、吹田、日本(井上直人)

- スポーツ医学概論、ドーピング防止活動

2019年度日本スポーツ協会公認コーチ3養成講習会軟式野球専門科目講習会 2019.12.14、吹田、日本(中川泰彰)

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	里見 健太郎, 中川 泰彰, 藤森 洋一, 山本 博史, 前田 峻宏, 赤松 翔太	末期変形性膝蓋大腿関節症 に対する新しい試み	第132回中部日本 整形外科・災害外科学会学術 集会	津	2019.4.6	2019.4.5-6
国内学会	赤松 翔太, 中川 泰彰, 藤森 洋一, 山本 博史, 前田 峻宏, 里見 健太郎	外側型変形性膝関節症に対 する大腿骨遠位内反骨切り 術後の再鏡視像	第132回中部日本 整形外科・災害外科学会学術 集会	津	2019.4.6	2019.4.5-6

国内学会	前田 峻宏, 中川 泰彰, 藤森 洋一, 山本 博史, 赤松 翔太, 里見 健太郎	内側開大式高位脛骨骨切り 術後の骨癒合不全3症例の 検討	第132回中部日 本整形外科・災 害外科学会学術 集会	津	2019.4.6	2019.4.5-6
国内学会	中川 泰彰, 山田 茂, 山本 博史, 向井 章悟, 宮田 誠彦, 坪内 直也, 前田 峻宏, 赤松 翔太	医療経済から見た鏡視下半 月板縫合術	第92回日本整 形外科学会学術 総会	横浜	2019.5.9	2019.5.9-12
国内学会	前田 峻宏, 中川 泰彰, 山田 茂, 山本 博史, 向井 章悟, 宮田 誠彦, 坪内 直也, 赤松 翔太	膝蓋骨への骨軟骨移植術の 術後成績	第92回日本整 形外科学会学術 総会	横浜	2019.5.11	2019.5.9-12
国内学会	前田 峻宏, 中川 泰彰, 山田 茂, 山本 博史, 向井 章悟, 宮田 誠彦, 坪内 直也, 赤松 翔太	下肢骨折手術患者の早期退 院に向けた多職種での取り 組みとその効果	第92回日本整 形外科学会学術 総会	横浜	2019.5.11	2019.5.9-12
国内学会	中川 泰彰, 山田 茂, 山本 博史, 向井 章悟, 宮田 誠彦, 坪内 直也, 前田 峻宏, 赤松 翔太	自家骨軟骨移植術は高齢者 でも臨床的な効果はあるか	第92回日本整 形外科学会学術 総会	横浜	2019.5.11	2019.5.9-12
国内学会	中川 泰彰, 向井 章悟	ステロイド性大腿骨顆部骨 壊死に対する自家骨軟骨柱 移植術の10年以上の長期 成績	第92回日本整 形外科学会学術 総会	横浜	2019.5.12	2019.5.9-12
国内学会	赤松 翔太, 中川 泰彰, 山田 茂, 山本 博史, 向井 章悟, 宮田 誠彦, 坪内 直也, 前田 峻宏	距骨骨軟骨障害の両側例と 片側例の比較	第92回日本整 形外科学会学術 総会	横浜	2019.5.12	2019.5.9-12
研究セミナー・ シンポジウム等	中川 泰彰	変形性膝関節症の進行を食 い止めるための様々なチャ レンジ	第51回滋賀県 整形外科医会特 別講演会	大津	2019.5.18	2019.5.18
国内学会	中川 泰彰, 向井 章悟, 赤松 翔太	脛骨側軟骨下骨露出部を無 処置とした自家骨軟骨移植 術はいつまで持つか?	第11回日本関 節鏡・膝・スポ ーツ整形外科学 会	札幌	2019.6.13	2019.6.13-15
国内学会	向井 章悟, 中川 泰彰, 前田 峻宏	自家骨軟骨移植術のドナー 採取部のOA変化について —大腿骨内顆骨壊死に対す る自家骨軟骨移植術に併用 した骨切り方法による影響	第11回日本関 節鏡・膝・スポ ーツ整形外科学 会	札幌	2019.6.13	2019.6.13-15
国内学会	横田 尚子, 中川 泰彰	ジュニア期の体操選手にお ける疼痛発生の実態調査	第11回日本関 節鏡・膝・スポ ーツ整形外科学 会	札幌	2019.6.13	2019.6.13-15
国内学会	中川 泰彰, 向井 章悟	特発性大腿骨内顆部骨壊死 に対する自家骨軟骨柱移植 術の長期成績	第11回日本関 節鏡・膝・スポ ーツ整形外科学 会	札幌	2019.6.13	2019.6.13-15
国内学会	中村 亮太, 中川 泰彰, 向井 章悟, 赤松 翔太	発症直後から経過観察で き、保存的加療で軽快した 大腿骨外果離断性骨軟骨炎 の1例	第45回日本整 形外科スポーツ 医学会学術集会	大阪	2019.8.30	2019.8.30-31
国内学会	中川 泰彰, 向井 章悟, 赤松 翔太, 井上 直人, 横田 尚子	膝骨軟骨疾患に対する自家 骨軟骨移植術のスポーツ復 帰	第45回日本整 形外科スポーツ 医学会学術集会	大阪	2019.8.3	2019.8.30-31
国内学会	前田 峻宏, 中川 泰彰, 向井 章悟, 中村 亮太, 里見 健太郎, 横田 尚子, 井上 直人	広範囲離断性骨軟骨炎に対 する骨軟骨柱移植術の術後 成績	第30回日本臨 床スポーツ医学 会学術集会	横浜	2019.11.17	2019.11.16- 17
国内学会	井上 直人, 中川 泰彰, 向井 章悟, 前田 峻宏, 里見 健太郎, 横田 尚子	小学生軟式野球選手を対象 とした野球検診における肘 以外の障害発生状況	第30回日本臨 床スポーツ医学 会学術集会	横浜	2019.11.16	2019.11.16- 17
国内学会	向井 章悟, 中川 泰彰, 井上 直人, 横田 尚子, 前田 峻宏, 里見 健太郎	野球検診を連続して受診す ることの影響	第30回日本臨 床スポーツ医学 会学術集会	横浜	2019.11.16	2019.11.16- 17
国内学会	横田 尚子, 中川 泰彰	ジュニア期の体操競技選手 における手関節痛と関連因 子の検討	第30回日本臨 床スポーツ医学 会学術集会	横浜	2019.11.16	2019.11.16- 17
国内学会	里見 健太郎, 中川 泰彰, 井上 直人, 向井 章悟, 前田 峻宏, 横田 尚子	両距骨骨軟骨障害に対し て、自家骨軟骨移植を行い、 スポーツ復帰できた1例	第30回日本臨 床スポーツ医学 会学術集会	横浜	2019.11.17	2019.11.16- 17
研究セミナー・ シンポジウム等	中川 泰彰	肘・膝・足関節の離断性骨軟 骨炎の治療—自家骨軟骨移 植術を中心として—	第28回兵庫県 整形外科スポ ーツ医学教育研 修会	神戸	2019.11.28	2019.11.28

研究セミナー・シンポジウム等	中川 泰彰	スポーツ医学概論(スポーツ傷害の基礎知識、野球選手が注意すべきスポーツ傷害)	2019年度日本スポーツ協会公認コーチ3養成講習会軟式野球専門科目講習会	吹田	2019.12.14	2019.12.13-15
研究セミナー・シンポジウム等	中川 泰彰	ドーピング防止活動(現場から見たドーピング検査の注意点)	2019年度日本スポーツ協会公認コーチ3養成講習会軟式野球専門科目講習会	吹田	2019.12.14	2019.12.13-15
国内学会	向井 章悟, 中川 泰彰, 山本 博史	上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する自家骨軟骨移植術におけるプラグの占拠率と病巣部位、臨床成績との関係	第32回日本肘関節学会学術集会	奈良	2020.2.7	2020.2.7-8
国内学会	山本 博史, 向井 章悟, 中川 泰彰	上腕二頭筋麻痺で肘屈曲がMMT4である2例	第32回日本肘関節学会学術集会	奈良	2020.2.7	2020.2.7-8

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	中川 泰彰, 向井 章悟	The clinical outcomes and the ability to sit straight in the Japanese stttyle following high tibial osteotomy combined woth osteochondral autologous transfer for osteonecrosis of the medial femoral condyle	J Orthop Sci	24		136-141			2019
英文論文	中川 泰彰, 向井 章悟	Surgical technique and clinical outcomes of osteochondral autograft transplantation for large osteonecrotic lesions of the femoral condyle with residual normal cartilage. The eyeglass technique	Orthop J Sports Med	7	10	232597E+15			2019
和文原著論文	向井 章悟, 中川 泰彰, 新宮 信之, 井上 直人, 伊藤 盛春	野球における外傷・障害調査と予防対策:野球検診の義務化により異常所見の検出率はどうか	日臨スポ会誌	27		149-152			2019
和文原著論文	中川 泰彰, 向井 章悟	80歳以上に対するmosaicplastyの臨床成績	JOSKAS	44		364-365			2019
和文原著論文	向井 章悟, 中川 泰彰	大腿骨内顆に発生した特発性骨壊死に値する自家骨軟骨移植術施行後のドナー採取部のx線変化について	JOSKAS	44		737-742			2019
和文原著論文	中川 泰彰, 向井 章悟, 伊藤 盛春, 井上 直人	肩肘障害を発症する小学野球選手の肩関節可動域の特徴—1年間の縦断的検討—	日臨スポ会誌	27		273-278			2019

和文原著論文	中川 泰彰, 向井 章悟, 前田 峻弘	鏡視下半月板縫合術 に必要な材料費	整形外科	70		1065- 1067			2019
和文原著論文	中川 泰彰, 山田 茂, 向井 章悟	上腕骨小頭離断性 骨軟骨炎との鑑別が 困難であった上腕骨 外側上顆裂離骨折 の1例	整形外科	70		1360- 1363			2019
和文原著論文	里見 健太郎, 中川 泰彰, 藤森 洋一, 山本 博史, 前田 峻宏	末期変形性膝蓋大 腿関節症に対する新 しい試み	中部整災誌	62		821- 822			2019
和文原著論文	中川 泰彰, 山本 博史, 前田 峻宏, 里見 健太郎, 藤森 洋一	外側型変形性膝関 節症に対する大腿骨 遠位内反骨切り術後 の再鏡視像	中部整災誌	62		1035- 1036			2019
和文原著論文	前田 峻宏, 中川 泰彰, 藤森 洋一, 山本 博史, 里見 健太郎	内側開大式高位脛 骨骨切り術後の骨癒 合不全 3 症例の検 討	中部整災誌	62		1037- 1038			2019
和文原著論文	山本 博史	Ender nail法が低侵 襲として奏功した下 肢骨折	骨折	42	2	217- 221			2020
和文原著論文	山本 博史	上肢阻血性拘縮の3 例	日手会誌	36	4	611- 617			2020
和文原著論文	山本 博史	全周性Radial Rim Fractureに対する Fragment-Specific Fixationの1例	臨整外	55	2	199- 202			2020
和文原著論文	山本 博史	幼児小指骨折に対す る整復固定の工夫	整形外科	70		259- 262			2019
和文原著論文	山本 博史	手部全周性デグロー ビング損傷の2例か らの教訓	日手会誌	35		971- 975			2019

# 形成外科



診療科長  
荒田 順

専門医資格等 日本形成外科学会専門医  
日本手外科学会専門医  
日本創傷外科学会専門医  
京都大学医学部 臨床教授  
小児形成外科分野指導医  
再建・マイクロサージャリー分野指導医  
乳房再建用エキスパンダー・インプラント責任医師

専門分野 手外科・先天異常

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	海透 修子	日本形成外科学会専門医	形成一般	
医師	熊切 将宜		形成一般	眼瞼
専攻医	幡 輝世		形成一般	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本形成外科学会認定施設 日本手外科学会認定基幹研修施設
-------	---------------------------------

## □ 主な対象疾患

先天異常、皮膚・皮下軟部腫瘍、顔面外傷、手外科、瘢痕拘縮、頭頸部・乳房再建

## □ 診療(業務)内容

当科では

- ・手足、顔面、体幹の先天異常をはじめとする小児形成外科
- ・整容を重視した眼瞼下垂、内反症および外反症などの眼瞼形成
- ・体表における腫瘍の切除、皮膚潰瘍に対する皮膚移植、遊離皮弁による潰瘍の閉鎖などの皮膚疾患に対する整容面に配慮した外科治療
- ・顔面骨骨折を中心とする顔面外傷に対する整容を重視した治療、口腔外科と合同で行う顎顔面外科
- ・切断指を含む手外科疾患の初期治療から二次的な機能再建
- ・頭頸部外科と合同で頭頸部癌に対する癌切除後の機能損失を最小限にすることを目的としたマイクロサージャリーを駆使した組織移植を積極的に行い、乳腺外科との合同で乳がんに対する乳房再建を手がけています。
- ・レーザー：ルビーレーザー(黒、茶あざ、しみ)、Vビーム(血管腫)、CO<sub>2</sub>レーザー(小腫瘍の蒸散、瘢痕の修正)を所持しており、美容を目的としたしみに対するレーザー治療など幅広い治療を行っています。

□ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

外来患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
8.3名	262名	11.3日

1日平均患者数
19.5名

主な術式別手術件数

皮膚皮下腫瘍	眼瞼形成	顔面骨骨折および外傷	手外科
331件	63件	57件	71件

マイクロサージャリー
35件

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	荒田 順, 海透 修子, 熊切 将宜	前頭骨開放骨折にいて骨片により強い眼球圧迫を伴い緊急手術を要した症例	第62回日本形成外科学会総会	札幌	2019.5.16	2019.5.15-2019.5.17
国内学会	荒田 順, 海透 修子, 熊切 将宜	ストレッチで生じた長趾伸筋腱皮下断裂の一例	第11回創傷外科学会	長崎	2019.7.4	2019.7.4-2019.7.5
国内学会	海透 修子, 荒田 順, 熊切 将宜	両側の足壊疽を来たし足趾切断に至ったIgA血管炎の一例	第11回創傷外科学会	長崎	2019.7.4	2019.7.4-2019.7.5
国内学会	幡 輝世, 荒田 順, 海透 修子, 熊切 将宜,	胸骨骨髓炎に対する有茎腹直筋皮弁の生着に難渋した1例	第11回創傷外科学会	長崎	2019.7.4	2019.7.4-2019.7.5
国内学会	幡 輝世, 荒田 順, 熊切 将宜	当院における乳房再建症例の検討	京都大学集談会	京都		
国内学会	熊切 将宜, 荒田 順, 海透 修子, 幡 輝世	頭頸部再建における遊離組織移植術後血行トラブル例に関する検討	第37回頭蓋顎顔面外科学会	東京	2019.11.1	2019.10.31-2019.11.1

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
	荒田 順	Externalized Mesentery Monitoring of Vascularized Jejunum Transfers.	annals of plastic surgery	83	3	305-307			2019.9

# 脳神経外科



副院長  
脳神経センター長  
塚原 徹也

専門医資格等  
日本脳神経外科学会  
専門医/指導医  
日本脳卒中学会  
専門医/指導医  
日本脳卒中の外科学会  
技術指導医  
日本脳神経外科  
認知症学会 理事  
京都大学医学部 臨床教授  
京都大学 医学博士  
専門分野  
脳神経外科  
得意疾患  
脳血管障害  
脳卒中の外科的治療



診療科長  
福田 俊一

専門医資格等  
日本脳神経外科学会  
専門医/指導医  
日本脳卒中学会  
専門医/指導医  
日本脳卒中の外科学会  
技術指導医  
京都大学 医学博士  
専門分野  
脳神経外科  
得意疾患  
脳動脈瘤  
良性脳腫瘍  
頭蓋底外科  
バイパス手術

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	青木 友和	日本脳神経外科学会 専門医/指導医 日本脳卒中学会 専門医 日本癌治療学会 暫定教育医 京都大学 医学博士	脳神経外科	脳腫瘍(悪性)、下垂体腫瘍、顔面けいれん、三叉神経痛
医 師	川上 理	日本脳神経外科学会 専門医/指導医 日本脳卒中学会 専門医 日本脳卒中の外科学会 技術指導医 日本脳神経血管内治療学会 専門医 日本神経内視鏡学会 技術認定医 日本脊髄外科学会 認定医 京都大学 医学博士	脳神経外科	脳血管障害
医 師	土井 健人	日本脳神経外科学会 専門医 日本脳卒中学会 専門医 日本神経内視鏡学会 技術認定医	脳神経外科	脳血管障害 脳腫瘍
医 師	岸田 夏枝	日本脳神経外科学会 専門医 日本脳神経血管内治療学会 専門医 日本脳卒中学会 専門医 日本医師会認定産業医 京都大学 医学博士	脳神経外科	

## □ 診療科の特徴

- ・脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷、機能的脳外科、脊髄疾患など脳神経外科領域全般にわたって、患者さんの入院および外来加療を行っています。
- ・脳神経外科領域の疾患では、① 緊急に点滴や手術などの濃厚な治療を受けなければ生命にかかわる救急疾患(例えば、くも膜下出血や急性期脳梗塞、重症頭部外傷など)がある一方で、② 病気は認められるものの、未だ症状は出現しておらず、予防的に手術を受けるかどうかを慎重に検討する必要がある疾患(例えば、未破裂脳動脈瘤や無症候性頸動脈狭窄、良性脳腫瘍など)もあります。
- ・当科は、①に対しては、脳卒中や頭部外傷などの脳神経外科領域の救急疾患に24時間対応し、南京都の地域救急医療に貢献していると同時に、②における治療困難な脳神経領域の疾患に対して、綿密な計画を練った集学的な治療も行っています。

## □ 主な対象疾患

- ・脳血管障害 (脳梗塞・クモ膜下出血・未破裂脳動脈瘤・脳内出血・その他の脳血管障害)
- ・脳腫瘍 (神経膠腫/グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・髄膜腫・頭蓋咽頭腫)
- ・機能的脳神経外科 (顔面けいれん・三叉神経痛)
- ・脊椎背髄疾患
- ・脳神経血管内治療
- ・神経内視鏡手術

## □ 診療(業務)内容

- ・脳血管障害 (脳梗塞に対する血行再建術・破裂および未破裂脳動脈瘤に対するクリッピング術および脳動脈奇形・脳内出血に対する開頭摘出術、内視鏡手術)
- ・頭部外傷 (血種除去術)
- ・脳腫瘍 (グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・髄膜腫・頭蓋咽頭腫) に対する摘出術
- ・頭蓋底および頸部腫瘍: 腫瘍摘出および血行再建術
- ・機能的脳神経外科 (顔面けいれん・三叉神経痛に対する神経減圧術)
- ・脊椎背髄疾患
- ・脳神経血管内治療 (脳動脈瘤塞栓、ステント設置、腫瘍塞栓、脳動脈奇形塞栓、急性期血管血行再建など)
- ・神経内視鏡手術 (下垂体腫瘍、脳室内腫瘍、水頭症、脳内出血など)

## □ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

外来患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
17.0名	257名	22.0日

1日平均患者数
25.7名

## □ 地域医療連携・広報活動

第17回脳卒中市民講座 2020年1月18日 於:京都第2赤十字病院

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会	S.Fukuda	Examination of hemodynamic environments of carotid stenosis with computational fluid dynamic	Experimental Biology 2019	Orlando	2019.4.7	2019.4.6 ~ 9
国際学会	N.Kishida	The Role of oligodendrocyte precursor cells in angiogenesis after brain ischemia	Brain & Brain Pet 2019	Yokohama	2019.7.7	2019.7.4 ~ 7
国内学会	岸田 夏枝	脳梗塞後の血管周囲タイプ のオリゴデンドロサイト前 駆細胞の役割	日本脳神経外科 学会第78回学術 総会	大阪	2019.10.9	2019.10.9 ~ 12
国内学会	川上 理	ESUSと考えられた脳梗塞に 対し急性期脳血栓回収術を 施行し塞栓源と考えられた 頸動脈病変に内膜剥離術を 施行した1例	日本脳神経外科 学会第78回学術 総会	大阪	2019.10.10	2019.10.9 ~ 12
国内学会	福田 俊一	NHO Carotid CFD Study Group.人工的画像ブランク 除去による狭窄前血管形状 再現法を用いた片側性頸動 脈狭窄症における狭窄前血 行力学相違の検討	日本脳神経外科 学会第78回学術 総会	大阪	2019.10.11	2019.10.9 ~ 12

国内学会	青木 友和	悪性脳腫瘍のadvance care planning(人生会議)と緩和ケアの現状と問題点	日本脳神経外科学会第78回学術総会	大阪	2019.10.11	2019.10.9 ~ 12
国内学会	川上 理, 土井 健人, 塚原 徹也, 福田 俊一	経動脈的低濃度NBCAの持続的塞栓術にて根治が得られた上矢状洞部硬膜動静脈瘻の治療経験	第35回日本脳神経血管内治療学会学術総会	福岡	2019.11.21	2019.11.21 ~ 23
国際学会	Tomokazu Aoki	Phase I / II Study of Temozolomide Plus Nimusine Chemotherapy for Recurrent Malignant Gliomas: Kyoto Neuro-oncology Group	Scientific Meeting and Education Day of the Society for Neuro-Oncology	Phoenix, Arizona	2019.11.23	2019.11.20 ~ 24
国内学会	青木 友和	初発膠芽腫に対するTMZ+BEV併用放射線科学療法+再発後BEV継続投与BIOMARK試験結果	第37回日本脳腫瘍学会学術集会	石川	2019.12.2	2019.12.1 ~ 3
国際学会	Shunichi Fukuda	Wall Shear Stress Disturbances May Be Key Requirements for Cerebral Aneurysm Growth: Computational Flow Dynamic Analysis of 15 Cases in NHO CFD ABO Study	International Stroke Conference (ISC) 2020	Los Angeles California	2020.2.19	2020.2.19 ~ 21
国際学会	Shunichi Fukuda	Evaluation of Pre-Stenotic Hemodynamic Differences in Unilateral Carotid Stenosis After Artificial Carotid Plaque Removal	International Stroke Conference (ISC) 2020	Los Angeles California	2020.2.20	2020.2.19 ~ 21

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行..
英文論文	塚原 徹也	Trends in cerebrovascular surgery and interventions	ACTA Neurochirurgica(Milan) Supplement				Eposito Giuseppe, Regli Luca, Cenzato Marco, Kaku Yasuhiko, Tanaka Michihiro, Tetsuya Tsukahara, (Eds.)	Springer	in press
英文論文	塚原 徹也	History of the European-Japanese Cerebrovascular Congress	ACTA Neurochirurgica(Milan) Supplement				Eposito Giuseppe, Regli Luca, Cenzato Marco, Kaku Yasuhiko, Tanaka Michihiro, Tetsuya Tsukahara, (Eds.)	Springer	in press
英文論文	岸田 夏枝	Role of Perivascular Oligodendrocyte Precursor Cells in Angiogenesis After Brain Ischemia.	J Am Heart Assoc.	8		e011824		JAHA	2019.4.25
英文論文	西川 智文, 福田 俊一	Daily Habit of Water Intake in Patients with Cerebral Infarction before its Onset; Comparison with a Healthy Population: A Cross-Sectional Study	Cerebrovasc Dis	47	3-4	143-150		Karger Publishers	2019.5
英文論文	福田 俊一	Differences in Cerebral Aneurysm Rupture Rate According to Arterial Anatomies Depend on the Hemodynamic Environment.	AJNR Am J Neuroradiol 2019	40	5	834-839		AJNR	2019.5.1

英文論文	福田 俊一, 塚原 徹也	Postoperative ischemic events in patients undergoing carotid artery stenting using algorithmic selection for embolic protection.	Neuroradiol J	32	4	294-302		PubMed	2019.8
英文論文	福田 俊一, 塚原 徹也	Endovascular treatment of acute ischaemic stroke in octogenarians and nonagenarians compared with younger patients.	Neuroradiol J	32	4	303-308		PubMed	2019.8
英文論文	福田 俊一	Review on the formation and growth of cerebral aneurysms.	J Biorheol	33	2	43-52		J Biorheol	2019.10.31
英文論文	福田 美雪, 福田 俊一, 丹羽 陽子, 浅原 哲子, 長谷川 浩二, 島津 章, 塚原 徹也	Disruption of P2X4 Purinoceptor Suppresses the Inflammation Associated with Cerebral Aneurysm Formation.	J Neurosurg			1-13		PubMed	2019.12.20

# 血管外科



診療科長  
浅田 秀典

専門医資格等 心臓血管外科専門医  
日本外科学会専門医  
日本脈管学会評議員  
旭川医科大学 医学博士

専門分野 血管外科(閉塞性動脈硬化症、動脈瘤、急性動脈閉塞、血管炎、血管外傷に対する各種血行再建術)、  
静脈、リンパ疾患

## □診療科の特徴

- あらゆる診療科や地域医療機関で直面した血管疾患の問題に迅速に対応してまいります。
- 患者さんには診療内容に対する十分な説明と満足な治療成果が得られるよう努力いたします。  
2006年(平成18年)4月に発足した、主に末梢動脈疾患に対する血行再建を担当する診療科です。  
近年、糖尿病や腎不全による慢性透析患者さんが増加するとともに、閉塞性動脈硬化症例(ASO)が増加しています。  
閉塞性動脈硬化症とは、動脈硬化による下肢血流障害により各種症状(歩行時の下肢の痛み、安静時の足の痛みおよび足部潰瘍・壊死)を生じ、最終的には下肢切断にも至る疾患です。  
このような症例には、迅速な診断とともに適切な治療が必要で、時には技術的に困難とされる足関節周囲への末梢バイパス手術と適切な局所処置が必要となります。  
当科は、京都では数少ない血管外科専門科として日々下肢血流障害の治療にあたっています。  
患者さんの多くは動脈硬化性の全身合併症があり、術前評価には循環器内科、脳神経外科、また、術前後には麻酔科はもちろん、糖尿病内科、腎臓内科、形成外科、整形外科、皮膚科などとの協力が必要で、各科連携した総合的診療を心がけています。

## □主な対象疾患

大動脈疾患(腹部大動脈瘤、大動脈解離など)  
閉塞性動脈硬化症(糖尿病合併症例、慢性透析例を含む)  
閉塞性血栓血管炎(バージャー病)  
急性動脈閉塞症(血栓症、塞栓病、外傷など)  
下肢静脈瘤、静脈(鬱滞)性潰瘍  
深部静脈血栓症、肺塞栓症  
リンパ浮腫  
血管内治療(動・静脈閉塞性疾患、動脈瘤)  
内シャント(blood access)作成

## □診療(業務)内容

外来診療は、月、水の午前・午後、木曜日午前中の週3日間実施しております。  
心疾患、脳疾患、糖尿病、腎臓病などの併存症を持っている方でも院内全体の診療科が協力し、安全で安心できる治療を行っています。

□ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
8.3名	180名	16.7日

外来患者数

1日平均患者数
9.2名

主な手術・検査の件数など

下肢末梢動脈手術	腹部大動脈瘤手術	透析内シャント手術	下肢静脈瘤手術
39件	12件	72件	2件

四肢カテーテル治療	四肢動脈造影
53件	89件

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	浅田 秀典	末梢血管手術と求める支援	第75回日本放射線技術学会	横浜	2019.4.12	2019.4.11 ~ 2019.4.14
国内学会	浅田 秀典	大腿膝窩動脈バイパスの有効性	第47回日本血管外科学会	名古屋	2019.5.24	2019.5.22 ~ 2019.5.24
研究セミナー・シンポジウム等	浅田 秀典	透析症例の下肢虚血に対してどう向き合うか～血行再建術のタイミングとその効果～	第36回京都透析症例検討会	京都	2019.11.14	2019.11.14

# 心臓外科



副院長  
令和2年4月1日より  
診療部長  
白神 幸太郎

専門医資格等 心臓血管外科専門医  
心臓血管外科修練指導者  
外科専門医  
京都大学臨床教授、非常勤講師  
専門分野 成人心臓大血管手術

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	片岡 剛	心臓血管外科専門医 外科専門医 脈管専門医	成人心臓大血管疾患	成人心臓大血管手術

## □ 診療科の特徴

京都府南部地域における循環器疾患の基幹施設として機能すべく、2011年に開設。2013年までの実績により、心臓血管外科専門医認定機構より基幹施設認定を受けた。①心臓外科診療を通して人々のお役に立つ②手術や診療の透明性を確保する③循環器診療の最後の砦となる、という3つの診療指針の下、循環器内科、血管外科、救命救急科、麻酔科との緊密な連携を維持しながら安全な医療を提供するように努力している。

## □ 主な対象疾患

虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞など）に対する冠動脈バイパス術  
弁膜症（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患など）に対する弁形成術や弁置換術、不整脈手術  
大血管疾患（胸部大動脈瘤、急性大動脈解離など）に対する人工血管置換術、ステントグラフト内挿術

## □ 診療（業務）内容

心臓大血管疾患の手術適応およびリスク評価を体系的にかつ厳密に行い、安全な手術治療を目指す。循環器内科、血管外科と共に心臓血管カンファレンスを行い、手術適応、術前リスクと治療方針の検討、周術期治療経過の報告を行い、治療の透明性を担保している。また緊急を要する症例について積極的に手術治療を行い、地域医療に貢献することを目標としている。

## □ 診療実績（令和元年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
5.1名	61名	28.8日

外来患者数

1日平均患者数
5.0名

主な手術・検査の件数など（重複あり）

虚血性心疾患手術	心臓弁膜症手術	大動脈手術	ステントグラフト手術
17件	44件	8件	16件

手術方針：当科の手術方針としては、以下の通りである。

- ①冠動脈バイパス術においては、可能な限り心拍動下手術を施行し、患者さんに与える手術の侵襲を最低限としながら最大限の効果を得ることを目標とする。
- ②心臓弁膜症に対して、特に僧帽弁手術においては、弁尖の硬化や石灰化が無い限り自己弁を温存する形成術を第一選択とする。大動脈弁については、弁尖や弁輪の石灰化のある症例が多く、確実な弁置換術を行う。
- ③大動脈手術は侵襲の低減化を図り、オープンステントグラフトや二期的ステントグラフト留置を組み合わせたハイブリッド手術も考慮する。

2019年度実績：2019年度は虚血性心疾患に対する手術17件、心臓弁膜症に対する手術44件、胸部大動脈に対する手術8件、ステントグラフト留置術16件を施行した。冠動脈バイパス術はの内訳はoff pump CABG5例、on pump CABG12例で重症例や弁膜症合併例が増加し体外循環使用症例が増加した。2019年度には1例off pump CABGを予定したが右室からの出血を認めて早期にon pumpへと移行したconversion 症例を経験した。幸い無事手術は終了し患者も良好な転帰をとった。心臓弁膜症においては可能な限り弁形成術を行うが、20例の症例において弁形成を行った弁は28弁、弁置換を施行した弁は16弁であった。大動脈手術8例のうち、急性大動脈解離に対する緊急手術は4例に、弓部大動脈に対するオープンステントグラフトは2例に施行した。これらの手術症例49例のうち、手術死亡は認められなかった。

治療成績：2019年度には手術死亡は認められなかった。手術成績を全国データベースと比較すると以下の表の通りである。実際の手術死亡率、合併症発生率を太字で表しているが、患者の臨床データから予想される予測死亡率、予測合併症発生率を下回る良好な成績を2019年も維持することができた。

	手術死亡	予測死亡率	死亡+主要合併症	予測発生率（死亡+主要合併症）
冠動脈バイパス術	<b>0%</b>	1.67%	<b>6.25%</b>	11.08%
心臓弁膜症手術	<b>0%</b>	5.50%	<b>10.00%</b>	16.33%
大動脈手術	<b>0%</b>	12.31%	<b>25.0%</b>	34.61%

## □ 地域医療連携・広報活動

医師会、救急隊を通じての広報活動を行い、他院循環器内科とも積極的に協働している。院外からの手術目的紹介症例は年々増加している。

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	片岡 剛, 浅田 秀典, 白神 幸太郎	吻合部火星瘻述語に判明した後天性血友病Aの1例	第47回 日本血管外科学会学術総会	名古屋	2019.4.24	2019年4月22～24日
国内学会	白神幸太郎	医療安全管理部門の治療介入	第14回日本医療マネジメント学会京滋支部学術集会	京都	2020.2.15	2020.2.15
国内学会	白神幸太郎	ハイリスク診療におけるコミュニケーション-心臓外科と医療安全-	第23回京滋医療安全研究会	京都	2019.7.27	2019.7.27
国内学会	白神幸太郎	ハイリスク診療におけるコミュニケーション-心臓外科と医療安全-	医療機器安全管理セミナー	福岡	2020.2.2	2020.2.2
国内学会	白神幸太郎	ハイリスク診療におけるコミュニケーション-心臓外科と医療安全-	宇治徳洲会病院医療安全研修会	宇治	2020.2.20	2020.2.20

# 皮膚科



診療科長  
十一 英子

専門医資格等 日本皮膚科学会皮膚科専門医  
京都大学医学博士  
京都大学医学部臨床教授  
京都皮膚科医会理事

専門分野 皮膚科一般  
皮膚免疫

得意疾患 乾癬、掌蹠膿疱症  
糖尿病足病変

## □ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	岡本奈都子	日本皮膚科学会皮膚科専門医	皮膚科一般	
医師	渋谷 真美	日本皮膚科学会皮膚科専門医	皮膚科一般	
医師	猪上 奈奈		皮膚科一般	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本皮膚科学会専門医研修施設 生物学的製剤使用承認施設
-------	--------------------------------

1. 乾癬、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹、掌蹠膿疱症に対して生物学的製剤による治療を行っています。
2. 糖尿病、悪性腫瘍など基礎疾患を持つ蜂窩織炎、带状疱疹などの感染症や難治性潰瘍など、総合病院の特色を生かして他科と密に連携して治療しています。
3. 地域の他病院から紹介された診断困難な症例、難治例、重症例なども多く受け入れています。

## □ 主な対象疾患

尋常性乾癬、乾癬性関節炎、掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、うつ滞性皮膚炎、蕁麻疹、薬疹、水疱症、細菌感染症（ざ瘡、蜂窩織炎、丹毒、伝染性膿痂疹、など）、ウイルス感染症（带状疱疹、単純疱疹、カポジ水痘様発疹症、尋常性疣贅など）、真菌感染症（足白癬、股部白癬、爪白癬、カンジダ症など）、皮膚潰瘍、皮膚腫瘍など

## □ 診療（業務）内容

乾癬：治療が急速に進歩し、難治の皮疹や関節炎のため生物学的製剤の治療を受ける患者さんが増えており、スクリーニング検査を行い適応を決め、投与しています。

掌蹠膿疱症：病巣感染などの原因検索を行って治療しています。

アトピー性皮膚炎：外用剤や免疫抑制剤内服で十分改善しない場合、生物学的製剤の注射を行っています。

蕁麻疹：抗アレルギー剤内服で効果不十分な場合、生物学的製剤の注射を行っています。

糖尿病に合併する皮膚疾患：糖尿病と関連した難治性足潰瘍や皮膚病変を、糖尿病科、形成外科、血管外科、整形外科、循環器科などと連携して診療しています。

带状疱疹（ヘルペス）：重症度に応じて、抗ウイルス剤の内服、或いは入院で点滴治療を行っています。

爪白癬：難治な爪の水虫には抗真菌剤の内服治療を行っています。

接触皮膚炎：かぶれの原因検索に、パッチテストを行っています。

薬疹：重症薬疹は入院で治療しています。

水疱症：天疱瘡の中等症以上では血漿交換療法や免疫グロブリン大量療法を行っています。

診断・治療のために積極的に皮膚生検を行っています。

## □ 診療実績(令和元年度)

### 入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
4.4名	80名	19.6日

### 外来患者数

1日平均患者数
75.2名

### 主な手術・検査の件数など

皮膚生検	皮膚切開術	皮膚皮下腫瘍摘出術
250件	33件	53件

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

- ・職業性接触皮膚炎—美容師の手湿疹 パッチテストでイソチアゾリノンミックスに陽性反応を示した1例  
渋谷真美, 猪上奈奈, 岡本奈都子, 十一英子  
第462回 日本皮膚科学会京滋地方会 2019年9月14日 京都
- ・魚鱗癬様菌状息肉症の1例  
猪上奈奈, 渋谷真美, 岡本奈都子, 十一英子  
第463回 日本皮膚科学会京滋地方会 2019年12月21日 京都
- ・IL-23阻害薬～基礎から臨床まで～  
十一英子 講演 Aomori Psoriasis Seminar 2019 5/21 弘前
- ・進歩するPsA診療  
十一英子 講演 PsA地域連携Seminar 2019 5/30 京都
- ・乾癬治療:IL-17阻害薬の有用性と臨床上の留意点  
十一英子 講演 北陸地方会第462回例会ランチョンセミナー 2019 6/23 金沢
- ・IL-23抗体の有用性を考える  
十一英子 講演 Psoriasis Web Conference 2019 6/28
- ・掌蹠膿疱症の臨床  
十一英子 講演 皮膚疾患フォーラムin京都 2019 7/6 京都
- ・ステララとの比較でわかるトレムフィアの特徴  
十一英子 講演 Nagoya Psoriasis Seminar 2019 2019 7/11 名古屋
- ・ステララとの比較でわかるトレムフィアの特徴  
十一英子 講演 Shizuoka Psoriasis Seminar 2019 7/23 静岡
- ・IL-23阻害薬～基礎から臨床まで～  
十一英子 講演 Psoriasis Collaborative Forum in Tsukuba 2019 2019 9/26 筑波
- ・ステララとの比較でわかるトレムフィアの特徴  
十一英子 講演 Tochigi Psoriasis Seminar 2019 10/17 宇都宮
- ・Targeting IL-23 for treatment of psoriasis  
十一英子 講演 The 44th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology Luncheon Seminar 2019 11/9 青森
- ・糖尿病と皮膚疾患～特に足病変について～  
十一英子 講演 第36回京都透析症例検討会 2019 11/14 京都
- ・乾癬の生物製剤の歴史とこれからの治療～抗IL-23抗体の役割を考える～  
十一英子 講演 Biologics Expert Symposium in Tokyo 2019 11/18 東京
- ・長期予後を見据えた乾癬治療を考える  
十一英子 講演 IL-17A Expert Meeting 2019 12/4 福井

## □ 投稿論文など

- ・小亀敏明, 渋谷真美, 岡本奈都子, 熊切将宣, 荒田順, 十一英子 成人女性の播種状黄色腫—レーザー治療で整容的改善を得た症例—  
皮膚病診療 41(4) :349-352, 2019
- ・Usui S, Kogame T, Shibuya M, Okamoto N, Toichi E. Case of multiple disseminated cutaneous lobular capillary hemangioma that developed while taking oral contraceptive pills. J Dermatol. 2019 Jun; 46(6) :e202-203. doi:10.1111/1346-8138.14762.
- ・Nomura T, Sumi E, Egawa G, Nakajima S, Toichi E, Uozumi R, Tada H, Nakagawa T, Hagiwara M, Kabashima K. The efficacy of a cyclin dependent kinase 9 (CDK9) inhibitor, FITO 39, on verruca vulgaris: study protocol for a randomized controlled trial. Trials. 2019 Aug 9; 20(1) :489. doi:10.1186/s13063-019-3507-6
- ・渋谷真美, 猪上奈奈, 岡本奈都子, 十一英子 集簇した紅色丘疹を呈した前立腺癌の皮膚転移. 皮膚病診療 41(10) :969-972, 2019

# 泌尿器科



診療部長 科長  
奥野 博

専門医資格等 日本泌尿器科学会 専門医・指導医  
日本泌尿器科内視鏡学会 代議員  
日本生殖医学会 評議員  
日本アンドロロジー学会 評議員  
日本癌治療 認定医  
日本内視鏡外科学会 技術認定医  
日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医  
同 ロボット支援手術プロテクター  
京都大学臨床教授  
関西医科大学臨床教授  
京都大学 医学博士

専門分野 泌尿器科一般

得意疾患 ロボット支援手術、前立腺癌、男性学

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	三品 睦輝	日本泌尿器科学会 専門医・指導医 日本癌治療 認定医 日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医 京都大学 医学博士	泌尿器科一般	膀胱癌 精巣癌
医 師	宮崎 有	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本癌治療 認定医 日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医	泌尿器科一般	前立腺癌 尿路結石症
医 師	内田 稔大	日本泌尿器科学会専門医	泌尿器科一般	
専 攻 医	荒木 博賢		泌尿器科一般	
専 攻 医	五十嵐 篤		泌尿器科一般	
医 師 (非常勤)	伊東 晴喜	日本泌尿器科学会 専門医・指導医 日本透析学会 専門医	泌尿器科一般	夜間頻尿
医 師 (非常勤)	真鍋 由美	日本泌尿器科学会 専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医	泌尿器科一般	女性泌尿器科学
医 師 (非常勤)	河野 仁	日本泌尿器科学会 専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医	泌尿器科一般	夜間頻尿

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本泌尿器科学会研修施設
-------	--------------

1. ロボット支援手術、体腔鏡、内視鏡をはじめとする低侵襲手術・検査(痛みが少なく入院期間を短く)により患者さんへの負担の軽減を図ります。
2. 最先端医療も積極的に取り入れます。
3. 地域の開業医、診療所、病院と積極的に医療連携を行います。
4. 患者さんの人権を尊重し、安心と満足のいく良質の医療提供を目指します。

## □ 主な対象疾患

腎臓癌、膀胱癌、前立腺癌、副腎腫瘍、前立腺肥大症、尿路結石症、過活動膀胱、夜間頻尿、尿失禁、膀胱瘤、骨盤臓器脱、男性不妊症、性機能障害、内分泌障害、尿路感染症、性感染症、小児泌尿器科、腹膜透析、慢性腎不全

## □ 診療(業務)内容

- ・尿路性器悪性腫瘍に対する集学的治療を多部門と連携し積極的に行っている
- ・ロボット支援手術を含め、体腔鏡、内視鏡をはじめとする低侵襲手術に取り組んでいる
- ・初診外来担当医は患者さんの入院、手術、退院後の診療を一貫して責任をもって受け持つ
- ・外来及び入院看護師には排尿機能検査士の取得者を配置し、専門的な医療と看護を提供
- ・外来診療:木曜は4診 火曜、金曜は3診、月曜、水曜は2診
- ・手術:月、水、金曜日の週3日間
- ・火曜日の早朝には外来カンファレンス
- ・水曜日の早朝には病理医を招いて臨床病理カンファレンス
- ・木曜日の早朝から全体回診(医師、看護師長)
- ・木曜日の朝に放射線科医を招いて放射線画像・放射線治療カンファレンス
- ・金曜日の早朝には薬剤師、看護師を交えた病棟症例カンファレンス
- ・平成19年06月～「夜間頻尿外来」開設
- ・平成23年11月～前立腺肥大症に対し、光選択的前立腺レーザー蒸散術(PVP)を導入
- ・平成26年08月～前立腺癌に対し、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘を導入
- ・平成28年04月～「女性外来」開設
- ・平成28年08月～腎臓癌に対し、ロボット支援腎部分切除術を導入
- ・平成30年08月～経皮・経尿道同時尿路結石内視鏡手術を導入
- ・平成31年02月～膀胱癌に対し、ロボット支援膀胱全摘を導入

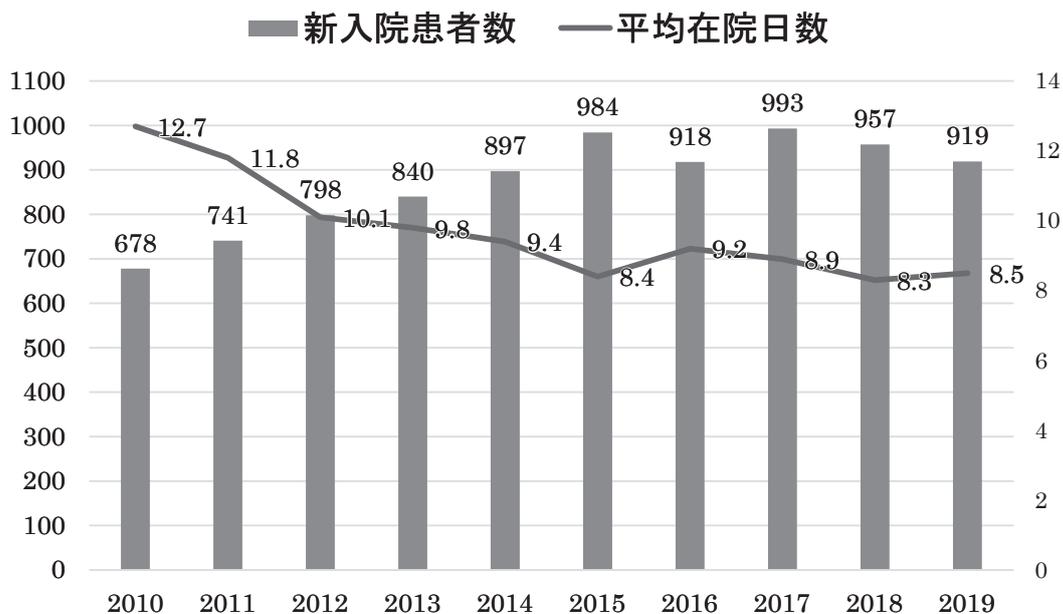
## □ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
21.4名	919名	8.5日

外来患者数

1日平均患者数
65.0名



下記は平均在院日数の計算対象外になりました。

2014年度～「前立腺針生検法」

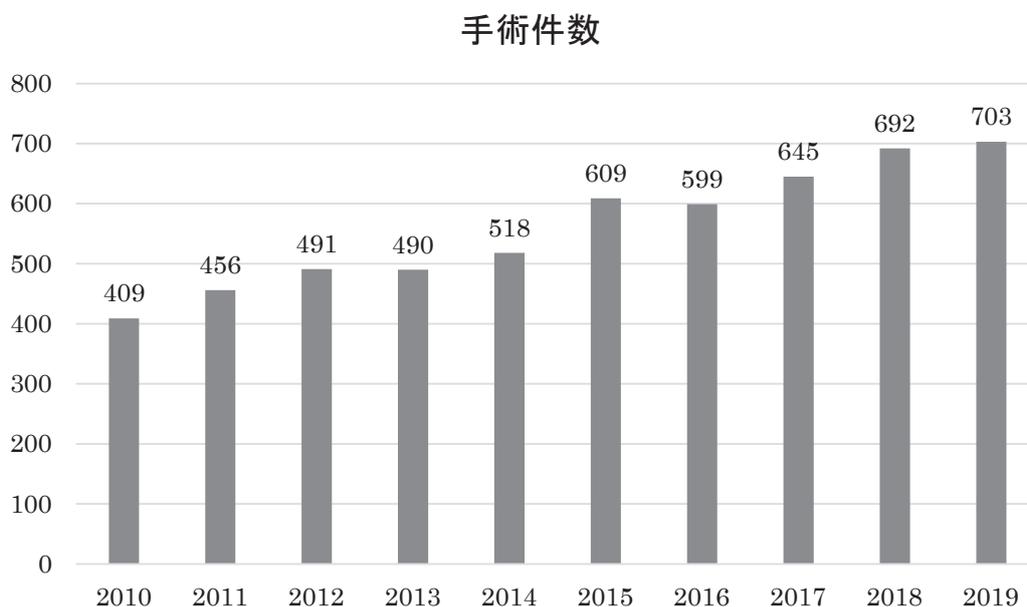
2016年度～「体外衝撃波腎・尿管結石破碎術」

主な手術・検査の件数など(2019年度) 令和元年度(2019年度) 2019.04～2020.03

ロボット支援 前立腺全摘	ロボット支援 腎部分切除術	ロボット支援 膀胱全摘	副腎腫瘍手術	腹腔鏡(後腹膜鏡)下腎 (尿管)悪性腫瘍手術	尿路結石手術
43件	12件	8件	26件	19件(腎11件 腎盂尿管8件)	90件(ECIRS9件 PNL1件 TUL45件 膀胱15件 ESWL20件)

前立腺肥大症 内視鏡手術	膀胱癌内視鏡 手術(TURBT)	骨盤臓器脱・ 尿失禁手術	前立腺針生検
85件(PVP69件 TURP16件)	131件	12件(TVM3件 TOT9件)	178件(経直腸85件 +経会陰93件)

手術統計(年度) 過去10年間の推移



## □ 地域医療連携・広報活動

第24回 内科－泌尿器科病診連携の会(藤ノ森カンファレンス)。 2019.06.22(京都・アーバンネット四条烏丸ビル6F)

テーマ「健康な排泄を考える」

- ・奥野 博：講演「排尿障害連携パス2019年版改訂の案内」
- ・特別講演Ⅰ「快適な排泄のための行動療法」～中高年に対する骨盤底筋体操の中心に～ 北海道医療大学リハビリテーション科学部 理学療法科 助教 大内みふか先生
- ・特別講演Ⅱ「痔よもやまばなし」京都医療センター 外科 松末 亮先生
- ・特別講演Ⅲ『慢性便秘症の最新診療』 東北大学大学院医学系研究科 行動医学教授 東北大学病院診療内科科長 福土 審先生

奥野 博：講演「京都市前立腺がん検診の現状」平成31年度前立腺がん検診講習会 2019年6月20日(木) 京都府医師会館

奥野 博：「手術支援ロボットダヴィンチが更新(S→X)されました」第39回がん診療セミナー 2019.07.25(京都・京都医療センター多目的ホール)

奥野 博：「実地医家のための泌尿器科診療の実践」①排尿障害をどう診てどう治療するか!②尿潜血患者の適切なマネジメント③尿路結石をどう診るか! 京都実地医家の会 2019.09.28(京都・日航プリンス京都)

奥野 博：講演「実地医家が診る泌尿器科疾患の実践」①尿潜血患者の適切なマネジメント②膀胱癌のオーバービュー③過活動膀胱をどう診るか? 南京都臨床懇話会 2019.11.06(宇治市・宇治市立ゆめりあうじ・男女共同参画支援センター)

奥野 博：講演 OAB(過活動膀胱)の治療戦略が広がりました～2019年ガイドライン改訂を中心に～伏見医師会ランチョンセミナー 2019.12.03(伏見医師会館2階ホール)

奥野 博：伏見医報「2020年を迎えて」2020年(令和2年)1月号 717号 P252

宮崎 有：講演1「肉眼的血尿」。令和元年度京都泌尿器科医会講習会「研修医のための泌尿器救急疾患に対する対応」 2019.09.14(京都・ANAクラウンプラザホテル京都)

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
研究セミナー・シンポジウム等	奥野 博	「京都市前立腺がん検診の現状」	平成31年度前立腺がん検診講習会	京都	2019.6.20	2019.6.20
研究セミナー・シンポジウム等	奥野 博	「排尿障害連携パス2019年版改訂の案内」	第24回 内科ー泌尿器科病診連携の会(藤ノ森カンファレンス)	京都	2019.6.22	2019.6.22
研究セミナー・シンポジウム等	奥野 博	「手術支援ロボットダヴィンチが更新(S→X)されました」	第39回京都医療センターがん診療セミナー	京都	2019.7.25	2019.7.25
研究セミナー・シンポジウム等	奥野 博	「実地医家のための泌尿器科診療の実践」①排尿障害をどう診てどう治療するか! ②尿潜血患者の適切なマネージメント③尿路結石をどう診るか!	京都実地医家の会	京都	2019.9.28	2019.9.28
研究セミナー・シンポジウム等	奥野 博	「実地医家が診る泌尿器科疾患の実践」①尿潜血患者の適切なマネージメント②膀胱癌のオーバービュー③過活動膀胱をどう診るか?	南京都臨床懇話会	宇治市	2019.11.6	2019.11.6
研究セミナー・シンポジウム等	奥野 博	OAB(過活動膀胱)の治療戦略が広がりました～2019年ガイドライン改訂を中心に～	令和元年度第10回伏見医師会ランチオンセミナー	京都	2019.12.3	2019.12.3
国内学会	宮崎 有, 荒木 博賢, 伊藤 克弘, 内田 稔大, 真鍋 由美, 伊東 晴喜, 三品 睦輝, 奥野 博	PSA 4-10ng/ml症例に対する不必要な生検回避は可能か? DRE・TRUS・MRI・PSAパラメータを用いた前向き研究	第107回日本泌尿器科学会総会	名古屋	2019.4.18	2019.04.18～2019.04.21
国内学会	三品 睦輝, 荒木 博賢, 伊藤 克弘, 内田 稔大, 宮崎 有, 奥野 博	後腹膜腔に発生したParagangliogliomaに対する腹腔鏡下手術	第107回日本泌尿器科学会総会	名古屋	2019.4.19	2019.04.18～2019.04.21
国内学会	伊藤 克弘, 荒木 博賢, 内田 稔大, 真鍋 由美, 宮崎 有, 伊東 晴喜, 三品 睦輝, 奥野 博	早期尿禁制獲得のための新たな工夫ー肛門挙筋を用いた後壁再建(ARVUS)の手法と成績ー	第107回日本泌尿器科学会総会	名古屋	2019.4.19	2019.04.18～2019.04.21
国内学会	内田 稔大, 荒木 博賢, 伊藤 克弘, 真鍋 由美, 宮崎 有, 伊東 晴喜, 三品 睦輝, 奥野 博	ロボット支援前立腺全摘術後の排便機能に神経温存が与える影響の検討	第107回日本泌尿器科学会総会	名古屋	2019.4.19	2019.04.18～2019.04.21
国内学会	荒木 博賢, 伊藤 克弘, 内田 稔大, 宮崎 有, 三品 睦輝, 奥野 博	当院における進行性尿路上皮癌に対するPembrolizumabの使用経験	第107回日本泌尿器科学会総会	名古屋	2019.4.20	2019.04.18～2019.04.21
研究セミナー・シンポジウム等	伊藤 克弘, 荒木 博賢, 内田 稔大, 宮崎 有, 三品 睦輝, 奥野 博	PVPにおけるIPPIは術後成績を予想するか?	第8回PVP研究会学術集会	旭川	2019.6.15	2019.6.15
研究セミナー・シンポジウム等	宮崎 有	「肉眼的血尿」	令和元年度京都泌尿器科医会講習会「研修医のための泌尿器救急疾患に対する対応」	京都	2019.9.14	2019.9.14
国内学会	内田 稔大, 伊藤 克弘, 五十嵐 篤, 荒木 博賢, 宮崎 有, 三品 睦輝, 奥野 博	ロボット支援前立腺全摘における早期尿禁制のための肛門挙筋を用いた後壁補強の有用性	第33回日本泌尿器内視鏡学会総会	京都	2019.11.22	2019.11.21～2019.11.23
国内学会	伊藤 克弘, 奥野 博	上部尿路・腎盂腫瘍に対する腹腔鏡下リンパ節郭清の治療的意義	第33回日本泌尿器内視鏡学会総会	京都	2019.11.22	2019.11.21～2019.11.23
国内学会	河野 仁	フラボノイド系化合物ノビレチンの膀胱時計遺伝子発現に対する影響	第26回日本時間生物学学会学術大会	金沢	2019.10.12	2019.10.12～2019.10.13

国内学会	荒木 博賢, 五十嵐 篤, 内田 稔大, 宮崎 有, 三品 睦輝, 奥野 博	遠隔転移の無い去勢抵抗性 前立腺癌に対して骨盤内腫 瘍摘出が有効であった1例	第242回日本泌 尿器科学会関西 地方会	河内長野市	2019.10.19	2019.10.19
研究セミナー・ シンポジウム等	五十嵐 篤, 荒木 博賢, 内田 稔大, 宮崎 有, 三品 睦輝, 奥野 博	眼内炎が受診契機となった 気腫性腎盂腎炎の1例	第270回泌尿器 科マンスリーミ ーティング	京都	2019.12.14	2019.12.14

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	伊藤 克弘	Laparoscopic radical cystectomy in octogenarians: analysis of a Japanese multicenter cohort.	International Journal of Clinical Oncology	24	9	1081-1088			2019.9
英文論文	伊藤 克弘	Complications and reoperations after laparoscopic radical cystectomy in a Japanese multicenter cohort.	International Journal of Urology	26	4	493-498			2019/4
英文論文	宮崎 有	Consecutive Prostate Cancer Specimens Revealed Increased Aldo-Keto Reductase Family 1 member C3 Expression with progression to Castration-Resistant Prostate Cancer.	Journal of clinical medicine	8	5				2020.05.

# 産科婦人科



副院長  
診療科長  
高倉 賢二  
令和2年3月31日まで

専門医資格等 日本産婦人科内視鏡学会功労会員  
日本内分泌学会 評議員  
日本受精着床学会 評議員  
京都大学博士(医学)  
京都大学医学部 非常勤講師  
京都大学医学部 臨床教授  
関西医科大学 臨床教授

専門分野 婦人科腫瘍  
産婦人科手術  
内分泌疾患の診断・治療

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医療情報部 長	北岡 有喜	日本産科婦人科学会 専門医・指導医 社会医学系専門医協会 専門医・指導医 京都大学博士(医学) 同志社大学博士(政策科学)	生殖分子生理学 医療情報学 情報システム学	
産婦人科 医 長	高尾 由美	日本産科婦人科学会 専門医・指導医 日本医師会認定産業医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 J-MELS ベーシックコースインストラクター 日本スポーツ協会公認スポーツドクター 臨床研修指導医 母体保護法指定医 京都大学博士(医学)	産婦人科一般	婦人科腫瘍 不妊症
産婦人科 医 長	安彦 郁	日本産科婦人科学会 専門医・指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本婦人科腫瘍学会 専門医 日本産婦人科内視鏡学会 技術認定医 日本内視鏡外科学会 技術認定医 日本ロボット外科学会 専門医 日本婦人科腫瘍学会 代議員 京都産婦人科医会 理事 京都大学博士(医学)	産婦人科一般	
医 師	宇治田 麻里	日本産科婦人科学会 専門医 臨床研修指導医 母体保護法指定医 京都大学博士(医学)	産婦人科一般	
医 師	天野 泰彰	日本産科婦人科学会 専門医・指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本婦人科腫瘍学会 専門医 臨床研修指導医 母体保護法指定医 京都大学博士(医学)	産婦人科一般	
医 師	江本 郁子	日本産科婦人科学会 専門医・指導医 日本産科婦人科学会 女性のヘルスケアアドバイザー 日本周産期新生児医学会 周産期専門医(母体・胎児) 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 J-MELS ベーシックコースインストラクター 臨床研修指導医 母体保護法指定医	産婦人科一般	

医 師	渡部 光一	日本産科婦人科学会専門医	産婦人科一般	
医 師	鈴木 直宏	日本産科婦人科学会専門医 J-MELS ベーシックコースインストラクター 日本周産期・新生児医学会 新生児蘇生法「一次」コース(Bコース)インストラクター	産婦人科一般	
レジデント	池田 愛紗美		産婦人科一般	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本産科婦人科学会 総合型専攻医指導施設 日本婦人科腫瘍学会 指定修練施設 日本周産期・新生児医学会 母体胎児指定施設 日本産科婦人科内視鏡学会 認定研修施設 臨床遺伝専門医制度 認定研修施設
-------	--

～産科～

安全で、妊婦さんひとりひとりが心から満足いく分娩を提供します。

女性にとって、お産は重要なイベントです。そして、それぞれのお産についての妊産婦さんの考えや要望は年々変化してきています。私たちは、お産の質の向上、および医療者側のお産に対する的確な対応が、ますます大切なものとなってきていると考えています。

～婦人科～

女性の社会進出に伴い、外来治療や低侵襲手術（腹腔鏡手術や腔式手術、小開腹手術）を推進し、早期の社会復帰を目指します。充実した診療スタッフにより、幅広い婦人科疾患に対して対応可能です。特に、婦人科がんに対してハイレベルな診療を行います。

## □ 診療（業務）内容

～産科～

- 妊婦健診では、一般的な健診のみならず、病棟助産師が立ち会い、継続して保健指導を行い、生活指導なども適宜行っています。
- 分娩（出産）は、自然分娩を尊重しながらも、合併症や急変に対しても、小児科（NICU）・内科・麻酔科などとも連携をとり、チームワークで対応します。  
合併症妊娠やハイリスク妊娠の症例も多く取り扱っています。平成30年度（2018年度）の周産期救急搬送（母体搬送）の受け入れ件数は23件で地域の周産期救急にも積極的に貢献しています。医学的根拠に基づいた安全で安心なお産を提供すべく、日々努力しています。
- 産前・産後の母乳ケアを行い、母乳育児をサポートします。

～婦人科～

- 治療前のインフォームド・コンセントを重視します  
十分な説明を行い、納得いただいたうえで治療を行うことにより、満足の得られる医療を行うことを診療のモットーとしています。また、疾患について画一化された治療を行うのではなく、それぞれの患者さんの身体的・精神的・社会的状況や希望なども十分ふまえたうえで治療方針を決定します。
- 幅広い婦人科疾患に対応します  
充実した診療スタッフにより、良性疾患から悪性疾患まで幅広く婦人科疾患に対応可能です。
- 低侵襲手術を行います  
女性の社会進出に伴い、入院期間・自宅療養期間の短縮が求められています。そのような社会のニーズに応えるため、悪性（癌）の疑いのない腫瘍に対しては、積極的に低侵襲手術（腹腔鏡下手術、腔式手術、小開腹手術）を行い、早期の社会復帰を目指します。

#### 4. 悪性腫瘍に対してハイレベルな診療を行います

京都府のがん診療拠点病院および日本婦人科腫瘍学会指定修練施設に認定されており、悪性腫瘍に対する診療経験が豊富にあります。常に最新の情報に基づいて、他科と連携してハイレベルな治療を行います。子宮頸癌に対する神経温存広汎性子宮全摘術に関しては2007年から先駆けて行っています。卵巣癌、子宮体癌に対しても、傍大動脈リンパ節郭清までの必要十分な手術を行う一方で、緻密な出血量の少ない手術操作により術後合併症を回避し、術後早期回復をはかります。また腹腔鏡下悪性腫瘍手術も行っています。リンパ浮腫専門外来を擁し、退院後のQOLにも配慮した診療を行います。

#### 5. 更年期からの健康管理を推進します

直面する超高齢化社会においては、元気な老後を迎えられるよう更年期(50歳前後)からの健康管理が重要になります。更年期障害や骨粗鬆症などの女性特有の疾患に対応するため更年期からの健康管理を推進します。

### □ 診療実績(令和元年度)

#### 入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
21.7名	1,256名	6.3日

#### 外来患者数

1日平均患者数
50.8名

#### 主な手術・検査の件数など

分娩件数	帝王切開件数	婦人科開腹手術	悪性腫瘍手術
309件	91件	113件	77件
腹腔鏡下+ロボット手術	腔式手術		
208件	154件		

### □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	安彦 郁, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 江本 郁子, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	子宮吊り上げ後方アプローチ式腹腔鏡下広汎子宮全摘出の術者間再現性について	第42回日本産婦人科手術学会・第8回日本婦人科ロボット手術学会	京都	2020.2.23	2020.2.23
国内学会	安彦 郁	腹腔鏡下広汎子宮全摘出術の新たなアプローチ①「後方アプローチ腹腔鏡下広汎子宮全摘」	第12回関西腹腔鏡下婦人科悪性腫瘍会議	京都	2020.2.1	2020.2.1
国内学会	安彦 郁, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 江本 郁子, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	子宮体癌鏡視下手術導入と一般化 -京都医療センターの場合-	第二回産婦人科骨盤内手術手技研究会	京都	2019.11.29	2019.11.29
国内学会	江本 郁子, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 安彦 郁, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	アンドロゲン不応症の1例～遺伝カウンセリングから性腺摘出術～	第20回京都女性のヘルスケア研究会	京都	2019.11.16	2019.11.16
国内学会	宇治田 麻里, 安彦 郁, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 江本 郁子, 天野 泰彰, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	当院で経験した異所性妊娠症例の検討と考察	京都産科婦人科学会 令和元年度学術集会	京都	2019.10.19	2019.10.19

国内学会	池田 愛紗美, 安彦 郁, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 江本 郁子, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	単孔式腹腔鏡下付属器摘出術を行った卵巣腫瘍の二例	京都産科婦人科学会 令和元年度学術集会	京都	2019.10.19	2019.10.19
国内学会	高尾 由美, 山村 幸, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 高倉 賢人, 江本 郁子, 宇治田 麻里, 安彦 郁, 高倉 賢二, 小西 郁生	Mayer-Rokitansky-Kuster-Hauser症候群に対する腹腔鏡補助下造腔術(Davydov法)を施行した1例	第59回日本産科婦人科内視鏡学会	京都	2019.9.13	2019.9.12 ~ 9.14
国内学会	江本 郁子, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 宇治田 麻里, 安彦 郁, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	腹腔鏡下性腺摘出術を行ったアンドロゲン不応症の1例	第59回日本産科婦人科内視鏡学会	京都	2019.9.13	2019.9.12 ~ 9.14
国内学会	渡部 光一, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 江本 郁子, 宇治田 麻里, 安彦 郁, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	子宮頸部上皮内病変に対してTLH後に判明した子宮体癌と卵巣癌の重複癌の一例	第59回日本産科婦人科内視鏡学会	京都	2019.9.13	2019.9.12 ~ 9.14
国内学会	池田 愛紗美, 安彦 郁, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 江本 郁子, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	当施設における異所性妊娠手術の後方視的検討	第59回日本産科婦人科内視鏡学会	京都	2019.9.13	2019.9.12 ~ 9.14
国内学会	天野 泰彰	術中大量出血を生じたTLHの一例とその後の当院の安全性向上への取り組みについての報告	第59回日本産科婦人科内視鏡学会	京都	2019.9.13	2019.9.12 ~ 9.14
国際学会	Asami Ikeda, Ken Yamaguchi, Abiko Kaoru, Naohiro Suzuki, Koichi Watanabe, Ikuko Emoto, Mari Ujita, Yumi Takao, Hajime Yamakage, Noriko Satoh-Asahara, Mandai Masaki, Kenji Takakura, and Ikuo Konishi	Serum lactate dehydrogenase is a possible predictor of platinum resistance in ovarian cancer	The 6th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncology	Incheon, Korea	2019.10.11	2019.10.10-12
国内学会	安彦 郁	腫瘍別シンポジウム 婦人科がんの発生・病態・治療に関する最新の知見	第78回癌学会	京都	2019.9.27	2019.9.26-28
国内学会	安彦 郁	卵巣癌におけるMDSCを標的とした免疫療法の可能性	第78回癌学会	京都	2019.9.27	2019.9.26-28
国内学会	安彦 郁	BRCA変異のないマウス卵巣癌モデルの抗腫瘍免疫に対するPARP阻害薬オラパリブの影響についての検討	第51回 日本臨床分子形態学会学術集会	久留米	2019.9.21	2019.9.20-21
国内学会	安彦 郁	ワークショップ「画像診断ピットフォール:疾患編」「外陰・膣の腫瘍」	JSAWI 2019	淡路	2019.9.7	2019.9.6-7
国内学会	池田 愛紗美, 安彦 郁, 大堂 さやか, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 江本 郁子, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	高度な石灰化を示した巨大子宮肉腫の一例	JSAWI 2019	淡路	2019.9.7	2019.9.6-7
国内学会	江本 郁子	妊娠糖尿病の周産期管理におけるリスク因子トリアージ	第43回日本女性栄養・代謝学会	神戸	2019.9.6	2019.9.5-6
国内学会	江本 郁子	女兒妊娠は妊娠糖尿病既往女性の産褥早期の耐糖能異常のリスク因子である	第43回日本女性栄養・代謝学会	神戸	2019.9.6	2019.9.5-6
国内学会	鈴木 直宏	常位胎盤早期剥離様の症状と危機的出血を認めた正所・頸管同時妊娠の一例	第55回日本周産期・新生児医学会学術集会	松本	2019.7.15	2019.7.13-15
国内学会	山口 建	人工知能を用いた分娩時大量出血症例における凝固障害の概念の説明:第1報	第55回日本周産期・新生児医学会学術集会	松本	2019.7.15	2019.7.13-15
国内学会	山口 建	人工知能を用いた分娩時大量出血症例における凝固障害の概念の説明:第2報	第55回日本周産期・新生児医学会学術集会	松本	2019.7.15	2019.7.13-15

国内学会	Kaoru Abiko, Ken Yamaguchi	A case of clear cell carcinoma of the uterine cervix associated with venous thromboembolism	第61回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	新潟	2019.7.5	2019.7.4～7.6
国内学会	江本 郁子, 池田 愛紗美, 高倉 賢人, 安彦 郁, 山口 建, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	子宮頸部上皮内病変の術後に判明した子宮体癌と卵巣癌の重複癌の一例	第61回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	新潟	2019.7.5	2019.7.4～7.6
国内学会	池田 愛紗美, 山口 建, 山村 幸, 高倉 賢人, 江本 郁子, 宇治田 麻里, 安彦 郁, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	卵巣がんにおける血清LDHはプラチナ製剤耐性の予測因子となり得る	第61回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	新潟	2019.7.5	2019.7.4～7.6
国内学会	池田 愛紗美, 山口 建, 山村 幸, 高倉 賢人, 江本 郁子, 宇治田 麻里, 安彦 郁, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	ドロスピレノン・エチニルエストラジオール配合薬が有効であった月経前不快気分障害の2症例	第140回近畿産科婦人科学会学術集会	大阪	2019.6.16	2019.6.15-16
国際学会	Yamaguchi K	Effect of breastfeeding on insulin resistance during early postpartum period in Japanese obese women with gestational diabetes.	10th International Symposium on Diabetes, Hypertension, Metabolic Syndrome and Pregnancy (DIP)	Florence, Italy	2019.5.30	2019.5.29-6.2
国内学会	山村 幸, 江本 郁子, 山口 建, 池田 愛紗美, 高倉 賢人, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	分娩後に診断した常位胎盤早期剥離の後方視的検討	第71回日本産科婦人科学会学術講演会	名古屋	2019.4.12	2019.4.11～4.14
国内学会	池田 愛紗美, 山口 建, 山村 幸, 高倉 賢人, 江本 郁子, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	血清LDH値は卵巣がんのプラチナ製剤感受性を予測する因子となり得る	第71回日本産科婦人科学会学術講演会	名古屋	2019.4.12	2019.4.11～4.14
国内学会	山口 建	胎児発育不全における周産期予後不良の予測因子としての胎児頭囲／腹囲比の検討	第71回日本産科婦人科学会学術講演会	名古屋	2019.4.12	2019.4.11～4.14
国内学会	山口 建, 川崎 薫	妊娠糖尿病妊婦の合理的管理を目的としたリスク因子トリアージ	第71回日本産科婦人科学会学術講演会	名古屋	2019.4.12	2019.4.11～4.14
国内学会	山口 建	人工知能を用いた分娩時大量出血のフィブリノゲンとFDPの境界値	第71回日本産科婦人科学会学術講演会	名古屋	2019.4.12	2019.4.11～4.14
国内学会	山口 建	人工知能によるクラスタ分類を用いた分娩時大量出血例における血液凝固障害の概念と産科DICスコアの弱み	第71回日本産科婦人科学会学術講演会	名古屋	2019.4.12	2019.4.11～4.14
国際学会	Yamaguchi K	Fetal sex is associated with early postpartum glucose intolerance in women with gestational diabetes.	Society for Reproductive Investigation, 66th Annual Scientific Meeting	Paris, France	2019.3.14	2019.3.12-16
国際学会	Yamaguchi K	Appropriate gestational weight gain to prevent excessive postpartum weight retention in women with gestational diabetes with normal prepregnancy weight.	Society for Reproductive Investigation, 66th Annual Scientific Meeting	Paris, France	2019.3.14	2019.3.12-16
国際学会	Yamaguchi K	The fetal head/abdominal circumference ratio as a predictor of adverse perinatal outcomes in growth-restricted fetuses.	Society for Reproductive Investigation, 66th Annual Scientific Meeting	Paris, France	2019.3.14	2019.3.12-16

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	山口 建	High-intensity breastfeeding improves insulin sensitivity during early post-partum period in obese women with gestational diabetes.	Diabetes Metab Res Rev.	35	4	e3127-e			2019.5
英文論文	渡部 光一, 安彦 郁	Aggressive adult granulosa cell tumor of the ovary without a FOXL2 mutation: A case report.	The journal of obstetrics and gynaecology research.	45	7	1404-9			2019.7
英文論文	山口 建	New method for determining fibrinogen and FDP threshold criteria by artificial intelligence in cases of massive hemorrhage during delivery.	The journal of obstetrics and gynaecology research.	46	2	256-265			2020.2
英文論文	山口 建	Primary retroperitoneal squamous cell carcinoma: a case report with review of the literature.	Int Cancer Conf J.	8	2	61-5			2019.4
英文論文	川崎 薫	Metabolomic Profiles of Placenta in Preeclampsia.	Hypertension (Dallas, Tex : 1979).	73	3	671-9			2019.3
英文論文	山口 建	Association between socioeconomic status and small-for-gestational-age in Japan: A single center retrospective cohort study.	The journal of obstetrics and gynaecology research.	46	1	110-118			2020.1
英文論文	山口 建, 安彦 郁	Anti-VEGF Therapy Resistance in Ovarian Cancer is Caused by GM-CSF-Induced Myeloid-Derived Suppressor Cell Recruitment.	British Journal of Cancer 2020 (in press)						2020
英文論文	山口 建, 安彦 郁	Acquisition of a side population fraction augments malignant phenotype in ovarian cancer.	Scientific Reports 2019	9	1	14215			2019.10
英文論文	安彦 郁	Hysteroscopic morphological pattern reflects histological grade of endometrial cancer.	J Obstet Gynaecol Res.	45	8	1479-1487			2019.8

英文論文	安彦 郁	The efficacy of secondary cytoreductive surgery for recurrent ovarian, tubal, or peritoneal cancer in Tian-model low-risk patients.	J Gynecol Oncol.	30	6	e100			2019.11
英文論文	山口 建, 安彦 郁	Phosphorylation of STAT1 serine 727 enhances platinum resistance in uterine serous carcinoma.	Int J Cancer.	145	6	1635-1647			2019.9
英文論文	安彦 郁	Solitary fibrous tumor arising from pelvic retroperitoneum: A report of two cases and a review of the literature.	J Obstet Gynaecol Res.	45	7	1391-1397			2019.7
英文論文	安彦 郁	Frequency and risk factors of thoracic metastases and optimisation of the use of cross-sectional chest imaging in follow-up patients with cervical cancer.	Clin Radiol.	74	4	326			2019.4
英文論文	山口 建, 安彦 郁	VISTA expressed in tumour cells regulates T cell function.	Br J Cancer.	120	1	115-127			2019.1
英文論文	山口 建, 川崎 薫	妊娠糖尿病治療の施設間格差と児の出生体重	糖尿病と妊娠	19	2	S65-S66			2019.8
英文論文	山口 建, 川崎 薫	国立病院機構前方視的多施設共同コホート研究「日本人妊娠糖尿病既往女性の産褥5年の糖尿病発症の実態と発症関連リスク因子および予防的因子の解明」	糖尿病と妊娠	19	2	S65-S66			2019.8
英文論文	山口 建,	国立病院機構前方視的多施設共同コホート研究「日本人妊娠糖尿病既往女性の産褥5年の糖尿病発症の実態と発症関連リスク因子および予防的因子の解明」	糖尿病と妊娠	19	2	S39-S40			2019.8

# 緩和ケア科



診療科長  
青木 友和

専門医資格等 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医 指導医、地方会評議員  
日本脳卒中学会 脳卒中専門医  
日本癌治療学会 暫定教育医 脳腫瘍ガイドライン作製委員  
アメリカ癌治療学会(ASCO)会員 PEACE緩和ケア指導者  
京都大学医学博士  
京都大学医学部非常勤講師

専門分野 脳腫瘍(悪性)、下垂体腫瘍、顔面けいれん、三叉神経痛、  
緩和ケア

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	木下 多愛	日本緩和医療学会 認定医 日本麻酔科学会 専門医 麻酔科標榜医 PEACE緩和ケア指導者	緩和ケア 麻酔	
非常勤医師	土屋 宣之	PEACE緩和ケア 指導者 京滋緩和ケア研究会世話人 日本がん治療認定医機構 暫定教育医 日本臨床検査医学会 臨床検査管理医 京都府医師会がん登録委員会 委員 日本外科学会 認定医	緩和ケア 胃腸 肝臓 乳腺	
音楽療法士	飯塚 三枝子	臨床音楽協会 理事 臨床音楽・音楽療法・ヴィオリスト	音楽療法	
音楽療法士	谷口 奈緒美	日本音楽療法学会認定音楽療法士	音楽療法	
アロマセラピスト	畑 亜紀子	IFPA(The International Federation of Professional Aromatherapists) 認定アロマセラピスト (公社)アロマ環境協会認定アロマセラピスト /アロマインストラクター	アロマセラピー	

## □ 診療科の特徴

施設認定等 日本緩和医療学会

## □ 主な対象疾患

癌一般

## □ 診療(業務)内容

1. 与えられた構造の中での環境整備(視覚(照明、花木)、聴覚(院内放送の個室制限)など)
2. 利用者の価値観や生き方を尊重するためにことさら根気と丁寧さを要するケア、自立性を奪われていく困難と苦痛の中で行われるケア
3. 上記のような場を提供・俯瞰、特殊な感情労働に従事するケアスタッフへの目配り
4. 場の提供に続いてそこで有意義な時間空間を作る力を持った利用者や家族の選択のために入棟の適応の可否を判定員会で議論検討する。

5. 目的としてではなく手段としての症状緩和、薬剤による対処療法の役割は限定的である。たとえ症状緩和に成功しなくとも生きる場所を提供できる可能性もある。自宅に遠く及ばなくとも、多職種による行事企画や音楽療法、アロマセラピー、食事への気配り、家人への配慮を通してかけがえない時間を過ごす場を作りうる。あくまで我々は触媒でしかないのだが。
6. 在宅への橋渡し、レスパイト入院への門戸開放
7. 遺族への配慮：訪問遺族の傾聴に時間をかける他に遺族会、遺族への書状を通して継続的な関わりを試みる
8. 緩和ケアチームを中心とした、一般病棟、地域医療への貢献

## □ 診療実績 (令和元年度)

### 緩和ケア内科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
7.4名	14名	57.4日

### 緩和ケア内科外来患者数

1日平均患者数
0.4名

### 緩和ケア外科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
8.3名	29名	38.3日

### 緩和ケア外科外来患者数

1日平均患者数
1.7名

## □ 学術活動報告 (学会・研究発表など)

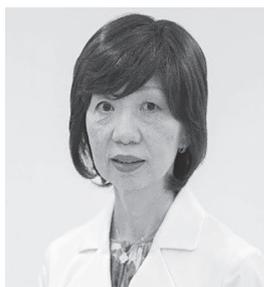
分類	演者 (当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	青木 友和	悪性脳腫瘍のadvance care planning (人生会議)と緩和ケアの現状と問題点	日本脳神経外科学会第78回学術総会	大阪	2019.10.11	2019.10.9 ~ 10.12
国際学会	Tomokazu Aoki	Phase I/II Study of Temozolomide Plus Nimusine Chemotherapy for Recurrent Malignant Gliomas:Kyoto Neuro-oncology Group	Scientific Meeting and Education Day of the Society for Neuro-Oncology	Phoenix, Arizona, USA	2019.11.23	2019.11.20 ~ 11.24
国内学会	青木 友和	初発膠芽腫に対するTMZ+BEV併用放射線化学療法+再発後BEV継続投与BIOMARK試験結果	第37回日本脳腫瘍学会学術集会	石川	2019.12.2	2019.12.1 ~ 12.3
国内学会	下郷 麻衣子	終末期がん患者が訴える口渇感と口腔粘膜湿度度の関連	第16回日本口腔ケア学会総会・学術大会	名古屋	2019.4.27	2019.4.27 ~ 2019.4.28
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	栄養と嚥下のための口腔ケア	令和元年度 京都南口腔ケアセンター所員衛生士ステップアップセミナー1	京都	2019.5.25	2019.5.25
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	病棟での口腔ケア		京都医療センター (1-8病棟)	2019.6.4	2019.6.4
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	入院患者に対する口腔ケア～口腔ケアの目的と効果～	NST勉強会	京都医療センター (多目的)	2019.6.10	2019.6.10
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	骨転移がん患者における骨吸収抑制薬と顎骨骨髄炎・顎骨壊死	臨床研究部・がん診療部講演会	金沢	2019.6.12	2019.6.12
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死 (ARONJ)Stage3の激痛に対して多職種連携し保存的療法で自宅退院後も良好な疼痛コントロールが得られた一例	第24回 日本緩和医療学会学術大会	横浜	2019.6.21	2019.6.20 ~ 2019.6.22

研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	口腔の評価方法	令和元年度 京都南口腔ケアセンター所員衛生士ステップアップセミナー 2	京都	2019.8.24	2019.8.24
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	骨転移がん患者における骨吸収抑制薬と最新の顎骨骨髄炎・顎骨壊死防止対策	骨転移マネジメントセミナー～緩和照射・骨修飾薬の意義と時期と対象を再考する～	京都教育文化センター	2019.9.13	2019.9.13
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	周術期等口腔機能管理	令和元年度 京都南口腔ケアセンター所員衛生士ステップアップセミナー 3	京都	2019.11.16	2019.11.16
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	終末期の口腔ケア	令和元年度 京都南口腔ケアセンター所員衛生士ステップアップセミナー 4	京都	2020.2.22	2020.2.22
国内学会	下郷 麻衣子	南口腔ケアセンター所員衛生士ステップアップセミナープロジェクトの実施報告～令和になって、南口腔ケアセンターの新たな取り組み～	第32回下西集談会	京都	2020.2.29	2020.2.29
国内学会	畑 亜紀子	禁煙治療におけるアロマセラピー併用療法臨床研究の立ち上げ	第14回禁煙科学学会学術総会	大阪	2019.9.21	2019.9.21～9.22
研究セミナー・シンポジウム等	畑 亜紀子	すぐに使えるアロマ講座(癒やしから看護まで)	京都府看護協会主催「看護助産学校看護学科第15回生ホームカミング」	京都	2019.6.8	2019.6.8
研究セミナー・シンポジウム等	畑 亜紀子	稲荷山病院職員向け教育講演「医療の中のアロマセラピーの役割」	武田病院グループ稲荷山武田病院看護部	京都	2019.7.4, 7.18, 10.17, 10.31	2019.7.4～10.31
研究セミナー・シンポジウム等	畑 亜紀子	がんとアロマセラピー	2019年度地域がん診療連携拠点病院がん看護研修	京都	2019.11.2	2019.11.2, 11.23
研究セミナー・シンポジウム等	飯塚 三枝子	『歌い、奏で、溢れる思いで人は生きる』	仏教大学保険技術学部	京都	2019.12.4	
研究セミナー・シンポジウム等	飯塚 三枝子	医療現場における音楽。音楽療法士と音楽家の出来る事』	大阪教育大学音楽学部	大阪	2019.12.19	
研究セミナー・シンポジウム等	飯塚 三枝子	ターミナルケア『人は音楽と共に生きてきた』	京都光華女子大学健康科学部	京都	2020.1.20	

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	Akiko Hata	Effect of aromatherapy massage on quality of sleep in the palliative care ward: a randomized controlled trial	Journal of Pain and Symptom Management	inpress, Jan.2020					2020.1
和文原著論文	畑 亜紀子	病室の“におい” どう配慮すればいい?	消化器ナーシング	25	3	60-63		メディカ出版	2020.3

# 眼科



診療部長  
喜多 美穂里

専門医資格等 京都大学眼科臨床教授  
京都大学眼科非常勤講師  
日本眼科学会認定 眼科指導医  
日本眼科学会認定 眼科専門医  
PDT認定医  
Best Doctors (2012-2020)

専門分野 網膜硝子体疾患  
内視鏡併用硝子体手術

得意疾患 網膜剥離  
糖尿病網膜症

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	濱 祥代	日本眼科学会専門医	眼科一般	
医師	山田 裕史	日本眼科学会専門医	眼科一般	
医師	日下 真実		眼科一般	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本眼科学会研修施設
-------	------------

- ・科長交代があった2012年より、手術・検査機器を整備し、網膜硝子体手術を本格始動いたしました。
- ・当院眼科は、白内障手術を多く手掛けること、網膜硝子体疾患に強いことが特長です。
- ・最新硝子体・白内障手術装置、広角観察システム、眼内シャンデリア照明、眼内内視鏡、3Dビジュアルシステムを用いた小切開硝子体手術で、糖尿病網膜症・網膜剥離・増殖硝子体網膜症などの高難度の網膜硝子体疾患の治療を行っています。
- ・2012年4月より新しく保険収載となった眼内内視鏡硝子体手術を積極的に行っています。内視鏡手術では、国内外で先駆的な役割を果たしています。
- ・眼科全般に、高度で最新の医療を提供します。
- ・新しい治療方法・手術機器の開発や、手術成績などに関して、国内外に情報を発信し、他施設との連携を密に行い、毎日の診療の場に還元できるように努力しています。
- ・糖尿病網膜症：当院がWHO指定の糖尿病センターであることもあり、当院糖尿病センター・内分泌代謝疾患センターと連携して、糖尿病患者さんの網膜症診療を担当しています。病気の進行を定期的にチェックし、必要に応じて、レーザーによる網膜光凝固術や、合併症である白内障や糖尿病網膜症に対し、手術治療を行います。
- ・未熟児網膜症：NICUを有する当院小児科と連携して、未熟児の重篤な合併症である網膜症に対し、赤ちゃんの視力を守るための検査・治療を行います。

## □ 主な対象疾患

- ・網膜剥離・増殖硝子体網膜症・糖尿病網膜症・黄斑円孔・黄斑上膜・黄斑浮腫・加齢黄斑変性などの網膜硝子体疾患
- ・白内障全般、緑内障全般
- ・感染症および非感染性ぶどう膜炎・眼内炎・角膜炎、視神経疾患

## □ 診療（業務）内容

1. “見える”というゴールを目標に、全身の一部としての眼科治療をめざします

眼科的疾患のほかにも様々な全身疾患を併せ持つ患者さんにも、手術をはじめ、様々な治療を安全に効率良く提供し、より良い視力の獲得にむけて努力しています。

2. 地域医療の一翼として、開業医や他病院の先生方と協力し、より良い医療の提供をめざします

さまざまな医療資源を備える総合病院として、ホームドクターの先生との連携のもと、より高度な医療の提供に努力しています。内視鏡硝子体手術をはじめとする先進的医療の実践に努めます。

3. メディカルスタッフ一丸となって、安心して確かな医療を実践します

医師、看護師、視機能訓練士、メディカルクラーク等のチームワークを大切に、各々の職種が全力で日々切磋琢磨し、安心して確かな医療を受けていただけるように努力しています。

## □ 診療実績（令和元年度）

### 入院患者数

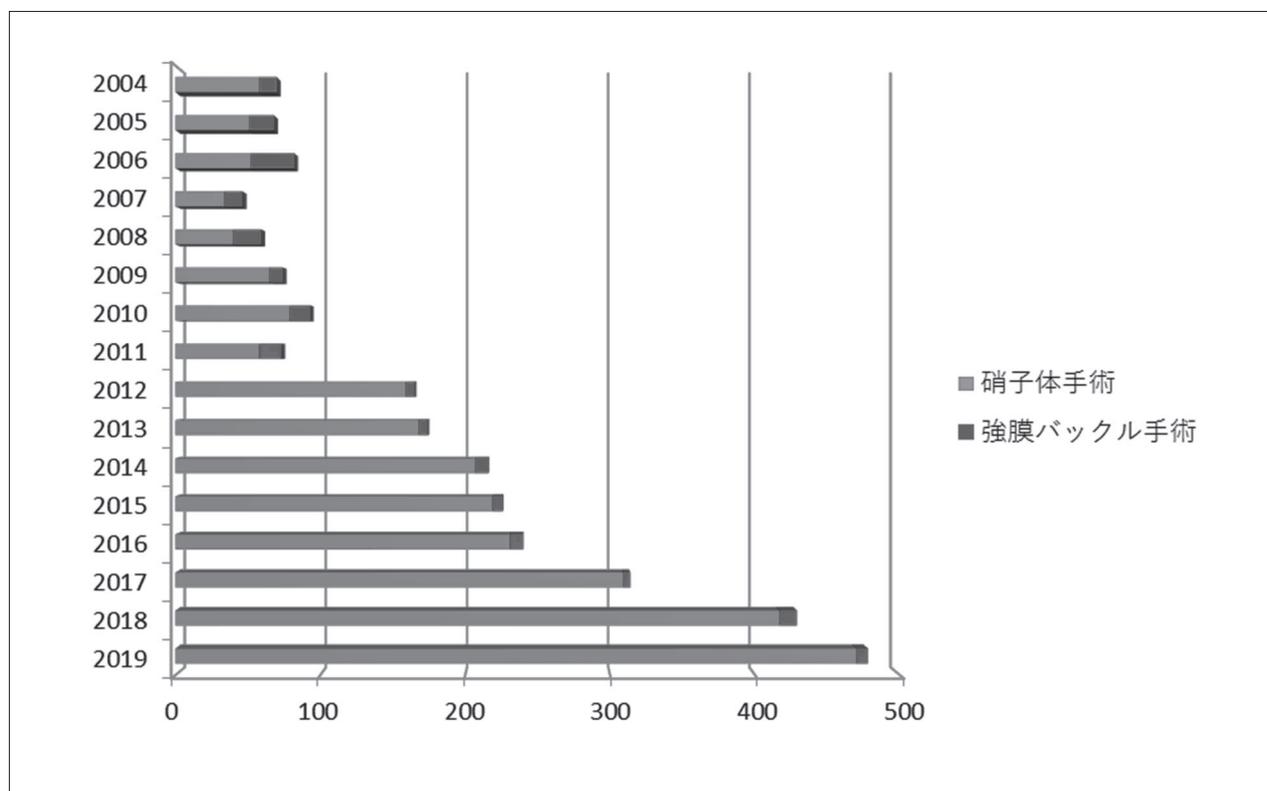
1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
16名	1,321名	4.4日

### 外来患者数

1日平均患者数
58名

### 主な手術の件数など

水晶体再建術	硝子体手術	強膜バックリング手術	緑内障手術	中央手術室手術合計
955件	470件	8件	16件	1,362件



□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会	Mami Kusaka	Repair of Iris Dialysis by Riveting with Double-Flanged Polypropylene Sutures	2019 ASCRS annual meeting 37th Film Festival	San Diego, USA	2019.5.3	2019.5.3-7
国際学会	Mami Kusaka	Repair of Iris Dialysis by Riveting with Double-Flanged Polypropylene Sutures	32th APACRS annual meeting 37th Film Festival	京都	2019.10.3	2019.10.3-5
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里	ワークショップ3. 網膜症	第34回日本糖尿病合併症学会. 第25回日本糖尿病眼学会総会	大阪	2019.9.27	2019.9.27
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里	網膜剥離ファイトクラブ round15 一症例をシェアして自分のものにする(インストラクションコース)	第73回日本臨床眼科学会	京都	2019.10.24	2019.10.24
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里(座長)	一般演題(口演) 10「診断・検査」	第58回日本網膜硝子体学会総会	長崎市	2019.12.6	2019.12.6
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里	NGENUITYでの困難、疑問	NGENUITY Users Meeting	東京	2019.4.18	2019.4.18
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里	フロリダで3Dハイブリッド手術を紹介してきました	眼科連携 FSM2019	京都市	2019.5.18	2019.5.18
研究セミナー・シンポジウム等	加藤 慶, 武村 美智代, 大門 彩香, 山藤 満, 吉田 直子, 喜多 美穂里	電気生理で確定診断!	眼科連携 FSM2019	京都市	2019.5.18	2019.5.18
研究セミナー・シンポジウム等	浜 祥代, 日下 真実, 森 雄貴, 山田 裕史, 秋田 穰, 新井 真理, 喜多 美穂里	ここ2年間の白内障手術-高齢でない方々は如何に	眼科連携 FSM2019	京都市	2019.5.18	2019.5.18
研究セミナー・シンポジウム等	森 雄貴, 日下 真実, 山田 裕史, 浜 祥代, 喜多 美穂里	疑うことが大切! ウイルス性眼内炎	眼科連携 FSM2019	京都市	2019.5.18	2019.5.18
研究セミナー・シンポジウム等	山田 裕史, 日下 真実, 森 雄貴, 浜 祥代, 喜多 美穂里	効いています! 抗VEGF薬硝子体注射	眼科連携 FSM2019	京都市	2019.5.18	2019.5.18
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里, 日下 真実, 森 雄貴, 山田 裕史, 浜 祥代, 秋田 穰, 新井 真理	網膜剥離には顔がある	眼科連携 FSM2019	京都市	2019.5.18	2019.5.18
研究セミナー・シンポジウム等	日下 真実, 森 雄貴, 山田 裕史, 浜 祥代, 喜多 美穂里	早期治療が大切! 細菌性眼内炎	眼科連携 FSM2019	京都市	2019.5.18	2019.5.18
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里(座長)	黄斑疾患のよりよい治療を目指して	眼科連携 FSM2019	京都市	2019.5.18	2019.5.18
研究セミナー・シンポジウム等	日下 真実, 山田 裕史, 浜 祥代, 加藤 慶, 喜多 美穂里	若手術者の3Dビジュアルシステム使用経験	第70回京大眼科同窓会学会	京都市	2019.10.20	2019.10.20
研究セミナー・シンポジウム等	日下 真実, 喜多 美穂里	若手も3Dハイブリッド硝子体手術	第54回RETINAの会	京都	2019.10.26	2019.10.26
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里(座長)	3Dヘッドアップ手術の是非	第54回RETINAの会	京都	2019.10.26	2019.10.26
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里(座長)	一般演題	第54回RETINAの会	京都	2019.10.26	2019.10.26
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里(オーガナイザー)	Folds 他	眼科コールドケース2020	京都市	2020.1.30	2020.1.30
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里	Panel discussion	第26回硝子体手術講習会	東京	2019.9.21	2019.9.21
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里	topic7 Heads up vitreoretinal surgery2	第26回硝子体手術講習会	東京	2019.9.22	2019.9.22
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里 (Modulator)	topic8 Complicated cases 2	第26回硝子体手術講習会	東京	2019.9.22	2019.9.22
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里	RETINAWS 3D in Tokyo	第26回硝子体手術講習会	東京	2019.9.22	2019.9.22
研究セミナー・シンポジウム等	喜多 美穂里	薬物、眼科疾患	第40回コメディカル講習会	京都市	2020.2.15	2020.2.15

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	Mihori Kita, Mami Kusaka, Hiroshi Yamada, Sachiyo Hama.	Three-dimensional ocular endoscope system for vitrectomy.	Clinical Ophthalmol	13	8	1641- 1643			2019.8.27
英文論文	Mihori Kita, Mami Kusaka, Hiroshi Yamada, Sachiyo Hama.	Updated chandelier illumination- assisted scleral buckling using 3D visualization system.	Clinical Ophthalmol	13	9	1743- 1748			2019.9.6
和文総説・著書	喜多 美穂里	脈絡膜欠損(脈絡膜 コロポーム)	眼疾患アトラス シリーズ2「後眼 部アトラス」	2	1	266- 267		総合医学社	2019.10.1
和文総説・著書	喜多 美穂里	内視鏡の過去と現 状. 特集 眼内内視 鏡の現状と未来	眼科手術	32	3	301- 306			2019.7.1
和文総説・著書	喜多 美穂里	新春随想	伏見医報	705	1	247			2019.1.18
和文総説・著書	喜多 美穂里	第6回 還暦座談会	伏見医報	714	10	127- 137			2019.10.18
和文総説・著書	喜多 美穂里	猪突猛進spin off	京都府眼科医 会会報	228	1	11-12			2019.1.1
和文総説・著書	喜多 美穂里	新春随想 猪突猛進	日本の眼科	90	1	11			2019.1.20
和文総説・著書	喜多 美穂里, 日下 真実	若手も3D/ハイブ リッド手術	銀海	250	1	26			2020.1.1

# 耳鼻咽喉科・頭頸部外科



診療科長  
(耳鼻咽喉科)  
辻 純

専門医資格等  
日本耳鼻咽喉科専門医  
京都大学 医学博士  
京都大学臨床教授  
日本耳鼻咽喉科学会代議員  
専門分野  
耳科学・耳鼻咽喉科  
得意疾患  
中耳疾患めまい疾患



診療科長  
(頭頸部外科)  
安里 亮

専門医資格等  
日本耳鼻咽喉科専門医  
頭頸部がん専門医指導医  
内分泌外科専門医  
気管食道科専門医  
日本がん治療認定医  
日本頭頸部癌学会代議員  
日本気管食道科学会評議員  
専門分野  
頭頸部外科・甲状腺科  
得意疾患  
頭頸部がん、甲状腺手術

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医員 (耳鼻咽喉科)	嘉田 真平	日本耳鼻咽喉科学会専門医 頭頸部がん専門医	耳鼻咽喉科 頭頸部外科一般	頭頸部癌 甲状腺癌 音声疾患
医員 (耳鼻咽喉科)	辻 拓也	日本耳鼻咽喉科学会専門医	耳鼻咽喉科 頭頸部外科一般	耳鼻咽喉科一般
医員 (頭頸部外科)	伊藤 通子		頭頸部外科一般	頭頸部外科一般
レジデント (耳鼻咽喉科)	伊藤 真裕子		耳鼻咽喉科一般	耳鼻咽喉科一般
専攻医 (耳鼻咽喉科)	長原 佳菜		耳鼻咽喉科一般	耳鼻咽喉科一般

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本耳鼻咽喉科学会専門医制度専門医研修施設 内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医研修施設 日本気管食道科専門医認定施設
-------	--

1. 伝音再建を中心とした中耳疾患手術
2. 頭頸部進行癌に対する拡大手術を中心とした集学的治療による治癒率向上
3. 頭頸部癌による低侵襲手術の開発によるQOL向上
4. QOLを考慮した甲状腺手術
5. 頭頸部・甲状腺外科執刀医養成のシステム
6. スタッフ全員による入院患者の診断・治療
7. 京都大学側頭骨セミナーへ講師として参加
8. めまいの診断と治療

## □ 主な対象疾患

- ・真珠腫性中耳炎・慢性中耳炎
- ・めまい症
- ・頭頸部癌(口腔癌:舌癌・歯肉癌・頬粘膜癌・口腔底癌、咽頭癌、喉頭癌、鼻・副鼻腔癌:上顎洞癌・篩骨洞癌、耳下腺癌・顎下腺癌など)
- ・甲状腺癌・甲状腺良性腫瘍・副甲状腺腫瘍・バセドウ病(手術)
- ・頭頸部良性腫瘍・頭蓋底進展腫瘍・咽頭表在癌

## □ 診療(業務)内容

耳鼻咽喉科と頭頸部外科はともに外来・病棟・手術を行っている(手術数などは両科合同)。真珠腫・中耳炎・めまい・顔面神経麻痺など耳科全域を行っている。一般的な頭頸部癌・甲状腺癌の治療はもとより進行癌の治療も積極的に行い根治治療を目指しており、再建を要する頭頸部進行癌や縦隔浸潤する甲状腺癌・頭蓋底に進展する頭頸部腫瘍は関西一円はもとより関東・中国地方などからも治療をうけにこられている。また、低侵襲手術としての口腔癌に対するPGAシート被覆法を開発し、学会などで積極的に発表し標準治療としての普及を図っている。さらに経口的な咽頭がんの切除により、QOLを保った治療も積極的に行っており、これらも関西以外からも手術を希望されて当科に紹介される場合が多い。

## □ 診療実績(令和元年度)

### 入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
20.2名	522名	14.1日

### 外来患者数

1日平均患者数
49.8名

### 主な手術・検査の件数など

耳手術	鼻副鼻腔手術	甲状腺・副甲状腺手術	頭頸部腫瘍手術
25件	34件	107件	203件

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期 (開催日～終了日、月日)
国内学会	嘉田 真平, 安里 亮, 辻 拓也, 伊藤 通子, 伊藤 真裕子, 辻 純	甲状腺癌の再発病変に手術加療を行った症例の検討	第43回日本頭頸部癌学会	石川	2019.6.13	2019.6.13-14
国内学会	嘉田 真平, 安里 亮, 辻 拓也, 伊藤 通子, 伊藤 真裕子, 長原 佳菜, 辻 純	甲状腺癌再発手術の契機と経過	第52回日本内分泌外科学会	東京	2019.10.18	2019.10.17-8
国内学会	嘉田 真平, 安里 亮, 伊藤 通子	進行上顎洞癌・上顎歯肉癌の比較検討	第30回日本頭頸部外科学会	沖縄	2020.1.30	2020.1.30-31
国内学会	安里 亮	MCFP法の進化	第38回日本口腔腫瘍学会	東京	2020.1.23	2020.1.23-24
国内学会	長原 佳菜	ニボルマブ投与後に急性肺障害をきたした一例	日耳鼻京滋合同地方部会	京都	2019.6.30	2019.6.30
研究セミナー・シンポジウム等	長原 佳菜	前庭性片頭痛を合併した遺伝性出血性毛細血管拡張症の一家系	京都南部耳鼻咽喉科 医療連携ネットワーク 学術講演会	京都	2019.9.28	2019.9.28
国内学会	長原 佳菜	人工内耳装用下でMRI撮像を行った4症例	第29回日本耳科学会総会・学術講演会	山形	2019.10.11	2019.10.10-12

国内学会	長原 佳菜	前庭性片頭痛を合併した遺伝性出血性毛細血管拡張症の一家系	第78回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会 第78回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会	富山	2019.10.24	2019.10.23-25
国内学会	伊藤 真裕子, 伊藤 通子, 辻 拓也, 嘉田 真平, 安里 亮, 辻 純	下咽頭癌における外側咽頭後(ルビエール)リンパ節郭清	第43回日本頭頸部癌学会	金沢	2019.6.14	2019.6.13 ~ 2019.6.14

# 麻酔科



診療科長  
七野 力

専門医資格等 厚労省標榜医  
日本麻酔科学会指導医・専門医  
日本集中治療医学会専門医  
京都大学医学部臨床教授  
関西医科大学臨床教授  
京都大学 医学博士  
専門分野 麻酔管理一般、集中治療、心臓血管外科麻酔

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	杉本 亮大	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般 心臓血管外科麻酔	
医師	原 祐介	厚労省標榜医 日本麻酔科学会認定医	麻酔管理一般	
医師	松山 智紀	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医 京都大学 医学博士	麻酔管理一般 心臓血管外科麻酔	
医師	吉岡 清行	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般	
医師	藤田 靖子	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般	
医師	森 悠	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医 日本心臓血管麻酔学会専門医 日本周術期経食道エコー認定試験 (JB POT) 合格 米国周術期経食道エコー認定試験 (PTEeXAM) 合格 日本小児麻酔学会認定医	麻酔管理一般 心臓血管外科手術 の麻酔管理 小児の麻酔管理	
医師	水津 悠	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医 日本周術期経食道エコー認定試験 (JB POT) 合格 日本集中治療医学会専門医	麻酔管理一般 心臓血管外科麻酔 救急・集中治療	
医師	米倉 なほ	厚労省標榜医	麻酔管理一般	
医師	鈴木 陽世	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般	
医師	浜川 綾子	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般	
専攻医	南迫 一請	日本周術期経食道エコー認定試験 (JB POT) 合格	麻酔管理一般	
専攻医	島田 覚生		麻酔管理一般	
専攻医	安原 玄人		麻酔管理一般	
専攻医	生野 智美		麻酔管理一般	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本麻酔科学会研修施設 日本集中治療学会認定施設
-------	-----------------------------

1. 麻酔管理
2. 集中治療管理

## □ 主な対象疾患

麻酔管理：外科手術一般

集中治療：敗血症、肺炎、ARDS、多臓器不全、術後管理一般

## □ 診療(業務)内容

手術を受けられる患者さんに対する麻酔の施行と全身管理

当科では患者さんのご希望を最大限に尊重しながら、患者さんの全身状態、手術の内容を勘案してもっとも安全で苦痛の少ない麻酔法を選択しています。近年は全身麻酔と神経ブロックなど、各種麻酔法を組み合わせる方法が増加しています。それぞれの長所を生かしつつ、かつ短所を最小限に抑えることにより、手術が終わっても痛みが少なく、安全でしかも目覚めがよい麻酔を心がけています。

重症患者さんに対する集中治療室(ICU)での集学的治療

本院は院内に2か所の集中治療室を有する全国でも数少ない施設です。救命センターと手術室フロアにそれぞれ設置されており、ともに日本集中治療学会認定の専門医が従事しています。麻酔科ではこのうち、手術室フロアのICU(院内ICU)の管理を行っています。院内ICUでは主に手術後の患者さんと重症の入院患者さんの全身管理を行っています。

## □ 診療実績(令和元年度)

主な手術・検査の件数など

全身麻酔(鎮静を含む)	全身麻酔(+脊、硬、ブロック)	脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔
2,590件	578件	140件

麻酔科管理症例 計	院内ICU入室患者数
3,668件	664件

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	水津 悠, 宮田 誠彦, 井村 美紀, 廣津 聡子, 七野 力	骨転移による第2頸椎病的骨折に対する後頭骨頸胸椎後方固定術後の上気道評価に難渋した1症例	第41回日本呼吸療法医学会	大阪	2019.8.4	2019.08.03-2019.08.04
国内学会	水津 悠, 七野 力	端座位および立位リハビリテーションにより長期挿管人工呼吸管理から離脱できた重症肺炎の一症例	第41回日本呼吸療法医学会	大阪	2019.8.4	2019.08.03-2019.08.04
国内学会	森 悠, 浜川 綾子, 水津 悠, 七野 力	人工心肺を使用した開心術後の急性腎障害に関する検討	日本心臓血管麻酔学会第24回学術大会	大阪	2019.9.21	2019.09.20-2019.09.21
国内学会	吉岡 清行, 土屋 旬平, 上田 忠弘, 松成 美恵, 村上 博基, 川口 理佐, 別府 賢, 寺嶋 真理子, 西山 慶, 笹橋 望	亜急性期一酸化炭素中毒患者において心電図所見が改善したにもかかわらず左心室内血栓症を合併した一例	第47回日本集中治療医学会学術集会	名古屋	2020.3.6	2020.03.06-2020.03.08

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	編集者等	出版社	発行年月
和文原著論文 (筆頭著者以外)	水津 悠, 西山 慶, 嘉田 真平, 七野 力	巨大甲状腺腫のため心肺停止した患者を蘇生させた後、外科的気道確保を施行し救命させた1症例	人工呼吸	36	2	173-177			2019.11

# 放射線科



医療技術部長  
伊藤 剛  
令和2年3月31日まで

専門医資格等  
日本医学放射線学会  
専門医  
臨床研修指導医  
京都大学医学部臨床  
教授

専門分野  
画像診断



放射線治療科  
診療科長  
荒木 則雄

専門医資格等  
日本医学放射線学会  
専門医  
日本放射線腫瘍学会  
専門医  
がん治療認定医  
臨床研修指導医

専門分野  
放射線腫瘍学

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
放射線診断科医長	広川 侑奨	日本医学放射線学会専門医、日本核医学会専門医、PET核医学認定医、検診マンモグラフィ読影認定医(評価 A-S)	画像診断、核医学、IVR	腹部画像診断
放射線診断科医師	黒田 昌志	日本医学放射線学会専門医、日本核医学会専門医、PET核医学認定医、検診マンモグラフィ読影認定医(評価 A-S)	画像診断	骨軟部画像診断
放射線診断科医師	大堂 さやか	日本医学放射線学会専門医	画像診断	婦人科画像診断
放射線診断科医師	西松 佳代	日本医学放射線学会専門医、日本核医学会専門医、PET核医学認定医	画像診断	画像診断、核医学診断
放射線治療科医師	河村 光栄	日本医学放射線学会専門医、日本放射線腫瘍学会専門医、第一種放射線取扱主任者	放射線腫瘍学	放射線治療全般
放射線科レジデント	渡邊 幸香		画像診断	
放射線科レジデント	諸岡 紳		画像診断	

	氏名	専門資格 認定資格等
技師長	松尾 浩二	磁気共鳴専門技術者、エックス線作業主任者、衛生工学衛生管理者、第1種放射線取扱主任者、第一種作業環境測定士、放射線管理士、臨床実習指導者、臨床技術能力検定MRI検査3級
副技師長	西村 和英	エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師
副技師長	井上 賀仁	X線CT認定技師、エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者
主任	樋口 孝次	エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師
主任	吉本 篤史	放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士、PET認定技師、ストロンチウム89治療安全取扱講習会

主任	山本 匠	磁気共鳴専門技術者、X線CT認定技師、マンモグラフィ認定技師
主任	松本 一繁	エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、肺がんCT検診認定技師、医療情報技師、放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士
主任	室屋 隆伸	X線CT認定技師、マンモグラフィ認定技師
主任	清水 彰英	核医学専門技師、PET認定技師、ラジウム223治療安全取扱講習会
技師	川端 清志	放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士
技師	四丸 真俊	X線CT認定技師、エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、救急撮影認定技師、マンモグラフィ認定技師、放射線管理士、放射線機器管理士、
技師	小田 晴義	X線CT認定技師、救急撮影認定技師、マンモグラフィ認定技師、日本救命医学会認定ICLSインストラクター、PET認定技師
技師	山本 崇	救急撮影認定技師、マンモグラフィ認定技師、日本救命医学会認定ICLSインストラクター
技師	竹原 和宏	X線CT認定技師、エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、医療情報技師、衛生工学衛生管理者、初級アドミニストレーター、第1種放射線取扱主任者、PET認定技師、情報セキュリティマネジメント、公認医療情報システム監査人、I-131アブレーション
技師	戸坂 善彦	医療情報技師
技師	辰野 絢香	X線CT認定技師
技師	嵯峨根 真也	核医学専門技師、第1種放射線取扱主任者、PET認定技師、ラジウム223治療安全取扱講習会
技師	柴田 真啓	X線CT認定技師
技師	濱田 佳代子	医療情報技師、マンモグラフィ認定技師、PET認定技師、情報セキュリティマネジメント
技師	藤田 訓充	日本救命医学会認定ICLSインストラクター、日本DMAT隊員登録
技師	吉川 拓行	
技師	熊給 淳	磁気共鳴専門技術者、X線CT認定技師、救急撮影認定技師
技師	若畑 旬弥	放射線管理士、放射線機器管理士、PET認定技師
技師	池上 周平	エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者
技師	山本 眸	マンモグラフィ認定技師
技師	小嶋 智大	
技師	中村 あゆみ	マンモグラフィ認定技師
技師	戸川 謙太	
技師	穴吹 泰博	
技師	的場 徹	
技師	仲山 暁介	放射線管理士
技師	林 由貴	マンモグラフィ認定技師
技師	吉田 彩乃	マンモグラフィ認定技師
非常勤技師	上田 真也	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本医学放射線学会総合修練施設
-------	-----------------

□ 主な対象疾患

悪性腫瘍全般

□ 診療(業務)内容

ほぼ全領域の画像診断、頭部および心臓血管領域を除くIVR、悪性腫瘍を中心とする放射線治療

□ 診療実績(令和元年度)

外来患者数

1日平均患者数
22.8名

主な手術・検査の件数など(放射線治療)

年間治療件数
7,315件

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
研究セミナー・シンポジウム等	小田 晴義	当院における骨SPECT撮像の標準化に関するガイドライン1.0の検証	第66回京都RI懇話会	京都	2019.5.17	2019.5.17
国内学会	諸岡 紳, 広川 侑奨, 黒田 昌志, 西松 佳代, 大堂 さやか, 河村 光栄, 荒木 則雄, 伊藤 剛	十二指腸への浸潤を伴ったデスマイド型線維腫症の一例	第322回医学放射線学会関西地方会	大阪	2019.6.8	2019. 6.8
研究セミナー・シンポジウム等	濱田 佳代子	乳がんの検査におけるマンモグラフィの位置づけ	FM845「カラダ元気コーナー」	京都	2019.6.25	2019.6.25
研究セミナー・シンポジウム等	四丸 真俊	診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー 感染対策講座	日本放射線技師会主催セミナー	京都	2019.7.7	2019.7.7
研究セミナー・シンポジウム等	山本 匠	主任技師の役割と自覚 ～認定技師の立場から～	近畿グループ診療放射線技師研修	大阪	2019.9.6	2019.9.6
国内学会	大堂 さやか	妊娠～出産に伴う子宮・付属器の生理的变化と合併症(胎盤、胎児を除く)	第47回日本磁気共鳴学会	熊本	2019.9.21	2019. 9. 20 ～ 2019. 9. 21
国内学会	小嶋 智大, 的場 徹, 山本 匠, 松尾 浩二	CTDIvol. とSSDE (No.204, No.220) の比較検討	国立病院近畿放射線技師会 第28回 学術大会	大阪	2019.10.5	2019.10.5
国内学会	的場 徹, 小嶋 智大, 山本 匠, 松尾 浩二	CT検査による左室機能評価の心機能解析ソフト毎の比較	国立病院近畿放射線技師会 第28回 学術大会	大阪	2019.10.5	2019.10.5
国内学会	小田 晴義, 清水 彰英, 井上 賀仁, 西村 和英, 松尾 浩二	当院における骨SPECT撮像の標準化に関するガイドライン1.0の検証	第73回国立病院総合医学会	名古屋	2019.11.8	2019.11.8～ 2019.11.9
国内学会	小嶋 智大, 的場 徹, 山本 匠, 松尾 浩二	CTDIvol. とSSDE (No.204, No.220) の比較検討	第73回国立病院総合医学会	名古屋	2019.11.8	2019.11.8～ 2019.11.9
国内学会	清水 彰英, 小田 晴義, 井上 賀仁, 西村 和英, 松尾 浩二	18F標識PET製剤検査時の頭部における体動が再構成画像に及ぼす影響についての検討	第73回国立病院総合医学会	名古屋	2019.11.9	2019.11.8～ 2019.11.9

国内学会	的場 徹, 小嶋 智大, 山本 匠, 松尾 浩二	CT検査による左室機能評価 の心機能解析ソフト毎の比 較	第73回国立病 院総合医学会	名古屋	2019.11.9	2019.11.8 ~ 2019.11.9
研究セミナー・ シンポジウム等	山本 匠	造影理論(血管)	近畿グループ CT技能研修	大阪	2019.11.16	2019.11.16

#### □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	編集者等	出版社	発行年月
和文原著論文	大堂さやか	非妊娠時におけるヒ ト子宮収縮の観察: 授乳期における子宮 の収縮	hormone frontier in gynecology	26	3	73			2019.9

# 総合リハビリテーション科



診療科長  
中島 康代

専門医資格等 日本循環器学会循環器専門医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本内科学会指導医  
日本内科学会認定内科医  
日本リハビリテーション医学会認定臨床医  
心臓リハビリテーション指導士  
京都大学 医学博士

専門分野 循環器内科  
心臓リハビリテーション

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野
医 長	井村 美紀	日本リハビリテーション医学会専門医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 心臓リハビリテーション指導士 日本医師会認定スポーツ医	内科 集中治療領域リハビリテーション 呼吸リハビリテーション

## □ 診療科の特徴

- 救急医療に重点を置く当院の方針に従って、入院患者の急性期リハビリテーションを基本に診療しています。
- 特に重症疾患に対する集中治療中の超急性期リハビリテーションに力を入れています。生命維持装置を装着した重症例に対して早期から介入していくことで床上安静による二次障害を予防し、ADL, QOLの改善に寄与します。
- がん診療を補完するものとして、在宅療養への移行を支援します。
- 嚥下内視鏡によって直接的な嚥下機能評価を実施し、適切な食事形態の示唆・誤嚥の防止等を行います。

## □ 主な対象疾患

疾患により、またその治療に伴う安静等によって障害される身体機能の回復を目指して、各科各種疾患に対応します。

疾患別リハビリテーション:脳血管疾患(1)、心大血管疾患(1)、運動器(1)、呼吸器(1)、がん、廃用症候群(1)

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会	井村 美紀	Voice restoration for ventilator-dependent critically ill patient with tracheostomy	13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congracheostomy	神戸	2019.6.11	2019.6.9-2019.6.13

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	Imura M, Nakashima Y, Kawaguchi R, Terashima M, Yamada S	Verval Communication of an Orally Intubated Patient in the Intensive Care Unit: A Case Report	Progress in Rehabilitation Medicine 2019	4	2019 0016		The Japanese Association of Rehabilitation Medicine	The Japanese Association of Rehabilitation Medicine	2019.11

# 歯科口腔外科



診療科長  
吉田 和也

専門医資格等 日本口腔外科学会専門医・指導医  
日本顎関節学会専門医・指導医  
日本補綴歯科学会専門医・指導医  
日本睡眠学会 認定歯科医・評議員  
日本睡眠歯科学会 専門医・指導医・評議員  
大阪歯科大学 歯学博士  
京都大学 医学博士  
厚生労働省 歯科医師臨床研修 指導歯科医

専門分野 歯科口腔外科一般

得意疾患 睡眠時無呼吸症候群、顎口腔領域の不随意運動(ジストニア、ジスキネジア、ブラキシズム)、顎顔面補綴

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	宮本 絵里香	日本口腔ケア学会認定医 日本外傷歯学会認定医・評議員	口腔外科一般	口腔ケア
レジデント	木塚 慎哉		口腔外科一般	
レジデント	中井 美希		口腔外科一般	
非常勤医師	下郷 麻衣子	日本口腔外科学会 認定医 日本口腔ケア学会 認定医・評議員	口腔外科一般	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本口腔外科学会認定機関 日本顎関節学会認定機関 日本睡眠学会認定機関 日本補綴歯科学会認定機関
-------	---

1. 迅速で的確な診断を心がけます。
2. 複数の治療法を呈示し、十分に話し合った後、最適な治療を行います。
3. 治療にあたっては低侵襲を心がけます。
4. 口腔ケアや口腔衛生指導によって、治療と予防を実践します。

## □ 主な対象疾患

親知らず(智歯)、埋伏歯の抜歯・口の中の腫瘍(腫れ物)、のう胞(膿の袋)・顎の骨折や歯、口腔の外傷・顎関節症、その他の顎関節疾患・顎変形症(歯並び、咬み合わせ、受け口など顎の形の異常)・口腔乾燥や唾液の異常、舌痛症(舌のヒリヒリする痛みや違和感)・顎口腔領域の手術後や外傷による顎顔面欠損の顎顔面補綴治療・手術、放射線治療、化学療法前後の口腔衛生指導、口腔ケア・歯茎、顎の骨の炎症・口内炎、舌や頬の炎症・入院患者さんあるいは全身疾患(心疾患、糖尿病、高血圧、抗血栓療法中など)のある外来患者さんの歯科治療

専門で取り扱っている疾患

- ・睡眠呼吸障害(睡眠時無呼吸症候群、いびき、上気道抵抗症候群)
- ・顎口腔領域の不随意運動(ジストニア、ブラキシズム、ジスキネジアなど)
- ・顎関節疾患(顎関節症、顎関節脱臼、咬筋肥大症、筋突起過長症、咀嚼筋腱・腱膜過形成症など)
- ・顎口腔領域の手術後や外傷による顎顔面欠損

## □ 診療(業務)内容

当科は日本口腔外科学会の認定機関であるばかりではなく、日本顎関節学会、日本睡眠学会、日本補綴歯科学会の認定機関でもあり、顎口腔領域のさまざまな疾患の総合的な診断と一貫した治療が可能です。多くの大学医学部あるいは歯学部附属病院や総合病院から多数の患者さんが紹介受診されています。一般的な口腔外科的治療や救急対応、有病者(心疾患、糖尿病、高血圧、抗血栓療法中、ビスフォスフォネート系薬剤使用中など)の歯科治療、入院患者さん(一般病棟、ICU、緩和ケア病棟)の歯科治療や手術前後の口腔ケアを行います。口腔外科的治療とは主に口腔腫瘍、顎顔面外傷、顎関節疾患などの手術を要する疾患に対して行われる治療を指します。

専門で取り扱っている疾患と治療として睡眠呼吸障害(睡眠時無呼吸症候群、いびき、上気道抵抗症候群)に対する口腔内装置治療(マウスピース)、顎関節疾患(顎関節症、顎関節脱臼、咬筋肥大症、筋突起過長症、咀嚼筋腱・腱膜過形成症など)の補綴的あるいは口腔外科的治療、インプラント治療、顎口腔領域の不随意運動(ジストニア、ジスキネジア、ブラキシズムなど)の内服治療、局所麻酔薬によるブロック療法(MAB療法)、ボツリヌス療法や口腔外科的手術療法、顎口腔領域の手術後や外傷による顎顔面欠損の顎顔面補綴治療などがあります。口と顎の領域のジストニアを専門で治療や研究を行っている科は全国的にも例がありません。患者さんのためのサイト「顎口腔領域の不随意運動」(<http://sites.google.com/site/oromadibulardystonia/>)を開設し、日本全国および海外からも問い合わせ、受診が急増しております。治療のため当院に入院していただくメディカルツーリズム(医療観光)により遠方からも患者さんに受診していただけるよう願っております。

## □ 診療実績(令和元年度)

### 入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
2.4名	130名	6.8日

### 外来患者数

1日平均患者数
50.3名

### 主な手術・検査の件数など

抜歯術	嚢胞摘出術	腫瘍摘出術	骨折手術	インプラント手術
810件	62件	50件	6件	10件

顎変形症手術	顎関節手術
7件	8件

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会	吉田 和也	Intermuscular injection of botulinum neurotoxin into the lateral pterygoid muscle for the treatment of recurrent temporomandibular joint dislocation with and without neurogenic muscular hyperactivity.	The 6th Asian Academy congress of TMS	東京	2019.7.27	2019.7.27-2019.7.28
国内学会	吉田 和也	歯科口腔外科疾患への臨床応用	第6回日本ボツリヌス治療学会学術大会	東京	2019.9.27	2019.9.27-2019.9.28
国内学会	吉田 和也	ボツリヌス毒素の口腔領域への臨床応用	第47回日本歯科麻酔学会総会・学術集会	岡山	2019.10.26	2019.10.25-2019.10.27

国内学会	下郷 麻衣子, 土屋 宣之, 坂根 直樹, 青木 友和, 河鱈 憲幸, 原口 裕美子, 青山 佳代子	終末期がん患者が訴える口 渇感と口腔粘膜湿度の関 連	第16回 日本口 腔ケア学会総 会・学術大会	名古屋	2019/4/27	2019.4.27 ~ 2019.4.28
研究セミナー・シ ンポジウム等	下郷 麻衣子	栄養と嚥下のための口腔ケ ア	令和元年度 京 都南口腔ケアセ ンター所員衛生 士ステップアッ プセミナー 1回 目	京都	2019/5/25	2019.5.26
研究セミナー・シ ンポジウム等	下郷 麻衣子	入院患者に対する口腔ケア ～口腔ケアの目的と効果～	京都医療セン ター NST勉強会	京都医療 センター (多目的)	2019/6/10	2019.6.10
研究セミナー・シ ンポジウム等	下郷 麻衣子	骨転移がん患者における骨 吸収抑制薬と顎骨髄炎・ 顎骨壊死	臨床研究部・が ん診療部講演会	金沢	2019/6/12	2019.6.12
国内学会	下郷 麻衣子, 河鱈 憲幸, 青木 友和, 辰巳 晃造, 上村 直子, 青山 佳代子, 吉田 和也, 坂根 直樹, 土屋 宣之	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死 (ARONJ) Stage 3 の激痛 に対して多職種連携し保存 的療法で自宅退院後も良好 な疼痛コントロールが得ら れた一例	第24回日本緩和 医療学会学術大 会	横浜	2019/6/21	2019.6.20 ~2019.6.22
研究セミナー・シ ンポジウム等	下郷 麻衣子	口腔の評価方法	令和元年度 京 都南口腔ケアセ ンター所員衛生 士ステップアッ プセミナー 2回 目	京都	2019/8/24	2019.8.24
研究セミナー・シ ンポジウム等	下郷 麻衣子	骨転移がん患者における骨 吸収抑制薬と最新の顎骨 髄炎・顎骨壊死防止対策	骨転移マネジメ ントセミナー～ 緩和照射・骨修 飾薬の意義と時 期と対象を再考 する～	京都教育 文化セン ター	2019/9/13	2019.9.13
研究セミナー・シ ンポジウム等	下郷 麻衣子	周術期等口腔機能管理	令和元年度 京 都南口腔ケアセ ンター所員衛生 士ステップアッ プセミナー 3回 目	京都	2019/11/16	2019.11.16
研究セミナー・シ ンポジウム等	下郷 麻衣子	終末期の口腔ケア	令和元年度 京 都南口腔ケアセ ンター所員衛生 士ステップアッ プセミナー 4回 目	京都	2020/2/22	2020.2.22
国内学会	宮本 絵里加, 吉田 和也, 木塚 慎弥, 藤井 伸夫, 大野 淳, 荒田 順, 兵行忠	下顎骨骨折術後に発症した 壊死性筋膜炎の1例	第64回公益社団 体法人 日本口腔 外科学会総会・ 学術大会	札幌	2019.10.25	2019.10.25- 2019.10.27
研究セミナー・シ ンポジウム等	宮本 絵里加	人工呼吸器挿管患者の口腔 ケアについて 一般的な 口腔ケアにも活かれます	京都医療セン ター RST勉強会	京都	2019.7.3	2019.7.3
研究セミナー・シ ンポジウム等	宮本 絵里加	口腔ケアのいろは ～一般 的な口腔ケアや人工呼吸器 挿管中の口腔ケア～	京都医療セン ター RST勉強会	京都	2020.2.4	2020.2.4
国内学会	木塚 慎哉, 井上 亮, 宮本 絵里加, 吉田 和也, 兵行忠	下顎下縁部に発症した周辺 性緻密骨種の1例	第64回公益社団 体法人 日本口腔 外科学会総会・ 学術大会	札幌	2019.10.25	2019.10.25- 2019.10.27

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	吉田 和也	Clinical characteristics of functional movement disorders in the stomatognathic system.	Frontiers in Neurology	11		123			2020.3
英文論文	吉田 和也	Mouth opening retaining appliance after coronoidotomy for the treatment of trismus: effects on pain during postoperative training and maximal extent of mouth opening.	Clinics in Surgery	5		2737			2020.2
英文論文	吉田 和也	Sphenopalatine ganglion block with botulinum neurotoxin for treating trigeminal neuralgia using CAD/CAM-derived injection guide.	Journal of Oral & Facial Pain and Headache	10.11607/ ofph.2510					2019.9

# 救命救急センター（救命救急科）



診療部長  
笹橋 望



救命救急センター長  
西山 慶



救命集中治療科長  
別府 賢

専門医資格等

日本救急医学会専門医・指導医  
日本外科学会認定医  
日本胸部外科学会認定医・  
指導医  
日本DMAT隊員

専門分野  
得意疾患

専門医資格等

日本救急医学会専門医・指導医  
日本集中治療医学会専門医  
日本循環器学会専門医  
日本救急医学会評議員  
日本集中治療医学会CCU  
委員会 委員  
日本集中治療医学会 社会保険  
委員会 委員  
日本救急医学会 学会主導研究  
評価特別委員会 委員  
日本循環器学会 蘇生科学  
小委員会 委員  
FAHA  
京都府高度救急業務推進  
協議会 委員  
京都大学医学部 臨床教授  
京都府立医科大学 臨床教授  
福井大学医学部 客員准教授

専門分野  
救急医学  
得意疾患

専門医資格等

日本救急医学会専門医・指導医  
日本集中治療医学会専門医  
日本麻酔科学会指導医・専門医・  
認定医  
麻酔科標榜医  
日本集中治療医学会評議員  
FCCSインストラクター  
ICLSインストラクター/ディレクター  
JATECインストラクター

専門分野  
救急医学  
得意疾患

□ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	寺嶋 真理子	日本救急医学会専門医・指導医 日本集中治療医学会専門医 日本外科学会専門医・指導医 Acute Care Surgery学会評議員 日本腹部救急医学会評議員 日本医師会認定産業医・スポーツ医 AHA BLS/ACLSインストラクター ICLSインストラクター/ディレクター JATECインストラクター JPTECインストラクター MCLSインストラクター 日本DMAT隊員	救急医学 集中治療学	外科・外傷 集中治療 栄養療法 災害医療
医 師	田中 博之	日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医 日本内科学会内科認定医/総合内科専門医 日本医師会認定産業医 呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 ICLSインストラクター/ディレクター	救急医学 呼吸管理 災害医療	体外循環 (W ECMO)を 用いた重症呼吸 管理

		ITLSインストラクター JATECインストラクター JMECCインストラクター/ディレクター JPTECインストラクター 日本DMAT隊員・統括DMAT		
医師	川口 理佐	日本麻酔科学会専門医・認定医	救急医学 麻酔科学	
医師	濱中 訓生	日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医 日本医学放射線学会 放射線科専門医 日本医学放射線学会 放射線診断専門医 日本内科学会認定内科医 麻酔科標榜医	救急医学 放射線医学	IVR
医師	宇仁田 亮	小児科専門医・指導医 日本集中治療医学会専門医 麻酔科専門医・麻酔科認定医麻酔科標榜医	小児科学 麻酔科学 集中治療学	
医師	益満 茜	日本救急医学会専門医 日本DMAT隊員統括DMAT ICLSインストラクター	救急医学 災害医療	
医師	松成 美恵	内科認定医、麻酔標榜医	救急医学	
医師	吉田 浩輔	日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医	救急医学 集中治療学	
医師	村上 博基	日本救急医学会専門医 FCCSインストラクター	救急医学 集中治療学	
医師	上田 忠弘	日本救急医学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本DMAT隊員	救急医学 内科学	
医師	土屋 旬平	日本救急医学会専門医	救急医学 集中治療学	
レジデント	勅使川原 学			

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本救急医学会 専門医・指導医認定施設 日本集中治療医学会 専門医認定施設
-------	--

1. 京都南部の重症患者を受け入れる拠点として活動。
2. 重症多発外傷、重度熱傷、敗血症性ショックなど重症患者を集中治療室にて管理。
3. 循環器、脳卒中など専門各科と協力し、質の高い医療を提供。
4. 積極的に研修医に救急外来で初期対応をさせ、教育。

## □ 主な対象疾患

敗血症/重症感染症、多発外傷、重症熱傷、急性呼吸不全、中毒

## □ 診療(業務)内容

救急搬送症例に対する初期外来対応、専門診療科紹介、入院加療など

重症救急患者への集中治療

院内重症患者に対する集中治療

他院からの重症紹介症例の受け入れ

多施設との症例検討会や情報交換  
 各種災害訓練の実施と参加  
 蘇生講習などへの参加と指導  
 研修医教育(京都大学、京都府立医科大学病院研修医を含む)  
 臨床医学教育(京都大学、京都府立医科大学、同志社大学、橘大学)  
 コメディカルに対する教育研修  
 市民に対する救急啓蒙教育  
 消防局との連携ならびに情報交換  
 医師会、他病院との連携ならびに情報交換

## □ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
23.7名	1,116名	10.6日

外来患者数

1日平均患者数
9.4名

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	川口 理佐, 笹橋 望, 西山 慶, 寺嶋 真理子, 別府 賢, 田中 博之, 濱中 訓生, 松成 美恵	急変対応が苦手な麻酔科医の脱却を目指して「ライフイベントによって削ぎ落とされていくキャリアを維持する方法」	第47回 日本救急医学会総会・学術集会	東京	2019.10.3	2019年10月2日(水)～4日(金)
国内学会	別府 賢, 一杉 正仁, 西山 慶, 寺嶋 真理子, 笹橋 望	救急医療のあり方-人生100年時代の救急医療 80歳以上の自動車運転者による事故例の検討	第47回 日本救急医学会総会・学術集会	東京	2019.10.3	2019年10月2日(水)～4日(金)
国内学会	西山 慶	世帯支援を目的とした完全シフト制の導入例 シフト制で救命救急センターの病床管理を行っていくには	第47回 日本救急医学会総会・学術集会	東京	2019.10.2	2019年10月2日(水)～4日(金)
国内学会	西山 慶	多施設研究を行う上で準備すべき4つのこと「倫理」「科学」「刑法」「民法」に備える 西山 慶	第47回 日本救急医学会総会・学術集会	東京	2019.10.4	2019年10月2日(水)～4日(金)
国内学会	西山 慶, 川口 理佐, 寺嶋 真理子, 別府 賢, 田中 博之, 濱中 訓生, 松成 美恵, 笹橋 望	原子力災害拠点病院の現状と問題点:30名の重症患者広域搬送に備えるために	第25回日本災害医学会総会・学術集会	神戸	2020.2.20	2020.2.20-22
国内学会	西山 慶, 川口 理佐, 寺嶋 真理子, 別府 賢, 田中 博之, 濱中 訓生, 松成 美恵, 笹橋 望	テロリズムにより生じた多数傷病者に対するトリアージ、診療、広域搬送の経験	第25回日本災害医学会総会・学術集会	神戸	2020.2.21	2020.2.20-22

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	西山 慶	Osborn wave is related to ventricular fibrillation and tachycardia in hypothermic patients	Circulation Journal (in press)						

英文論文	西山 慶	Dynamic needle tip positioning for ultrasound-guided placement of a peripherally inserted central catheter in pediatric patients	Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia	34	1	114-118			2020.1
英文論文	西山 慶	Superiority of dynamic needle tip positioning for ultrasound-guided peripheral venous catheterization in patients younger than 2 years old: a randomized controlled trial	Pediatric Critical Care Medicine	20	9	e410-e414			2019
英文論文	西山 慶	Combined approach versus 2 conventional approaches in ultrasound-guided central venous catheterization: a randomized controlled trial	Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia	33	11	2979-2984			2019.11
和文原著論文	西山 慶	共働き医師が活躍できる救急医療を目指して ～救命救急センター長としての工夫と課題～ A System for Emergency Doctors in Dual-income Households	医療(in press)						
英文論文	西山 慶, 田中 博之, 土屋 旬平, 吉田 浩輔	Prediction of the neurological outcome using regional cerebral oxygen saturation in patients with extracorporeal cardiopulmonary resuscitation after out-of-hospital cardiac arrest: a multicenter retrospective cohort study	Acute Medicine & Surgery	7	1	e491			2020.2
和文原著論文	村上 博基, 上田 忠弘, 土屋 旬平, 濱中 訓生, 川口 理佐, 寺嶋 真理子, 別府 賢, 笹橋 望, 西山 慶	保存的加療にて救命が可能であったアルカリ剤服用による腐食性食道炎の1症例	日本救急医学会雑誌 (in press)						
和文総説・著書	西山 慶	よく使う日常治療薬の正しい使い方 抗不整脈薬 不整脈と抗不整脈薬のイメージをつかみ, 苦手意識を払拭しよう	レジデントノート	21	7	1287-1292		羊土社	2019
和文総説・著書	西山 慶	中枢神経疾患と管理 近赤外線分光法 (NIRS)	救急集中治療	31	2	338-339		医学総合社	2019

# 健診センター



健診センター長  
田上 哲也

専門医資格等 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医、  
近畿支部評議員  
日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医・  
教育責任者、評議員  
日本甲状腺学会 専門医、評議員、理事  
厚生労働省 臨床研修指導医  
京都大学医学部 臨床教授・講師  
京都大学 医学博士

専門分野 内科、内分泌・代謝  
得意疾患 内分泌・代謝疾患、甲状腺疾患

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
副健診センター長	島 伸子	日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本内科学会 認定内科医 日本消化器がん検診学会 胃認定医 日本人間ドック学会 人間ドック健診認定医 日本医師会 認定産業医 日本ヘリコバクター学会 H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医	消化器内科	消化器疾患、 消化器内視鏡検査
医師	難波 綾	日本内科学会 認定内科医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医	内分泌・代謝内科	内分泌・代謝疾患
非常勤医師	前川 高天	日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本内科学会 認定内科医 日本ヘリコバクター学会 H.Pylori(ピロリ菌)感染症認定医 京都消化器医会理事 京都府胃がん内視鏡検診運営委員会 委員長 京都大学医学博士	消化器内科	消化管疾患 消化器内視鏡検査

## □ 診療科の特徴

食生活の乱れや過度の飲酒、運動不足、喫煙など不適切な生活習慣の積み重ねにより、高血圧や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病が急激に増加しています。生活習慣病の多くは、自覚症状がほとんどないため、気付かないうちに動脈硬化が進行し、心筋梗塞や脳卒中などの重大な結果を招いてしまうことも少なくありません。生活習慣病は、まず予防すること、そして早期発見と早期治療が大切です。また、増加の一途をたどっている様々な臓器に発生する癌においても、予防や早期発見・早期治療が重要であることはいうまでもありません。京都医療センター健診センターは、生活習慣病や癌の早期発見に貢献しています。特に、癌の全身検索に適しているPET-CT健診や、苦痛の少ない経鼻内視鏡を用いた胃がん検診などを行い、癌の早期発見に力を入れています。ご自身だけでなく、大切なご家族の健康を守るために、定期的に健診を受けられることをお勧めします。

## □ 主な対象疾患

### 高度で贅沢な設備とスタッフ

京都医療センターは各種の高度専門医療施設に指定されていますので、それぞれの診療設備については高度かつ精密な検査機器が配備されています。また、各学会認定の専門医が多数常勤しており、専門的かつ高度な診断が可能となっています。当健診センターでは、最高の設備・スタッフを駆使することにより、みなさまに安心していただける健診を提供しています。

### 健診センター専用棟での迅速な健康診断

平成16年5月に完成した健診センター専用棟には、待合ロビー、診察室、心電図室、超音波検査室、肺機能検査室、X線一般撮影、内視鏡検査室がすべて完備されていますので、それぞれの検査・診察が効率的かつ迅速にすすめることが可能となっています。また、待ち時間の短縮など、受診されるみなさまのご負担をできるだけ軽減できるよう、常にこころがけていますので、是非ご利用いただきますよう職員一同お待ちしております。

#### 1. より“迅速”に、より“的確”に

健診センター専用棟には、診察室、心電図、腹部超音波検査装置、X線撮影装置、上部消化管内視鏡が完備されていますので、それぞれの検査を迅速かつ効率的にすすめることが可能になっています（コース、オプション内容によっては、中央診療棟での検査、診察になります）。また、各学会の認定医・専門医が多数在籍していますので、より専門的・的確な診断が可能になっています。

#### 2. “点”から“線”の健診

従来の、結果を眺めるだけの“点”の健診ではなく、継続的な健康管理に役立つ“線”の健診を目指しています。特にここ数年来問題視されているメタボリックシンドローム、喫煙関連疾患、ヘリコバクターピロリ菌感染症については、各診療科の専門外来と協力し、継続的な診療を受けていただけるよう心がけています。

#### 3. より“確実”な早期発見

各領域の悪性疾患については、最近の低侵襲治療の発達で、その早期発見はより重要になっています。また近年、がんに対する様々なリスクファクターが明らかにされており、これらのリスクを考慮したハイリスク検診の試みも始まっています。当健診センターでは、子宮がん検診に、子宮頸がんのリスクファクターとされるhuman papilloma virus (HPV)検査を、胃がん検診に血清ペプシノゲン/血中ヘリコバクターピロリ菌抗体検査を、前立腺癌にPSA測定を導入し、また、2014年10月からPETがん検診を開始し、各疾患の早期発見を目指しています。

#### 4. より“楽”な検査

胃がんの早期発見には内視鏡検査（胃カメラ検査）の有用性が指摘されていますが、受診者にとっては、これまで“つらい”検査の一つでした。当健診センターでは極細径内視鏡による経鼻内視鏡検査を導入し、受診者にとって“つらい”検査から“楽な”検査への転換を図っています。

### 〈健診コース〉

基本コース	★基本コース（一般コース・脳ドック・レディースコース）に加えて、各種オプション（肺：胸部CT検査、婦人科：診察・US、乳がん：マンモグラフィなど）を受診者の希望に応じて実施しています。また、2014年度からPET健診を、2015年度から胃がん健診を始めました。 ★血液サラサラ健診 血液は体内に必要な栄養素、酵素等を運び、老廃物を取り除く働きをします。 生活習慣病予防のために「血液サラサラ健診」を受けてみませんか？ ★鼻から行う内視鏡 鼻から行う内視鏡をご存じですか？ 経鼻内視鏡検査は、口からの検査に比べ検査時の吐き気、不快感が少ないものとなっています。
一般健診	
脳ドック	
レディース	
オプション	
脳オプション	
動脈硬化オプション	
血液サラサラ度オプション	
骨粗鬆症オプション	
各種がんオプション：肺、前立腺、乳腺、子宮	
PET健診	

〈サリドマイド健診〉

先行の「全国のサリドマイド胎芽病患者の健康、生活実態に関する研究班」の研究成果を踏まえ、中年期を向かえた患者の今後の医療上・生活上の問題点を明確にし、有効な医療及び支援のあり方を検討する。また、外国での患者に対する医療の取組みに関する調査も進め、国際的な医療情報交換を推進し、患者に対する支援のあり方、取組みを世界的規模で検討していく。

京都医療センター健診センターでは、西日本居住者を対象に健診を実施している。

□ 診療実績 (令和元年度)

〈受診者数〉

基本健診	一般健診	生活習慣病	脳ドック	レディース	PET検診	胃がん検診	マンモグラフィ健診	サリドマイド健診
2012年度	766	11	27	30	—	—	—	10
2013年度	802	6	34	16	—	—	—	8
2014年度	965	6	25	27	11	—	—	8
2015年度	965	2	29	20	47	4	—	7
2016年度	992	8	22	22	65	41	—	9
2017年度	1069	—	25	21	79	70	—	8
2018年度	1057	—	23	23	97	92	0	7
2019年度	1036	—	16	17	100	141	16	7

オプション	脳	簡易脳	動脈硬化	血液流動性	骨粗鬆症
2012年度	118	—	94	36	101
2013年度	122	—	85	43	93
2014年度	144	—	135	88	135
2015年度	135	—	133	69	139
2016年度	144	—	133	72	123
2017年度	148	3	137	68	122
2018年度	144	1	123	63	114
2019年度	147	7	108	—	124

がんオプション	肺がん	前立腺がん	乳がん	子宮がん
2012年度	48	161	183	140
2013年度	54	175	197	136
2014年度	76	207	221	138
2015年度	65	215	227	152
2016年度	82	219	212	146
2017年度	79	241	253	184
2018年度	77	208	243	194
2019年度	73	237	244	198

胃がんリスク検診	A群	B群	C群	D群	E群(除菌後)	計	当院での除菌者数
2014年度	616	88	56	9	168	937	102
2015年度	617	46	17	5	254	939	44
2016年度	549	45	42	60	311	1007	28
2017年度	554	49	51	72	341	1067	38
2018年度	593	38	43	57	394	1125	29
2019年度	556	41	26	73	401	1097	20

PPI内服、胃手術後、腎機能異常を除外

がん検診

上部消化管検査	内視鏡			透視	上部消化管 検査総件数	がん発見率		
	経鼻	経口	合計			内視鏡	透視	トータル
2013年度	244 (0)	206 (5)	450 (5)	312 (0)	762 (5)	1.11	0.00	0.66
2014年度	389 (1)	410 (2)	799 (3)	152 (0)	951 (3)	0.38	0.00	0.32
2015年度	458 (0)	390 (2)	848 (2)	105 (0)	953 (2)	0.24	0.00	0.21
2016年度	541 (1)	393 (2)	934 (3)	94 (0)	1028 (3)	0.32	0.00	0.29
2017年度	678 (0)	425 (5)	1103 (5)	—	1103 (5)	0.45	—	0.45
2018年度	702 (1)	413 (2)	1115 (3)	—	1115 (3)	0.27	—	0.27
2019年度	741	395 (1)	1136 (1)	—	1136	0.07	—	0.07

大腸がん検診	便潜血検査		要精検者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)	がん	がん発見率 (%)
	件数	陽性数						
2013年度	781	73	73	9.3	37	50.7	2	0.26
2014年度	962	162	157	16.3	121	77.0	1	0.10
2015年度	995	145	140	14.9	100	71.4	5	0.50
2016年度	1034	128	117	11.3	75	64.1	4	0.39
2017年度	1077	121	117	10.9	80	68.4	2	0.19
2018年度	1075	108	95	8.8	58	61.1	2	0.19
2019年度	1050	129	112	10.7	62	55.4	2	0.19

前立腺がん検診	PSA		要精検者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)	がん	がん発見率 (%)
	件数	陽性数						
2015年度	215	8	8	3.7	6	75.0	1	0.47
2016年度	255	11	7	2.7	6	85.7	0	0.00
2017年度	241	15	8	3.3	8	100	2	0.83
2018年度	208	10	4	1.9	4	100	3	1.92
2019年度	237	10	6	2.5	5	83.3	0	0.00

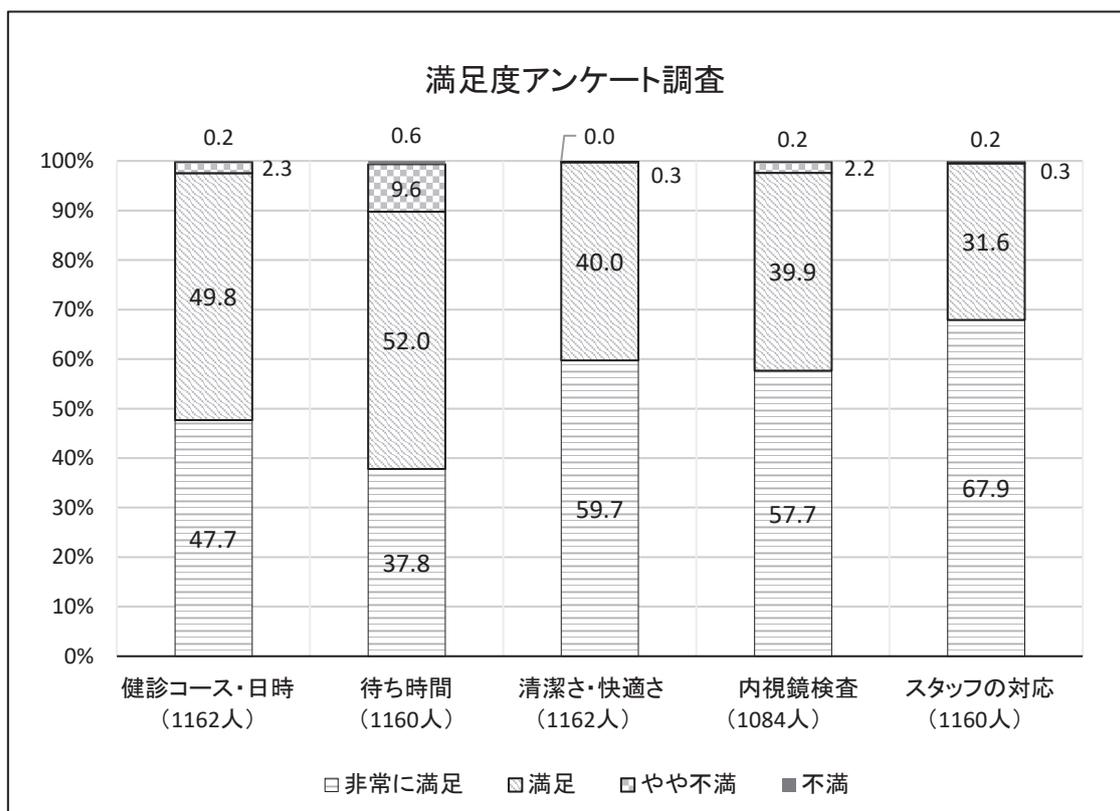
子宮がん検診	頸部細胞診		要精検者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)	がん	がん発見率 (%)
	件数	陽性数						
2015年度	172	4	4	2.3	4	100	0	0.00
2016年度	173	3	3	1.7	3	100	1 (CIN3)	0.58
2017年度	209	1	1	0.5	1	100	0	0.00
2018年度	221	1	1	0.5	1	100	0	0.00
2019年度	219	1	1	0.5	1	100	1 (CIN3)	0.46

乳がん検診	マンモグラフィー検査		要精検者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)	がん	がん発見率 (%)
	件数	陽性数						
2015年度	248	99	99	39.9	86	86.9	0	0.00
2016年度	239	69	69	28.9	50	72.5	1	0.42
2017年度	278	80	80	28.8	66	82.5	1	0.36
2018年度	270	51	50	18.5	40	80.0	1	0.37
2019年度	281	40	40	14.2	30	75.0	0	0.00

PET検診	件数	発見腫瘍
2014年度	11	0
2015年度	47	2(肺癌1、乳癌1)
2016年度	65	0
2017年度	79	0
2018年度	97	1(大腸癌)
2019年度	100	0

### 健診で発見された癌(まとめ)

	咽喉頭癌	食道表在癌	早期胃癌	十二指腸癌	大腸癌	乳癌	子宮癌	肺癌	前立腺癌	その他の腫瘍性病
2013年度	1	1	5	0	2	0	0	0	0	0
2014年度	1	1	3	0	1	1	0	1	0	0
2015年度	0	1	2	0	5	1	0	1	1	白血病1
2016年度	0	0	3	2	4	1	1(CIN3)	0	0	0
2017年度	1	0	5	0	2	1	0	0	2	甲状腺癌2、膀胱癌1、胆嚢癌1、胸腺腫1
2018年度	0	0	3	0	3	1	0	1	3	胃神経内分泌腫瘍1、十二指腸腺腫1
2019年度	0	1	1	0	2	0	1(CIN3)	0	0	甲状腺癌1、悪性リンパ腫1、胃MALTリンパ腫1、十二指腸腺腫1、胆嚢癌1



□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際シンポジウム	田上 哲也	Endocrine and metabolic disorders of thalidomiders	第2回国際サリドマイド胎芽症シンポジウム	Tokyo	2019.7.14	2019.7.14-15

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	田上 哲也	A nationwide survey regarding the life situations of patients with thalidomide embryopathy in Japan, 2018: First report.	Birth Defects Res.	111	20	1633-1642			2019.6.24
和文その他	田上 哲也, 島 伸子, 前川 高天	(独)国立病院機構京都医療センターにおける日帰り人間ドック、健康診断	サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築研究 令和元年度総括・分担研究報告書					医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	
和文総説・著書	田上 哲也	内分泌・代謝障害	サリドマイド胎芽症診療ガイド2020			34-36		医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	2020.3.31
和文総説・著書	島 伸子, 前川 高天	消化管内視鏡と消化管疾患	サリドマイド胎芽症診療ガイド2020			48-50		医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	2020.3.31

# 臨床研究センター



臨床研究センター長  
八十田 明宏

専門医資格等 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医  
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医  
専門分野 内科・内分泌代謝・骨代謝

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野
展開医療 研究部長	長谷川 浩二	日本循環器学会 認定循環器専門医 日本内科学会 認定内科医専門医 アメリカ心臓協会専門医 (FAHA) アメリカ心臓病学会専門医 (FACC) 日本禁煙科学会認定 上級禁煙支援医 日本臨床分子医学会 評議員 日本心不全学会 評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 国際心臓研究学会 (ISHR) 評議員 日本内科学会近畿支部 評議員 日本禁煙科学会 治療分科会長 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員 認定NPO法人日本心血管協会理事長 日本動脈硬化学会評議員禁煙推進部会委員 国際心筋症・心筋炎・心不全学会幹事 国際心血管薬物療法学会 (ISCP) 常任理事・元理事長 世界心臓連合タバコ専門家グループ委員 京都大学医学博士 大阪医科大学非常勤講師 静岡県立大学客員教授 京都大学医学部臨床教授	心不全、虚血性心疾患、 心血管危険因子管理・ 特に禁煙指導、心血管 展開医療、薬物療法に 関する研究
内分泌代謝 高血圧研究 部長	浅原 哲子	日本内科学会 認定内科医・指導医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本神経内分泌学会 評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 日本動脈硬化学会 認定動脈硬化専門医・評議員 日本病態栄養学会 評議員 日本抗加齢医学会 専門医 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	糖尿病、肥満症(メタボ リックシンドローム)疾 患、内分泌代謝内科、予 防医学、遺伝診療

		日本糖尿病学会近畿支部 評議員 日本糖尿病生活習慣病ヒューマンデータ学会 評議員 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師 帝京大学医学部 臨床研究医学講座特任教授 滋賀医科大学 社会医学講座 公衆衛生学部門 客員教授 同志社大学 スポーツ健康科学部 客員教授 九州大学 医学研究院病態制御内科学分野 非常勤講師 国立循環器病研究センター 客員研究員	
予 防 医 学 研 究 室 長	坂根 直樹	日本内科学会 認定医 京都府立医科大学医学博士	糖尿病、予防医学
研 究 室 長 (先 端 医 療 技 術 開 発)	和田 啓道	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本循環器学会 認定循環器専門医 認定NPO法人日本心血管協会 評議員 京都大学医学博士	内科・循環器内科、冠動脈疾患、慢性腎臓病、コホート研究、バイオマーカー開発
臨 床 内 分 泌 代 謝 (専 任) 研 究 室 長	日下部 徹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 京都大学医学博士 京都大学客員研究員	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、脂肪委縮症、内分泌サルコペニア、遺伝診療
がんゲノム 医 療 研 究 室 長	林 琢磨	日本人類遺伝学会・遺伝医学臨床研究コーディネーター 日本救急医学会認定 ICLSインストラクター 臨床心理カウンセラー 米国立衛生研究所(NIH)/米国疾病対策センター(CDC) BL3 (P3) 感染マテリアル取り扱い主任者資格(新興感染症) 東京都/動物取扱管理責任者(同資格) がん展開医療研究会 幹事 学校法人梅花女子大学/大学院 教授(兼務) 医学博士	婦人科腫瘍学 癌ゲノム医療学 腫瘍学 新興感染症学
研 究 室 長 (情 報 化 推 進: 併 任)	北岡 有喜	社会医学系専門医協会 専門医・指導医 日本産科婦人科学会 専門医・指導医 日本専門医機構 産婦人科 専門医 臨床研修指導医 九州大学医学部 非常勤講師 京都情報大学院大学 客員教授 医学研究所北野病院 第11研究部長(客員) 総務省 地域情報化アドバイザー 地方公共団体情報システム機構経営審議委員会 委員 独立行政法人情報処理推進機構「先進的IoT プロジェクト支援事業」メンター 平成24年度「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰 地方創生に資する「地域情報化大賞」大賞・総務大臣賞 受賞 第4回「健康寿命をのぼそう!アワード」厚生労働省健康局長優良賞 受賞	生殖分子生理学・医療情報学・情報システム学・政策科学・公共政策学

		ITコンソーシアム京都 医療情報化部会 部会長 京都大学博士(医学) 同志社大学博士(政策科学) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会委員・データ利用審査委員会委員 京都府がん医療戦略推進会議 院内がん登録部会 部会長 国立病院等総合情報ネットワーク研究会 副会長	
研究室長 (分子内分泌代謝:併任)	田上 哲也	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 近畿支部評議員 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・教育責任者・評議員・近畿支部幹事 日本甲状腺学会 専門医・評議員・理事 厚生労働省 臨床研修指導医 京都大学医学博士 京都大学 臨床教授・非常勤講師	内科・内分泌代謝(甲状腺疾患)
研究室長 (内分泌系腫瘍:併任)	奥野 博	日本泌尿器科学会 専門医 指導医 日本泌尿器内視鏡学会 代議員 日本生殖医学会 評議員 日本アンドロロジー学会 評議員 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本内視鏡外科学会 技術認定医 日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医 同 ロボット支援手術プロテクター(前立腺・腎・膀胱) 京都大学 医学博士 京都大学 臨床教授 関西医科大学 臨床教授	泌尿器科一般 男性学 前立腺癌 ロボット支援・腹腔鏡手術
研究室長 (臨床疫学情報:併任)	小山 弘	日本内科学会 総合内科専門医・認定内科医・指導医 京都大学博士(医学) 京都大学医学部臨床教授 日本内科学会専門医部会役員 日本内科学会専門医部会近畿支部役員 医療系大学間共用試験実施評価機構医学系OSCE実施小委員会委員・診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験医学系実施管理小委員会委員	内科一般、内科診断学、 医学教育、臨床疫学
研究室長 (糖尿病:併任)	河野 茂夫	日本糖尿病学会 糖尿病専門医・指導医・評議員 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医	糖尿病、足病変
研究室長 (血管障害:併任)	塚原 徹也	日本脳神経外科学会 専門医・評議員 日本脳卒中学会 脳卒中専門医・評議員 日本脳卒中の外科学会 技術指導医 日本脳神経外科認知症学会 理事	脳卒中外科、脳血管障害、 脳腫瘍、脳神経外科一般
研究室長 (生命情報科学:併任)	七野 力	厚生労働省による麻酔科標榜許可 日本専門医機構 専門医 日本麻酔科学会 指導医 日本集中治療医学会 専門医 京都大学医学部臨床教授 関西医科大学臨床教授	麻酔科学全般 心臓血管外科手術の麻酔管理 集中治療における呼吸・循環管理
流動研究員	井上 隆之		
流動研究員	曾和 尚也		
流動研究員	滝川 裕介		

## □地域医療連携・広報活動

- ・世界心臓の日World Heart Day記念イベント 2019年9月29日 京都
- ・広げよう!メタボ撲滅の輪～健康長寿を目指した食事・運動療法～  
令和元年度近畿地域診療放射線技師学術大会 府民公開講座 2020年2月9日 京都
- ・広げよう!メタボ撲滅の輪～健康長寿を目指して～  
2019年度 名古屋大学 環境医学研究所 市民公開講座 2019年10月19日 愛知
- ・肥満・糖尿病における効果的な動脈硬化予防  
第51回日本動脈硬化学会総会・学術集會市民公開講座 2019年7月12日 京都
- ・骨と筋肉を鍛えて健康長寿を目指す  
一般社団法人伏見医師会 市民公開講座 2019年6月22日 京都
- ・これからの糖尿病の治療戦略について～糖尿病とサルコペニアを考える～  
第49回西京区医師会症例報告・学術講演会 2019年9月1日 京都
- ・ダイナペニア:筋力のコントロール  
伏見内分泌代謝ネットワーク 第32回連携の会 2019年10月17日 京都
- ・フレイルとサルコペニア～若い時から貯蓄をしましょう～  
令和元年度 第3回滋賀大学健康セミナー 2019年12月20日 滋賀
- ・内臓脂肪を減らす食事  
市民公開講座 2019年11月3日 東京
- ・楽しくてためになる糖尿病教室  
記念講演 ブルーライトアップおおだ実行委員会2019年11月17日 島根
- ・患者・医療者間連携の再考  
ワークショップ 2019年8月4日 愛媛
- ・2,3歳から始めるサベレ・メソッド  
京都新聞(まちかど) 2019年4月20日 /KBS京都テレビ 2019年5月22日 京都
- ・ヨーロッパが発祥の五感を使った食育法  
聖護院保育園保護者会 2019年6月22日 京都
- ・2,3歳から始めるサベレ・メソッド活動について  
RADIO Mix KYOTO087.0ラジオ出演(大谷大学 ハッピーアワー! 第181回) 2019年12月5日 京都
- ・地区で暮らし続けられる介護予防  
NHO徳島放送 2019年4月5日 徳島

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	堀尾 綾香, 安井 みのり, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	治験参加患者が救急外来受 診した際の院内体制の構築	第19回CRCと臨 床試験とあり方 を考える会議	横浜	2019.9.14	2019.9.14- 2019.9.15
国内学会	北岡 有喜, 湊 拓巳, 滝川 裕介	ICT/IoTを活用した医療分 野における働き方改革:PHR システム「ポケットカルテ®」 と連動したスマートグラスに よる体外循環技術の安全性 向上に関する研究開発	独立行政法人国 立病院機構京都 医療センター成 果発表会	京都	2020.3.14	2020.3.14
国際学会	坂根 直樹, 二連木 晋輔, 菅沼 彰子	The study of Metabolic Improvement by Nutritional Intervention controlling Endogenous GIP (Mini Egg study): a randomized, double-blinded, cross-over study	79th Scientific Sessions, ADA, June 7 - 11, 2019, San Francisco, San California	アメリカ, サンフラン シスコ	2019.6.8	2019.6.7 ~ 2019.6.11
国際学会	河口 八重子	Taste Education in Japan	8th SAPERE SYMPOSIUM	Jesus College, University of Cambridge	2019.10.24	2019.10.24 ~ 25
国内学会	田上 哲也	IGF-1のエネルギー代謝に 関する基礎的検討	第92回日本内分 泌学会学術総会	仙台	2019.5.11	2019.5.9-11
国内学会	浅原 哲子	大規模コホートを基盤とし た糖尿病・肥満症における 心腎脳合併症の早期評価系 と治療戦略の構築に関する 研究	第62回日本糖尿 病学会年次学術 集会	宮城	2019.5.25	2019.5.23 ~ 2019.5.25
国内学会	井上 隆之, 山陰 一, 村中 和哉, 日下部 徹, 浅原 哲子	脂肪組織における認知症発 症予知因子・TREM2 の病態 生理学的意義の解明	第40回日本肥満 学会	東京	2019.11.3	2019.11.2 ~ 2019.11.3
国内学会	日下部 徹, 赤松 裕訓, 石原 裕己, 田上 哲也, 八十田 明宏, 浅原 哲子	大学生の体組成、筋力、食習 慣、身体活動に関する実態 調査—若年者におけるサル コペニアの検討—	第6回日本サル コペニア・フレイ ル学会大会	新潟	2019.11.10	2019.11.9 ~ 2019.11.10
国内学会	上田 愛子, 河野 茂夫, 島津 章, 服部 正和	ヒト糖尿病性腎症(糸球体硬 化症)の予防を目指す研究: 感受性遺伝子の同定と生活 環境因子の影響	第73回国立病院 総合医学会	名古屋	2019.11.9	2019.11.8 ~ 2019.11.9
国際学会	福田 俊一	Wall Shear Stress Disturbances May Be Key Requirements for Cerebral Aneurysm Growth: Computational Flow Dynamic Analysis of 15 Cases in NHO CFD ABO Study	International Stroke Conference 2020	Los Angeles California	2020.2.19	2020.2.19 ~ 21
国際学会	長谷川 浩二	Obesity after smoking cessation – rationale of a complex interplay –	24th Scientific Meeting of the ISCP International Society of Cardiovascular Pharmacotherapy	Lugano, Switzerland	2019.5.9	2019.5.9 ~ 2019.5.10
国際学会	和田 啓道, 井口 守文, 益永 信豊, 石井 充, 小谷 和彦, 阿部 充, 赤尾 昌治, 長谷川 浩二	Vascular Endothelial Growth Factor D and Mortality in Patients With Diabetes and Stable Coronary Heart Disease: From the ANOX Study	American Heart Association Scientific Sessions 2019	Philadelphia, PA, USA	2019.11.16	2019.11.16- 2019.11.18
国内学会	林 琢磨, 小西 郁生	免疫組織学的バイオマー カーによる子宮間葉性腫瘍 の予後予測法の確立に関する 研究	日本婦人科腫瘍 学会 学術講演 会	新潟	2019.7.5	2019.7.4 ~ 7.6

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	坂根 直樹, 村田 敬, 二連木 晋輔, 菅沼 彰子	Development and Validation of the Continuous Subcutaneous Insulin Infusion-related Quality of Life (CSII-QOL) Scale.	Diabetes Technol Ther	22	3	216-221		Mary Ann Liebert, Inc.	2020.5
英文論文	坂根 直樹, 二連木 晋輔, 菅沼 彰子	The study of metabolic improvement by nutritional intervention controlling endogenous GIP (Mini Egg study): a randomized, cross-over study.	Nutrition Journal	18	1	52		BMC	2019.9
英文論文	二連木 晋輔, 同道 正行, 鋤納 心, 菅沼 彰子, 河口 八重子, 坂根 直樹	An optimal condition for the evaluation of human brown adipose tissue by infrared thermography.	PLoS One	14	8	e0220574.		Plos One	2019.8
英文論文	二連木 晋輔, 坂根 直樹	Applicability of Supraclavicular Oxygenated and Total Hemoglobin Evaluated by Near-Infrared Time-Resolved Spectroscopy as Indicators of Brown Adipose Tissue Density in Humans.	Int J Mol Sci.	20	9	E2214		MDPI	2019.5
和文原著論文	湊 聡美, 二連木 晋輔, 林 育代, 坂根 直樹	日本人妊婦における PNPLA3遺伝子多型と妊娠後期食事中のn-6/n-3比が妊娠中の体重増加に与える影響	日本臨床栄養学雑誌					日本臨床栄養学会	2020. Inpress
英文論文	田上 哲也, 廣嶋 佳歩, 馬越 洋宜, 立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子, 島津 章	Experimental Reproduction of Dynamic Fluctuation of TSH Receptor-Binding Antibodies Between Stimulation and Inhibition.	J Endocr Soc.	3	12	2361-2373			2019.12
和文総説・著書	浅原 哲子	肥満の基礎 肥満の発症機序	臨床消化器内科	34	4	357-364		臨床医学出版	2019.4
英文論文	山陰 一, 田中 将志, 井上 隆之, 小島 真司, 日下部 徹, 浅原(佐藤) 哲子	Effects of dapagliflozin on the serum levels of fibroblast growth factor 21 and myokines and muscle mass in Japanese patients with type 2 diabetes: a randomized, controlled trial.	J Diabetes Investig	11	3	653-661			2019.11
英文論文	井上 隆之, 山陰 一, 田中 将志, 日下部 徹, 島津 章, 浅原(佐藤) 哲子	Oxytocin Suppresses Inflammatory Responses Induced by Lipopolysaccharide through Inhibition of the eIF-2-ATF4 Pathway in Mouse Microglia.	Cells	8	6	pii: E527			2019.5

英文論文	井上 隆之, 田中 将志, 山陰 一, 日下部 徹, 島津 章, 浅原(佐藤) 哲子	Pleiotropic neuroprotective effects of taxifolin in cerebral amyloid angiopathy.	Proc Natl Acad Sci U S A	116	20	10031-10038			2019.5
英文論文	日下部 徹	Clinical characteristics in two patients with partial lipodystrophy and Type A insulin resistance syndrome due to a novel heterozygous missense mutation in the insulin receptor gene.	Diabetes Res Clin Pract	152		79-87			2019.6
和文総説・著書	日下部 徹	肥満、糖尿病に合併するサルコペニア	別冊BIO Clinica 慢性炎症と疾患	8	2	78-82		株式会社北隆館	2019.10
英文論文	福田美雪, 福田俊一, 丹羽陽子, 浅原哲子, 長谷川浩一, 島津章, 塚原徹也	Disruption of P2X4 Purinoceptor Suppresses the Inflammation Associated with Cerebral Aneurysm Formation.	J Neurosurg			1-13			2019.12
英文論文	長谷川浩二	Role of SIRT1 in Modulating Acetylation of the Sarco-Endoplasmic Reticulum Ca <sup>2+</sup> -ATPase in Heart Failure.	Circ Res	124	9	e63-e80			2019.6
英文論文	尾崎 裕香, 小見山 麻紀, 高橋 裕子, 長谷川 浩二	Determining the effects of exercise after smoking cessation therapy completion on continuous abstinence from smoking: Japanese study protocol.	Trials	20	1	734			2019.12
英文論文	和田 啓道, 鶴木 崇, 高木 大輔, 和田 享万, 和田 都花, 井口 守丈, 益永 信豊, 石井 充, 山陰 一, 日下部 徹, 八十田 明宏, 島津 章, 小谷 和彦, 浅原 哲子, 阿部 充, 赤尾 昌治, 長谷川 浩二	Distinct Characteristics of VEGF-D and VEGF-C to Predict Mortality in Patients With Suspected or Known Coronary Artery Disease	Journal of the American Heart Association (J Am Heart Assoc. 2020;9:e015761. DOI: 10.1161/JAHA.119.015761)	9	in press	e015761		Wiley	in press
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Progress of Cancer Precision Medical by Approval of Medical Insurance of Cancer Gene Panel Test.	International Journal of Trend in Scientific Research and Development (IJTSRD)	4	2	53-55		Publisher R M Patel Index Copernicus	2020.2
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Characteristics of Leiomyosarcoma: Induction of Hematogenous Metastasis by Isolated Uterine Mesenchymal Tumor Stem-like Cells.	Anticancer Research	40	3	1255-1265		International Institute of Anticancer Research.	2020. 1

□ 獲得した競争的研究資金

項目	研究課題	研究者名	研究事業名	主任/分担	研究費獲得学
日本医療研究開発機構研究費	肥満症に対する効果的な治療戦略と健康障害の改善に資する減量数値目標を見出すための介入研究	浅原 哲子	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	分担	50 万円
日本医療研究開発機構研究費	高齢者2型糖尿病における認知症予防のための多因子介入研究 ーパイロット研究ー	浅原 哲子	長寿・障害総合研究事業 認知症研究開発事業	分担	80 万円
日本医療研究開発機構研究費	IoT活用による糖尿病重症化予防法の開発を目指した研究 (臨床研究フィールド)	浅原 哲子	IoT等活用生活習慣病行動変容研究事業	分担	39 万円
日本医療研究開発機構研究費	壮年期就労者を対象とした生活習慣病予防のための動機付け支援の技術開発に関する研究	坂根 直樹	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	分担	20 万円
日本医療研究開発機構研究費	骨格筋ミトコンドリアとアミノ酸代謝に着目したサルコペニア先制医療の開発	日下部 徹	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	分担	65 万円
その他財団等からの研究費	異所性脂肪蓄積モデル動物の開発とその病態生理的意義の解明ー膵臓における脂質蓄積 (Nonalcoholic Fatty Pancreas Disease)を中心にー	日下部 徹	ノバルティスファーマ株式会社	主任	50 万円
その他財団等からの研究費	糖尿病・肥満における脳血管障害と認知機能低下に及ぼす喫煙の影響ー単球機能・TREM 2の病態意義の検討ー	浅原 哲子	喫煙科学研究財団研究助成金	主任	200 万円
その他財団等からの研究費	TREM2に着目した肥満・糖尿病に伴う脳内炎症・認知機能低下に対するインクレチンシグナルの機能的意義の解明	浅原 哲子	日本イーライリリー研究助成金	主任	45 万円
その他財団等からの研究費	肥満症における心血管病及び慢性腎臓リスク因子としての高尿酸血症の臨床的意義-血中単球機能 (M1/M2比)・XORとの関連-	浅原 哲子	公益財団法人痛風・尿酸財団	主任	30 万円
その他財団等からの研究費	骨粗鬆症・サルコペニア外来におけるサルコペニアの有病率とその治療法の確立ー筋・骨連関の解明ー	日下部 徹	三井住友海上福祉財団	主任	160 万円
日本学術振興会科学研究費	買い物支援事業を活用した高齢者及び買い物弱者への効果的な食生活支援に関する研究	坂根 直樹	科研費 (基盤研究C)	分担	13 万円
日本学術振興会科学研究費	1型糖尿病の心理社会的及び経済的側面と糖尿病アウトカムに関する前向きコホート研究	坂根 直樹	科研費 (基盤研究C)	分担	65 万円
日本学術振興会科学研究費	モデル動物を用いた糖・脂質代謝調節における異所性脂肪蓄積の病態生理的意義の解明	日下部 徹	科研費 (基盤研究C)	主任	143 万円
日本学術振興会科学研究費	CNP/NPR-Bシグナルによる骨伸長促進作用のメカニズムの解明	八十田 明宏	科研費 (基盤研究C)	主任	130 万円
日本学術振興会科学研究費	個人に合わせた生活習慣を提案する糖尿病リスクスコアの開発と効果検証	坂根 直樹	科研費 (基盤研究C)	分担	39 万円
日本学術振興会科学研究費	心筋細胞核内情報伝達機構を標的とした新規心不全療法開発のための創薬展開医療研究	長谷川 浩二	科研費 (基盤研究C)	主任	143 万円
日本学術振興会科学研究費	フラボノイド系化合物による膀胱時計調律機構の解明と夜間頻尿患者の時間治療への応用	坂根 直樹	科研費 (基盤研究C)	分担	7 万円
日本学術振興会科学研究費	周産期包括的検体を用いた潜在性甲状腺機能低下症合併妊娠における母児の予後判定	浅原 哲子	科研費 (基盤研究C)	分担	16 万円
日本学術振興会科学研究費	フレイルや転倒予防のための簡易な歩行分析システムの開発とポールウォーキングの効果	坂根 直樹	科研費 (基盤研究C)	分担	20 万円
日本学術振興会科学研究費	運動療法による生活習慣病リスク改善の個人差の要因の検討	坂根 直樹	科研費 (基盤研究C)	分担	26 万円
日本学術振興会科学研究費	サルコペニア肥満の分子機構の解明と治療への応用	日下部 徹	科研費 (基盤研究C)	分担	7 万円
日本学術振興会科学研究費	単球・ミクログリアを介した腸-脳-筋連関による認知症・サルコペニア進展機序の解明	浅原 哲子	科研費 (挑戦的研究萌芽)	主任	176 万円
日本学術振興会科学研究費	TREM2・単球機能を標的とした糖尿病・肥満に伴う認知症予知指標・治療戦略の開発	浅原 哲子	科研費補助金 (基盤研究B)	主任	494 万円
日本学術振興会科学研究費	妊娠前、妊娠中、産後の食生活を継続支援する個別化栄養プログラムの開発と効果検証	坂根 直樹	科研費 (基盤研究C)	分担	65 万円
日本学術振興会科学研究費	2歳児向け五感を用いた食育 (日本版サベレメソッド)の開発	坂根 直樹	科研費 (基盤研究C)	分担	13 万円
日本学術振興会科学研究費	単球・ミクログリア機能に着目した生活習慣病に伴う新規脳心腎連関進展予測指標の確立	山陰 一	科研費 (基盤研究C)	主任	111 万円
日本学術振興会科学研究費	単球・ミクログリア機能に着目した生活習慣病に伴う新規脳心腎連関進展予測指標の確立	浅原 哲子	科研費 (基盤研究C)	分担	20 万円
日本学術振興会科学研究費	子宮平滑筋肉腫に対するリキッドバイオプシーを用いた術前診断の開発	林 琢磨	科研費 (基盤研究C)	主任	169 万円
日本学術振興会科学研究費	単球・ミクログリア由来蛋白を標的とした生活習慣病に伴う認知症予防法の確立	井上 隆之	科研費 (基盤研究C)	主任	156 万円
日本学術振興会科学研究費	単球・ミクログリア由来蛋白を標的とした生活習慣病に伴う認知症予防法の確立	浅原 哲子	科研費 (基盤研究C)	分担	13 万円
日本学術振興会科学研究費	小学校就学前児童に対するSapereメソッド導入による食の感受性に富む次世代育成	坂根 直樹	科研費 (基盤研究C特設分野)	分担	13 万円
日本学術振興会科学研究費	稀少内分泌疾患から生活習慣病へのトランスレーショナルサイエンス	日下部 徹	科研費補助金 (基盤研究A)	分担	104 万円
日本学術振興会科学研究費	肥満・糖尿病合併認知症における脳-脂肪連関の分子基盤の解明:TREM2の病態意義	浅原 哲子	科研費 (基盤研究C)	分担	20 万円
日本学術振興会科学研究費	女性アスリートの貧血予防を目指した食事支援アプリの開発:ヘプシジンに注目して	坂根 直樹	科研費 (基盤研究C)	分担	13 万円
日本学術振興会科学研究費	ライフステージの朝型夜型リズム変化に適した世代別・時間帯別の運動プログラム開発	坂根 直樹	科研費 (基盤研究C)	分担	13 万円

# 遺伝診療部



診療部長  
高倉 賢二  
令和元年11月30日まで

専門医資格等 日本産科婦人科内視鏡学会 評議員  
日本内分泌学会 評議員  
日本受精着床学会 評議員  
京都大学 医学博士  
京都大学医学部 非常勤講師  
京都大学医学部 臨床教授  
関西医科大学 臨床教授

専門分野 婦人科腫瘍  
産婦人科手術  
内分泌疾患の診断・治療

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

役職	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
顧問	三宅 秀彦	日本産科婦人科学会 専門医 指導医、 日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会 臨床遺伝専門医 指導医、 日本人類遺伝学会 臨床細胞遺伝学認定士、日本周産期・新生児学会 周産期(母体・胎児) 専門医、日本人類遺伝学会： 評議員 広報委員会委員長 教育推進委員 臨床細胞遺伝学セミナー実行委員、 日本遺伝カウンセリング学会：理事・評議員、 日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会共同認定 臨床遺伝専門医制度委員会 委員、日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会共同認定 認定遺伝カウンセラー制度委員会 委員、日本家族性腫瘍学会 広報委員、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻 遺伝カウンセリングコース 教授	産婦人科学 臨床遺伝学	臨床遺伝学(遺伝カウンセリング) 周産期医療
室長	浅原 哲子	日本内科学会 認定内科医・指導医・総合内科専門医、日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医、日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本神経内分泌学会 評議員、日本心血管内分泌代謝学会 評議員、日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医、日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員、日本肥満症治療学会 評議員、日本動脈硬化学会 動脈硬化専門医・評議員、日本病態栄養学会 評議員、日本抗加齢医学会 専門医、日本糖尿病学会近畿支部 評議員、日本糖尿病生活習慣病ヒューマンデータ学会 評議員、 京都大学医学博士、京都大学非常勤講師、 国立循環器病研究センター 客員研究員、同志社大学 スポーツ健康科学部 客員教授、 帝京大学医学部 臨床研究医学講座 特任教授、滋賀医科大学 社会医学講座 公衆衛生学部門 客員教授	糖尿病 肥満症(メタボリックシンドローム) 内分泌代謝 予防医学 遺伝診療	糖尿病 肥満症 内分泌疾患 遺伝性疾患全般

医師	日下部 徹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医、日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科) 専門医・指導医・評議員、日本糖尿病学会 糖尿病専門医・指導医、日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員、日本肥満症治療学会 評議員、京都大学大学院医学研究科 客員研究員、京都大学 医学博士	糖尿病 肥満症 内分泌代謝	肥満症 糖尿病 サルコペニア 骨粗鬆症
医師	橋本 有紀子	日本小児科学会専門医、日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	小児科全般 小児内分泌 先天代謝異常 新生児 遺伝診療	小児内分泌、先天異常
臨床検査技師 認定遺伝 カウンセラー	飛騨 美希	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会、認定遺伝カウンセラー	検体検査 遺伝カウンセリング	遺伝性疾患全般
認定遺伝 カウンセラー	小西 陽介	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	遺伝カウンセリング	遺伝性疾患全般
医師	北 誠	日本小児科学会専門医 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター	未熟児・新生児、 小児全般	先天異常
医師	難波 多挙	日本内科学会 認定内科医、日本内分泌学会 内分泌代謝(内科) 専門医、米国心臓協会 FAHA、臨床研修指導医、ミシガン大学医学部 リサーチ・アシスタント・プロフェッサー	内科 内分泌・代謝	内分泌代謝疾患
医師	安彦 郁	日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本婦人科腫瘍学会専門医・代議員、日本癌治療認定医機構、癌治療認定医、日本産婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本ロボット手術学会認定医、京都大学医学博士	産婦人科学 婦人科腫瘍学	婦人科悪性腫瘍 腫瘍免疫
医師	江本 郁子	日本産科婦人科学会専門医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	産婦人科一般	周産期一般
医師	和田 美智子	日本産科婦人科学会専門医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	産婦人科一般	周産期一般
メディカル アドバイザー	林 琢磨	日本人類遺伝学会・遺伝医学臨床研究コーディネーター、日本救急医学会認定 ICLSインストラクター、臨床心理カウンセラー、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST) 科学技術評価審査委員、東京都/日本水環境学会 COVID-19タスクフォース 科学技術アドバイザー、米国立衛生研究所(NIH) /米国疾病対策センター(CDC) BL3(P3) 感染マテリアル取り扱い主任者資格(新興感染症)、東京都/動物取扱管理責任者(同資格)、Springer Nature編集部 科学査読審査評価委員(腫瘍学、婦人科腫瘍学分野)、がん展開医療研究会 幹事、(他 知的財産管理技能士など複数の国家資格を有する)、国立病院機構京都医療センター 高度がん治療センター 癌ゲノム医療 室長 学校法人梅花女子大学/大学院 教授(兼務)、博慈会記念総合病院 老人病研究所 外部研究員、医学博士	婦人科腫瘍学 癌ゲノム医療学 腫瘍学 感染症学 新興感染症学	婦人科腫瘍 癌ゲノム医療 腫瘍 新興感染症

臨床心理士	高垣 愉佳	臨床心理士 准看護師	緩和ケア 遺族カウンセリング 遺伝カウンセリング	腫瘍 神経疾患
-------	-------	---------------	--------------------------------	------------

## □ 診療科の特徴

認定施設等	臨床遺伝専門医制度委員会 認定研修施設 がんゲノム医療連携病院 遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構 基幹施設
-------	---

- 2014年に発足した新しい診療科です。京都府下には遺伝診療科を有する病院が3施設ありますが、当院は京都市および京都府南部の遺伝診療に貢献しています。
- 臨床遺伝専門医 指導医1名と臨床遺伝専門医2名を含む10名の医師と認定遺伝カウンセラー、臨床心理士、研究者が在籍しています。また、臨床遺伝専門医の認定研修施設であり、他施設に在籍する医師の研修も行っています。
- 全ての疾患領域を対象にカウンセリングを行っています。
- 院内の各診療科および地域との連携に努め、患者さんがよりよい医療を受けられるようにお手伝いをします。

## □ 主な対象疾患

遺伝性乳がん卵巣がん症候群、リンチ症候群、家族性大腸ポリポーシス、神経線維腫症、多発性内分泌腫瘍症、褐色細胞腫、網膜芽細胞腫 などの家族性腫瘍

ファブリー病、ポンペ病、高フェニルアラニン血症、ムコ多糖症、家族性高コレステロール血症、脂肪萎縮症、性分化疾患、尿崩症、ジテルマン症候群、バーター症候群、甲状腺ホルモン不応症 などの代謝疾患・内分泌疾患  
ブルガダ症候群、QT延長症候群、エーラス・ダンロス症候群、マルファン症候群およびその類縁疾患、軟骨無形成症、骨形成不全症 などの循環器および骨結合組織疾患

脊髄性筋萎縮症、ハンチントン病、デュシェンヌ/ベッカー型筋ジストロフィー、ミトコンドリア病、副腎白質ジストロフィー、家族性アルツハイマー病、脆弱X症候群 などの神経筋疾患

その他、遺伝性疾患全般

## □ 診療（業務）内容

- 診断を目的として行われる遺伝学的検査のサポートを行います。
- 遺伝性疾患と診断された後の心理的サポートや情報提供を行い、現在の状況や将来のリスクに適応するためのサポートを行います。
- 家系内に遺伝性疾患と診断された方がおられる場合の、ご家族の方々の発症リスクや、発症前診断についての検討や情報提供を行い、その人らしい選択ができるようにサポートをします。
- 保因者診断についての検討とサポートを行います。

## □ 診療実績（令和元年度）

### 外来患者数

年間総患者数	年間初診患者数
69名	38名

### 主な疾患の件数など

腫瘍	神経筋	内分泌代謝
54件	10件	2件
循環器	小児	周産期
0件	1件	2件

## □ 地域医療連携・広報活動

・地域における遺伝医療の啓発

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	小西 陽介, 飛騨 美希, 和田 美智子, 北 誠, 橋本 有紀子, 高垣 愉佳, 江本 郁子, 安彦 郁, 日下部 徹, 三宅 秀彦, 浅原 哲子, 高倉 賢二	認定遺伝カウンセラーが中心となった遺伝診療部の運営	第43回日本遺伝カウンセリング学会学術集会	北海道	2019.8.3	2019.8.2 ~ 2019.8.4
国内学会	江本 郁子, 小西 陽介, 飛騨 美希, 和田 美智子, 橋本 有紀子, 北 誠, 日下部 徹, 荒木 由香里, 山賀 郁, 安彦 郁, 荒田 順, 山崎 誠二, 浅原 哲子, 三宅 秀彦, 高倉 賢二	遺伝診療部におけるHBOCワーキング・グループの立ち上げから現在まで	第43回日本遺伝カウンセリング学会学術集会	北海道	2019.8.3	2019.8.2 ~ 2019.8.4
国内学会	飛騨 美希, 小西 陽介, 高垣 愉佳, 新井 浩司, 和田 美智子, 橋本 有紀子, 北 誠, 江本 郁子, 安彦 郁, 日下部 徹, 藤森 洋一, 浅原 哲子, 三宅 秀彦, 高倉 賢二	遺伝カウンセリング加算取得の試み	第43回日本遺伝カウンセリング学会学術集会	北海道	2019.8.2	2019.8.2 ~ 2019.8.4
研究セミナー・シンポジウム等	浅原 哲子	糖尿病における心腎脳合併症の治療戦略	4 6 th Diabetes Forum	岡山	2019.9.10	2019.9.10
研究セミナー・シンポジウム等	浅原 哲子	大規模 コホートを基盤とした糖尿病における心腎脳合併症の早期評価系と治療 戦略	第3回北陸糖尿病合併症研究会	金沢	2019.9.14	2019.9.14
研究セミナー・シンポジウム等	日下部 徹, 浅原 哲子	国立病院機構ネットワーク共同研究による2型糖尿病とサルコペニア	第74回日本体力医学会大会	茨城	2019.9.19	2019.9.19 ~ 2019.9.21
研究セミナー・シンポジウム等	浅原 哲子	糖尿病と認知症	第21回応用薬理シンポジウム	静岡	2019.9.20	2019.9.20 ~ 2019.9.21
研究セミナー・シンポジウム等	浅原 哲子	糖尿病に伴う脳心腎合併症予防のための早期診断と治療戦略-輝ける女性医師を目指して-	第5回糖尿病診療を通じたキャリアディベロップメント	岩手	2020.1.18	2020.1.18
研究セミナー・シンポジウム等	浅原 哲子	糖尿病・メタボ外来におけるチーム療法による効果的な食事療法	あおばな糖尿病医療セミナー	滋賀	2020.2.6	2020.2.6
研究セミナー・シンポジウム等	浅原 哲子	肥満症、高度肥満症に対するチーム医療による効果的な治療戦略-糖尿病・肥満症専門医の立場から-	第59回日本心身医学会九州地方会	福岡	2020.2.8	2020.2.8 ~ 2020.2.9
研究セミナー・シンポジウム等	浅原 哲子	広げよう!メタボ撲滅の輪~健康長寿を目指した食事・運動療法~	元年度近畿地域診療放射線技師学術大会 府民公開講座	京都	2020.2.9	2020.2.9
国内学会	日下部 徹, 横田 繁史, 清水 美佳, 井上 隆之, 田中 将志, 北野 隆司, 山陰 一, 浅原 哲子	肥満糖尿病モデル動物において低炭水化物食とSGLT2阻害薬が体組成および糖脂質代謝に及ぼす影響	第40回日本肥満学会	東京	2019.11.2	2019.11.2 ~ 2019.11.3
国内学会	日下部 徹, 井上 隆之, 田中 将志, 山陰 一, 浅原 哲子	肥満症や2型糖尿病治療における低炭水化物食とSGLT2阻害薬の有用性の相違	第21回応用薬理シンポジウム	静岡		2019.9.20 ~ 2019.9.21
研究セミナー・シンポジウム等	日下部 徹	骨と筋肉を鍛えて健康長寿を目指す	一般社団法人伏見医師会市民公開講座	京都	2019.6.22	2019.6.22
研究セミナー・シンポジウム等	日下部 徹	これからの糖尿病の治療戦略について-糖尿病とサルコペニアを考える-	第49回西京医師会症例報告学術講演会	京都	2019.9.1	2019.9.1
研究セミナー・シンポジウム等	日下部 徹	NEWSフェイス中継『 精華町が町民の共同で向けてサルコペニア実態調査 』	K B S 京都	京都	2019.10.16	2019.10.16

研究セミナー・シンポジウム等	日下部 徹	ダイナペニア：筋力のコントロール	伏見内分泌代謝ネットワーク第32回連携の会	京都	2019.10.17	2019.10.17
国内学会	日下部 徹, 浅原 哲子	女性の肥満と痩せにおけるサルコペニアの実態	第40回日本肥満学会&第37回日本肥満症治療学会学術集会	東京	2019.11.2	2019.11.2 ~ 2019.11.3
国内学会	日下部 徹, 赤松 裕訓, 石原 裕己, 田上 哲也, 八十田 明宏, 浅原 哲子	大学生の体組成、筋力、食習慣、身体活動に関する実態調査—若年者におけるサルコペニアの検討—	第6回日本サルコペニア・フレイル学会	新潟	2019.11.9	2019.11.9 ~ 2019.11.10
研究セミナー・シンポジウム等	日下部 徹	フレイルとサルコペニア—若い時から貯蓄をしましょう—	令和元年度 第3回滋賀大学健康セミナー	滋賀	2019.12.20	2019.12.20
研究セミナー・シンポジウム等	日下部 徹	新規アンジオポエチン様タンパク質Angptl8/Betatrophinと中性脂肪代謝調整メカニズム	THE LIPID in YAMASHINA ~いま注目される高中性脂肪のリスク~	京都	2020.2.1	2020.2.1
国際学会	Kazutaka Namba	New Genetic Diagnostics in Primary Aldosteronism	American Heart Association, Scientific Sessions 2019	Philadelphia, USA	2019.11.17	11.16.2019-11.18.2019
研究セミナー・シンポジウム等	難波 多挙	高血圧診療の海外事情	伏見内分泌代謝ネットワーク第31回連携の会	京都	2019.5.30	2019.5.30
研究セミナー・シンポジウム等	難波 多挙	高血圧治療ガイドライン2019 改訂のポイント	14th Stroke Oriented...研究会	京都	2019.8.31	2019.8.31
研究セミナー・シンポジウム等	難波 多挙	遺伝性内分泌疾患の診療	令和元年度内分泌代謝性疾患研修会	京都	2020.2.6	2.6.2020-2.7.2020
国際学会	林 琢磨	ART (Assisted Reproductive Technology)   Urogynecology   Gynecological Surgery   Maternal Fetal Medicine	3rd International Conference of Gynecology and Obstetrics	大阪	2019.06.21	2019.6.21-2019.6.22
国内学会	林 琢磨, 小西 郁生	免疫組織学的バイオマーカーによる子宮間葉性腫瘍の予後予測法の確立に関する研究	日本婦人科腫瘍学会 学術講演会	新潟	07.05.2019	07.04.-07.06.2019
研究セミナー・シンポジウム等	林 琢磨	クリニカルシーケンスの今後の展望：婦人科腫瘍におけるがんゲノム医療の新たな展開	第40回がん診療セミナー (国立病院機構京都医療センター)	京都	09.26.2019	09.26.2019
研究セミナー・シンポジウム等	林 琢磨, 小西 郁生	クリニカルシーケンスの今後の展望：婦人科腫瘍におけるがんゲノム医療の新たな展開	第38回京都がん研究会	京都	2019.10.18	2019.10.18
国内学会	林 琢磨, 小西 郁生	がんゲノム医療への応用：IFN- $\gamma$ シグナル経路因子のがん特異的変異の解析	2019年度 国立病院機構医学会	名古屋	2019.11.09	2019.11.08-11.09
研究セミナー・シンポジウム等	林 琢磨, 小西 郁生	「婦人科腫瘍におけるがんゲノム医療の新たな展開」 New development of cancer genomic medicine in gynecologic tumors	第21 回応用薬理シンポジウム	静岡	2019.09.20	2019.09.20-09.21
国内学会	安彦 郁, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 江本 郁子, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	子宮吊り上げ後方アプローチ式腹腔鏡下広汎子宮全摘出の術者間再現性について	第42回日本産婦人科手術学会・第8回日本婦人科ロボット手術学会	京都	2020.2.23	2020.2.22 ~ 2.23
国内学会	安彦 郁	腹腔鏡下広汎子宮全摘出術の新たなアプローチ①「後方アプローチ腹腔鏡下広汎子宮全摘」	第12回関西腹腔鏡下婦人科悪性腫瘍会議		2020.2.1	2020.2.1

研究セミナー・シンポジウム等	安彦 郁, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 江本 郁子, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	子宮体癌鏡視下手術導入と一般化 -京都医療センターの場合-	第二回産婦人科骨盤内手術手技研究会		2019.11.29	2019.11.29
研究セミナー・シンポジウム等	江本 郁子, 池田 愛紗美, 鈴木 直宏, 渡部 光一, 天野 泰彰, 宇治田 麻里, 安彦 郁, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	アンドロゲン不応症の1例～遺伝カウンセリングから性腺摘出術～	第20回京都女性のヘルスケア研究会	京都	2019.11.6	2019.11.6
研究セミナー・シンポジウム等	安彦 郁	腫瘍別シンポジウム 婦人科がんの発生・病態・治療に関する最新の知見 卵巣癌におけるMDSCを標的とした免疫療法の可能性	第78回癌学会	京都	2019.9.28	2019.9.26-28
国内学会	安彦 郁	BRCA変異のないマウス卵巣癌モデルの抗腫瘍免疫に対するPARP阻害薬オラパリブの影響についての検討	第51回 日本臨床分子形態学会学術集会	福岡	2019.9.20	2019.9.20-21
国内学会	安彦 郁	ワークショップ 「画像診断ピットフォール:疾患編」「外陰・膣の腫瘍」	JSAWI 2019	兵庫	2019.9.6	2019.9.6-7
国内学会	Kaoru Abiko	A case of clear cell carcinoma of the uterine cervix associated with venous thromboembolism	第61回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	新潟	2019.7.4	2019.7.4～7.6

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
和文原著論文	和田 美智子, 橋本 有紀子, 浅原 哲子, 三宅 秀彦	エーラスダンロス症候群が疑われたが術前評価により手術可能と判断し全腹腔鏡下子宮全摘術を施行した一例	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌	35	2	290-293		日本産科婦人科内視鏡学会	2019.12
和文原著論文	小西 陽介, 浅原 哲子, 飛騨 美希, 和田 美智子, 橋本 有紀子, 北 誠, 日下部 徹, 荒木 由香里, 江本 郁子, 山賀 郁, 山口 建, 安彦 郁, 荒田 順, 山崎 誠二, 三宅 秀彦, 高倉 賢二, 小西 郁生	遺伝診療部の取り組み～HBOCワーキンググループの立ち上げから現在まで～	国立医療学会「医療」	-	-	-		国立医療学会	in press
和文総説・著書	浅原 哲子	肥満の基礎 肥満の発症機序	臨床消化器内科	34	4	357-364		臨床医学出版	2019.4
和文総説・著書	浅原 哲子	特集1 体重をマネジメントするコツ	月刊糖尿病ライフ さかえ	59	8	5-10		公益社団法人日本糖尿病協会	2019.8
和文総説・著書	難波 多挙, 田上 哲也, 浅原 哲子	原発性アルドステロン症と糖代謝異常	循環器内科	86	2	204-208		科学評論社	2019.8
和文総説・著書	浅原 哲子	ステロイド糖尿病・膵性糖尿病・腎性糖尿病	今日の疾患辞典～今日の処方例つき～	-	-	-		エイド出版	in press
英文論文	浅原 哲子	5章 5-23 肥満, 5章 5-24 るいそう	内科学 第12版	-	-	-		朝倉書店	in press

英文論文	難波 多挙, 田上 哲也, 浅原 哲子	レプチン	日本臨床増刊号 高血圧学 上巻 -高血圧制圧の 現状と展望-	-	-	-		日本臨牀社	in press
和文総説・著書	日下部 徹	肥満、糖尿病に合併 するサルコペニア	別冊BIO Clinica 慢性炎症と疾患	8	2	78-82		(株)北隆館	2019.10
和文総説・著書	日下部 徹	AGPAT2遺伝子変異 による先天性全身性 脂肪萎縮症の臨床的 特徴	季刊誌『The Lipid』	30	2	98-102		(株)メディカル レビュー社	2019.4
英文論文	難波 多挙	Somatic CACNA1H mutation as a cause of aldosterone- producing adenoma.	Hypertension.	75	3	645- 649			2020.3
和文総説・著書	難波 多挙, 田上 哲也, 浅原 哲子	原発性アルドステロ ン症と糖代謝異常	循環器内科	86	2	204- 208			2019.8
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Progress of Cancer Precision Medical by Approval of Medical Insurance of Cancer Gene Panel Test.	International Journal of Trend in Scientific Research and Development (IJTSRD)	4	2	53-55		Publisher R M Patel Index Copernicus	2020.2
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Characteristics of Leiomyosarcoma: Induction of Hematogenous Metastasis by Isolated Uterine Mesenchymal Tumor Stem-like Cells.	Anticancer Research	40	3	1255- 1265		International Institute of Anticancer Research.	2020. 1
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Initialization of epithelial cells by tumor cells in a metastatic microenvironment.	Oncogene	DOI: 10.1038/ s41388- 020- 1171-1	DOI: 10.1038/ s41388- 020- 1171-1	PMID: 32015485		Springer Nature Limited	2020.2
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Characteristics of ovarian cancer: Metabolic abnormality of ovarian clear cell carcinoma.	International Journal of Trend in Scientific Research and Development (IJTSRD)	3	6	1039- 1040		Publisher R M Patel Index Copernicus	2019.10
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Epigenetic Changes of BRCA1 and S100A4 Genes on Ovarian Carcinoma Progression.	Journal of Oncology Research and Therapy	4	3	1-4		Gavin Publishers	2019.3
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Cancer Precision Medicine: Physiological function of C-MYC as targeted molecule.	International Journal of Trend in Scientific Research and Development (IJTSRD)	3	5	2564- 2568		Index Copernicus	2019.8
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Prospects and problems of cancer genome analysis for establishing cancer precision medicine.	Cancer Investigation	37	9	427- 431		Informa UK Limited	2019.9
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Pathobiological study of leiomyomatoid angiomatous neuroendocrine tumor (LANT)-like tumor in the myometrium.	Clinics Oncology	2	3	1013- 1017		The Creative Commons Attribution License	2019.7

英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Cancer Genome Medicine as Next Generation Cancer Treatment.	CLINICAL ONCOLOGY AND RESEARCH	2	3	1-3		Science Repository OU	2019.7
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Current status of treatment with immune checkpoint inhibitors in the field of gynecological oncology.	Clinical Obstetrics, Gynecology and Reproductive Medicine	5	2	1-2		OA Text	2019.4
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Current status of treatment with immune checkpoint inhibitors in the field of gynecological oncology.	Journal of Cancer Science and Therapeutics.	2	1	1-2		OMICS International	2019
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Physiological functions of LMP2/ b1i in the female reproductive system.	International Journal of Trend in Scientific Research and Development (IJTSRD)	3	4	1-6		Publisher R M Patel Index Copernicus	2019.6
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Profiling of target molecules for immunotherapy in mesenchymal tumors.	Journal of Clinical Medicine Research (JOCMR)	11	8	609- 613		Elmer Press Inc.	2019.6
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Association of gender related PSMB9 inactivation with autoimmune diabetes.	Clinical Research in Diabetes and Endocrinology	2	1	12-16		Asclepius Open LLC	2019.4
英文論文	林 琢磨, 小西 郁生	Profiling of targets for immunotherapy in soft tissue sarcoma.	Journal of Oncology Research Forecast	2	1	1-4		ScienceForecast Publications LLC	2019.1
和文原著論文	林 琢磨, 小西 郁生	加齢と造腫瘍におけ る免疫プロテア ソームの活性化の変 化.	未病と抗老化	28	11	77-81		博慈会老人病 研究所	2018.4
和文原著論文	林 琢磨	女性生殖系臓器に おけるLMP2/ $\beta$ 1iの 生理機能.	ラウンジ 未病と 抗老化	28	11	101		博慈会老人病 研究所	2019.5
和文原著論文	林 琢磨, 小西 郁生	婦人科腫瘍における がんゲノム医療の新 たな展開.	応用薬理	96	5/6	117- 117		応用薬理研究 会	2019.10

# 医療安全管理部



医療安全管理部長  
白神 幸太郎



医療安全管理副部長  
阿部 充



訴訟専門職  
栗谷 圭一



医療安全管理係長  
塩 早苗



副看護師長  
山本 なお美  
令和2年3月31日まで



副看護師長  
竹原 美佳  
令和2年4月1日から

患者安全の確保、医療の質の担保と向上への取り組みは、急性期基幹病院である当院において最も重要な課題であり、安全文化の醸成は医療教育機関としての責務である。これらの課題、責務を達成するために医療安全管理部が活動している。院内に医療安全管理室を設置し、各部署に医療安全推進担当者(リスクマネージャー)において医療安全管理体制を整備している。医療安全管理委員会、リスクマネージャー会議などの定例会議を主催するとともに、随時オカレンス症例検討会、ハイリスク診療検討会などを開催している。また、電子化した報告システムによりインシデント・アクシデント事例を収集し、個々の事例に対応するだけでなく、マニュアル等の定期的な見直しを行い、医療安全管理体制の強化充実を図っている。院内で共有すべき情報については積極的に情報発信を行い、スタッフ教育にも力を注いでいる。医療事故調査制度がスタートしてから3年3ヶ月が経過しており、当院で生じた死亡症例についてはモニタリングし、迅速かつ適切に事例の収集と検討が可能となるシステムが整備された。これらの取り組みを通じて、医療に伴って発生する様々な危険や有害事象をモニターし、調査、分析して医療に反映させること、重大な有害事象に対して病院をあげて迅速に対応すること、スタッフ教育や院内システムの改善に役立てることを目標としている。

## 1. 医療安全管理体制

### 1) 組織図…医療安全管理マニュアル 参照

### 2) 構成メンバー

医療安全管理部長 1名

医療安全管理副部長 1名

医療訴訟専門職 1名

医療安全管理係長 1名

看護部医療安全担当副看護師長:1名

医療安全推進担当者(リスクマネージャー)各部署から1名 計61名

## 2. 医療安全に関する日常活動

- 1) 医療安全に関する院内の情報収集及び実態調査(定期的な院内の巡回・点検、マニュアルの遵守状況の点検)
- 2) マニュアルの作成及び点検と見直しの提言等
- 3) インシデント・アクシデントレポートの収集、保管、分析、具体的な改善策の提案、分析結果の現場へのフィードバックと集計結果の管理
- 4) 医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知
- 5) 医療安全に関する職員への啓発、広報
- 6) 医療安全に関する教育研修の企画・運営

- 7) 医療安全対策ネットワーク整備事業に関する報告
- 8) 医療安全管理に係る連絡調整に関すること

### 3. 業務実績

#### 1) 医療事故に関する会議開催状況 (2019年度)

- (1) 拡大医療安全管理委員会 0件
- (2) 医療事故本部対策会議 0件
- (3) オカレンス事例検討会議 12件
- (4) ハイリスク診療検討会議 9件

#### 2) マニュアル、ガイドラインの作成・改訂

- ・中心静脈カテーテル運用マニュアル(2012年)
- ・インスリン指示に関するテンプレート整備(2017年)
- ・ロヒプノール院内使用指針(2014年)
- ・抗血栓薬の適正使用と周術期の取り扱いに関するガイドライン(2019年改訂)
- ・院内転倒時の頭部・顔面打撲対応(2019年改訂)
- ・深部静脈血栓症・肺塞栓症の予防対策ガイドライン(2019年改訂)
- ・医療安全管理マニュアル(2019年改訂)
- ・医療事故防止対策マニュアル(2020年改訂)

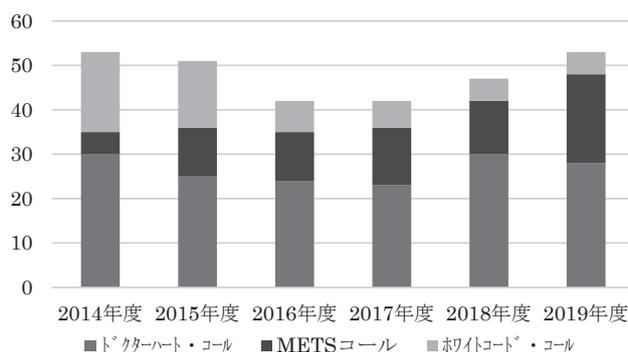
#### 3) インシデント・アクシデントレポート収集

- ・平成30年度報告件数 3486件
- インシデント3192件  
(レベル0～レベル2)
- アクシデント206件  
(レベル3a～レベル5)



#### 4) 2019年度 緊急コール件数

- ドクターハートコール:28件
- METSコール:20件
- ホワイトコードコール:5件



#### 5) 医療安全に関する活動及び情報提供

- ・医療安全管理委員会 1回/月 計12回
- ・リスクマネージャー会議 1回/月 計12回
- ・診療科長会議、医局会、管理診療会議での情報提供
- ・事故事例の情報発信等
- ・各部門カンファレンス・検討会等参加

6) 医療安全に関する教育研修

(1) 医療安全研修会

第1回「リスクマネジメント 基本に立ち返って」 外部講師 令和元年5月10日開催

第2回「DNARと臨床倫理」令和元年12月3日・12月18日開催

(2) 医療事故防止研修会 計5回開催

開催日	<テーマ>
令和1年7月26日	気管切開チューブの安全管理
令和1年10月31日	医療安全と薬剤
令和1年11月25日	個人情報保護
令和2年1月22日	輸血管理の重要性
令和2年2月6日	麻薬の取り扱い

7) 医療安全に関する講義

新採用者研修、看護助手等採用時研修、幹部看護師任用候補者研修、看護学校講義

医療安全管理研修、スペシャルメディカルクラーク研修 等

# 医療情報部



## 部長

情報システム管理室室長  
 診療情報管理室室長  
 高度がん治療センター  
 がん登録・情報部長  
 臨床研究センター  
 政策医療企画研究部  
 情報化推進研究室室長  
 北岡 有喜

専門医資格等 京都大学博士(医学)  
 同志社大学博士(政策科学)  
 社会医学系専門医協会 専門医・指導医  
 日本産科婦人科学会 専門医・指導医  
 日本専門医機構 産婦人科専門医  
 臨床研修指導医  
 九州大学医学部 非常勤講師  
 京都情報大学院大学 客員教授  
 医学研究所北野病院 第11研究部長(客員)  
 総務省 地域情報化アドバイザー  
 地方公共団体情報システム機構経営審議委員会 委員  
 独立行政法人情報処理推進機構  
 「先進的IoTプロジェクト支援事業」メンター  
 ITコンソーシアム京都 医療情報化部会 部会長  
 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会  
 がん登録部会委員・データ利用審査委員会委員  
 京都府がん医療戦略推進会議  
 院内がん登録部会 部会長  
 国立病院等総合情報ネットワーク研究会 副会長

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等
副 部 長	八幡 兼成	京都大学博士(医学) 日本腎臓学会 専門医・指導医 日本透析医学会 専門医・指導医 日本糖尿病学会 専門医 日本内科学会 専門医
診療情報管理室 室員	秋好 香織	診療情報管理士・院内がん登録実務初級者
診療情報管理室 室員	前田 夕子	診療情報管理士・院内がん登録実務中級者・医療情報技師・情報セキュリティマネジメント試験合格者.
診療情報管理室 室員	口村 恭子	診療情報管理士・院内がん登録実務初級者
診療情報管理室 室員	井口 千晶	診療情報管理士
スペシャル医療クラーク	長谷川 紗世	内分泌代謝センター担当
スペシャル医療クラーク	宮田 朋代	泌尿器科担当
スペシャル医療クラーク	赤井 樹理	外科担当・院内がん登録実務初級者・日本癌治療学会認定データマネージャー・JCOG臨床試験セミナー入門編修了
スペシャル医療クラーク	西田 千賀子	産婦人科・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	甲田 実樹	呼吸器内科担当・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	柴田 暢子	形成外科担当・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	品川 智子	循環器内科担当・薬剤師
スペシャル医療クラーク	中村 繭子	消化器内科・内視鏡センター担当・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	村上 雅代	救命センター担当

スペシャル医療クラーク	小川 文代	呼吸器外科担当・管理栄養士
スペシャル医療クラーク	中條 夏子	脳神経センター担当
スペシャル医療クラーク	中尾 真理	腎臓内科担当
スペシャル医療クラーク	加藤 由美子	緩和ケア科担当
スペシャル医療クラーク	南野 和代	整形外科担当・院長室
スペシャル医療クラーク	田中 直美	心臓外科担当
スペシャル医療クラーク	黒田 果奈	脳神経センター担当
スペシャル医療クラーク	山崎 真理子	眼科担当
スペシャル医療クラーク	細川 真莉奈	麻酔科担当
スペシャル医療クラーク	川口 裕希子	消化器内科・内視鏡センター担当・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	金本 知恵	皮膚科担当
スペシャル医療クラーク	藤澤 静香	耳鼻科担当
スペシャル医療クラーク	牧原 麻理子	糖尿病センター
医療クラーク	松本 紀美子	事務助手(地域連携室担当)
医療クラーク	戸田 由美子	事務助手(手術室担当)
情報システム管理室 室員	園田 淳	運用管理職員(委託)
情報システム管理室 室員	太田 佳子	運用管理職員(委託)
情報システム管理室 室員	村岡 大督	運用管理職員(委託)
情報システム管理室 室員	天野 浩行	運用管理職員(委託)
非常勤システムエンジニア	日下 寛治	システムエンジニア
流動研究員	滝川 裕介	システムエンジニア・情報セキュリティマネジメント試験合格者・医療情報技師
研究員	湊 拓巳	臨床工学技士
研究員	小川 麻理	日医認定ITインストラクター・情報処理士
研究員	横田 健吾	システムエンジニア・情報セキュリティマネジメント試験合格者
研究員	松島 大介	システムエンジニア・データベーススペシャリスト・情報セキュリティスペシャリスト・ソフトウェア開発技術者
研究員	小森 由宗	システムエンジニア
研究員	小森 谷祥明	システムエンジニア

## □ 診療科の特徴

1. 京都医療センター医療情報部は、独立行政法人化以前の2003年7月に国立病院としては初めて設置が認可された医療情報部です。
2. 医師と情報システムエンジニアの資格を持つ人材が部長を担当しており、ベンダーに依存することなく、医療現場のニーズにマッチした情報システムの要件定義や開発・導入・構築を迅速かつ適価で行っています。
3. 京都府・京都市が設置した情報基盤協議会である「ITコンソーシアム京都」医療情報化部会と連携し、「ポケットカルテ」などの二次医療圏を包括する地域医療連携基盤の企画・設計・開発・構築・運用・整備なども行っています。
4. 情報システムや診療記録管理だけでなく、診療諸記録作成の専門職として「スペシャル医療クラーク」を独自に育成し各診療科に配置することで、医師・看護師などの専門職が専門業務に集中出来る環境を構築すると共に、診療諸記録の質の向上ならびに診療の質の向上に努めています。

## □ 診療（業務）内容

医療情報部は3部署で構成されています。各部署の名称と主な業務内容は以下の通りです。

### 1. 病院情報システム管理室

病院情報システム（電子カルテシステム）の開発・構築・運用・整備および将来計画に関すること

### 2. 診療情報管理室

診療諸記録及び診療情報の管理・調査・研究およびがん登録に関すること

### 3. 診療支援チーム

スペシャル医療クラークを独自に育成し、各診療科などに配置することで、医師など専門職の事務作業を軽減すると共に、診療諸記録の精度向上や処理を迅速化すること

また、研究業務は臨床研究センター情報化推進研究室と一体化し、医療情報の研究、教育及び利用、病院の運営及び診療の管理に係る情報化などの研究開発を行っています。

## □ 活動実績

2018年度

1. 情報管理教育研修 2回開催

2. 医療情報委員会 12回開催

3. 医療情報小委員会 44回開催

4. 医療情報セミナー 1回開催

5. 「地域ICT利活用広域連携事業」地域共通診察券運営協議会 6回開催

6. 京都府がん医療戦略推進会議 院内がん登録部会 5回開催

7. 京都府がん医療戦略推進会議 院内がん登録部会 登録実務WG 5回開催

8. 京都府がん医療戦略推進会議 院内がん登録部会研修会 5回開催

9. 京都府院内がん登録セミナー 1回開催

10. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会—がん登録部会 1回参加

11. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会「データ利用審査委員会」 5回参加

12. 一般社団法人 京都府病院協会「スペシャル医療クラーク(SMC) 育成コース」を2クール開催

## □ 公務・地域医療連携・広報活動

院内がん登録部会, 京都医療センター, 2019年4月11日

院内がん登録実務WG, 京都医療センター, 2019年4月11日

院内がん登録部会研修会, 京都医療センター, 2019年4月11日

第98回地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券(すこやか安心カード) 運営協議会」北岡有喜ほか, 京都医療センター, 2019年4月18日

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第1回がん登録部会, 国立がん研究センター新研究棟セミナールーム, 2019年4月24日

田附興風会医学研究所第92回研究所セミナー「ICT/IoTを利活用した医療分野における働き方改革:PHRと連動したスマートグラスによる体外循環技術の継承と安全性向上に関する研究開発」北岡有喜ほか, 田附興風会医学研究所北野病院, 2019年5月15日

第29回日本臨床工学会「スマートグラスを利活用した人工心肺業務支援による働き方改革の試み」湊拓巳, 盛岡市民文化ホール, 2019年5月18日

地方公共団体情報システム機構第22回経営審議委員会, 地方公共団体情報システム機構 会議室, 2019年6月6日

院内がん登録部会, 京都市立病院, 2019年6月13日

院内がん登録実務WG, 京都市立病院, 2019年6月13日

院内がん登録部会研修会, 京都市立病院, 2019年6月13日

第99回地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券(すこやか安心カード)運営協議会」北岡有喜ほか、京都医療センター、2019年6月13日
公益財団法人体質研究会第4回特別講演会「ポケットカルテがあなたを守る」北岡有機、キャンパスプラザ京都、2019年6月22日
第64回日本透析医学会学術集会・総会「スマート グラスを利活用した透析療法安全性向上に関する試み」湊拓巳、パシフィコ横浜、2019年6月28日
院内がん登録部会、京都第二赤十字病院、2019年8月1日
院内がん登録実務WG、京都第二赤十字病院、2019年8月1日
院内がん登録部会研修会、京都第二赤十字病院、2019年8月1日
第9回京都府がん医療戦略推進会議、京都ガーデンパレス、2019年8月8日
第100回地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券(すこやか安心カード)運営協議会」北岡有喜ほか、京都医療センター、2019年8月22日
第8回エビデンスに基づく統合医療研究会「パーソナルヘルスレコード(PHR)を利用したビッグデータの解析による統合医療の評価法」北岡有喜、明治国際医療大学附属統合医療センター、2019年9月7日
第45回日本体外循環技術医学会 大会「経皮的心肺補助装置の遠隔システムの開発」湊拓巳、名古屋国際会議場、2019年10月5日
第45回日本体外循環技術医学会 大会「スマートグラスによる人工心肺業務の安全性向上に関する試み」湊拓巳、名古屋国際会議場、2019年10月5日
第101回地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券(すこやか安心カード)運営協議会」北岡有喜ほか、京都医療センター、2019年10月17日
(第8回)院内がん登録セミナー 2019京都、京都医療センター、2019年9月28日、29日
第73回国立病院総合医学会「スマートグラスによる高度専門的技術の継承」湊拓巳、名古屋国際会議場、2019年11月9日
第102回地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券(すこやか安心カード)運営協議会」北岡有喜ほか、京都医療センター、2019年12月12日
情報セキュリティセミナー「情報セキュリティ 10大脅威とその対策」北岡有喜ほか、京都医療センター、2019年12月12日
院内がん登録部会、京都大学芝蘭会館、2019年12月5日
院内がん登録実務WG、京都大学芝蘭会館、2019年12月5日
院内がん登録部会研修会、京都大学芝蘭会館、2019年12月5日
地方公共団体情報システム機構 第2回経営審議委員会、地方公共団体情報システム機構 会議室、2020年1月27日
スペシャル医療クラーク育成コース/京都府病院協会医師事務作業補助者スキルアップ研修 北岡有喜ほか、京都医療センター、2019年9月9日～2020年2月5日
第103回地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券(すこやか安心カード)運営協議会」北岡有喜ほか、京都医療センター、2020年2月20日
院内がん登録部会、京都府立医科大学附属病院、2020年2月13日
院内がん登録実務WG、京都府立医科大学附属病院、2020年2月13日
院内がん登録部会研修会、京都府立医科大学附属病院、2020年2月13日
地方公共団体情報システム機構 第24回経営審議委員会、地方公共団体情報システム機構 会議室、2020年3月5日

## □ 学会活動報告(学会・研究発表など)

演者・演題・学会名
北岡 有喜、中国国家中薬管理局「病院のトップマネジメント」訪日研修.患者と医療者のための医療情報システムの概要、一般財団法人日本国際協力センター、2019年1月24日;京都
北岡 有喜、ICT/IoTを利活用した医療分野における働き方改革:PHRと連動したスマートグラスによる体外循環技術の継承と安全性向上に関する研究開発、田附興風会医学研究所第92回研究所セミナー、2019年5月15日;大阪
湊 拓巳、スマートグラスを利活用した人工心肺業務支援による働き方改革の試み、第29回日本臨床工学会、2019年5月18日;岩手
北岡 有喜、ポケットカルテがあなたを守る、公益財団法人体質研究会第4回特別講演会、2019年6月22日;京都

湊 拓巳, スマートグラスを活用した透析療法安全性向上に関する試み, 第64回日本透析医学会学術集会・総会, 2019年6月28日; 神奈川
北岡 有喜, パーソナルヘルスレコード (PHR) を利用したビッグデータの解析による統合医療の評価法, 第8回エビデンスに基づく統合医療研究会, 2019年9月7日; 大阪
湊 拓巳, 経皮的心肺補助装置の遠隔システムの開発, 第45回日本体外循環技術医学会 大会, 2019年10月5日; 愛知
湊 拓巳, スマートグラスによる人工心肺業務の安全性向上に関する試み, 第45回日本体外循環技術医学会 大会, 2019年10月5日; 愛知
湊 拓巳, スマートグラスによる高度専門的技術の継承, 第73回国立病院総合医学会, 2019年11月9日; 愛知
北岡 有喜, 【特別講演】 ICT/IoTを活用した医療分野における働き方改革: PHRシステム「ポケットカルテ®」と連動したスマートグラスによる体外循環技術の安全性向上に関する研究開発, 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 成果発表会, 2020年3月14日
前田 夕子, 院内がん登録2017年全国集計結果から見た当院におけるがん診療状況, 京都医療センター CANCER・BOARDがん診療セミナー (第41回) 第7回グランドセミナー, 2019年11月28日; 京都

## □ 投稿論文など

著書・雑誌名	著書・タイトル
公益財団法人政策医療振興財団 研究助成事業報告書 (平成30年度)	湊 拓巳, 北岡 有喜, 滝川 裕介, 白神 幸太郎, 片岡 剛, 大谷 直哉, 嵯峨根由奈, 瀬津 健太郎. スマートグラスによる体外循環技術の安全性向上に関する研究 公益財団法人政策医療振興財団 研究助成事業報告書 (平成30年度). 2019; 233-238
体外循環技術	湊 拓巳, 嵯峨根 由奈, 瀬津 健太郎, 滝川 裕介, 北岡 有喜. 経皮的心肺補助装置の遠隔システムの開発 体外循環技術. 2019; 46 :3-261
独立行政法人国立病院機構京都医療センター CANCER・BOARDがん診療セミナー (第41回) 第7回グランドセミナー講演集	前田 夕子, 秋好 香織, 口村 恭子, 北岡 有喜. 院内がん登録2017年全国集計結果から見た当院におけるがん診療状況. 独立行政法人国立病院機構京都医療センター CANCER・BOARDがん診療セミナー (第41回) 第7回グランドセミナー講演集. 2020; 78-96
独立行政法人国立病院機構京都医療センター 成果発表会講演集20200314	北岡 有喜, 湊 拓巳, 滝川 裕介. 【特別講演】 ICT/IoTを活用した医療分野における働き方改革: PHRシステム「ポケットカルテ®」と連動したスマートグラスによる体外循環技術の安全性向上に関する研究開発. 2020 ;51-56

## □ 賞罰

総務省 地方創生に資する「地域情報化大賞」 大賞／総務大臣賞受賞 「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」 2015,3,6

厚生労働省 第4回健康寿命をのばそうアワード 厚生労働省健康局長優良賞受賞 「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」 2015,11,16



## □ 院内情報処理業務支援

2019年度	病診連携用画像DVDR作成件数 (放射線科、手術術野動画等)	4776件	(月平均405件)
2018年度	病診連携用画像DVDR作成件数 (放射線科、手術術野動画等)	5801件	(月平均507件)

2017年度	病診連携用画像DVDR作成件数(放射線科、手術術野動画等)	4448件	(月平均371件)
2016年度	病診連携用画像DVDR作成件数(放射線科、手術術野動画等)	4672件	(月平均389件)
2015年度	病診連携用画像DVDR作成件数(放射線科、手術術野動画等)	3453件	(月平均288件)
〃	病診連携用画像CD-R作成件数(放射線科、内視鏡センター)	1129件	(月平均194件)
2014年度	病診連携用画像CD-R作成件数(放射線科、内視鏡センター)	5271件	(月平均439件)
2013年度	病診連携用画像CD-R作成件数(放射線科、内視鏡センター)	3771件	(月平均314件)
2012年度	病診連携用画像CD-R作成件数(放射線科、内視鏡センター)	3684件	(月平均307件)

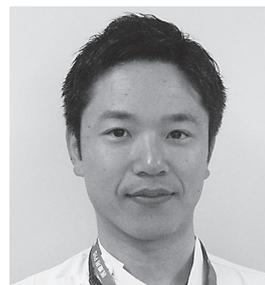
# 感染制御部



感染制御部長  
奥野 博



副部長  
(専任)  
ICTリーダー  
小田垣孝雄



副看護師長  
(専従)  
森 誠司

専門医資格等  
日本泌尿器科学会専門医・指導医  
京都大学臨床教授  
関西医科大学臨床教授  
日本生殖医学会 評議員  
日本アンドロロジー学会 評議員  
日本癌治療 認定医  
日本内視鏡外科学会技術 認定医  
日本泌尿器内視鏡学会・腹腔鏡技術認定医  
京都大学医学博士  
専門分野  
泌尿器科一般  
得意疾患  
前立腺がん  
男性学  
尿路感染症

専門医資格等  
ICD:Infection Control Doctor  
日本内科学会総合内科 専門医/指導医  
日本化学療法学会抗菌化学療法指導医  
日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア 認定医/指導医  
日本医師会認定産業医  
専門分野  
内科一般、感染制御  
得意疾患  
一般内科疾患

専門医資格等  
CNIC:Certified Nurse InfectionControl  
感染管理認定看護師

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	畑 啓昭	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 日本内視鏡外科学会 内視鏡外科技術認定医・評議員 日本食道学会 食道科認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 ICD(インフェクションコントロールドクター) 日本外科感染症学会 周術期感染管理認定医・教育医・評議員・教育委員会委員長・編集委員会委員 日本感染症学会 評議員・臨床研究促進委員会委員 日本化学療法学会 評議員・抗菌化学療法認定医制度審議委員会委員・国際渉外委員会委員 日本化学療法学会・日本感染症学会 薬剤耐性菌感染症を対象とした抗菌薬ガイドライン作成に関する合同委員会委員・Journal of Infection and Chemotherapy, Senior Editor ダ・ヴィンチ コンソール術者ライセンス取得 京都大学 医学博士	上部消化管 外科感染症	胃がん 食道がん

非常勤医師	遠藤 文司	ICD(インフェクションコントロールドクター) 日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・学会本部学術評議員・近畿支部評議員 日本肝臓学会 専門医 日本消化器がん検診学会 胃・肝胆膵認定医 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医・抗菌化学療法指導医 日本医師会認定産業医 臨床研修指導医 難病指定医 大阪市介護保険認定審査委員 身体障害者福祉法第15条第1項による指定医師	内科、消化器 内科全般	肝道・膵疾患 検査・治療
薬剤師 (専任)	中野 一也	感染制御認定薬剤師		
薬剤師 (専任)	熊谷 康平	KLEC認定薬剤師 公認スポーツファーマシスト		
薬剤師 (専任)	安達 昴一朗			
検査科 (専任)	田栗 貴博			
検査科 (専任)	吉川 耕平	感染制御認定臨床微生物検査技師		
経営企画 室長	梶田 佳範			
事務	諸木 真知			

## □ 診療(業務)内容

平成9年4月に院内感染対策チームが(ICT)設立し、平成22年4月にはICTを核とする感染制御部が発足しました。そのモットーは院内の感染管理と職員の健康管理を通じて、患者さんが安心して診療を受けられる環境を提供することを目標としています。

さらにその使命として医師、看護師、リンクナーズ、薬剤師、臨床検査技師、事務など多くの職員がそれぞれに得意とする分野を分担し、責任をもってこれを行っています。実務はICTリーダーを中心に週に1回ICTミーティングを行い、さらに週に1回定期的に院内ICTラウンドを実施しています。また日常の感染対策に関する相談に関しても随時対応しています。

活動例)

- ①インフルエンザ、感染性胃腸炎、結核などの院内感染対策業務
- ②手術部位感染、中心静脈カテーテル関連血流感染などのサーベイランス業務
- ③針刺し・切創事故対応業務
- ④職員対象の各種ワクチン接種業務
- ⑤抗菌薬適正使用推進業務
- ⑥その他、院内感染対策に必要とされる業務

この活動内容は病院長直轄の「院内感染対策委員会」(月1回)と平成22年4月に発足した「抗菌薬の適正使用に関する小委員会」(月1回)にて報告・審議・決定がなされるシステムとなっています。

平成24年度には感染防止対策推進に関する診療報酬が改定され、これまで以上に感染対策チーム(ICT)の活動が求められるようになりました。平成26年度の改訂でも大きな変更点はなく継承されています。

\*感染防止対策加算2を算定する当院連携施設: 浩照会 伏見桃山総合病院 弘仁会 大島病院  
淀さんせん会 金井病院 医聖会 学研都市病院 医聖会 八幡中央病院

## □ 地域医療連携・広報活動

### 第1回院内感染対策講習会

日時:2019年5月30日

場所:京都医療センター 新棟4階多目的ホール

テーマ:「感染対策の基本」

講演名:「その感染対策 ホントに有効なの?」

演者:神戸大学医学部附属病院 感染症内科(感染制御部助教)西村 翔先生

### 第2回院内感染対策講習会

日時:2019年10月4日、7日

場所:京都医療センター 新棟4階多目的ホール

テーマ:「末梢静脈カテーテルについて」

講演名:「その末梢静脈カテーテル定期交換しますか?～一歩進んだ診療のために～」

演者:小田垣孝雄

### 抗菌薬適正使用教育セミナー「βラクタム系抗菌薬の正しい使い方」

日時:2019年12月5日

場所:京都医療センター 新棟4階多目的ホール

講師:小田垣孝雄 遠藤文司

### 抗菌薬適正使用教育セミナー「非βラクタム系抗菌薬の特徴・上手な使い方」

日時:2020年3月12日

場所:京都医療センター 新棟4階多目的ホール

講師:小田垣孝雄 遠藤文司

### 第1回感染防止対策地域連携カンファレンス

日時:2019年6月7日

場所:京都医療センター 新棟4階多目的ホール

テーマ「針刺し事故の防止について」

演者:森 誠司

### 第2回感染防止対策地域連携カンファレンス

日時:2019年9月6日

場所:八幡中央病院

テーマ:「抗菌薬の供給不足に対する対応」

※八幡中央病院感染対策ラウンド(当院ICTによって)

### 第3回感染防止対策地域連携カンファレンス

日時:2019年12月6日

場所:京都医療センター 新棟4階多目的ホール

テーマ:「各連携病院におけるESBL産生菌の検出状況～4年間の年次推移～」

演者:田栗貴博

第4回感染防止対策地域連携カンファレンス

日時:2020年2月7日  
 場所:京都医療センター 新棟4階多目的ホール  
 テーマ:「今年度の総括」

感染防止対策加算相互評価(京都市立病院・京都医療センター相互間)

日時:2019年12月5日  
 場所:京都医療センター  
 日時:2019年12月12日  
 場所:京都市立病院

伊藤人工透析クリニックへの感染対策ラウンド

日時:2019年6月27日  
 参加者:小田垣孝雄 森 誠司

□地域医療連携・広報活動

2019/6/8	日本化学療法学会 第51回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 「院内感染症の診断と治療」 3)腹腔内感染症の抗菌薬マネジメント」 畑啓昭
2019/6/23	見落としがちな術前・術後のポイントセミナー 「消化器外科の術前・術後管理」 畑啓昭
2019/7/1	市立大津市民病院 感染対策研修会 「手術部位感染(SSI)を予防するためにできること」 畑啓昭
2019/7/7	見落としがちな術前・術後のポイントセミナー 「消化器外科の術前・術後管理」 畑啓昭
2019/7/8	京都桂病院 感染対策研修会 「最近のSSI予防ガイドラインのトピックス」 畑啓昭
2019/7/20	IDフォーラム2019 「治療に難渋した腹腔内感染症」 畑啓昭
2019/8/6	救急・外科ジョイントセミナー in広島2049 「手術部位感染症(SSI)～最近の予防対策から治療まで～」 畑啓昭
2019/8/7	MSD株式会社 感染症に関わる薬物の適正使用のための指導 「腹腔内感染症における診断と治療」 畑啓昭
2019/10/25	奈良県立医科大学付属病院 2019年度 感染防止セミナー 「SSI予防の最近のトピックスと治療抗菌薬の適正使用について」 畑啓昭
2020/1/24	浜松医科大学医学部付属病院 職員対象感染症対策に関する院内ラウンド及び講演会 「SSI予防の最近のトピックスと治療抗菌薬の適正使用について」 畑啓昭

業績(論文)

□投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	編集者等	出版社	発行年月
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	Current Knowledge for ICT 手術部位感染対策にまつわるコストの感覚	INFECTION CONTROL	28	7	68-71			2019.7
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	14 手術部位感染	看護学テキスト NiCE 病態・治療論[10] 感染症/アレルギー/膠原病			114-118	竹末芳生 一木薫 佐野統東直人	南江堂	2019.7
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭、大倉 啓輔	Coping skill 現場別ESBL産生菌・CRE(CPE)対策の実践-両耐性菌の共通点・相違点を踏まえて④消化器外科	感染対策ICTジャーナル	14	3	220-225			2019.7

和文原著論文 (筆頭著者)	畑 啓昭	【大腸手術における術前経口抗菌薬投与の是非】大腸術前経口抗菌薬に関連した腸炎の検討	日本外科感染症学会雑誌	16	4	229-234			2019.8
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	疾患別・臨床事例の全診療行為 カルテ・レセプトの原風景 手術部位感染症(SSI) 術後創部感染症に対する陰圧閉鎖療法	月刊保険診療	74	10	90-92			2019.10
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	[病棟で頻度の高い細菌感染症とのみかた]術後感染およびC.difficile感染症	月刊薬事	61	16	41-47			2019.12
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「SSI対策のガイドラインって、いくつあるの?違いは?」	INFECTION CONTROL	29	1	70			2020.1
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	4. ICU・重症患者における感染対策 1) カテーテル関連血流感染対策	臨床雑誌 外科	82	1	45-51			2020.1
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	Current Knowledge for ICT 「消化器外科SSI予防のための周術期管理ガイドライン2018」を紐解く7つのクリニカルクエスチョン	INFECTION CONTROL	29	2	70-73			2020.2
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「CDIのガイドラインってどんなものがあるの?」	INFECTION CONTROL	29	2	75			2020.2
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	外科医が説く! 国内外の最新ガイドライン「トーキョー・ガイドライン(TG18)ってどんな内容?」	INFECTION CONTROL	29	3	72-73			2020.3
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	プラタナス～私のカルテから～ これからも手術の決断に躊躇するであろう感染症	週刊日本医事新報	5002		3			2020.3
和文総説・著書 (筆頭著者)	畑 啓昭	ICU治療指針 III 術後総部位感染症	救急・集中治療	31	4	1748-50			2020.3

## 業績(発表)

五十嵐 篤、荒木博賢、内田稔大、宮崎 有、三品睦輝、奥野 博：眼内炎が受診契機となった気腫性腎盂腎炎の1例。第270回泌尿器科マンスリ-ミーティング 2019.12.14 (芝蘭会館別館・京都)

小田垣孝雄 講演「その末梢静脈カテーテル定期交換しますか?～一歩進んだ診療のために～」 第2回院内感染対策講習会 テーマ「末梢静脈カテーテルについて」 2019年10月4日、7日(京都医療センター 新棟4階多目的ホール)

小田垣孝雄 講師 抗菌薬適正使用教育セミナー「βラクタム系抗菌薬の正しい使い方」 2019年12月5日(京都医療センター 新棟4階多目的ホール)

小田垣孝雄 講師 抗菌薬適正使用教育セミナー「非βラクタム系抗菌薬の特徴・上手な使い方」 2020年3月12日 (京都医療センター 新棟4階多目的ホール)

□学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(全員)	タイトル	学会名	開催地	発表日	会期
国内学会	畑 啓昭	シンポジウム2 各診療領域におけるMRSA感染症治療の再考「一般外科におけるMRSA感染症治療の現状」	第67回日本化学療法学会総会	東京	2019.5.9	2019.5.9～2019.5.11
国内学会	畑 啓昭	シンポジウム1(日本大腸肛門病学会 合同)術前腸管処置のバリエーションについて考える「術前腸管処置のバリエーション」	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.29	2019.11.29～2019.11.30
国内学会	畑 啓昭	シンポジウム7 消化器外科SSI予防のための周術期管理ガイドライン2018による臨床効果はあったのか?「諸外国とのガイドラインとの比較」	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.30	2019.11.29～2019.11.30
国内学会	畑 啓昭, 松末 亮, 山口 高史	シンポジウム8 腹腔内感染症の現状と対策(治療)「大腸手術後の腹腔内感染症の現状と対策」	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.30	2019.11.29～2019.11.30
国内学会	畑 啓昭, 大倉 啓輔, 岡田 はるか, 後藤 健太郎	ワークショップ5(日本環境感染症学会 合同) Antimicrobial stewardship 活動による周術期感染の予防と治療への取り組み「外科医が行うICT/AST 活動」	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.30	2019.11.29～2019.11.30
国内学会	畑 啓昭	第320回ICD講習会 エビデンスとコストに基づいた効果的な手術部位感染対策の追及「周術期予防抗菌薬」	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.30	2019.11.29～2019.11.30
国内学会	畑 啓昭	外科感染症入門講座1・2 入門1「創閉鎖」	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.29	2019.11.29～2019.11.30
国内学会	畑 啓昭	教育委員会企画プログラム 外科感染症対策における教育に関するエビデンス	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	岐阜	2019.11.29	2019.11.29～2019.11.30
国内学会	畑 啓昭	[日本外科感染症学会とのジョイント企画]外科医の考えを知って、一緒に取り組む感染対策	第35回日本環境感染症学会総会・学術集会	横浜	2020.2.14	2020.2.14～2020.2.15

遠藤文司 講師 抗菌薬適正使用教育セミナー「βラクタム系抗菌薬の正しい使い方」2019年12月5日(京都医療センター 新棟4階多目的ホール)

遠藤文司 講師 抗菌薬適正使用教育セミナー「非βラクタム系抗菌薬の特徴・上手な使い方」2020年3月12日(京都医療センター 新棟4階多目的ホール)

森 誠司 講演「針刺し事故の防止について」第1回感染防止対策地域連携カンファレンス 2019年6月7日(京都医療センター 新棟4階多目的ホール)

田栗貴博 講演「各連携病院におけるESBL産生菌の検出状況～4年間の年次推移～」第3回感染防止対策地域連携カンファレンス 2019年12月6日(京都医療センター 新棟4階多目的ホール)

# 教育研修部



教育研修部長  
小山 弘

専門医資格等 日本内科学会内科指導医  
日本内科学会総合内科専門医  
京都大学医学部臨床教授  
日本内科学会専門医部会企画担当幹事  
医療系大学間共用試験実施評価機構医学系OSCE実施小委員会  
委員 / Post-CC OSCE実施管理小委員会

## □ 教育研修部の特徴

施設認定等	臨床研修指定病院
-------	----------

1. スーパーローテーション方式を採用し、各科を広く経験しています。
  2. 臨床研修医は、ERの担当を通じ幅広く急性疾患、外傷に対応する能力を習得すると同時に、地域医療に貢献しています。
  3. 古くからの教育病院として、臨床研修医を教える文化のある病院です。
- ※ 臨床研修医との懇談会、伏見地区総合診療臨床カンファレンス、地域医療研修など、伏見医師会の先生方には多大なご支援をいただき深く感謝しております。

## □ 診療（業務）内容

当院の臨床研修プログラムに所属する臨床研修医、および京都大学医学部、京都府立医科大学、滋賀医科大学などの臨床研修プログラムに所属する臨床研修医で、協力病院として当院で研修を行う臨床研修医の、研修に関する諸問題を担当しています。

また、京都府医師会臨床研修のあり方に関する検討委員会の委員として、京都府全体の臨床研修に関する活動を行っています。

## □ 地域医療連携・広報活動

伏見総合診療臨床カンファレンス（伏見医師会館にて）  
京都府医師会臨床研修のあり方に関する検討委員会委員長  
京都府地域医療支援センター運営会議委員  
伏見医師会理事

## 地域医療部



地域医療部長  
瀬田 公一

### □ 令和元年11月、患者支援センターを開設しました。

これまで3階に退院支援、2階に診療受付、1階に入院支援、患者相談、がん相談と、ばらばらにあったのを、2019年11月に患者支援センターとして1階に統合しました。

これからも、ますます地域のニーズに答えられるよう、スタッフ一同協力して頑張ってまいります。

地域医療部長 瀬田公一

### □ スタッフ

地域医療連携室室長補佐

病床管理師長

副看護師長

地域医療連携係長

主任医療社会事業専門員

看護師

非常勤看護師

医療社会事業専門員

医療社会事業専門員

医療社会事業専門員

地域医療連携係

予約担当

予約担当

予約担当

予約担当

予約担当

梶田 佳範

小林 美保

井垣 美紗子

柴田 匡佑

弘中 孝佳

塗師 雅美

松村 直美

太田 香織

松岡 和子

中窪 美奈

人見 真理

西廣 優一

小山田 素子

山野 奈流美

須藤 こころ

瀧下 遥菜

池内 安芸子

石田 沙友梨

吉岡 孝師

仲江 陽大

武田 優花

諸木 真知

薄井 智子

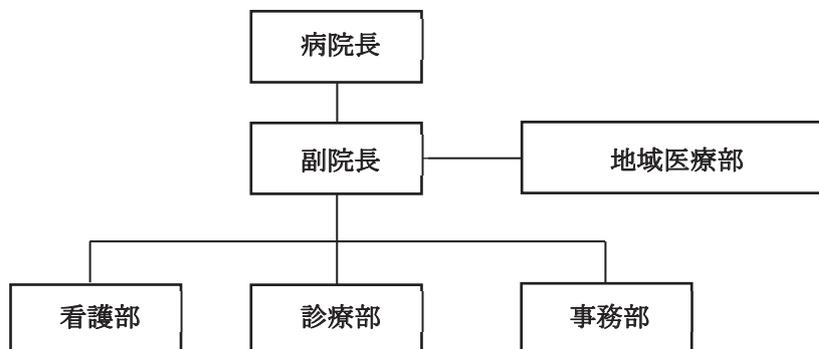
伊東 理沙

川崎 小枝子

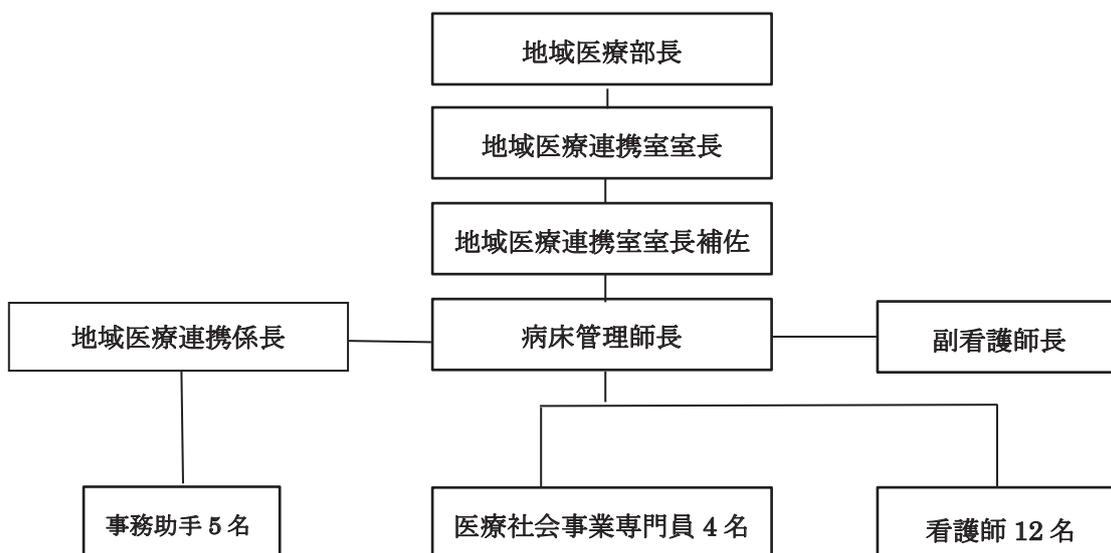
若原 響子

## 1. 沿革と体制

- 2002年 地域医療連携室設置
- 2007年 地域がん診療拠点病院の指定
- 2008年 地域医療支援病院の承認
- 2018年 地域連携支援センターへ名称変更
- 2019年 患者支援センター開設



### 構成メンバー



## 2. 患者支援センターの日常活動

### 〈退院支援〉

- 退院支援（転院や退院の調整）
- 医療、介護、福祉に関わる機関との連携

### 〈入院支援〉

- 入院前までの患者情報の聴取
- 利用している社会資源（介護サービス等）の確認
- 入院生活のオリエンテーション
- 内服中の薬剤の確認

### 〈診療受付〉

- 他院からの初診、検査予約
- 他院への診療、検査予約

- 診療情報の提供、依頼
- 救急紹介受診の受付
- 他院からの転院調整
- セカンドオピニオン外来申し込み
- 居宅介護支援計画連絡票の受付
- 訪問看護指示書、訪問リハビリ指示書の管理

〈がん相談支援センター〉

- がんに関する相談

〈患者相談窓口〉

- 療養に関する相談
- 福祉制度(介護保険、障害制度、難病等)に関する説明、相談
- 医療費、生活費などの経済的問題についての相談

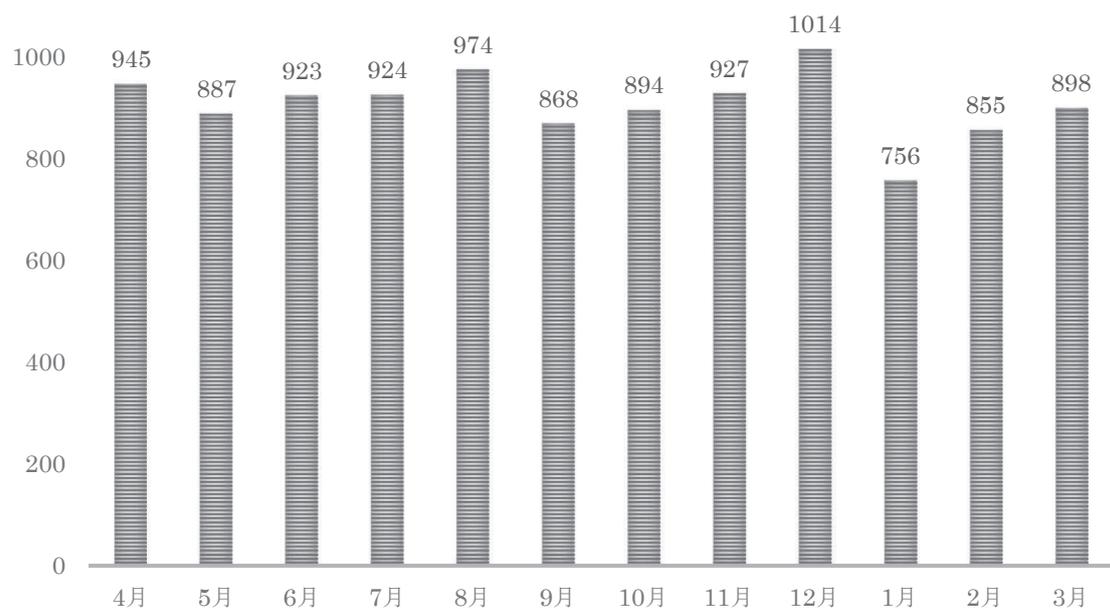
〈その他〉

- 開放型病床のデータ管理
- 市民公開講座、各種講演会の開催
- 広報誌、外来担当医表等の送付
- 各医療機関への訪問

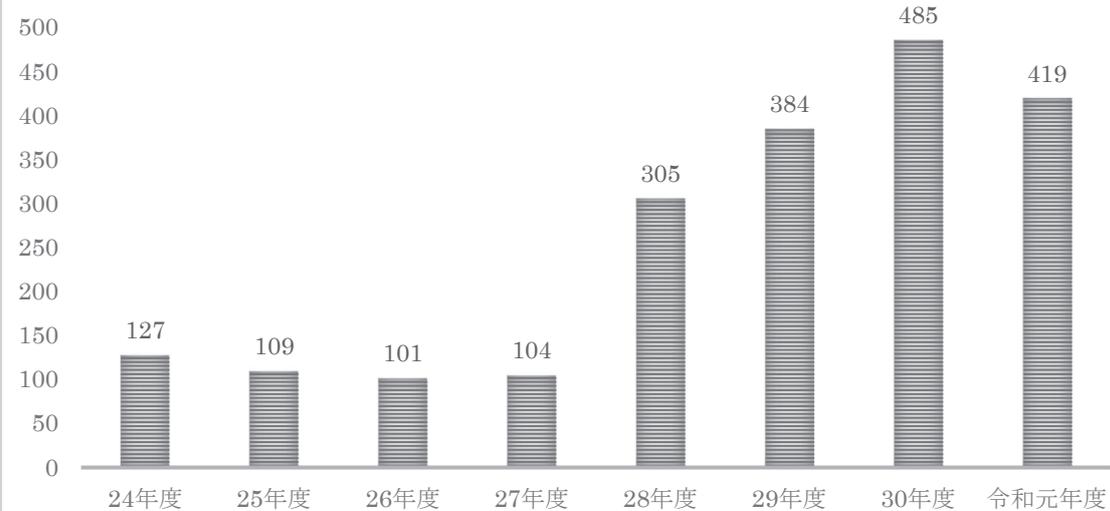
### 3. 業務実績(令和元年度実績)

地域連携支援センター経由予約件数 診療予約9,504件 検査予約957件  
 1日平均(診療予約) 38.5件 1日平均(検査予約) 3.8件  
 相談件数23,657件 転院支援件数909件  
 転院支援件数在院日数34.5日 地域連携診療計画管理料算定件数183件  
 救急受診受付1,077件 救急受診受入後入院件数530件  
 セカンドオピニオン相談件数146件 セカンドオピニオン実績件数29件  
紹介率76.2% 逆紹介率90.4% 開放型病床登録医数129件  
 地域医療連携委員会 1回/月 地域支援病院運営委員会 四半期1回

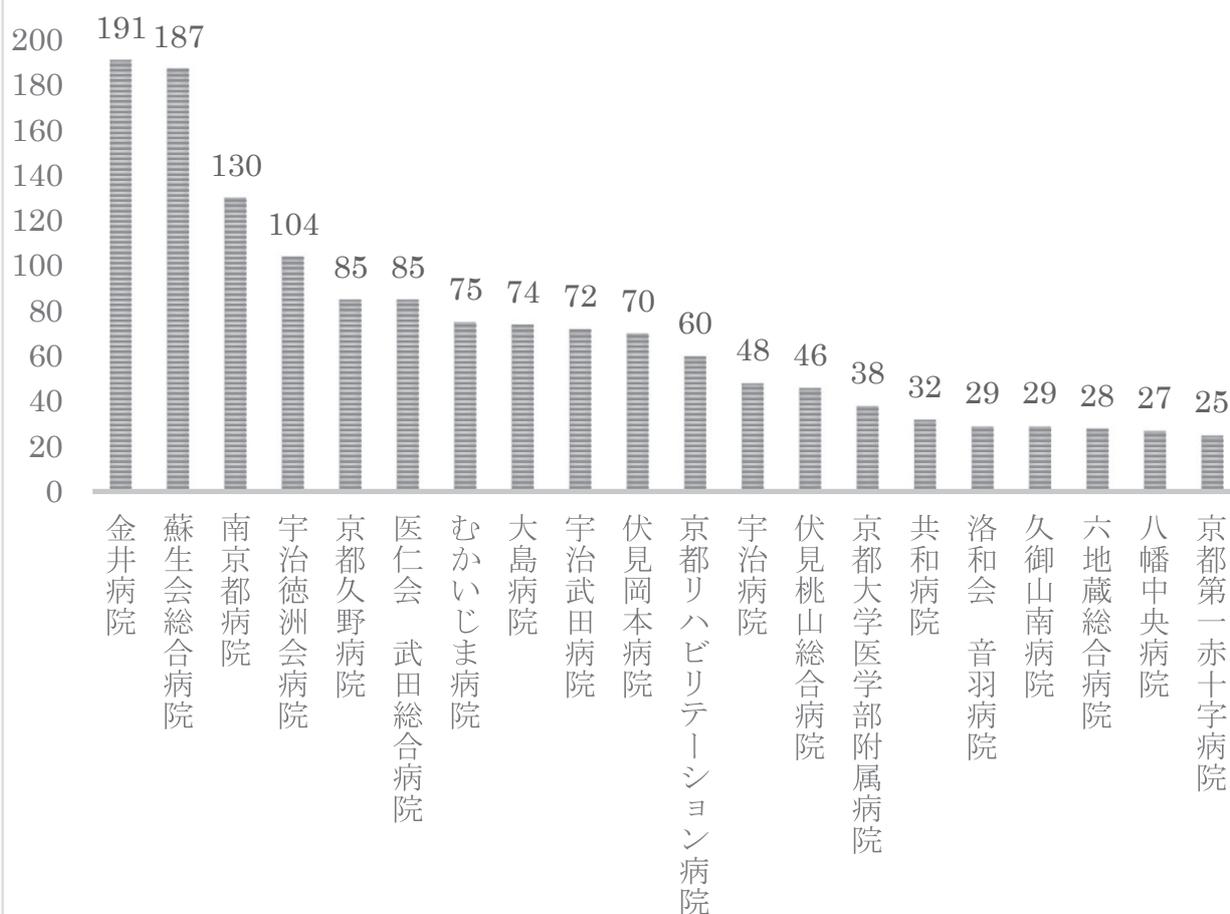
## 令和元年度 入退院支援加算1算定件数



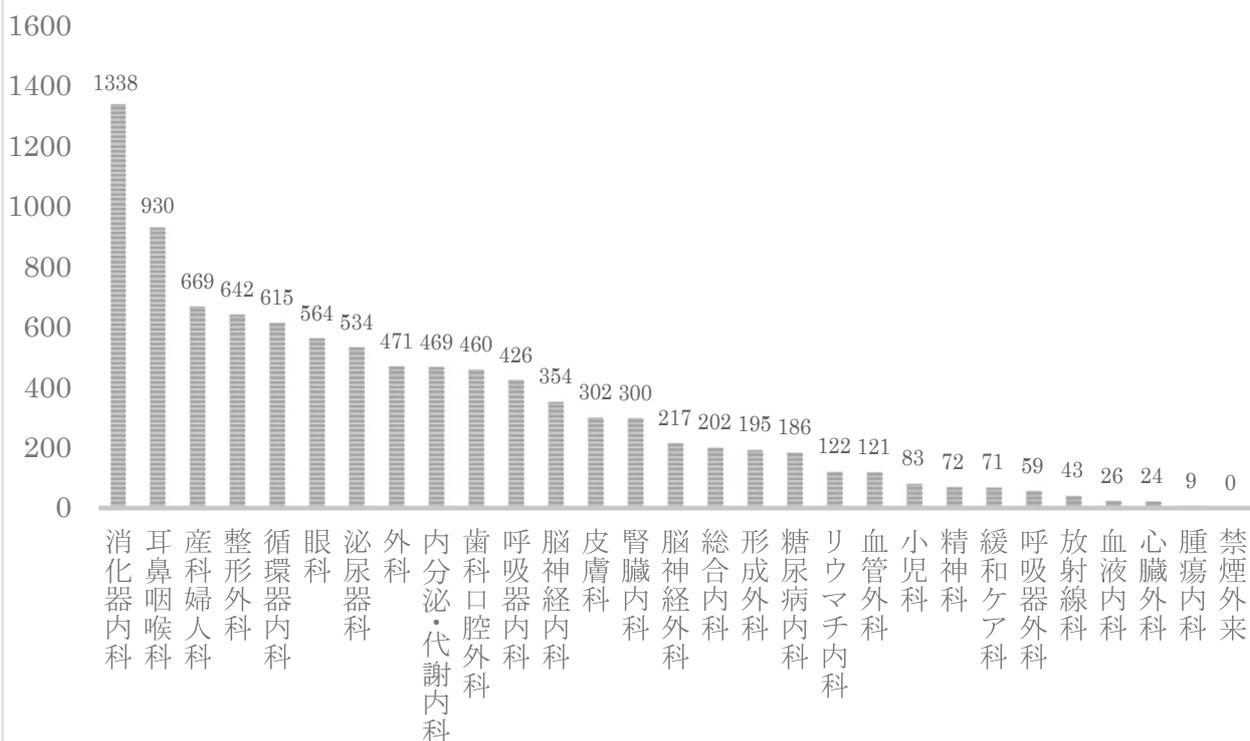
## 在宅支援件数



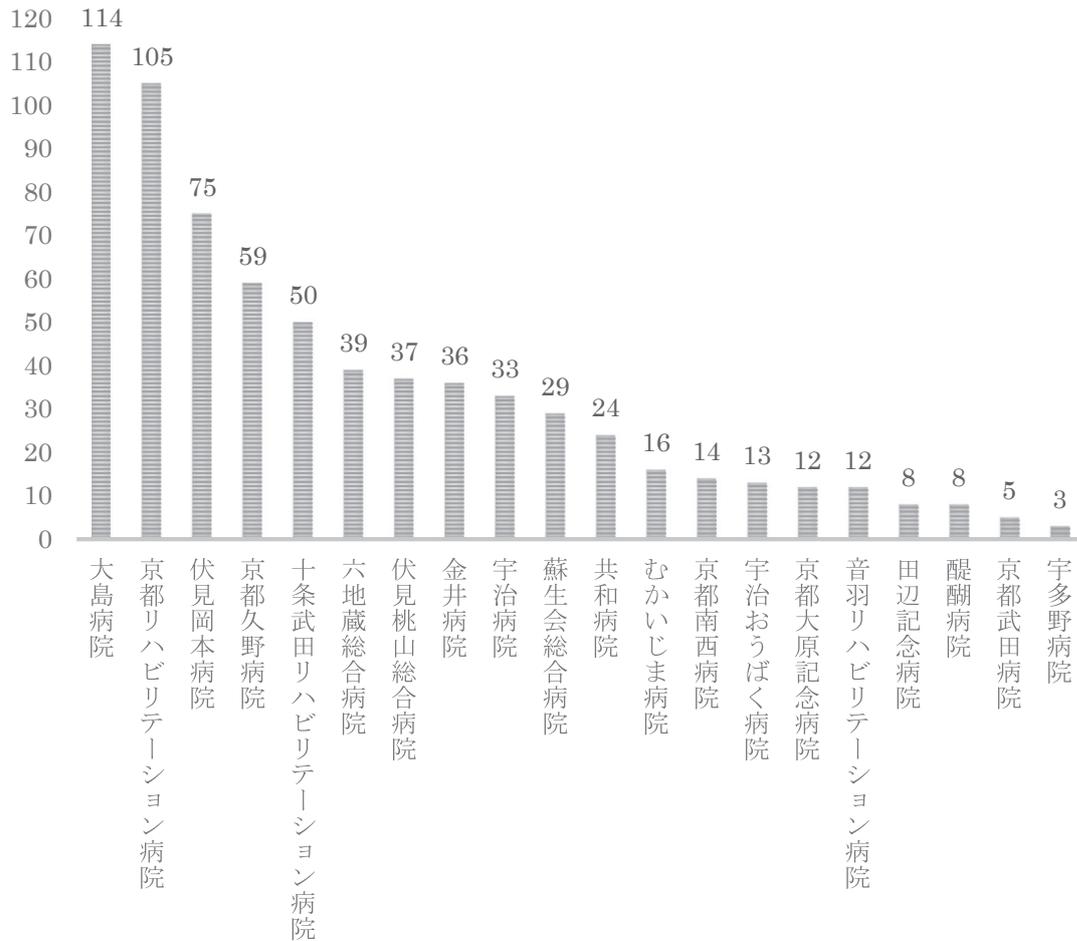
## 令和元年度 診療予約件数（病院別）



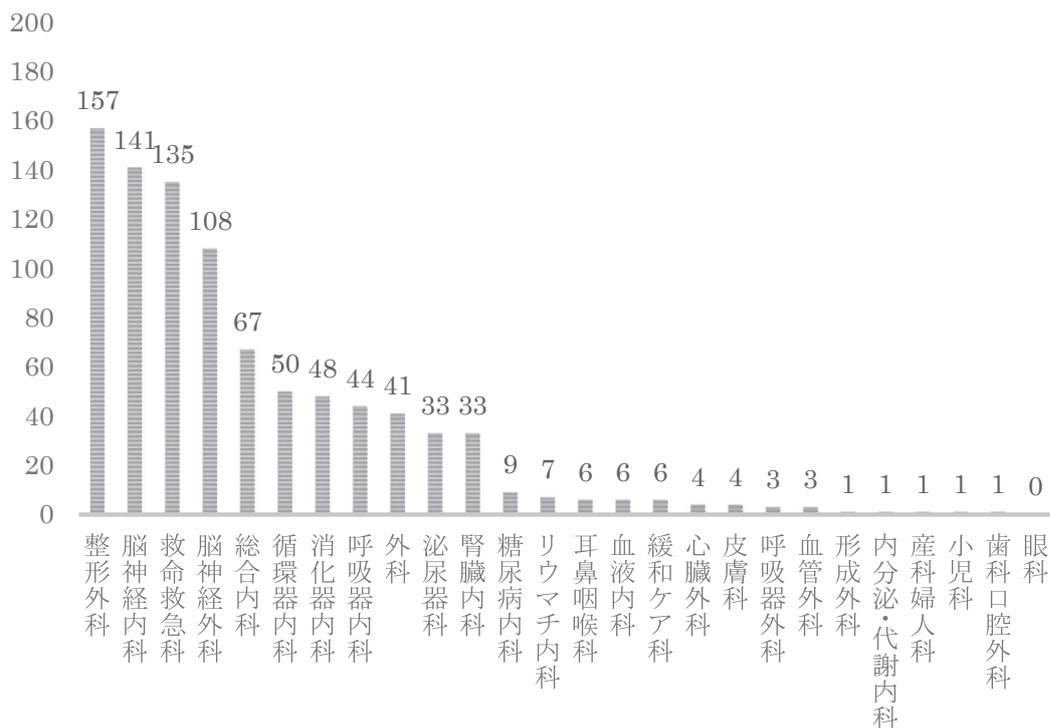
## 令和元年度 診療予約件数（診療科別）



## 令和元年度 転院支援件数（病院別）



## 令和元年度 転院支援件数（診療科別）



## □地域医療連携・広報活動

- ・「認知症とともに生きる～すこやかに生きるために2019～」  
市民公開講座 2019年11月30日
- ・「糖尿病治療の実際と将来展望 –10年後を見据えての糖尿病養生法とは?–」  
糖尿病市民公開講座 2019年11月16日
- ・京都医療センター地域連携交流会 2019年8月24日
- ・「症例から学ぶチーム医療で救う感染症」  
京都医療センター医療連携フォーラム 2019年9月7日
- ・「心房細動患者の予後改善には何が必要か?～抗凝固薬の処方の次に考えること～」  
伏見医師会ランチョンセミナー 2019年6月20日
- ・「COPDと喘息、トリプルセラピーで全部すむ?」  
伏見医師会ランチョンセミナー 2019年9月3日
- ・「心不全と血栓塞栓症」  
伏見医師会ランチョンセミナー 2019年11月27日
- ・「OAB(過活動膀胱)の治療戦略が広がりました～2019年ガイドライン改訂を中心に～」  
伏見医師会ランチョンセミナー 2019年12月3日
- ・「心房細動の患者さんがPCIを受けた後の抗血栓薬の減らし方」  
伏見医師会ランチョンセミナー 2020年1月31日
- ・「带状疱疹 update - 带状疱疹の病態と現状 -」  
伏見医師会ランチョンセミナー 2020年2月21日

# 薬剤部



薬剤部長  
本田 芳久

専門医資格等 薬剤師認定制度認証機構認証生涯研修認定薬剤師 (KLCE)  
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師  
日本病院薬剤師会認定指導薬剤師  
京都薬科大学特定教授  
大阪大谷大学薬剤部臨床教授

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等
副薬剤部長	山下 大輔	KLEC認定薬剤師、日本医療薬学会指導薬剤師、日本病院薬剤師会感染制御専門薬剤師
副薬剤部長	別府 博仁	日本臨床救急医学会救急認定薬剤師、日本病院薬剤師会障害研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師、KLEC認定薬剤師
治験主任	安井 みのり	日本臨床薬理学会認定CRC、日本アンチ・ドーピング機構スポーツファーマシスト、KLEC認定薬剤師
調剤主任	畑 裕基	日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、認定実務実習指導薬剤師、日本医療薬学会がん専門薬剤師
製剤主任	井上 咲姫	外来がん治療認定薬剤師、KLEC認定薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師
研究教育主任	池上 洋平	KLEC認定薬剤師
病棟業務管理主任	中野 一也	日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、認定実務実習指導薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師、感染制御認定薬剤師、KLEC認定薬剤師
医薬品情報管理主任	松井 尚美	KLEC認定薬剤師
薬務主任	小原 直紘	KLEC認定薬剤師
薬剤師	馬場 雅子	
薬剤師	物部 加容子	
薬剤師	神林 由樹	
薬剤師	岩上 祥愛	日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師
薬剤師	堀尾 綾香	
薬剤師	喜田 孝史	小児薬物療法認定薬剤師、日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤師	田淵 寿美	
薬剤師	熊谷 康平	
薬剤師	白井 祐也	KLEC認定薬剤師
薬剤師	佐々木 祐太	
薬剤師	松本 真理子	日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師、日本糖尿病療養指導士認定機構日本糖尿病療養指導士
薬剤師	和田 遼子	
薬剤師	市原 英則	麻薬教育認定薬剤師、京都DMAT隊員

薬 剤 師	野田 拓誠	
薬 剤 師	安達 昴一郎	
薬 剤 師	半井 春香	
薬 剤 師	藤本 佳奈	
薬 剤 師	松田 璃沙	
薬 剤 師	保井 健太	
薬 剤 師	壇 梨恵	KLEC認定薬剤師
薬 剤 師	下川路 亮太	KLEC認定薬剤師
薬 剤 師	石川 晋平	
薬 剤 師	江島 怜那	
薬 剤 師	岡 知代	
薬 剤 師	宮地 由香里	
薬 剤 師	前川 由季菜	

## □ 診療科の特徴

1. 各病棟に担当薬剤師を配置し、病棟薬剤業務実施加算を特殊病棟を含め実施している。
2. 外来化学療法室での抗がん剤無菌調製、レジメンチェック、服薬指導を実施している。  
また、薬剤師外来（化学療法）を設置し、がん患者管理指導料算定業務をおこなっている。
3. 救命救急、ICU、NICU病棟に専任の薬剤師を配置し、ハイケア患者に対する薬物療法の質の向上を図っている。
4. ICT、NST、がん、緩和医療をはじめとしたチーム医療と各診療科の専属薬剤師が連携を取り、医師やその他の医療従事者と共働で入院患者の薬物療法の質の向上に努めている。
5. 早期体験実習生、長期実務実習生の受け入れなど質の高い教育研修を行っている。
6. 平成24年度に京都薬科大学と、また平成28年度に摂南大学と包括協定を締結し、教育や臨床研究の発展を図っている。
7. 治験・臨床研究実施におけるCRC業務等を実施している。
8. 患者支援センターに担当薬剤師を配属し、入院予定患者を対象に面談を行い、持参薬の確認等を行っている。また、術前患者の抗血栓薬服用の確認も行っている。

## □ 診療（業務）内容

### 「薬学的介入によるアウトカムの検証」

#### <病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務>

医師、看護師らとの連携により、可能な限り入院患者の初回投与時及び退院時の服薬指導を実施するとともに、薬剤管理指導の増大と医療の質の向上に寄与する。

#### <医薬品の安全性の確保>

積極的に副作用情報を収集し、医薬品の安全性を確保するとともに医薬品情報の収集・提供体制の強化を図る。さらに、プレアボイド情報の収集に努め、迅速な対応を行う。また、医薬品関連インシデントの解析から、病棟専任薬剤師が医療事故防止策に積極的にアプローチする。

#### <注射薬の無菌調製業務>

全診療科の抗悪性腫瘍剤の無菌調製を実施し、医療従事者の安全性を確保するとともに医療事故の防止に努める。

患者の安全性確保のため抗悪性腫瘍剤のレジメン管理の適正化を薬剤師主導で実施する。

<医薬品管理の適正化>

薬事委員会を通じて同種同効薬の整理を行い、採用医薬品数の縮減に努める。

<教育研修・研究>

積極的に各種研修に参加し資格認定及び専門薬剤師等の取得に努める。

薬学実務実習生、研修生を積極的に受け入れ、質の高い教育研修を行う。また、業務の効率化及び医療の質の向上を目的とした研究業務を行い、学会などに積極的に参加する。

<調剤過誤防止>

ヒヤリ・ハット報告の収集・分析・対策を迅速に行い、再発防止に努めるとともに監査の徹底により調剤過誤を減少させる。

<チーム医療、クリニカルパスへの参画>

薬剤師の専門性を活かした業務を推し進め、緩和ケア、糖尿病療養、ICT、NST、救命救急などのチーム医療に貢献する。また、クリニカルパスの運用において、薬剤部として積極的に関わり薬物療法の適正化に努める。

<地域医療連携の強化>

地域連携パスにおいて、服用薬の管理等、薬学的管理事項に関与し、在院日数の短縮に貢献するとともに、お薬手帳で薬薬連携の充実を図る。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
研究セミナー・シンポジウム等	安井 みのり	治験について	FM845	京都	2019.8.27	2019.8.27
国内学会	堀尾 綾香, 安井 みのり, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	治験参加患者が救急外来受診した際の院内体制の構築	第19回CRCと臨床試験とあり方を考える会議	パシフィコ横浜	2019.9.14	2019.9.14-2019.9.15
国内学会	喜田 孝史, 松井 尚美, 中野 一也, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	薬学実務実習生向けの新生児集中治療における勉強会開催とアンケート調査について	第46回日本小児臨床薬理学学会	ロイトン 札幌	2019.9.28	2019.9.28-2019.9.29
国内学会	和田 遼子, 半井 春香, 喜田 孝史, 物部 加容子, 池上 洋平, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	当院における「授乳とお薬相談窓口」の24時間運用を開始して	第46回日本小児臨床薬理学学会	ロイトン 札幌	2019.9.28	2019.9.28-2019.9.29
国内学会	半井 春香, 松田 璃紗, 喜田 孝史, 松井 尚美, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	新生児集中治療室でのポイント集導入における病棟薬剤業務の効率化	第46回日本小児臨床薬理学学会	ロイトン 札幌	2019.9.28	2019.9.28-2019.9.29
国内学会	○中野 一也, 池上 洋平, 野田 拓誠, 下川路 亮太, 藤本 佳奈, 江島 怜那, 別府 博仁, 山下 大輔, 本田 芳久	京都医療センターにおける薬学生合同成果報告会の取り組み	第73回国立病院総合医学会	名古屋国際会議場	2019.11.9	2019.11.8-2019.11.9
国内学会	池上 洋平, 中野 一也, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	伏見薬薬連携協議会の設立と活動報告	第73回国立病院総合医学会	名古屋国際会議場	2019.11.9	2019.11.8-2019.11.9
国内学会	白井 祐也, 安達 昂一郎, 小原 直紘, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	高度腎機能障害時におけるトロンボモジュリンαの投与量別の安全性と有効性の評価	第73回国立病院総合医学会	名古屋国際会議場	2019.11.9	2019.11.8-2019.11.9
国内学会	熊谷 康平	インプラント留置後骨感染に対してゲンタマイシン(GM)骨髄内単回および持続投与を施行した1症例	第67回日本化学療法学会西日本支部総会	アクトシティ浜松	2019.11.7	2019.11.7-2019.11.9
国内学会	熊谷 康平	外来患者における経口抗菌薬使用量および分離耐性菌に関する多施設実態調査	第35回日本環境感染学会総会・学術集会	パシフィコ横浜	2020.2.14	2020.2.14-2020.2.15
国内学会	藤本 佳奈, 野田 拓誠, 中野 一也, 畑 裕基, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	入院支援センターでの転倒転落予防に対する薬剤師の取り組み	第41回近畿薬剤師同同学術大会	神戸国際会議場	2020.2.15	2020.2.15-2020.2.16
国内学会	岡 知代, 池上 洋平, 畑 裕基, 中野 一也, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	肝細胞癌患者におけるレンパチニブ投与による副作用発現の調査	第41回近畿薬剤師同同学術大会	神戸国際会議場	2020.2.16	2020.2.15-2020.2.16

国内学会	松本 真理子	NST介入患者における嚥下障害患者の実態調査	第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会	京都	2020.2.27	2020.2.27-2020.2.28
国内学会	熊谷 康平, 畑 裕基, 中野 一也, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	当院における中等度以上催吐リスク経口分子標的薬に対する制吐療法の現状調査	日本臨床腫瘍薬学会学術集会2020	福岡	2020.3.21	2020.3.21-2020.3.22
国内学会	野田 拓誠, 畑 裕基, 井上 咲姫, 中野 一也, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	院内免疫療法連携マニュアル作成前後での検査実施率の比較調査	日本臨床腫瘍薬学会学術集会2020	福岡	2020.3.21	2020.3.21-2020.3.22
国内学会	安達 昂一郎, 小原 直紘, 山下 大輔, 別府 博仁, 本田 芳久	エドキサバンを過量内服した患者における薬物体内動態解析	日本薬学会第140年会	京都	2020.3.25	2020.3.25-2020.3.28

# 臨床検査科



臨床検査科長  
藤森 洋一  
令和2年3月31日まで

専門医資格等  
日本整形外科学会専門医  
中部日本整形外科  
災害外科学会評議員  
京都大学博士(医学)



臨床検査科長  
勝島 慎二  
令和2年4月1日より

専門医資格等  
日本内科学会  
認定内科医 指導医  
日本消化器病学会  
専門医・指導医・近畿支部  
評議員・本部評議員  
日本消化器内視鏡学会  
専門医・指導医・近畿支部  
評議員・本部評議員  
日本医学放射線学会  
放射線診断専門医  
日本肝臓学会 専門医  
西部会評議員  
日本がん治療認定医機構  
がん治療認定医・指導  
責任者  
日本消化管学会 胃腸  
科専門医  
日本消化器がん検診学会  
総合認定医  
京都大学医学博士  
専門分野  
消化器内科全般  
得意疾患  
肝疾患  
炎症性腸疾患

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

氏名		専門医資格等
新井 浩司	臨床検査技師長	日本適合性認定協会臨床検査室技術審査員、京都府院内臓器移植コーディネーター、がんゲノム医療コーディネーター、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
田栗 貴博	副臨床検査技師長	
栗山 陽子	副臨床検査技師長	認定輸血検査技師、認定血液検査技師、二級臨床検査士(血清学)、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
谷口 美奈	主任臨床検査技師	超音波検査士(循環器)、糖尿病療養指導士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
村上 伊久子	主任臨床検査技師	超音波検査士(循環器)、心臓リハビリテーション指導士、ペースメーカー/ICD関連情報担当者(CDR)認定、CERTIFIED CARDIAC DEVICE SPECIALIST、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
寺野 雅美	主任臨床検査技師	超音波検査士(循環器)、超音波検査士(血管)、血管診療技師、緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
小森 法子	主任臨床検査技師	認定血液検査技師、骨髓検査技師、二級臨床検査士(血液学)、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
吉川 耕平	主任臨床検査技師	認定臨床微生物検査技師、感染制御認定臨床微生物検査技師(ICMT)、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
鶴田 康倫	主任臨床検査技師	細胞検査士、国際細胞検査士、有機溶剤作業主任者、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者、がんゲノム医療コーディネーター、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
松延 大樹	主任臨床検査技師	中級バイオテクノロジスト認定、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
黒川 美和子	臨床検査技師	

古屋 晃子	臨床検査技師	認定輸血検査技師、認定血液検査技師、二級臨床検査士(血液学)、緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
西山 智美	臨床検査技師	超音波検査士(循環器)、緊急臨床検査士、管理栄養士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
山本 紗綾	臨床検査技師	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
園田 美代子	臨床検査技師	米国臨床検査技師(ASCP)、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
飛騨 美希	臨床検査技師	認定遺伝カウンセラー、がんゲノム医療コーディネーター、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
前川 美翠穂	臨床検査技師	超音波検査士(循環器)、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
稲本 有里紗	臨床検査技師	認定血液検査技師、二級臨床検査士(血液学)、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
大平 真梨子	臨床検査技師	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
伊藤 大輔	臨床検査技師	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
平野 花奈	臨床検査技師	緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
丸野 大輝	臨床検査技師	緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
金丸 青空	臨床検査技師	緊急臨床検査士、二級臨床検査士(血液学)、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
竹澤 遼	臨床検査技師	緊急臨床検査士、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
道面 将嗣	臨床検査技師	細胞検査士、有機溶剤作業主任者、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
窪内 弘道	臨床検査技師	
近澤 薫	臨床検査技師	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
松本 泰三	臨床検査技師	緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
吉廣 優希	臨床検査技師	緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
西山 絢菜	臨床検査技師	緊急臨床検査士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
鈴木 遥	臨床検査技師	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
楠木 秀和	臨床検査技師(再)	細胞検査士、国際細胞検査士、有機溶剤作業主任者、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者
益田 喜信	臨床検査技師(再)	
井本 元治	非常勤臨床検査技師	超音波検査士(消化器)、診療情報管理士、第二種ME技術実力検定
三浦 辰朗	非常勤臨床検査技師	
森川 恵子	非常勤臨床検査技師	二級臨床検査士(病理学)
藤田 晶絵	非常勤臨床検査技師	臨床工学士、第二種ME技術実力検定、体外循環技術認定士、健康食品管理士、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講
受付スタッフ		
村井 佳世	事務助手(非常勤)	
中尾 弥生	事務助手(非常勤)	
岩崎 京子	事務助手(非常勤)	
松本 弓佳利	事務助手(非常勤)	
森川 信子	事務助手(非常勤)	
藤井 浩美	事務助手(非常勤)	

## □ 科(室)の特徴

1. 正しいデータを臨床側に返すことは、臨床検査技師の大切な任務であり、その命ともいえる精度管理に大きなエネルギーを注いでいます。
2. 当センターは日本の政策医療で、内分泌・代謝性疾患の基幹的役割を担っています。当科は臨床検査のトップ集団であることを自覚し、政策医療関連の検査の充実を図っています。
3. 緊急検査は、24時間対応しています。
4. 感染防御という立場から積極的に取り組むため、ICT(感染防御チーム)の活動に臨床検査技師も参加しています。
5. 輸血業務を一元化し、安全かつ適正な輸血管理業務を行っています。

## □ 診療(業務)内容

当科の業務は臨床検査を行うことであり、臨床検査は検体検査と生理機能検査の2つの分野に大きく分かれます。

1. 検体検査: 血液、尿、便、痰、手術により切り出された組織、穿刺液等を用いて行う検査です。肝機能検査や生活習慣病の血糖・尿糖検査、貧血検査、がん細胞検査等がこの中に含まれます。検査部門としては血液学検査、生化学検査、免疫学検査、輸血関連検査、微生物学検査、病理学検査、一般検査があります。
2. 生理機能検査: 直接患者さんの身体に接して、体内からの情報や変化の状態を数字や画像に変換して目で見るようにする検査です。分野別に心電図検査、肺機能検査、脳波検査、筋電図検査、超音波検査、聴力検査、睡眠時無呼吸検査、出血時間検査があります。

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	内山 有里紗	確定診断に至らなかったB細胞性リンパ腫の一症例	第20回日本検査血液学会 学術集会	奈良	2019.7.7	2019.7.6 ~ 2019.7.7
国内学会	飛騨 美希	遺伝カウンセリング加算取得の試み	臨床遺伝2019	北海道	2019.8.2	2019.8.1 ~ 2019.8.4
国内学会	小森 法子, 内山 有里紗	トルイジン青染色の代替としてのメイ・グリユンワルド染色液単染色の使用経験および染色条件の検討	第20回日本検査血液学会 学術集会	奈良	2019.7.6	2019.7.6 ~ 2019.7.7
研究セミナー・シンポジウム等	吉川 耕平	先輩技師からのアドバイス	新採用職員研修プログラム	大阪	2019.4.17	43938
研究セミナー・シンポジウム等	松本 泰三, 吉川 耕平, 鈴木 遥, 田栗 貴博, 新井 浩司, 藤森 洋一	BD MAXを用いたClostridioides difficileのトキシン遺伝子検査についての検討	第46回国臨協近畿支部学会	神戸	2019.6.9	43625
研究セミナー・シンポジウム等	松本 泰三, 吉川 耕平, 鈴木 遥, 田栗 貴博, 新井 浩司, 藤森 洋一	Clostridioides difficile トキシン遺伝子検査の有用性と導入効果	令和元年度 京都医療センター 成果発表会	京都	2020.3.14	43904
研究セミナー・シンポジウム等	田栗 貴博	連携病院のESBL産生菌の検出状況	感染防止対策地域連携カンファレンス	京都	2019.12.6	43805
国内学会	竹澤 遼	病理組織学的に治療効果の推移を見ることができた胃梅毒の1例	第73回国立病院総合医学会	名古屋	2019.11.9	2019.11.8 ~ 2019.11.9
国内学会	道面 将嗣	EUS - FNAにおいて印環細胞を認めた膵低分化腺癌の一例	第60回日本臨床細胞学会総会(春期大会)	東京	2019.6.8	2019.6.7 ~ 2019.6.9
研究セミナー・シンポジウム等	新井 浩司	これからの臨床検査を考える	国立病院臨床検査技師協会本部合同委員会	東京	2019.6.15	2019.6.15

## □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	編集者等	出版社	発行年月
和文原著論文	三浦 辰朗, 小森 法子, 金丸 青空, 新井 浩司	グリコヘモグロビン 分析装置「The Lab 001」の基本性能評 価	医療と検査機 器・試薬	42	6	472～ 477		ラボ・サービ ス/宇宙堂八 木書店	2019.12
和文総説・著書	小森 法子	■特集■ Q&Aで 学ぶ 採血の極意 ⑩針刺しが怖いで す。どういった対策を すれば防ぐことがで きるのでしょうか？	Medical Technology	48	1	60～ 61		医歯薬出版 社	2020.01
和文総説・著書	新井 浩司	多様性に富む臨床検 査部門で“個が輝く” 臨床検査技師の資質 とは	国立医療学会誌 医療	73	12	520～ 540		国立医療学 会	2019.12

# 病理診断科



病理診断科長  
森吉 弘毅

専門医資格等 病理専門医  
細胞診専門医  
死体解剖資格

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野
レジデント	三林 聡子		
臨床検査技師	鶴田 康倫	日本細胞検査士、国際細胞検査士	
臨床検査技師	楠木 秀和	日本細胞検査士、国際細胞検査士	
臨床検査技師	道面 将嗣	日本細胞検査士	
臨床検査技師	西山 絢菜		
臨床検査技師	竹澤 遼		

## □ 科の特徴

1. 病理医2名でダブルチェックを行い、診断精度の向上を図っています。
2. 細胞検査士の資格を持つ検査技師と協力し、細胞診業務を行っています。
3. コンサルテーション等で京大病院病理診断科との協力体制を築いています。
4. 組織診、細胞診、術中迅速診断、病理解剖、CPCのいずれについても正確かつ迅速な診断を心がけています。
5. カンファレンス等を通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

## □ 診療(業務)内容

1. 組織診断: 生検や手術によって採取された検体に対し、良悪性の判定、炎症の有無などを調べ、診断名を確定します。また、治療効果や腫瘍のステージ、転移の有無などの判定を行い、以後の治療方針の決定に役立てています。2019年は7692件の組織診断を行いました。
2. 細胞診: 子宮頸部擦過、尿、喀痰、甲状腺やリンパ節の穿刺などによって得られた細胞を観察し、良悪性の判定を行います。2019年は7881件の細胞診を行いました。
3. 他院標本診断: セカンドオピニオンや転院によって当院を受診された患者さんが持参された標本を改めて検討し、診断の確認を行っています。2019年は145件の他院標本診断を行いました。

4. 術中迅速診断:手術中に提出された検体を15-20分程度で診断し、手術範囲や術式の決定に役立てています。2019年は413件の術中迅速診断を行いました。
5. 病理解剖:亡くなられた患者さんのご遺体を解剖し、病態を詳しく調べて、生前に分からなかった事も解明しています。2019年は4件の病理解剖を行いました。
6. CPC:臨床各科と合同で病理解剖症例の検討を行い、様々な視点から病態を調べて、今後の診断や治療に役立てています。また、研修医と共に発表を行い、医学教育に寄与しています。
7. カンファレンス:臨床各科と定期的にカンファレンスを実施し、臨床情報と病理所見の摺り合わせを行っています。また、手術検体の切り出しの際の外科医立ち会いや、個別症例についてのディスカッションを通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

#### □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	森吉 弘毅, 内田 尚宏, 藤田 浩平	IgG4高値を伴うpulmonary hyalinizing granulomaの組織像の変遷	第108回日本病理学会総会	東京	2019.5.9	2019.5.9 ~ 2019.5.11
国内学会	川畑 茂	EGFR as a novel molecular target for aggressive papillary tumors in the middle ear and temporal bone	第108回日本病理学会総会	東京	2019.5.9	2019.5.9 ~ 2019.5.11
国内学会	道面 将嗣, 大上 哲也, 楠木 秀和, 川畑 茂, 森吉 弘毅	EUS-FNAにおいて印環細胞を認めた膵低分化腺癌の一例	第60回日本臨床細胞学会総会	東京	2019.6.7	2019.6.7 ~ 2019.6.9

#### □ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	藤田 浩平, 石上 健二郎, 田中 博之, 森吉 弘毅, 三尾 直士	A case of pulmonary lymphoproliferative disorder presenting rapidly progressive respiratory failure.	Respirology Case Reports	7	5	e00422			2019.4
英文論文	森吉 弘毅	P40 expression in small cell lung cancer: The presence of p40-positive cells does not always indicate squamous differentiation.	Thoracic Cancer	10	5	1188-1192			2019.5
英文論文	森吉 弘毅	SLAM family member 8 is expressed in and enhances the growth of anaplastic large cell lymphoma.	Scientific Reports	10	1	2505			2020.2

# 臨床栄養科



臨床栄養科長  
大谷 哲之

## □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等
栄養管理室長	西田 博樹	
副栄養管理室長	鳥山 明子	N S T 専門療法士
主任栄養士	大谷 弥里	N S T 専門療法士
栄養士	出島 美咲	
栄養士	廣部 香奈	
栄養士	中村 玲欧菜	
育児休業者(主任栄養士)	中辻 晴香	
育児休業者(栄養士)	騎馬 沙苗	
育児休業者(栄養士)	北川 洋子	
調理師長	福井 勝	
副調理師長	石井 俊雄	
副調理師長	山田 弘喜	
主任調理師	西田 正直	
主任調理師	坂本 尚人	
調理師	蒲生 亘	
調理師	博多 健二	
調理師	榊村 勝利	
調理師	荒川 和彦	
調理師	澤邊 元弘	
調理師	松尾 隆生	
調理師(再任用)	河添 幸弘	
非常勤栄養士	藤井 恵子	
非常勤栄養士	杉原 加奈子	
非常勤栄養士	大牧 尚子	
非常勤栄養士	苅谷 衣純	
非常勤栄養士	平松 寛子	
非常勤栄養士	佐野 里花子	
非常勤事務助手(栄養管理室)	山城 智佐子	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設
-------	---------------------

1. 管理栄養士専従による栄養サポートチーム活動
2. 専門外来栄養指導の実施
3. 特別メニュー食の提供
4. 個人対応食(PS食)の提供
5. 緩和ケア病棟での特別行事食の実施

## □ 診療(業務)内容

### 1. 食事の提供

入院患者を対象に大量調理施設衛生マニュアルに基づいた管理のもと、安全な食事(一般食及び治療食)を提供している。患者サービス、喜ばれる食事の一環として、週3回の選択食や月2回以上の行事食を実施すると共に、特別個室病棟を対象に特別献立による提供を行っている。緩和ケア病棟、化学療法における食欲不振時には、低食欲時食や個人対応食(PS食)を提供している。今年度は嗜好調査の結果や患者への食事調整の内容を加味し、軟菜食や分菜食の食事形態を見直し、献立の充実を目指して調整を進めている。2019年3月より変更予定。

### 2. 栄養食事指導

外来及び入院患者を対象に個人指導や糖尿病教室、母親教室などの集団指導を実施。個人指導では、1型糖尿病ポンプ外来や1型糖尿病専門外来、メタボリックシンドローム外来などの専門外来指導も実施している。

### 3. チーム医療

栄養サポートチーム(管理栄養士専従)や、摂食嚥下対策チーム、緩和ケアチーム、糖尿病透析予防チームなどチームの一員として管理栄養士が積極的に参加している。今年度はリハビリテーション科より栄養サポートチームへの参加希望があり、低栄養患者に対し嚥下リハビリを併行しながら栄養状態改善に寄与できるように、12月の活動開始に向けて準備を進めている。

### 4. 教育研修

今年度は6大学より、26名の実習生を受入れた。

### 5. レシピの提供

院内レストランに低カロリー、減塩のランチメニューのレシピを提供している。

## □ 地域医療連携・広報活動

第13回医療連携フォーラム『インフルエンザ、ときには重症 2. 危機は脱した、次は在宅へ』 2019/9/7

第10回腎臓病教室『腎臓を守りながら、食欲の秋を楽しもう』 2019/9/7

糖尿病週間イベント『見えないリスクを回避するための食事療法』 2019/11/16

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期 (開催日～終了日、月日)
研究セミナー・シンポジウム等	大谷 弥里	当院の1型糖尿病外来・CSII外来における管理栄養士の役割	中央区1型糖尿病治療を考える会2019	大阪	2019.6.6	2019.6.6
研究セミナー・シンポジウム等	出島 美咲, 堂地 晋也, 弘中 孝佳	インフルエンザ、ときに重症2.危機は脱した、次は在宅へ	第13回医療連携フォーラム	京都	2019.9.7	2019.9.7
研究セミナー・シンポジウム等	廣部 香奈, 杉原 加奈子, 中村 玲欧菜, 出島 美咲, 大谷 弥里, 鳥山 明子, 松尾 隆生, 坂本 尚人, 山田 弘喜, 福井 勝, 西田 博樹	低食欲時食改善への取り組み～実態調査の実施と今後の課題～	第8回近畿学術集会	京都	2019.10.19	2019.10.19
研究セミナー・シンポジウム等	出島 美咲, 鳥山 明子, 松本 真理子, 森永 浩介, 西田 博樹, 大谷 哲之	栄養サポートチームでの摂食嚥下の取り組みについて	第8回近畿学術集会	京都	2019.10.19	2019.10.19
研究セミナー・シンポジウム等	八幡 兼成, 西田 博樹	CKDにおける最近の食事療法の考え方と医師でもできるひとこと栄養指導	第19回伏見CKD医療連携の会	京都	2019.12.21	2019.12.21
研究セミナー・シンポジウム等	浅原 哲子, 西田 博樹	明日からできる健康法	令和元年度近畿地域診療放射線技師学術大会	京都	2020.2.9	2020.2.9

## 医療技術部リハビリテーション科



リハビリテーション科長  
山田 茂

専門医資格等 日本専門医機構整形外科専門医  
日本整形外科学会運動器リハビリテーション医  
京都大学 医学博士  
京都大学医学部 臨床教授  
専門分野 運動器領域

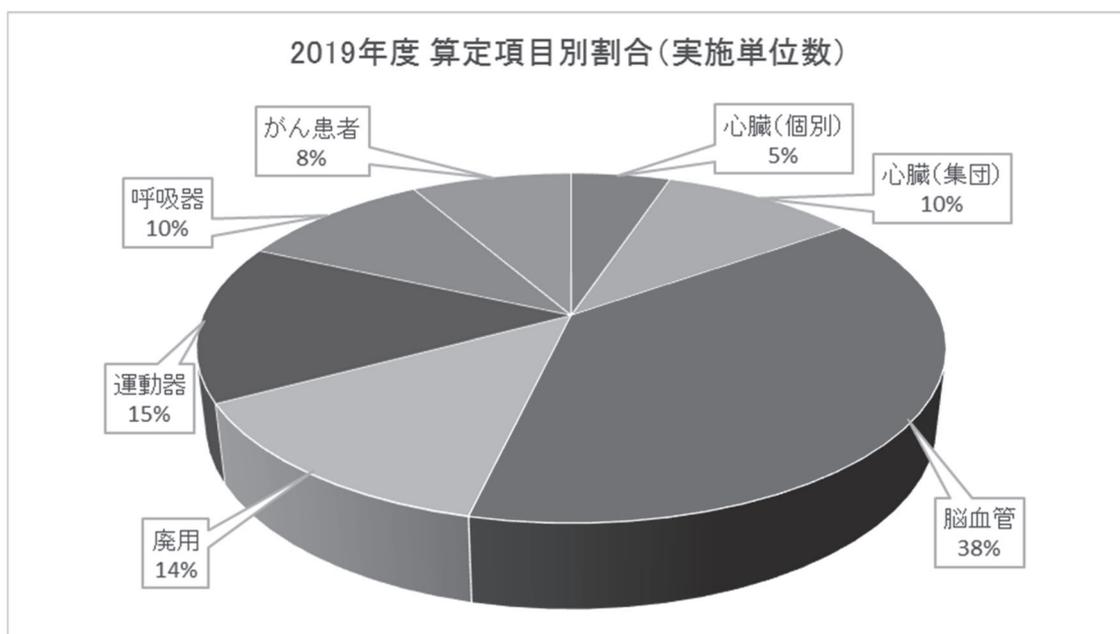
令和2年4月1日時点

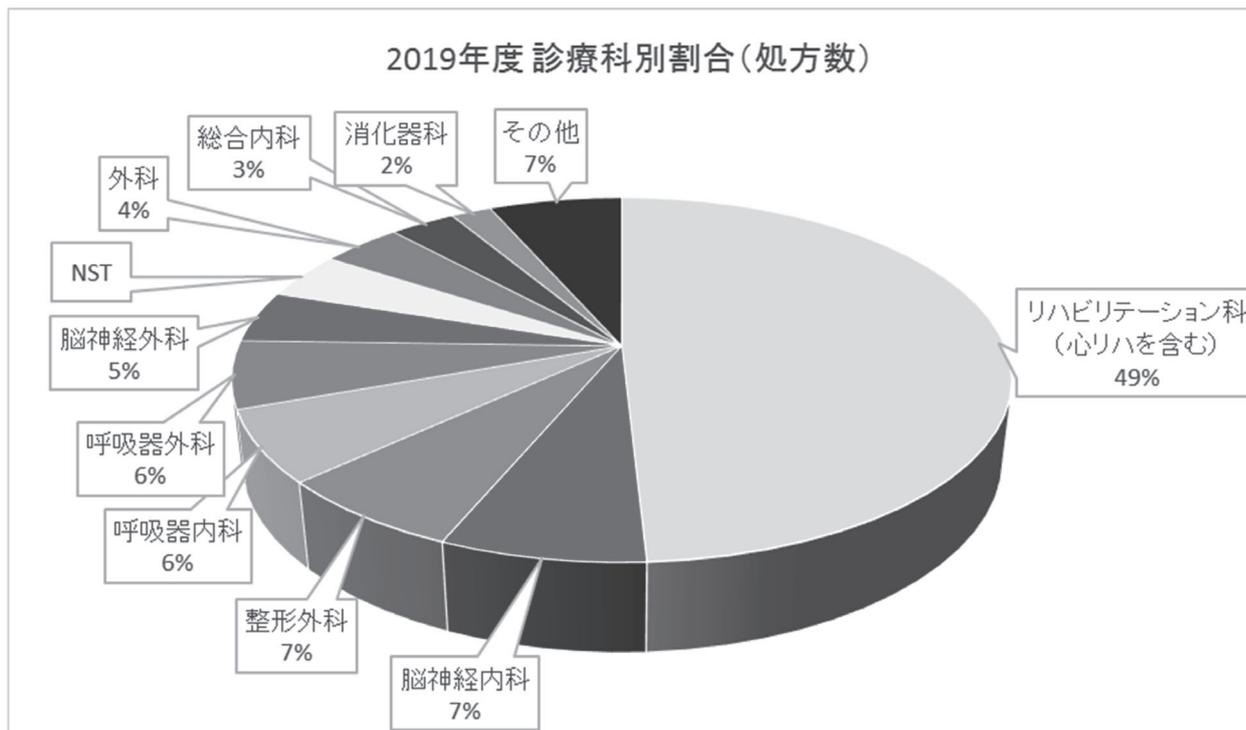
	氏名	専門医資格等
理学療法士長・近畿グループ理学療法専門職	上野 俊之	呼吸療法認定士、がんのリハビリテーション研修終了
副理学療法士長	仲山 卓志	がんのリハビリテーション研修終了
主任理学療法士	山原 純	心臓リハビリテーション指導士、がんのリハビリテーション研修終了、日本理学療法士協会認定理学療法士(呼吸)
主任理学療法士	谷川 由実	心臓リハビリテーション指導士、がんのリハビリテーション研修終了
主任理学療法士	安田 夏盛	心臓リハビリテーション指導士、がんのリハビリテーション研修終了
主任理学療法士	今中 辰茂	心臓リハビリテーション指導士、呼吸療法認定士 日本理学療法士協会認定理学療法士(運動器)
理学療法士	高本 美菜	心臓リハビリテーション指導士、呼吸療法認定士、がんのリハビリテーション研修終了
理学療法士	渡邊 俊介	心臓リハビリテーション指導士、呼吸療法認定士、がんのリハビリテーション研修終了
理学療法士	橋本 明希子	呼吸療法認定士、がんのリハビリテーション研修終了
理学療法士	久保 美佳子	呼吸療法認定士、がんのリハビリテーション研修終了
理学療法士	岡崎 将人	がんのリハビリテーション研修終了
理学療法士	永山 ひろみ	呼吸療法認定士、がんのリハビリテーション研修終了
理学療法士	高田 芽依	
理学療法士	山上 晴暉	
育児短時間(理学療法士)	廣野 さつき	がんのリハビリテーション研修終了
非常勤理学療法士	池上 健太郎	がんのリハビリテーション研修終了、呼吸療法認定士
主任作業療法士	峯 哲也	がんのリハビリテーション研修終了
作業療法士	森岡 良太	
作業療法士	河津 啓志	がんのリハビリテーション研修終了
作業療法士	本田 大貴	がんのリハビリテーション研修終了
作業療法士	高橋 倫香	がんのリハビリテーション研修終了
作業療法士	藪下 裕輝	がんのリハビリテーション研修終了
作業療法士	廣尾 千晴	がんのリハビリテーション研修終了
言語聴覚士	森永 浩介	がんのリハビリテーション研修終了

言語聴覚士	小林 理絵	がんのリハビリテーション研修終了
言語聴覚士	奥村 真裕	がんのリハビリテーション研修終了
言語聴覚士	野田 響子	がんのリハビリテーション研修終了
言語聴覚士	加藤 利和	
育児休業(言語聴覚士)	梶田 梨紗子	がんのリハビリテーション研修終了
育児休業(言語聴覚士)	蓬臺 綾江	
非常勤事務助手 (リハビリテーション科)	横田 美樹	

## ●科の特徴

- ・脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、廃用症候群、がん等あらゆる疾患を治療対象として、質の高い理学療法、作業療法、言語聴覚療法の提供を目指しています。
- ・各診療科から直接処方を受けるシステムを導入し、入院時からの早期リハビリ介入を実践しています。
- ・休日リハビリ体制の充実を図り、可及的速やかな早期離床を実践しています。
- ・NST、RST、排尿ケアチーム、褥瘡対策チーム、転倒転落予防チーム等のチーム医療に積極的に参加し、安全で高度な医療の提供に努めています。
- ・各科・病棟カンファレンスを通じて医師や多職種との連携・情報共有に取り組んでいます。
- ・新人教育マニュアルに則った職員教育をはじめ、各種研修会、勉強会を通じた人材育成を実践しています。
- ・施設基準：心大血管疾患リハビリテーション料〔Ⅰ〕  
脳血管疾患等リハビリテーション料〔Ⅰ〕  
廃用症候群リハビリテーション料〔Ⅰ〕  
運動器リハビリテーション料〔Ⅰ〕  
呼吸器リハビリテーション料〔Ⅰ〕  
がん患者リハビリテーション料





## ●業務の内容

### 理学療法

- ・脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、がん患者など幅広い疾患を対象に、運動療法や物理療法を用いて、起き上がる・座る・立ち上がる・歩くなどの基本的動作能力の改善に取り組んでいます。
- ・医師や看護師をはじめ多職種と連携をとったリスク管理のもと、ICU・HCU入棟中の患者を含め発症直後の早期から介入を開始しています。
- ・周術期の患者に対しては、術前から介入を開始し、術翌日よりスムーズな早期離床を目指しています。
- ・心不全、心筋梗塞、心臓外科術後、閉塞性動脈硬化症などの患者を対象に、症状に合わせてエルゴメータ、トレッドミル、ニューステップなどの器具を用いた心臓リハビリテーションを実施しています。また、退院に向けて、運動、食事、服薬などの総合的な生活指導を行い円滑な社会復帰を目指しています。更に、退院後も必要に応じて外来心臓リハビリテーションを導入しています。
- ・退院後の生活も念頭に置き、家屋の環境調整のアドバイスや在宅酸素導入の支援を含めた専門職としての関わりを通し、患者の生活の質の向上に努めています。

### 作業療法

- ・作業活動を用いて食事や更衣、トイレや入浴、家事動作など日常生活で必要となる能力の維持、改善を目指します。また、住環境に適した動作訓練および福祉機器などの調整をはかることで、患者の生活の質の向上を支援しています。
- ・脳血管疾患に対して、発症急性期より早期介入、早期離床に取り組み、機能回復を目指して主に上肢機能訓練を実施しています。
- ・運動器疾患に対して、術前の評価から介入。術後は早期より機能回復練習と日常生活で想定される動作の訓練や指導を実施しています。
- ・呼吸器疾患に対して、日常生活の動作の中で必要な酸素流量の評価と動作の指導を実施しています。また、在宅酸素療法を導入された場合には操作や管理の指導を行っています。
- ・がん患者に対して、多職種と連携し疼痛コントロールを図りながら生活の質の向上を目指し、個々のニーズに合わせた介入を行っています

- ・心疾患患者に対して、認知機能検査を実施。結果をもとに多部門と連携し本人または家族へ生活上の留意点の指導を行っています。
- ・手の外科に関して  
2018年より、整形外科・形成外科の医師と連携をとりながら手の手術後の患者に対し手指機能訓練を実施しています。

### 言語聴覚療法

- ・脳血管疾患や神経筋疾患、がん(舌、口腔底、咽頭など)などの発声発語機能、言語機能、高次脳機能、摂食嚥下機能などに障害のある方に対して、言語聴覚士が検査・訓練および指導などの専門的な関わりにより、機能の改善と生活の質の向上を支援しています。
- ・コミュニケーション機能の障害に対して、発症急性期から構音訓練、音声訓練、失語症訓練を実施しています。
- ・摂食嚥下機能の障害に対して、直接的嚥下訓練、間接的嚥下訓練、口腔ケアなどを用いて機能改善を目指します。
- ・記憶や高次脳機能に問題を抱えた患者に対し評価、訓練を実施しています。

### □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	上江田 勇介	業務改善を目指した理学療法士の診療録テンプレートとその使用効果について	第73回国立病院総合医学会	愛知	2019.11.8	2019.11.8～2019.11.9
国内学会	廣尾 千晴	認知機能改善における足浴の有効性	第53回日本作業療法学会	福岡	2019.9.7	2019.9.6～2019.9.8
国内学会	山尾 なつみ	経営改善に貢献しよう リハビリ処方数の増加を目指した取り組み	第73回国立病院総合医学会	名古屋	2019.11.9	2019.11.9～2019.11.10
国内学会	渡邊 俊介	当院における外来心臓リハビリテーション継続率の推移と継続率向上のための取り組みについて	第73回国立病院総合医学会	愛知	2019.11.8	2019.11.8～2019.11.9

## 医療技術部 臨床工学科



医療技術部長

伊藤 剛

令和2年3月31日まで

### □ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等
主任臨床工学技士	柳澤 雅美	3学会合同呼吸療法認定士・透析技術認定士・不整脈治療専門臨床工学技士
臨床工学技士	清水 真樹子	3学会合同呼吸療法認定士
臨床工学技士	湊 拓巳	体外循環技術認定士・透析技術認定士
臨床工学技士	嵯峨根 由奈	3学会合同呼吸療法認定士・体外循環技術認定士
臨床工学技士	丸宮 千冬	3学会合同呼吸療法認定士
臨床工学技士	瀬津 健太郎	3学会合同呼吸療法認定士
臨床工学技士	植田 哲朗	
臨床工学技士	串田 博紀	
臨床工学技士	永田 京夏	
臨床工学技士	沼田 篤志	
臨床工学技士	吉川 拓都	
臨床工学技士	長屋 祐太郎	

### □ 診療科の特徴

患者さんへ安全かつ安心して、高度な医療技術が受けていただける環境づくりに努める。

### □ 業務内容

臨床工学科の業務内容

臨床工学の業務は、大きく【臨床支援業務】と【医療機器管理業務】の2つの分野があります。

『臨床支援業務』:呼吸・循環・代謝に関わる生命維持装置の操作

『医療機器管理業務』:院内での医療機器の効率的な運用を行う為、機器の選定から廃棄に至るまで医療機器の総合的管理

日々高度化する医療において、不可欠な人工呼吸器(呼吸療法)・人工透析(血液浄化療法)・人工心肺(体外循環)など、生命に直結する重要な生体機能を代行する医療機器の管理と操作のプロフェッショナルとして活動しています。また、患者さんの状態に合わせて安全に最適な条件で治療の手助けを行い、病院内の医療機器全般について、いつでも、有効かつ安全・安心して臨床使用できるように運用・保守管理するという重要な役割も担っています。医療の中心にある患者さんを見据え、臨床工学技士として、必要な専門知識と技術を『工学分野』と『医学分野』を交え日々努力しています。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	嵯峨根 由奈	医療機器の安全使用を目的とした取り組み	第29回日本臨床工学技士会	岩手	2019.5.19	2019.5.18-2019.5.19
国内学会	湊 拓巳	スマートグラスを利用した人工心肺業務支援による働き方改革の試み	第29回日本臨床工学技士会	岩手	2019.5.18	2019.5.18-2019.5.19
国内学会	柳澤 雅美	当院における植え込み型ループレコーダーの導入と患者指導	第29回日本臨床工学技士会	岩手	2019.5.18	2019.5.18-2019.5.19
国内学会	瀬津 健太郎	在宅血液透析導入時に災害教育を取り入れて	第64回透析学会	横浜	2019.6.28	2019.6.28-6.30
国内学会	湊 拓巳	スマートグラスを利用した透析医療安全性向上に関する試み	第64回透析学会	横浜	2019.6.30	2019.6.28-6.30
国内学会	柳澤 雅美	WideQRS頻拍に対するアブレーション中に除細動を契機に心室細動へ移行した1例	第66回日本不整脈心電図学会	横浜	2019.7.25	2019.7.25-7.27
国内学会	湊 拓巳	経皮的心肺補助装置の遠隔システムの開発	第45会日本体外循環技術医学会	名古屋	2019.10.5	2019.10.5-10.6
国内学会	湊 拓巳	スマートグラスを利用した人工心肺業務の安全性向上に関する試み	第45会日本体外循環技術医学会	名古屋	2019.10.5	2019.10.5-10.6
国内学会	串田 博紀	臨床工学技士が中心となる計画停電	第26回近畿臨床工学技士会	京都	2019.11.9	2019.11.9-11.10
国内学会	植田 哲朗	突然の圧縮空気圧力低下を経験して	第26回近畿臨床工学技士会	京都	2019.11.9	2019.11.9-11.10

# 看護部



看護部長  
池田 仁美

国立病院機構の理念に沿った病院の使命を認識し、機構の看護職員として以下の役割を果たす

1. 機構及び病院の理念を踏まえた良質の看護サービスの提供に努める
2. 看護の質の向上を目指し、臨床看護の研究、業務の改善を行う
3. 良質な看護を提供するために、看護職員をはじめ看護に関係する職員の教育研修を行う
4. 看護の提供と経営効率の調和を図り、病院経営に参画する
5. チーム医療推進のための調整を図る
6. 地域住民への健康教育活動に参画する

## □ 看護部の理念

私たちは、常に患者さんと共に歩み、  
安心して納得のいく医療を受けていただくために、  
わかりやすく丁寧な看護を提供いたします

## □ 看護部の目標

### 【令和元年度 看護部目標】

スローガン 「高い倫理観をもって、優しく、丁寧に、確実に」めざせS評価!

1. 急性期医療を担う看護力の向上
2. 地域のニーズに応える看護連携の推進
3. チームワークの強化・連携による働き方改革
4. 病院経営への積極的な参画

## □ 看護部の組織

### I. 看護部組織図

(別紙1：看護部組織図)

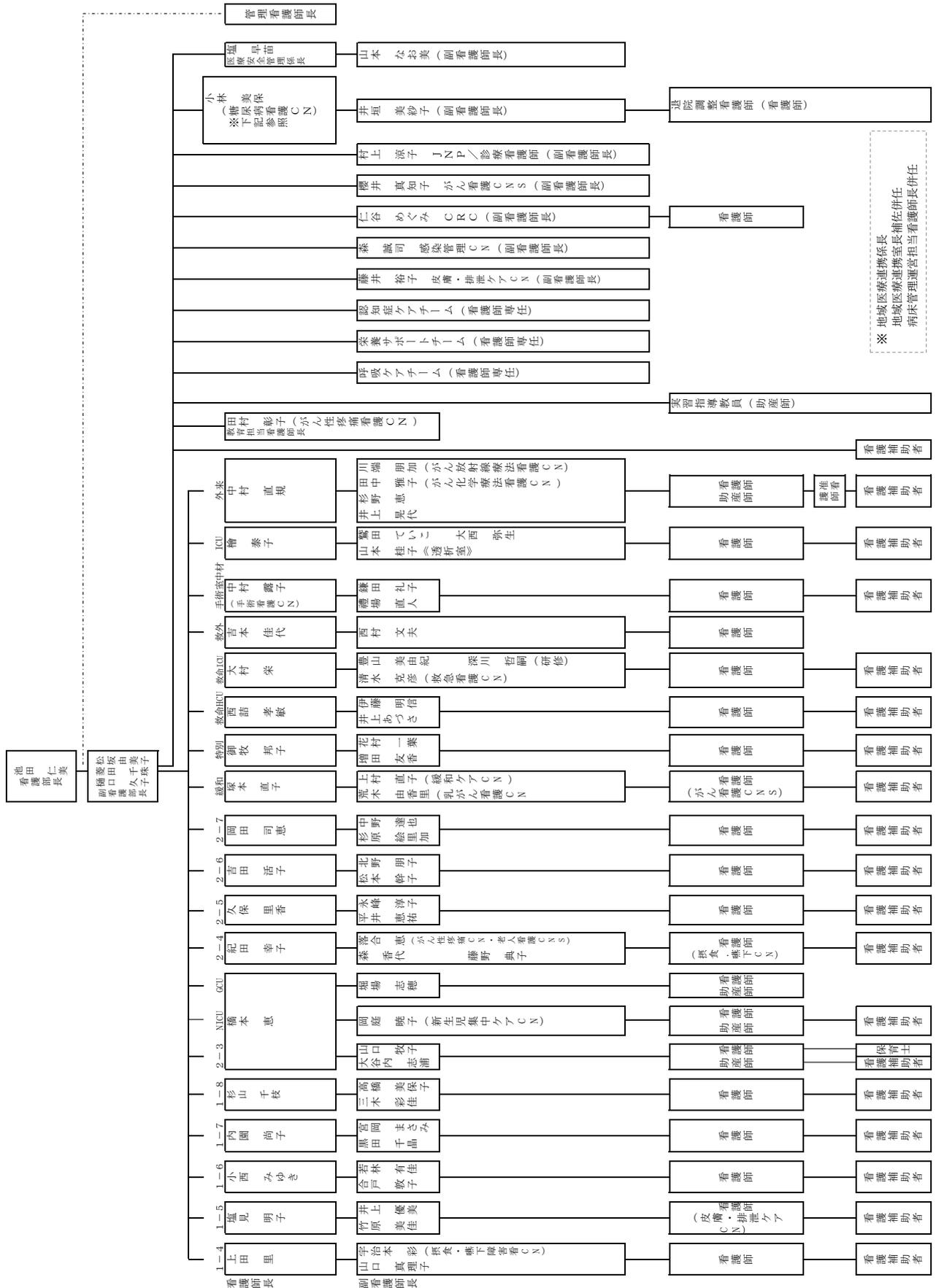
### II. 看護部会議・委員会

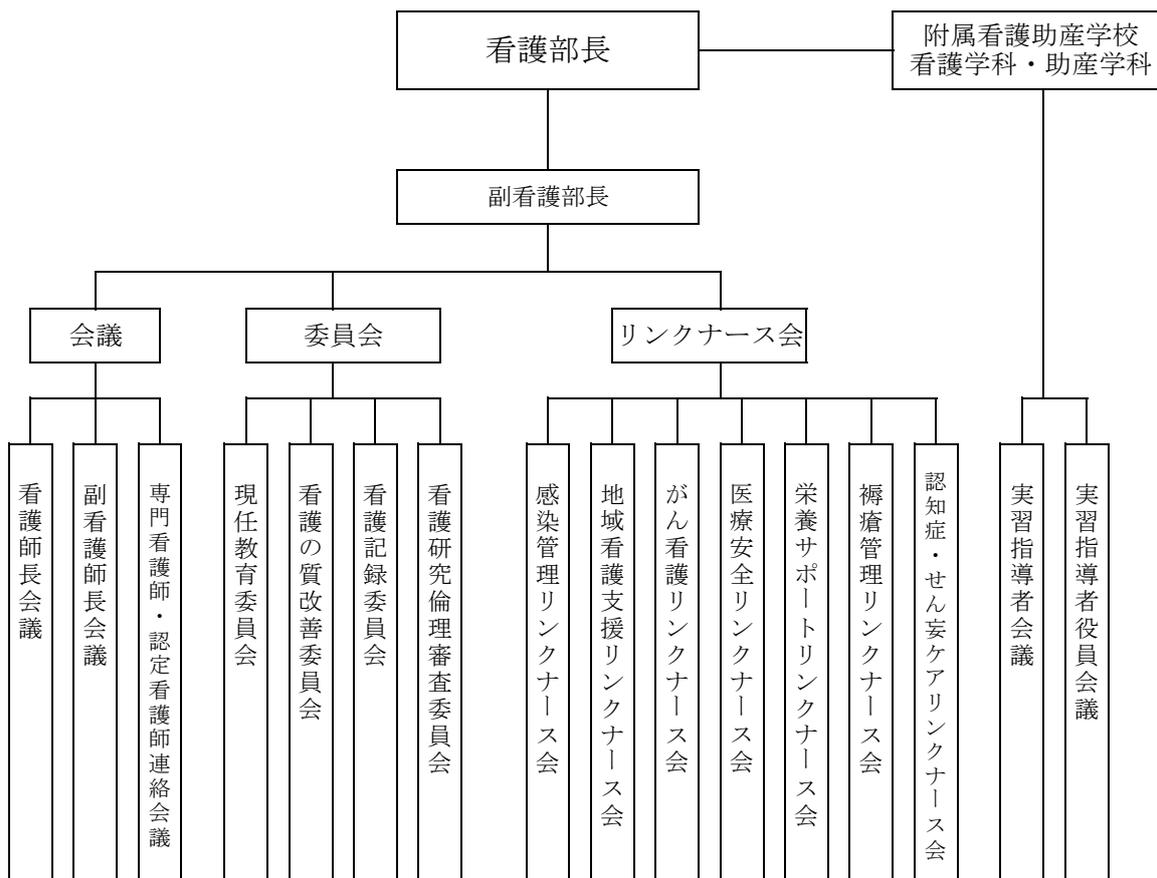
(別紙2：看護部会議・委員会機能図)

## □ 看護部の活動

(別紙3：看護部の活動)

別紙1：看護部組織図





看護部が関わる主な病院諸会議

- 管理診療会議
- 経営企画・業績評価委員会
- サービス向上委員会
- 薬事委員会・医療材料委員会
- 診療報酬管理委員会
- 病床管理委員会・小委員会
- 外来管理委員会
- 手術室運営委員会
- 集中治療室運営委員会
- 救命救急委員会
- 緩和ケア運営委員会
- 地域医療連携委員会
- 褥瘡対策委員会
- 栄養管理委員会・NST委員会
- 倫理委員会・小委員会
- 透析委員会・小委員会
- 臨床検査委員会
- 輸血療法委員会・小委員会
- 化学療法委員会
- 医療安全管理委員会
- 医療事故対策委員会
- リスクマネージャー会
- 院内感染対策委員会
- 災害対策委員会・小委員会
- 医療機器安全管理委員会
- 医療情報委員会・小委員会
- クリティカルパス委員会
- 広報委員会
- 安全衛生委員会
- 動物実験委員会

別紙3：看護部の教育計画・委員会活動状況

	委員会名	活動目標	活動計画
委員会	現任教育	1. ラダー別研修計画の企画運営ができ、研修生が到達目標を達成することができるよう支援する 2. 集合教育と機会教育の連携を強化し、教育体制を充実させる。 3. キャリアアップと離職防止につながる支援を行う。	1. 看護職員能力開発プログラム到達目標に沿った集合研修の企画運営と評価 2. 機会教育における研修前、研修後の計画的な支援と指導者への周知 3. 質の高い看護職員の確保・看護職員の離職防止に向けた活動
	看護の質改善	1. 看護手順を厳守した看護実践が出来る 2. 身だしなみ・マナー・接遇基準に基づいた行動がとれる 3. 患者満足度を向上する（退院時アンケートより評価）	1. 手順を厳守した看護実践・看護手順の改定 2. 身だしなみ・マナー・接遇調査（6月・10月）、接遇に関する苦情を事例討議する 3. 退院時アンケート調査（6月・11月）
	看護記録	1. 病院機能評価を見据えた、看護のプロセス、多職種協働のケア実践がわかる記録の周知と教育 2. 看護記録記載基準に沿った記録の指導を行えるスタッフの育成 3. 看護記録システム上の問題を解決する	1. 各種テンプレートの作成、テンプレートの活用の評価 2. 退院時サマリーの運用周知、徹底 1. 看護記録監査表の作成 2. 看護記録の監査 1. 問題の抽出 2. 新システム、記録方法の周知
	看護研究倫理審査	1. 看護研究の倫理審査を行う 2. 看護研究能力向上への支援を行う	看護研究倫理審査小委員会の開催
チーム会	感染管理チーム	1. 院内感染対策マニュアルに基づいた標準予防策・感染経路別予防対策が各部署で実践できる 2. 感染防止の視点で環境整備が出来る 3. ICTと連携して各部署の感染対策に取り組むことが出来る	1. 手指衛生遵守への取り組み、個人防護具の適正使用について、マニュアルに基づいた感染対策の実施 1. 環境ラウンド、環境整備を継続するシステム構築の取り組み 1. ゴージャージ使用量データ収集及び各種調査、インフルエンザ・感染性胃腸炎の対策周知
	地域連携リンクナース会	1. 退院支援技術を向上し、自部署の退院支援が強化できる 2. 病院機能評価を見据え、必要な患者に在宅などで継続したケアを実施する	1. 退院指導の充実・リーフレットの作成 2. 病棟から外来への連携、カンファレンスの充実 3. 退院前カンファレンス・介護連携カンファレンス 4. 退院前後訪問 1. 入退院支援に関わるケアプロセスの検証 2. 京都南部地域連携交流会の参加
	がん看護チーム会	1. 医師と協働し、がん患者の心身の苦痛に対する評価が出来、看護介入することが出来る 2. がん患者の心身の苦痛に対する記録の充実を目指し、がん看護の質の向上を図る	1. がん患者指導管理料2加算取得状況の確認 2. 心理的苦痛緩和への介入についての検討、コミュニケーションスキルの向上 2. 疼痛緩和における情報共有と経時的観察により、効果的な疼痛管理ができる 1. 昨年度の誤薬インシデントの現状の共有 2. 6R指差呼称が徹底出来るよう要因分析と対策立案と実施と評価 3. 6R指差呼称行動の監査
	医療安全リンクナース会	1. 誤薬のインシデントを昨年より減らすことが出来る 3. 医療安全にかかる看護記録が確実に実施出来る	1. 転倒転落や行動制限に関する記録が徹底出来るよう対策立案と実施・評価 2. 看護記録の監査の実施
	NSTリンクナース会	1. リンクナースが摂食機能療法についての知識・技術を習得する 2. NST・STと連携し実践力向上を図ることが出来る	1. 摂食機能療法についての技術習得 1. 摂食機能療法の対症患者の抽出と看護計画の立案、ケア実践
	褥瘡管理チーム	1. ポジショニング技術についての知識・技術を習得し、実践力向上を図ることが出来る 2. 患者の個性に合わせた褥瘡予防計画立案と実践・評価ができる 3. 褥瘡発生件数および医療機器圧迫創傷発生件数を昨年より減少することが出来る	1. ポジショニングマスター試験の実施 2. 各部署でポジショニングマスターとしての活動目標の設定と活動 1. 危険因子評価表を活用した定期的なリスクアセスメントの実施とマニュアルの整備 2. 昨年度作成した褥瘡、医療機器関連圧迫創傷の標準看護計画の運用 3. 実施記録および評価記録の整備 2-3. 自部署の褥瘡および医療機器関連圧迫創傷の発生要因の傾向に合わせた対策を考え取り組みを行う
	認知症・せん妄ケアチーム	1. 認知症、せん妄ケアの内容が見える記録が出来、適切に認知症ケア加算が取得出来る 2. 倫理的な姿勢で認知症・せん妄患者個々に適切なケア提供が出来る	1. 看護記録監査による認知症ケア加算取得の適切性の評価および改善点の明確化 1. 認知症ケアラウンドの実施
	連絡会	1. 組織横断的な活動を行い、実践や集合教育を通して当院の看護実践力の強化する 2. 院内外に向けた広報活動ができる	1. セミナーや院内研修・学習会の企画・運営・評価 2. 院内の情報や、病棟管理者のニーズを把握して、OJTの活動を増やす 3. ポスター、ホームページの更新、連絡会が企画する学習会の広報

平成31年度 病院目標 : 地域のニーズと信頼に応え、親切的な統合的高度医療を展開する

平成31年度 看護部スローガン「高い倫理観を持って 優しく丁寧に・確実に」

看護部目標	1-4	1-5	1-6	1-7	1-8	2-3	NICU/GCU	2-4	2-5	2-6	2-7
急性期医療を担う看護実践力の向上	1-4 専門的知識を深め、倫理観を持ち優しく丁寧な看護が実践できる。	1-5 1. 急性期の状態変化を予測できるアセスメント力および、看護実践力の向上	1-6 1. 専門性の高い糖尿病看護の実践 2. 倫理的視点をもち、患者の職業生活を支え、退院支援ができる	1-7 1. 消化器疾患を担う看護実践力の向上 2. 入院時、退院後の生活を助言するカンファレンスの充実と地域連携の推進	1-8 1. チーム力により実践力を高め、アセスメント力を向上させる 2. 患者、家族が望む、療養所で過ごせるよう、多職種と協働し、退院支援を充実させる。	2-3 知識と技術、予測力の向上をほけり、急性期医療、周産期医療に対応できる看護の提供	NICU/GCU ハイリスク新生児とその家族に対する看護実践能力の向上を図る	2-4 1. 脳神経疾患及び内分泌疾患の専門性を発揮できるよう看護実践能力を強化し、個々の患者に適切な看護を提供する 2. 多職種と連携し、患者が安心して退院できるように支援できる	2-5 1. 急性期医療に対応できる看護技術の習得と、整形外科看護実践能力の強化ができる 2. 地域との連携を強化し、退院支援が推進できる	2-6 1. 急性期看護の基礎看護力を向上する 2. 多職種との連携を強化し、入院前から患者・家族の希望する退院後の生活を先踏えた支援ができる	2-7 1. 根拠に基づいた循環器看護力の向上と技術の伝承 2. 心不全患者の地域ニーズに応えるきれぬ看護の提供
地域のニーズに即応する看護実践力の向上	1-4 入院時より退院を目標とした看護介入を実施し、地域との連携を強化する。	1-5 2. 入院時から多職種と連携、退院後の生活を先踏えた退院支援の強化	1-6 2. 倫理的視点をもち、患者の職業生活を支え、退院支援ができる	1-7 2. 入院時、退院後の生活を助言するカンファレンスの充実と地域連携の推進	1-8 2. 患者、家族が望む、療養所で過ごせるよう、多職種と協働し、退院支援を充実させる。	2-3 知識と技術、予測力の向上をほけり、急性期医療、周産期医療に対応できる看護の提供	NICU/GCU ハイリスク新生児とその家族に対する看護実践能力の向上を図る	2-4 1. 脳神経疾患及び内分泌疾患の専門性を発揮できるよう看護実践能力を強化し、個々の患者に適切な看護を提供する 2. 多職種と連携し、患者が安心して退院できるように支援できる	2-5 1. 急性期医療に対応できる看護技術の習得と、整形外科看護実践能力の強化ができる 2. 地域との連携を強化し、退院支援が推進できる	2-6 1. 急性期看護の基礎看護力を向上する 2. 多職種との連携を強化し、入院前から患者・家族の希望する退院後の生活を先踏えた支援ができる	2-7 1. 根拠に基づいた循環器看護力の向上と技術の伝承 2. 心不全患者の地域ニーズに応えるきれぬ看護の提供
病院長への積極的な参画	1-4 看護部について、看護実践の重要性を認識し、参画を行う。	1-5 3. チーム力を強化し、働きやすい環境をつくる	1-6 3. チーム力強化、業務改善による働きやすい職場環境の整備	1-7 3. 他職種との協働による働きやすい職場作り(労働環境整備)	1-8 3. 初任給・効率的な病棟管理、確実な加算取得、および重症度、医療・看護必要度の確実な入力による経営への貢献	2-3 知識と技術、予測力の向上をほけり、急性期医療、周産期医療に対応できる看護の提供	NICU/GCU ハイリスク新生児とその家族に対する看護実践能力の向上を図る	2-4 1. 脳神経疾患及び内分泌疾患の専門性を発揮できるよう看護実践能力を強化し、個々の患者に適切な看護を提供する 2. 多職種と連携し、患者が安心して退院できるように支援できる	2-5 1. 急性期医療に対応できる看護技術の習得と、整形外科看護実践能力の強化ができる 2. 地域との連携を強化し、退院支援が推進できる	2-6 1. 急性期看護の基礎看護力を向上する 2. 多職種との連携を強化し、入院前から患者・家族の希望する退院後の生活を先踏えた支援ができる	2-7 1. 根拠に基づいた循環器看護力の向上と技術の伝承 2. 心不全患者の地域ニーズに応えるきれぬ看護の提供
チームワーク強化、連携による働き方改革	1-4 チーム力を強化し、働きやすい職場環境を整える。	1-5 4. 経営に関与する知識を高め、算定および重症度の医療・看護必要度の取り漏れをなくす	1-6 4. 適切な処置入力の実施と物品管理を行い、コスト削減が実践できる	1-7 4. 重要な処置入力と正確な重症度、医療・看護必要度入力	1-8 4. 1) 固定チームメンバーの強化によるチーム力の向上2) ワーク、看護助手も含めた業務内容の見直しによる看護業務の効率化	2-3 知識と技術、予測力の向上をほけり、急性期医療、周産期医療に対応できる看護の提供	NICU/GCU ハイリスク新生児とその家族に対する看護実践能力の向上を図る	2-4 1. 脳神経疾患及び内分泌疾患の専門性を発揮できるよう看護実践能力を強化し、個々の患者に適切な看護を提供する 2. 多職種と連携し、患者が安心して退院できるように支援できる	2-5 1. 急性期医療に対応できる看護技術の習得と、整形外科看護実践能力の強化ができる 2. 地域との連携を強化し、退院支援が推進できる	2-6 1. 急性期看護の基礎看護力を向上する 2. 多職種との連携を強化し、入院前から患者・家族の希望する退院後の生活を先踏えた支援ができる	2-7 1. 根拠に基づいた循環器看護力の向上と技術の伝承 2. 心不全患者の地域ニーズに応えるきれぬ看護の提供

平成31年度 病院目標：地域のニーズと信頼に応え、親切的な統合的高度医療を展開する

平成31年度 看護部スローガン「高い倫理観を持って 優しく丁寧に・確実に」

特別室	緩和	ICU	HCU	救外	手術室	集中治療室	外来	地域医療連携室
<p>1) 全診療科に対応する看護実践力の向上</p> <p>2) 質向上に向けた固定チームナースの強化</p> <p>3) 看護研究に取り組み専門性を深める</p>	<p>1. 根拠に基づいた看護実践力の高め、アセスメント能力の向上を目指す</p> <p>2. 緩和ケア外来を連携強化</p>	<p>1. 救命救急センターICU入院患者の満足度を高める看護実践力の向上</p> <p>2. 救命救急センターとして三次救急病院としての役割を發揮する</p>	<p>1. 集中治療領域における看護実践力の強化</p> <p>2. 患者と家族の思いに寄り添う看護が提供できる</p>	<p>1. 救急外来受診患者の満足度向上を目指す看護倫理・看護実践力の強化</p> <p>2. 地域医療連携の中核として三次救急病院としての役割を發揮する</p> <p>3. カテーテルを受ける患者への看護実践力の向上</p> <p>4. 医師・研修医・コメディカルとの協働・連携強化</p>	<p>1. 根拠を持った高い看護ケアの提供</p> <p>2. ニーズに対応できるか、ごの提供と環境作り</p>	<p>1. 看護実践力の強化と倫理的視点の向上</p> <p>2. 適切な病床管理とスムーズな緊急入室受け入れ</p>	<p>1. 急性期医療を担う外来看護実践力の向上</p> <p>2. 病棟、地域社会福祉、訪問看護師との連携強化</p> <p>3. 管理加算算定への積極的な参画</p> <p>4. 診療科配置体制の改革 採血業務の改革</p>	<p>人退院支援の実践力の向上</p> <p>多職種と連携・協働し入退院支援を行う</p> <p>人際支援センター・診療受け付けセンター・退院支援センターの連携強化と業務改善</p> <p>正確な空間運算と適切なコスト管理</p>
<p>1) 看護チームとして業務を見直し、改善に取り組み</p> <p>2) 効果的な他部門との協働を進める</p>	<p>3. チーム力強化と働きやすい職場環境の整備をおこなう</p>	<p>3. 業務内容の見直しにより、働きやすい職場環境ができる</p>	<p>3. チーム力の強化による職場環境の整備と改善ができる</p> <p>4. 経営への意識を高め、適切な物品管理と処入り力漏れの削減ができる</p>	<p>4. 特定集中治療室の重症度、医療・看護の要度に応じた病床運営と確実な診療報酬請求</p>	<p>3. 看護業務見直しと改善による時間外勤務の削減と年休取得の促進</p>	<p>3. 看護業務見直しと改善による時間外勤務の削減と年休取得の促進</p>	<p>3. 管理加算算定への積極的な参画</p>	<p>人際支援センター・診療受け付けセンター・退院支援センターの連携強化と業務改善</p>
<p>1) 緊急入院の受け入れによる効果的な病床運用の継続</p> <p>2) 広報活動による病棟知名度・病床利用率の向上</p>	<p>4. 院内・院外との連携を強化し、病床利用率をあげる</p>	<p>4. 病棟における管理加算等の取得率の増進と物品管理の徹底を図る</p>	<p>4. 経営への意識を高め、適切な物品管理と処入り力漏れの削減ができる</p>	<p>4. 医師・研修医・コメディカルとの協働・連携強化</p>	<p>多職種と連携した効果的な手術室運営</p>	<p>4. 特定集中治療室の重症度、医療・看護の要度に応じた病床運営と確実な診療報酬請求</p>	<p>4. 診療科配置体制の改革 採血業務の改革</p>	<p>正確な空間運算と適切なコスト管理</p>

## 看護研究業績

### 1) 院内研究発表・成果発表（令和元年度）

	テーマ	部署	発表者名
1	褥瘡発生件数の減少をめざして ～ポジショニング院内認定制度の効果と課題～	看護部長室	藤井 裕子（口述）
2	医療のニーズが高い患者の退院支援	1 病棟 4 階	姫野 美玖
3	認知症ケア加算対象患者に対する看護実践内容を充実させる	1 病棟 6 階	平野 雅哉
4	専門性の高い看護実践に向けての取り組み ～1-6 病棟チーム活動報告～	1 病棟 6 階	三田 基世
5	業務改善 ～働きやすい環境で看護の質の向上に繋げよう！～	1 病棟 7 階	喜多田 泰子
6	安全に・安心してこどもが入院できるように	2 病棟 3 階	菊池 尚子
7	分娩に対する振り返りの習慣化	2 病棟 3 階	塩川 紗衣
8	NICUにおける災害対策について	NICU	山川 安奈
9	転倒転落予防に関するカンファレンスの充実	2 病棟 4 階	川人 省子
10	急性期病院における病棟デイケアの効果と今後の課題	2 病棟 4 階	泉谷 聖子
11	経口摂取が困難となり在宅中心静脈栄養が必要となった患者への退院に向けた関わりについての考察	2 病棟 6 階	古田 愛也
12	特別室個室病棟におけるがん看護の実際 ～多職種連携による症例報告～	特別室個室病棟	中村 寛子
13	いきるを支える ～エンド・オブ・ライフの看護実践をとおして～	特別室個室病棟	南 真由美
14	特別室個室病棟におけるアロマセラピーの使用状況	特別室個室病棟	西谷 由香
15	救命救急センターHCUにおけるリハビリテーション介入率上昇への取り組み～リハビリテーションカンファレンスを通して得た結果と今後の課題	救命救急センターHCU	伊藤 明信
16	ドクターハート症例における各部署での振り返り評価 ～看護師アンケートからの分析と今後の課題	救急外来	久保田 大樹
17	多数傷病者受け入れから見えた当院の課題について	救急外来	藤田 一成
18	チームで育てる環境作り ～朝の5分間を有効活用する～	手術室	禮場 直人
19	外科病棟で勤務する看護師のエンドオブライフケアに対する思い ～インタビューによる一考察～	集中治療室	山本 美奈
20	外来化学療法センターでの外来化学療法導入患者の支援における多職種連携の取り組みについて	外来化学療法センター	田中 雅子
21	緩和ケアチームの実践報告	緩和ケアチーム	櫻井 真知子
22	専門・認定看護師による新たな学習会の取り組み ～出前学習会の実践報告と今後の課題～	専門・認定看護師連絡会	落合 恵
23	認知症・せん妄リンクナース会活動報告と次年度の課題 ～症例検討会を中心に～	認知症・せん妄リンクナース会	豊山 美由紀

### 2) 院外研究発表（令和元年度）

	テーマ	学会名	開催日	部署	発表者名
1	病床再編成に伴う糖尿病看護教育プログラムの見直し	第61回 近畿看護学会	9/1	1 病棟 6 階	合戸 敦子
2	血管造影介助看護師教育にラダー教育を導入して	第61回 近畿看護学会	9/1	救急外来	池本 知子
3	病状進行により治療中断をせざるおう得なかったがん患者の危機への介入	第61回 近畿看護学会	9/1	2 病棟 3 階	嶋田 有芽
4	人工呼吸器管理の必要な独居患者への退院調整	国立病院総合医学会	9/1	2 病棟 4 階	佐藤 菜月
5	カンファレンスの場面を通してリーダー育成を行うことによるチーム力への影響	国立病院総合医学会	9/1	副看護師長会議	伊藤 明信
6	A病院のICUにおける医療者が患者に及ぼすストレス要因	国立病院総合医学会	9/1	副看護師長会議	落合 恵
7	治療継続を望む終末期にある肺がん患者と妻への意思決定支援	国立病院総合医学会	9/1	1 病棟 8 階	布施 克美
8	手術看護記録の形式監査から見えた今後の課題	令和元年 日本手術看護学会	10/11, 10/12	手術室	大森 富美子
9	手術室新人看護師の手術室に配属された同期看護師との関わり～同期に対する思いに着目して～	第33回 日本手術看護学会 年次大会	10/23, 10/24	手術室	田中 めぐみ
10	緩和ケアにより在宅生活が可能となった心アミロイドーシス末期心不全の症例	第23階 日本心不全学会学術集会 C O I 開示	10/	2 病棟 7 階	貞方 良太
11	急性期病院における認知症ケアチームの活動と今後の課題	国立病院看護研究学会	12/15	認知症ケアチーム	落合 恵

3) 著述発表（雑誌投稿・執筆依頼）（令和元年度）

出版社	雑誌名	テーマ	部署	著者名
株式会社 メディカ出版	消化器ナーシング 2020 VOL25 no2(97)1	先輩&後輩ナースのハイタッチ！ リレー日誌	1 病棟 7 階	宮岡 まさみ
株式会社 メディカ出版	消化器ナーシング 2020 VOL25 no2(94)	先輩&後輩ナースのハイタッチ！ リレー日誌	1 病棟 7 階	櫻井 実沙季
株式会社 メディカ出版	周手術期看護月刊誌鍵 「オペナーシング」	日本手術看護学会地区レポート 近畿地区	手術室	中村 露子
株式会社 メディカ出版	糖尿病ケア 16巻12号	初診患者から治療中断患者までシーン別 に考える	地域連携室	小林 美保
株式会社 メディカ出版	糖尿病ケア 2020年春季増刊号	糖尿病看護きほんノート 治療・ケア・ 患者教育をらくらく理解♪ 糖尿病の知識レベルがアップするミニ ブックつき	1 病棟 6 階	合戸 敦子
株式会社 メディカ出版	消化器ナーシング 25巻3号	後輩ナースに胸を張れ！ De 畑が語る！理由 “から学びなおす 術前術後の最重要ケア コラム②「よい記録」ってどんな記録？	2 病棟 6 階	吉田 活子

# 京都看護助産学校



副学校長  
前中 由美



看護学科 教育主事  
伊藤 睦美



看護学科 教育主事  
谷口 秀美



助産学科 教育主事  
伊藤 美栄

## □ 教育理念

### 感じる心、考える力、主体的な行動

人間愛を基盤とし、生命の尊厳と人権の尊重ができる感性豊かな人間性を育てることに主眼をおき、看護専門職として必要な基礎的知識、技術、態度を習得し、保健医療福祉の変化に対応できる人材を育成する。

## □ 教育目的

看護師若しくは助産師として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

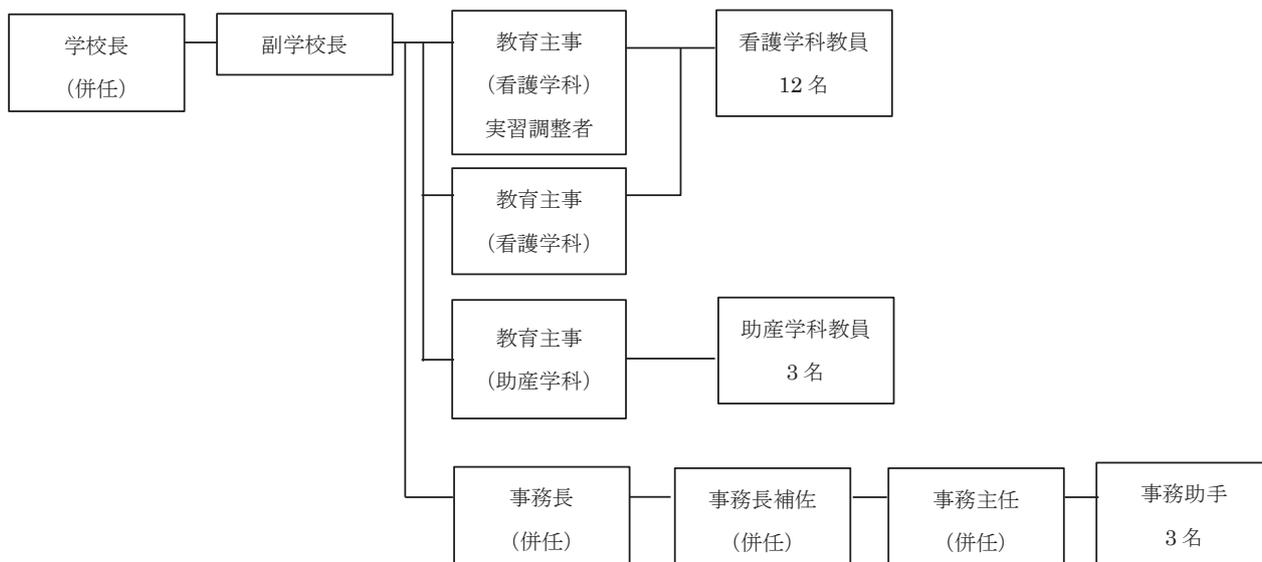
## □ 教育目標

1. 生命の尊厳と個々の人権を尊重できる感性豊かな人間性を養う。
2. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解し、看護師としての人間関係を形成する能力を養う。
3. 看護師としての責務を自覚し、倫理に基づいた看護を実践する。
4. 科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する基礎的能力を養う。
5. 健康の保持・増進、疾病の予防および健康の回復に関わる看護を、健康状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う。
6. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割および他職種の役割を理解し、他職種と連携・協働する基礎的能力を養う。
7. 社会の動向に関心を持ち、常に主体的に看護を探究する姿勢と自己研鑽し続ける能力を養う。

## □ 課程・定員

課 程	学 科	入学定員	総 定 員	在籍者数(令和2年3月31日)			
				1年生	2年生	3年生	合計
看護専門 課程	看護学科 (3年課程)	80人	240人	84人	74人	89人	247人
看護専門 課程	助産学科 (1年課程)	25人	25人	18人	—	—	18人
計		105人	265人	102人	74人	89人	265人

□本校の組織



□令和元年度 部門目標

部門目標		重点目標
1	国立病院機構及び地域に貢献できる優秀な人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募者の確保</li> <li>・国立病院機構および京都府内への就職者の確保</li> </ul>
2	カリキュラム改正を見据え、学生が主体的に学ぶ力を育成できる教育実践能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立病院機構の特色を活かしたカリキュラムの構築</li> <li>・教員の教育実践能力の向上</li> </ul>
3	学生にとって学びやすい“チーム学校”としての組織の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等教育無償化制度利用に向けた準備</li> <li>・職員、学生共に尊重した組織体制</li> </ul>
4	職員が働きやすい職場環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超過勤務時間の削減</li> <li>・業務の見直し</li> </ul>

□令和元年度 プロジェクト活動

働き方改革プロジェクト	活動課題	1. 教員の本来業務に専念できる環境づくり 2. 適正な労働時間管理
	活動内容	1. 研究日の取得状況調査、SWOT分析、業務計画表の活用 2. 業務量1Day調査、超過勤務内容調査
情報管理プロジェクト	活動課題	文書整理および情報管理を適正に行えるように活動する
	活動内容	1. 文書管理規程に基づいた文書整理 2. 適正な情報管理に向けた活動
カリキュラム検討プロジェクト	活動課題	2022年度カリキュラム改正に向けた、当校のカリキュラム開発
	活動内容	1. 教育理念、教育目的、教育目標の見直し 2. 各分野の留意点をふまえた科目編成を考える

□応募・入学状況

<看護学科>

R2.5.1現在

年度(回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
平成29年 (第16回生)	推薦(学校)	10	10	10	10		
	推薦(公募)	25	25	24	24	2	
	社会人	28	28	16	15		
	一般	106	103	65	39	1	
	合計	169	166	115	88	3	83
平成30年 (第17回生)	推薦(学校)	19	19	19	19	1	
	推薦(公募)	24	24	20	20		
	社会人	13	13	6	6		
	一般	102	100	55	32	2	
	合計	158	156	100	77	3	
令和元年 (第18回生)	推薦(学校)	19	19	19	19		
	推薦(公募)	17	17	15	15		
	社会人	18	18	12	12	1	
	一般	80	76	58(3)	39	1	
	合計	134	130	104(3)	85	2	
令和2年 (第19回生)	推薦(学校)	11	11	11	11		
	推薦(公募)	15	15	13	13		
	社会人	16	16	12	10		
	一般	66	61	53(2)	26(2)		
	一般(2回目)	14	13	13	13		
	合計	122	116	102	75		

( )内補欠合格者、別掲

<助産学科>

R2.5.1現在

年度(回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
平成29年 (第49回生)	特別選抜(学校)	11	11	11	11		11
	特別選抜(施設)	0	0	0	0		0
	一般	58	54	18	14	2	12
	合計	69	65	29	25	2	23
平成30年 (第50回生)	特別選抜(学校)	10	10	10	10		10
	特別選抜(施設)	1	1	1	1		1
	一般	60	53	11(4)	11(1)		11(1)
	合計	71	64	22	22		22
令和元年 (第51回生)	特別選抜(学校)	14	14	9	9		
	特別選抜(施設)	2	2	1	1		
	一般	45	35	8(3)	8		
	合計	61	51	18(3)	18		18
令和2年 (第52回生)	特別選抜(学校)	16	16	12	12		
	特別選抜(施設)						
	一般	40	35	6	4(2)		
	合計	56	51	18	18		

( )内補欠合格者、別掲

□卒業生の進路

<看護学科>

年度	回生	卒業 者数	就 職							進 学				未就職
			国立病院機構		NC	官公立	法人	その他	看護職 以外	保健師	助産師	養護 教諭	大学	
			自施設	他施設										
平成27年度	第12回生	69	41	17	1	1	4	0	0	0	3	0	2	0
平成28年度	第13回生	82	43	29	1	0	1	1	0	0	6	0	0	1
平成29年度	第14回生	87	42	29	3	1	5	1	0	0	6	0	0	0
平成30年度	第15回生	73	22	29	7	4	3	0	0	0	4	0	1	3
令和元年度	第16回生	88	30	25	3	9	8	0	0	1	8	0	0	4

年度	府内／府外	卒業生数	府内 就職者数	(再掲)		府外 就職者数	進学者	その他
				北部就職者	実習就職者			
平成29年度	府内出身者	53	39	0	37	10	4	
	府外出身者	34	23	0	21	9	2	
平成30年度	府内出身者	51	35	1	31	12	3	1
	府外出身者	22	7	0	7	11	2	2
令和元年度	府内出身者	53	34	0	32	12	4	3
	府外出身者	35	12	0	12	17	5	1

<助産学科>

年度	回生	卒業 者数	就 職						看護職 以外	進学	未就職
			国立病院機構		官公立	法人	その他				
			自施設	他施設							
平成27年度	第47回生	23	4	9	7	2	0	0	0	1	
平成28年度	第48回生	24	4	9	6	5	0	0	0	0	
平成29年度	第49回生	23	2	10	5	6	0	0	0	0	
平成30年度	第50回生	22	2	7	8	5	0	0	0	0	
令和元年度	第51回生	18	4	5	6	3	0	0	0	0	

年度	府内／府外	卒業生数	府内 就職者数		(再掲)				府外 就職者数		進学者	その他
			助産師	看護師	北部就職者		実習就職者		助産師	看護師		
					助産師	看護師	助産師	看護師				
平成29年度	府内出身者	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
	府外出身者	22	2	0	0	0	2	0	20	0		
平成30年度	府内出身者	7	6	0	2	0	3	0	1	0		
	府外出身者	15	1	0	0	0	0	0	14	0		
令和元年度	府内出身者	6	5	0	1	0	3	0	1	0		
	府外出身者	12	3	0	0	0	2	0	9	0		

□国家試験合格状況

<看護学科>

		全体 (%)	機構附属 (%)		
			全国	近畿	本校
106回 (H29.3)	全体 (新卒)	88.5 (94.3)	88.5 (94.3)	98.6	96.8
107回 (H30.3)	全体 (新卒)	91.0 (96.3)	98.4 (98.8)	99.7	100
108回 (H31.3)	全体 (新卒)	89.3 (94.7)	97.3 (98.1)	99.0	95.9
109回 (R2.3)	全体 (新卒)	89.2 (94.7)	97.3 (98.2)	98.5	96.6

<助産学科>

		全体 (%)	機構附属 (%)	
			全国	本校
100回 (H29.3)	全体 (新卒)	99.8 (99.8)	100	100
101回 (H30.3)	全体 (新卒)	98.7 (99.4)	100	100
102回 (H31.3)	全体 (新卒)	99.6 (99.9)	100	100
103回 (R2.3)	全体 (新卒)	99.4 (99.5)	100	100

□入学試験実施状況

看護学科	一次試験	二次試験	合格発表
一般入試	令和2年1月23日(木)	令和2年1月25日(土)	令和2年1月30日(木)
社会人入試	令和元年11月14日(木)	令和元年11月16日(土)	令和元年11月21日(木)
公募推薦入試	令和元年11月14日(木)	令和元年11月16日(土)	令和元年11月21日(木)
推薦入試	令和元年11月14日(木)		令和元年11月21日(木)

助産学科	一次試験	二次試験	合格発表
一般入試	令和2年1月23日(木)	令和2年1月25日(土)	令和2年1月30日(木)
特別選抜入試	令和元年11月14日(木)		令和元年11月21日(木)

□学生募集活動

<ガイダンス>

月	日	曜	内容	場所	出席者	実績数
4月	11	木	TAP主催京都精華学園高等学校	みやこめっせ	谷口	4人
	27	土	京都府看護協会・学校協議会主催 看護職就職・就学合同フェア	みやこめっせ	前中、谷口	25人
	29	月	さんぼう主催進学説明会	メルパルク	伊藤睦	23人
5月	15	水	ケーハウ主催京都府立亀岡高等学校	亀岡高校	谷口	15人
	31	金	TAP主催京都廣学館高等学校	けいはんなプラザ	太田	6人
6月	9	日	さんぼう主催宣真高等学校	梅田スカイビル	伊藤睦	6人
7月	5	金	高等学校と看護系教育機関との進路研修会	京都府立医科大学	前中、谷口	
	17	水	昭栄広報主催京都府立北嵯峨高等学校	みやこめっせ	伊藤睦	9人
	17	水	TAP主催京都府立木津高等学校	当校	谷口、太田	8人
	24	水	ふれあい看護体験(南京都病院)	南京都病院	谷口	14人
8月	7	水	ふれあい看護体験(宇多野病院)	宇多野病院	谷口	9人
10月	9	水	TAP主催京都府立田辺高等学校	文化パルク城陽	谷口	4人
	23	水	TAP主催京都府立木津高等学校	けいはんなプラザ	谷口	6人
	29	火	中学生チャレンジ体験(藤森中学)	当校	谷口、太田	4人
	31	木	エフォール主催京都府立福知山高等学校	福知山高校	谷口	9人

11月	6	水	中学生チャレンジ体験(深草中学)	当校	谷口、太田	2人
	12	火	中学生チャレンジ体験(西京中学)	当校	谷口	3人
12月	17	火	TAP主催滋賀県立堅田高等学校	ピアザ淡海	谷口	7人
2月	12	水	比叡山高等学校	比叡山高校	谷口	15人
3月	6	金	京都国際高等学校	京都国際高等学校		中止
	18	水	TAP主催進学説明会(大津高校)			中止

<高校訪問>

	都道府県別訪問校 (新規再掲)	訪問校数 (指定校再掲)	内容
6月	京都府31校(4校) 滋賀県 9校(6校)	40校(26校)	学校説明 入学試験の説明 看護系進学予定者・主な進路の確認 情報交換
1・2月	京都府26校(2校) 滋賀県13校(6校) 大阪府 2校(2校)	41校(23校)	学校説明 入学試験の説明 看護系進学予定者・主な進路の確認 高校の進路指導方針の確認 情報交換
延べ訪問高校数 81校 (新規 20校)			

<オープンキャンパス>

(1) 高校教員対象

学 科	日 程	参加者数	内 容
看護学科	2019年5月30日(木)	11名	学校説明 入学試験の説明 情報交換 校舎内見学 病院見学

(2) 応募者対象

学 科	日 程	参加者数	学生体験参加 者再掲	内 容
看護学科	2019年 7月21日(日)	148名	72名	学校説明 学校生活の紹介 入学試験の説明 校舎内見学 看護学生体験 呼吸音聴取、衛生的な手洗い 看護学生との交流
	2019年 8月25日(日)	128名	48名	
	2019年 9月28日(土)	38名	25名	
	2019年10月19日(土)	29名	16名	
	計	354名	161名	
助産学科	2019年7月21日(土)	51名	51名	学校説明 学校生活の紹介 入学試験の説明 校舎内見学 助産学生体験 モデル人形による分娩介助
	2019年8月17日(土)	44名	44名	
	2019年8月 25日(土)	52名	52名	
	計	147名	147名	

□研究活動

<学会発表>

日程	学会名	テーマ	研究者(○発表)
2019年 10月11日-12日 Web学会	第60回日本母性衛生学会	実習前の妊婦健診OSCEがもたらす助産学生への教育効果の検討	○伊藤 美栄 北井 英子, 林田 聖子
2019年 11月8日-9日	第73回国立病院総合医学会	実習時期別にみた助産学生の分娩期ケア能力到達度	○北井 英子 林田 聖子, 伊藤 美栄
2019年 12月14日	第17回国立病院看護研究学会	母性看護学実習におけるリプロダクティブヘルス/ライツの学びの内容	○住田 尚子 北井 英子, 林田 聖子
2019年 12月14日	第17回国立病院看護研究学会	生活環境から対象理解するための訪問看護実習前研修の導入の効果	○太田 恵子 仙波 伊知子
2020年 3月21日-22日 Web学会	第34回日本助産学会学術集会	一般市民と助産学生による模擬患者の参画を得た妊婦健診OSCEに対する受験学生の評価	○他校教員 伊藤 美栄, 北井 英子 林田 聖子, 柚木 麻央
2020年 3月21日-22日 Web学会	第34回日本助産学会学術集会	実習前の助産学生への妊婦健診シミュレーション教育及び妊婦健診OSCEの教育成果	○柚木 麻央 伊藤 美栄, 北井 英子 林田 聖子
2020年 3月21日-22日 Web学会	第34回日本助産学会学術集会	卒業前の助産学生への分娩介助OSCEのトライアル	○林田 聖子 伊藤 美栄, 北井 英子
2020年 3月21日-22日 Web学会	第34回日本助産学会学術集会	一般市民と助産学生による模擬患者の参画を得た妊婦健診OSCEに対する受験学生の評価	○他校教員 伊藤 美栄, 北井 英子, 林田 聖子, 柚木 麻央

<執筆・論文投稿>

収蔵誌	出版社	タイトル	教員(○筆頭)
日本助産学会誌 第39巻第2号.2019	日本助産学会	助産師教育課程修了時の分娩期の実践応力を評価するOSCEの検討～卒業前の助産学生へのトライアル～	○伊藤 美栄

<令和元年度 京都医療センター成果発表会>

日程	テーマ	研究者(○発表)
2020年3月14日	実習前の助産学生への妊婦健診シミュレーション教育及び妊婦健診OSCEの教育成果	○柚木 麻央 伊藤 美栄, 北井 英子, 林田 聖子
2020年3月14日	卒業前の助産学生への分娩介助OSCEのトライアル～卒業後を想定した課題設定～	○林田 聖子 伊藤 美栄, 北井 英子

<副学校長・教育主事協議会 研修グループ>

	テーマ	副学校長・教育主事
1.2年目看護教員育成	1.2年目教員の「教育実践能力」「コミュニケーション能力」の向上を図る	前中 由美, 谷口 秀美 他校教育主事
中堅看護教員の育成	職場のミドルリーダーとしての役割の果たし方を考え、学校管理・運営能力を高める	伊藤 美栄 他校副学校長 他校教育主事
卒業生調査	近畿グループ所属病院附属看護学校 卒業後在籍者調査	伊藤 睦美 他校副学校長 他校教育主事

<教員研修会 研究グループ>

	テーマ	教員
1G	臨地実習での看護援助の実施における学生の困難感とその対処方法	大上 寿子, 榮 圭子 伊藤 智美
京都 2G	臨地実習で看護過程の展開を行った学生への困難感について	中村 なぎさ 寺田 博子
京都1G	訪問看護実習において学生が対象の生活環境から対象理解するための実習前研修の効果	太田 恵子 仙波 伊知子
京都2G	成人看護学実習における成人期の対象理解を促進するためのカンファレンスに関する研究	住田 尚子, 寺田 美鳥 晝間 梓
京都3G	卒業時における看護実践能力の評価	近藤 尚子 稲垣 寿美
京都 4G	助産学生の妊婦健康診査実践能力向上に向けた取り組みに対する教育成果の検討	柚木 麻央, 北井 英子 林田 聖子

<授業研究>

日程	授業内容	教員
2019年 6月 24日	看護学科 基礎看護技術Ⅰ「無菌操作(演習)」	榮 圭子
2019年 8月 28日	看護学科 基礎看護技術Ⅳ「バイタルサイン測定(演習)」	晝間 梓
2019年 9月 5日	看護学科 老年看護学実習Ⅱ(終末期) 「対象理解を深めるカンファレンス」	稲垣 寿美
2019年 9月 30日	看護学科 成人看護学演習 「胃切除を受けた患者の看護(演習)」	中村 なぎさ
2019年10月 1日	看護学科 成人看護学実習Ⅲ(周手術期) 「手術室の環境・看護師の役割」	住田 尚子
2019年11月21日	看護学科 老年看護学演習Ⅱ 「徘徊をする認知症高齢者の看護(講義)」	稲垣 寿美
2019年11月25日	看護学科 基礎看護技術Ⅵ「内服薬の与薬(演習)」	寺田 美鳥
2019年11月29日	看護学科 基礎看護技術Ⅴ「採血(演習)」	大上 寿子
2019年12月 2日	看護学科 看護の統合と実践Ⅳ 「事例の状況に応じた知識の統合と看護の実践(演習)」	近藤 尚子
2020年 2月 14日	看護学科 看護過程の展開技術「看護計画の立案」	太田 恵子
2020年 2月 27日	看護学科 成人看護学実習Ⅰ(急性期)「急性期看護について」	仙波 伊知子
2020年 2月 27日	看護学科 老年看護学実習Ⅰ(慢性期) 「対象の反応から実施した援助に対する評価修正について」	寺田 博子
2020年 3月 2日	看護学科 老年看護学実習Ⅰ(慢性期) 「地域社会で生活する上で必要な支援について」	伊藤 智美
2019年 5月 23日	助産学科 妊婦健康診査シミュレーション	柚木 麻央
2020年 2月 20日	助産学科 卒業前分娩介助OSCE	北井 英子 伊藤 美栄 柚木 麻央 林田 聖子

□研修受講

<近畿グループ>

日程	主催	研修内容	参加人数
2019年 7月3日、4日	近畿グループ	新任中間監督者研修	1名
2019年9月9日	近畿グループ	初期教員研修(Ⅰ期)	1名
2019年12月9日	近畿グループ	初期教員研修(Ⅱ期)	1名
2019年8月1日	副学校長・教育主事・教員 夏期合同研修会	ハラスメント防止研修 ～ハラスメントのない職場づくり～ 講師：株式会社インソース 川見 敦子 先生	19名
2019年12月24日	近畿グループ	中堅看護教員研修 「信頼関係を築くコミュニケーション～コーチングからのヒント～」 講師：(株)ソルナ・クリエイト 代表 大川郁子 先生	12名

<副学校長・教育主事協議会>

(1) 中堅看護教員研修

日程	研修内容	担当	参加者
2019年9月17日	職場における働き方に関して課題となる事象についての問題抽出、必要な役割の果たし方の共有	伊藤 美栄	中村 なぎさ 柚木 麻央
2020年2月28日*	自校の職場における課題への取り組みの発表・共有、自校の職場環境や各教員間の課題・問題の見直しと今後の自己の役割の果たし方の明確化	* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、各校で発表やまとめを行った。	

(2) 1,2年目教員研修

日程	研修内容	担当	参加者
2019年6月24日	・ 授業参観:「滅菌物の取扱い」(演習) ・ リフレクション	前中 由美 谷口 秀美	晝間 梓
2019年11月25日	・ 授業のサポート教員体験:内服薬の与薬」(演習) ・ 看護教員ラダーを用いた教育実践能力の評価	前中 由美 谷口 秀美	晝間 梓

<学校>

(1) 実務研修

日程	研修内容	教員
2019年 4月2,3,5,8,11日	京都医療センター 病棟看護管理の実際 周産期看護の実際	太田 恵子
2019年 8月8,9,15日	京都医療センター 病棟看護管理の実際 周産期看護の実際	榮 圭子
2019年 8月8,13,21日	京都医療センター 病棟看護管理の実際 病棟での看護実践	伊藤 智美
2019年 8月9日、13日	京都医療センター 病棟看護管理の実際 病棟での看護実践	晝間 梓
2019年 8月8日、9日	京都医療センター 地域連携支援センターにおける病床管理の実際	寺田 美鳥
2019年 9月18日、20日	京都医療センター 教育担当看護師長による現任教育の実際	寺田 美鳥
2019年 8月6日、7日	京都医療センター 病棟看護管理の実際 周手術期看護の実際	中村 なぎさ
2019年 8月14日	京都医療センター 医療安全管理係長による安全管理の実際	中村 なぎさ
2019年 8月21日、22日	京都医療センター 訪問看護における看護管理の実際	寺田 博子
2019年 8月6日、20日	京都医療センター 地域連携支援センターにおける病床管理の実際	稲垣 寿美
2019年 8月20,21,22日	京都医療センター 病棟看護管理の実際 病棟での看護実践	大上 寿子

2019年 8月15日、30日	京都医療センター	病棟看護管理の実際	住田 尚子
2019年 9月4,11,18,20日	京都医療センター	教育担当看護師による現任教育の実際	太田 恵子
2019年 10月9日、11日	やまと精神医療センター	訪問看護における看護管理の実際	住田 尚子
2019年 8月21日	京都医療センター	病棟での看護実践	近藤 尚子
2019年 10月9日、11日	やまと精神医療センター	訪問看護における看護管理の実際	近藤 尚子
2019年 9月12日、13日	京都医療センター	医療安全管理係長による安全管理の実際	北井 英子
2019年 9月9日、10日	京都医療センター	看護管理の実際	柚木 麻央
2019年 8月14日	京都医療センター	医療安全管理係長による安全管理の実際	林田 聖子

(2) 学内講習

日 程	研修内容	担 当	参加者
2019年 5月 9日	講義「OSCEと臨床推論」	伊藤 美栄	看護職員 1名 教員 5名 他大学 1名 計 7名

□社会への貢献

<公開講座>

日 程	テーマ	参加者数
2019年 8月 5日	公開講座「危険!無理なダイエット」 健康チェック	16名
2019年 8月31日	性教育講座(小中高生対象) 「あなたのキセキのものがたり」	17名
2019年 9月21日	ファミリー教室(妊産婦とその家族) 「Welcome to My family ～育む家族の輪～」	26名
2019年10月19日	公開講座「危険!無理なダイエット」 健康チェック	4名
合計		63名

<講習会、研修等の講師派遣>

日 程	研修内容	教員
2019年 6月 6日	主催：近畿グループ 2019年度 保健師助産師看護師 実習指導者講習会 「実習指導者の役割」講師	前中 由美
2019年 6月18日	主催：近畿グループ 2019年度 保健師助産師看護師 実習指導者講習会 「カンファレンス」講師	谷口 秀美
2019年 7月10日 7月16日 7月23日	主催：近畿グループ 2019年度 保健師助産師看護師 実習指導者講習会 「実習指導の評価」講師	伊藤 睦美
2019年 6月14日	主催：近畿グループ 2019年度 保健師助産師看護師 実習指導者講習会「母性看護学」講師	伊藤 美栄
2019年 6月25日 7月 3日 7月18日 7月31日	主催：近畿グループ 2019年度 保健師助産師看護師 実習指導者講習会 演習指導	寺田 博子

2019年 6月19日	主催：京都府看護協会 2019年度 京都府専任教員養成講習会 「看護教育課程論(助産師課程)」	伊藤 美栄
2019年 5月16日 6月19日 12月11日	主催：京都医療センター附属京都看護助産学校 実習指導者研修プログラム (第1回～第3回)	前中 由美 伊藤 睦美 谷口 秀美 住田 尚子 仙波 伊知子 太田 恵子 寺田 博子 晝間 梓
2019年 8月5日 8月9日 8月19日 8月23日 9月2日 9月5日	主催：京都府看護協会 2019年度 京都府専任教員養成講習会	大上 寿子
2019年 7月22日	主催：独立行政法人国立病院機構南京都病院 現任教育レベルⅢ研修シンポジスト	太田 恵子
2019年 8月5日 10月19日	主催：京都医療センター附属京都看護 助産学校 公開講座：「危険!無理なダイエット」	北井 英子
2019年 9月17日	副学校長・教育主事協議会 2019年度 第1回中堅看護教員研修グループ討議 助言講師	伊藤 美栄
2019年 7月27日、28日	主催：全国助産師教育協議会 2019年度 ファーストステージ研修 「助産師教育方法論 -教育評価-」(公開講座)	伊藤 美栄
2019年 8月10日	主催：全国助産師教育協議会 北海道・東北ブロック 助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証制度 研修 「臨床推論」	伊藤 美栄
2019年 10月26日	主催：岐阜県看護協会 助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証制度 研修 「臨床推論」	伊藤 美栄

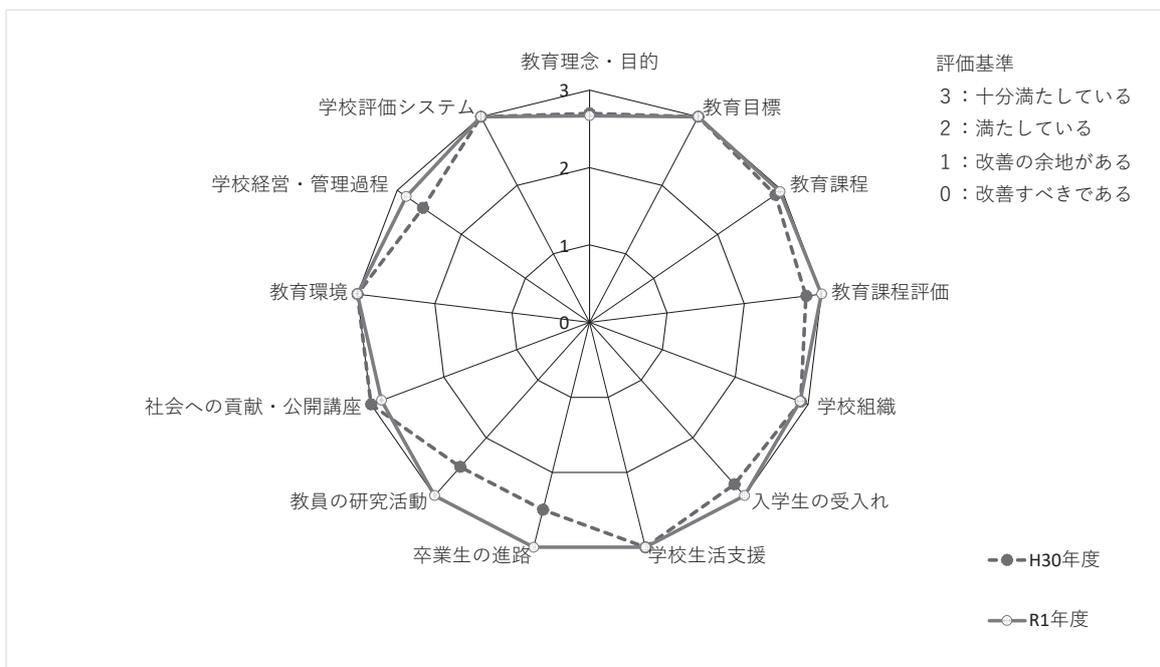
<研修生受け入れ>

日程	研修内容		受け入れ数
2019年 7月17日～18日	教員インターンシップ	実習指導見学 会議参加 行事参加	1名
2019年 9月19日～20日	教員インターンシップ	講義見学 実習指導見学 会議参加	1名
2019年 11月19日～22日	教員インターンシップ	講義見学 演習見学 実習指導見学 臨床との連携調整場面見学 会議参加	1名
2019年 10月28日、31日 12月5日、8日	教員インターンシップ	講義見学 演習見学 実習指導見学 臨床との連携調整場面見学 会議参加	2名
2019年 10月16日、17日 10月28日～31日	京都府専任教員養成講習会	講義見学 演習見学 授業実施 実習指導見学・実施 会議見学	2名

学校評価の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。

令和元年度は国立病院機構近畿グループ5校の副学校長・教育主事・教員による学校相互評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。

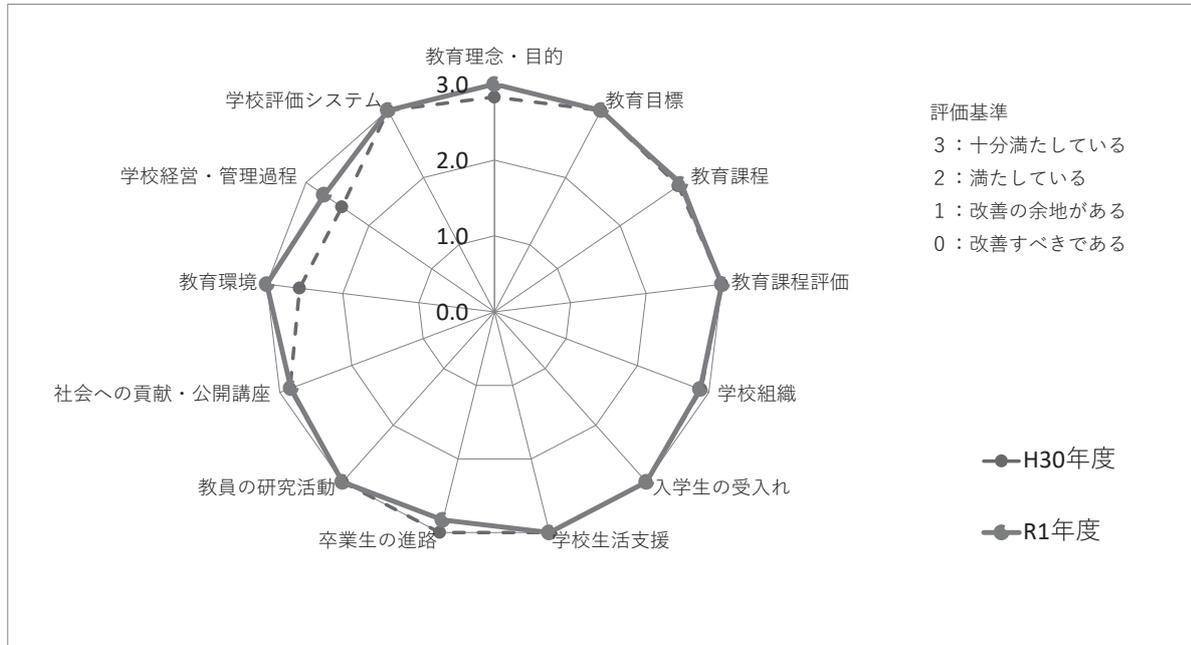


評価項目	評価の視点	R1年度	H30年度
I 教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。	2.7	2.7
II 教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒業教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。	3.0	3.0
III 教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているかについて評価します。	3.0	2.9
IV 教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。	3.0	2.8
V 学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適正であるかと防災対策や個人情報保護について評価します。	2.9	2.9
VI 入学生の受入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。	3.0	2.8
VII 学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。	3.0	3.0
VIII 卒業生の進路	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。	3.0	2.5
IX 教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。	3.0	2.5
X 社会への貢献・公開講座	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズをふまえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。	2.9	3.0
X I 教育環境	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。	3.0	3.0
X II 学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。	2.9	2.6
X III 学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。	3.0	3.0
全体平均		2.9	2.8

学校評価の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。

令和元年度は国立病院機構近畿グループ5校の副学校長・教育主事・教員による学校相互評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。



評価項目	評価の視点	R1年度	H30年度
I 教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。	3.0	2.8
II 教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒業後教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。	3.0	3.0
III 教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているかについて評価します。	3.0	2.9
IV 教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。	3.0	3.0
V 学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適正であるかと防災対策や個人情報保護について評価します。	2.9	2.9
VI 入学生の受入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。	3.0	3.0
VII 学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。	3.0	3.0
VIII 卒業生の進路	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。	2.8	3.0
IX 教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。	3.0	3.0
X 社会への貢献・公開講座	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズをふまえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。	2.9	2.9
X I 教育環境	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。	3.0	2.6
X II 学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。	2.7	2.4
X III 学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。	3.0	3.0
全体平均		2.9	2.9

# 令和元年度 学校関係者評価

## 1. 学校関係者評価の目的

- 1) 教育に関する知見を有する者、臨地実習施設の関係者、看護管理者経験者、卒業生などの学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。
- 2) 学校関係者との連携協力により、特色のある学校づくりを推進する。

## 2. 学校関係者評価委員名簿

規 程	所 属 氏 名
教育に関する知見を有する者	京都教育大学 教育学科 教授 相澤 伸幸
臨地実習施設の関係者	京都医療センター 看護部長 池田 仁美
看護管理者経験者	洛和会ヘルスケアシステム 洛和会本部採用教育課 部長 伊藤 文代
卒業生(一定のキャリアを持つ者)	京都医療センター 看護師長 橋本 恵

## 3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時:令和2年2月17日 14:00～15:30

実施場所:京都看護助産学校 会議室

## 4. 学校関係者評価委員会の実施方法

- 2019年度の自己点検・自己評価結果の報告
- 2019年度の重点目標についての取り組みを報告
- 学校関係者の皆様と今後の取り組みと課題について、検討する

## 5. 総評

### ○募集活動について

- ・看護学科の募集は、京阪沿線の大阪方面の看護系大学も競合校として検討したほうがよい。
- ・高校生だけでなく、中学生への働きかけをしてはどうか。
- ・社会人学生の確保対策はどうしているのか。

→「専門実践教育訓練給付制度」の活用できるが、本校としてはまずは現役生の確保に努め、状況をみて検討したい。

### ○教員の研究活動について

- ・教員の研究活動日の確保、教員1人ひとりに研究助成金が活用されており、よい環境が整っている。
- ・授業研究などの成果は学校での紀要として冊子に残しておかれてはどうか。

### ○学校目標について

- ・学校目標はディプロマポリシーのような(学生目線での)表現にしてはどうか。

### ○卒業生の評価について

- ・卒業生を受け入れた先の上司からの評価も大切である。

→国立病院機構では看護部長と副学校長・教育主事が合同会議を持っており、様々な意見交換を行っている。その機会を活用したい。

今年度より初めて学校関係者評価が行われ、今後継続して取り組むべき課題や改善策が見出されたことは大変意義がある。貴校は70年以上の歴史があり、多くの卒業生を輩出されている。卒業生は国立病院機構の病院をはじめ、全国の病院等でリーダーシップを発揮して活躍されている。質の高い教育をされている実績があり、地域からの信頼もある学校である。今後は、強みや特徴をもっとアピールし、さらに発展していかれることを望む。

## 編集後記

令和元年度のアニュアルレポートが完成しました。

新しい時代の始まりと、希望に胸を膨らませて迎えた年度でした。京都医療センターでも新しい出来事がいくつもありました。まず、7月に手術支援ロボット ダ・ヴィンチが最新機種であるXシステムに更新されました。これにより泌尿器科をはじめ、外科、婦人科、呼吸器外科で、より安全で確実なロボット手術ができるようになりました。11月には当院1階に患者支援センターを開設しました。従来、退院支援センター、診療受付、入院支援センター、がん相談、患者相談の各部門がバラバラにあったのを、すべて統合することができました。12月には3テスラのMR装置が導入されました。これにより同じ検査時間でより細かく、より鮮明な高画質の画像が得られるようになりました。高精度放射線治療棟の建設が完了し、令和2年3月23日から稼働を開始しました。強度変調放射線治療と画像誘導放射線治療が可能となり、高度がん治療センターとしてのさらなる進歩を遂げることができました。

例年通り、患者さん向けにいろいろなイベントや行事も開催しました。5月12日には「看護の日」記念行事、6月12日は「がんささえあいの日」イベント、7月18日にはサマーコンサート、10月23日には「ホスピス・緩和ケア週間」イベント、12月4日にはクリスマスコンサートを、(今では考えられないことですが)マスクをつけることなく開催しました。この頃は、まさか、今こんなことになっているとは思ってもいませんでした。

新型コロナウイルスが猛威を振るう令和2年、年の瀬に、私たちは、この編集後記を書いています。この一年は、コロナに始まり、コロナに翻弄された一年でした。令和2年1月30日に京都府で新型コロナウイルス感染患者が初めて確認され、京都にもコロナの陰が迫ってきたことが実感されました。京都医療センターでは、2月17日に新型コロナウイルス感染症対策院内会議を開催、3月2日に帰国者接触者外来を開設、3月10日には新型コロナウイルス感染症対策本部を発足させた後、今まで、50回に及ぶ対策本部会議の開催し、次々に起こる課題に対処してきました。コロナ感染症は来年も続くでしょうが、嵐は必ず通り過ぎますし、コロナに打ち勝つ光も見えています。

今回、B.C. (Before Corona) の最後のアニュアルレポートをお届けします。来年の今頃にはA.C. (After Corona) の時代となる事を願い、今年一年、京都医療センター職員一同が、どのように奮闘したかを示すアニュアルレポートをお届けできるよう前を向いて取り組んでまいります。これからも京都医療センターをよろしく願い申しあげます。

広報委員会

瀬田公一 地域医療部長

塚原徹也 副院長



